K-1に明暗、MAXは優等生、JAPANは鬼っ子か？

平成15年1月21日第三種郵便物認可　平成15年7月24日発行（毎月第2・第4木曜日発行）　第5巻

SRS-DX

No.98
2003
7・24
毎月第2・4木曜発売
定価680YEN

唯我（ゆいが）独尊（どくそん）"魔裟斗"

K-1 WORLD MAX 2003
速報号

おめでとう
「自★力」優勝！

TEL.03-3295-1445（編集）　協力／フジテレビジョン・フジテレビ出版

みんな歴史の証人になった……

STRONG PURE TRUE
MAX、万歳！

K-1 WORLD MAX 2003 ～世界一決定トーナメント～

- **魔裟斗**〈日本/シルバーウルフ〉
- **マイク・ザンビディス**〈ギリシャ/メガジム〉
- **サゲッダーオ・ギャットプートン**〈タイ/K.T.ジム〉
- **マルフィオ・カノレッティ**〈ブラジル/シッチマスターロニー〉
- **武田幸三**〈日本/治政館〉
- **ドゥエイン・ラドウィック**〈アメリカ/3-Dマーシャルアーツ〉
- **アルバート・クラウス**〈オランダ/ブーリーズ・ジム〉
- **アンディ・サワー**〈オランダ/シュートボクシング・リンホージム〉

［賞金］
優勝:1000万円
準優勝:200万円
3位:75万円
KO賞:30万円

撮影◎長尾迪、中島ミノル、山口比佐夫（望遠）、©K－1

「あなたの為に私は戦う」

「あと一つ！」――頂点へ、リベンジへ
最高の舞台に最高の役者が揃った！

1回戦はガウン、準決勝はTシャツを着て入場した魔裟斗だが、決勝では余分なものは何もなし、トランクスだけだった。テンションが高まり切ったこの目を見よ！

▲序盤に魔裟斗が主武器としたのがローキック。クラウスは嫌がっているように見えたのだが……

▲前年優勝者にもかかわらず、下馬評はさほど高くなかったクラウス。だがキッチリと決勝に駒を進めてきた

今回のK――1ワールドMAXに関しては、私の中で不思議な霊感というか、予感が働いていた。

それは何かというと、

「絶対に魔裟斗が優勝する！」

である。これはもう、確信に近いものだった。完全に予想とか理屈とか願望を超えた世界のことである。ホントに魔裟斗が優勝するという声が、私の耳に聞こえてきたのだ。もしかして私は霊感師かと思ったぐらいである。

戦前、マスコミ関係者の予想では、圧倒的に〝魔裟斗苦戦〟という見方が大勢を占めていた。トーナメントの組み合わせを客観的に分析したらそうなってしまうのは仕方がない。とにかくこれ以上ない凄いメンバーだったからだ。

はっきり言って1回戦の4試合は、予想できない。どっちが勝ってもおかしくない状況だった。

一部の口うるさい人たちは、魔裟斗を優勝させないために、誰かが厳しいカードをぶつけた。

なんでも魔裟斗はワールドMAXに優勝したら、本人はそのまま引退するという噂が出ていた。逆に勝てない限り魔裟斗はワールドMAXに出続けることになる。

しかし私の考えは違う。2年続けて挑戦し2回とも優勝できなかったら、3年目はもうワールドMAXに出ることは辞める。

魔裟斗とはそういう男である。だから今年、優勝できなかったら魔裟斗にとってK――1MAXは終わりになっていた。そこには「2回やって勝てないものは、何回やっても勝てない。3回も挑戦することは、自分にとって格好悪いものである」と思っているからだ。

その意味では今年のワールドM

〜世界一決定トーナメント〜
K-1 WORLD MAX 2003
7.5★さいたまスーパーアリーナ

◀「ローでは勝てない」とパンチ主体に切り替えた魔裟斗。これが功を奏し、2Rになるとクラウスが下がるシーンも目立った

▲異様なまでに速く、強く、多彩なパンチが交錯する。両者のレベルの高さは超絶的であった

▼クラウスがレバー打ちを見せる。魔裟斗は1回戦でレバーをしたたかに打ち込まれて「血尿が出た」ほどだったのだ。だが、これがフィニッシュへの伏線となった

目まぐるしく変わる攻守 この2人、レベルが高すぎる!

▲1Rはややクラウスがリード。魔裟斗に前進を許さず、いいパンチもヒットしていた

その意味では今年のワールドMAXは、魔裟斗にとってまさに背水の陣。後がなかった。ここで勝てなかったらもはや魔裟斗は、自己の存在理由がなくなってしまうというレベルにあったのだ。

スポーツ競技においては何回もチャレンジすることは、美徳のように思われている。ただしそれは普通の人たちに限るという〝ただし書き〟が必要である。

魔裟斗は自分のことを普通のファイターとは思っていない。特別な存在と思っている。だったらどんなにハードルの高いものであっても、ワンチャンスでそれをものにするか、最悪でも2回目の挑戦で夢を実証してみせる。

私は魔裟斗のそこに賭けた。そうなると「どんな手を使っても勝て!」である。ずるい手、こすい手、きたない手はみんなありだ。

まして超ハイレベルな闘いになると、勝負は決して奇麗事では決まらない。ほんのちょっとしたつまらないミスや偶然で、決まってしまうことが多い。

ミスならまだ納得できる。自分の責任だからだ。問題はその場の偶然や不条理な成り行きで、勝敗が決まってしまうことがある。

そっちのほうがはるかに怖いことなのだ。魔裟斗にとって最大の難関は1回戦にあった。マイク・ザンビディスはきわめて私には、キラーな選手に見えていたのだ。

これは私の勘である。不安でもあった。この選手を突破すればあとはなんとかなる。そうしたら際どい判定となった。1ラウンドでダウンを奪った魔裟斗だが、3ラウンドは一方的に攻められた。

見事なフィニッシュブロー。パンチが乱れ飛ぶ中、クラウスがボディへ左フックを狙う。本能的に魔裟斗がひるんでも、まったくおかしくなかった。だが、ここで魔裟斗はあえて踏み込んで左フックを振り抜く。センスというより、練習に裏打ちされた意地と勇気と根性。魔裟斗の強さの本質がうかがえる。そういえば、魔裟斗がブレイクするきっかけとなった2000年のムラッド・サリ戦も、相打ち気味の左フックで倒したのだ

K-1ヘビー級には“魔物”がいるが、AXには“神”がいた！

ドローでもおかしくない。ただ延長ラウンドに持ち込まれていたら、魔裟斗は負けていた。すれすれのところで2対1の判定勝ち。

これには観客席からブーイングが出ていたことも確か。私はこの時「よし、やったぞ。これでいいんだ」と心の中で叫んでいた。

非常にパラドックス（逆説的）な言い方になるが、トーナメントではこういう微妙な判定で勝つことが、大きなポイントになる。

私は「魔裟斗は最高の勝ち方をした」と思った。これで優勝が半分、私の中で見えてきた。いつもならああいう不透明なイメージのする勝ち方を私は嫌う。

だが、魔裟斗が私に乗り移っているのだ。いかなることがあっても勝てばいいのだ。魔裟斗の反対側のグループでは、ドゥエイン・ラドウィックとアルバート・クラウスが、鮮やかなKO勝ちを決めて1回戦を楽勝していた。

2人の調子の良さは誰の目にも明らかだった。そして準決勝ではクラウスが、またしてもラドウィックにKO勝ちを収める。

あの2度のKOシーンを見たらクラウスの優勝は、ほぼ間違いないと、みんな思ったはず。

魔裟斗が準決勝で闘ったムエタイのサゲッダーオ・ギャットプートンは、1回戦でマルフィオ・カノレッティをスパーリングをしている感じで軽く流して勝った。

そこで魔裟斗はこの相手にKO勝ちした。これも大きかった。ギャットプートンは1回戦で禁止されているヒジ打ちを出して、レフェリーから注意を受けた。

あれが魔裟斗にKO負けする遠因になったと言ってもいい。準決

～世界一決定トーナメント～
K-1 WORLD MAX 2003
7.5★さいたまスーパーアリーナ

意地と勇気の一発！この結末に魔裟斗の強さが集約されていた

◀▲後方へ弾き飛ばされるようにクラウスがダウン。場内総立ちの中カウントは進み、クラウスも立ち上がったのだが10カウントが成立！

▲セコンドに肩車され、渾身のガッツポーズを繰り返した魔裟斗

After the fight

魔裟斗のコメント　勝

「世界一になったことより、プレッシャーとか練習の毎日から解放されたほうが嬉しいです。KOは狙ってはいないんですけど、結果的に。これからが厳しいですよね。毎回、毎回、日本予選みたいなプレッシャーが付きまとってくると思うと辛いですけど。チャンピオンになったんで、僕も条件をいろいろ出していきたいと思ってます（笑）」

クラウスのコメント　負

「非常に調子は良かったんで、この流れならいくんじゃないかなと思ったんだけど。注意力を失った時にやられたという感じ。調子が良すぎて、軽く考えてしまったかもしれない。8カウントで立ち上がったし、もっとやれたと思う。（これで1勝1敗1分ですが？）誰と闘うとかは関係ない。出てくる選手と闘うだけ」

こんなに美しい涙、見たことない

▲認定証とベルトが授与されると、魔裟斗は号泣。昨年の悔しさ、今年に賭けた思い、全ての心情があふれ出る

★第9試合/K-1 WORLD MAX 2003決勝戦（3分3R）
○魔裟斗 × A・クラウス●
〈日本/シルバーウルフ〉　〈オランダ/ブーリーズ・ジム〉
（2R2分26秒、KO勝ち）
※左フック。決勝戦のみ3ノックダウン制、その他の試合は2ノックダウン制で行われた

MAX

因になったと言ってもいい。準決勝までの魔裟斗は何から何まで運が味方していた。抜群の流れと言ってもいい。というのは決勝に行くまでの2試合は、魔裟斗にとって快心の勝利ではなかった。

ということはまだ彼は全然、本領を発揮していないのだ。フル回転させていない。余力が妙な形で十分すぎるほど残っている。

一方、クラウスは決勝に上がってくるまでに絶好調であることを試合で出し過ぎた。見せ過ぎた。そのためもし観客に優勝戦の勝敗予想をしたらたぶんクラウスが8－2ぐらいで票を取っていた。

両者の闘いぶりを比較したら勢いが違っていたからだ。私の友人も〝クラウス有利〟というのが大半を占めていた。

だが、そこに意外な落とし穴があったのだ。昔、馬場さん（ジャイアント馬場）が私に「試合というのは調子のいい時ほど、なぜか油断することが多い。その調子の良さに自分が惚れ込んでしまうからなんだろうなあ。そうやって攻め込んでいった時、足元をすくわれたりして、自分でも、えっという負け方をしてしまうんだよ……」と言ったことを思い出した。

魔裟斗と決勝戦を争ったクラウスがまさにそうだった。クラウスがダウンした時、レフェリーが試合を止めるのが少し早かったような気がする。まだ、クラウスは闘えたかもしれない。負ける時はそういうものなのだ。魔裟斗からすると、勝つ時はそういうもの。

私はまるで自分が勝ったような気分で大満足していた。魔裟斗よ君は偉いよ！　（ターザン山本）

激闘の翌日、速攻インタビュー！

Champion

魔裟斗戴冠！事実上の世界統一王者の誕生だ!!

魔裟斗がK－1MAXで優勝した。日本人初のK－1世界王者が誕生したのだ。しかも、今回のトーナメントは正真正銘世界の強豪揃い。この中での優勝という快挙は世界統一王者の称号を与えてもいいぐらいだろう。では、ファンが待ちかねた世界一強い男の言葉を堪能してください！

聞き手◎中村カタブツ君（ブチ）
撮影◎中島ミノル

―優勝おめでとうございます（笑）。世界一になった夜はどう過ごしましたか？

魔裟斗　一睡もしてないんですよ。昨日の試合のビデオを繰り返し繰り返し見てましたから。

―さっそく反省ですか（笑）。

魔裟斗　いやぁ、面白いなと思って見てました（笑）。

―どんな気持ちになるんですか？　世界の頂点に立つと。

魔裟斗　まだ全然実感がなくて何も変わってないですけど、世界一と考えると凄いことだなって思いますね（笑）。

―あのメンツを考えると……。

魔裟斗　本当に世界一ですからね。それは凄いですよね。

―だって、クラウスを倒したザンビディスに勝って、ムエタイのラジャのチャンピオンも、前回負けたクラウスもKO。パーフェクトですよね（笑）。

魔裟斗　キックの歴史でこういう形で世界チャンピオンになったのって僕が初めてだと思うんで。ボクシングのWBC、WBAに並ぶ価値があると思いますよ。

―事実上の世界統一王者ですからね。だから、その価値に見合った対世間的な勝負までこれからの一戦一戦に乗っかかってくるんですよね。プレッシャーが凄くて考えると嫌でしょ？（笑）。

魔裟斗　嫌ですね、それは。だけど、勝った時は最高ですから。ここ最近は勝って当たり前のような状態ばっかりで、試合終わっても別に充実感も嬉しさもなくて。でも、今はやっぱり嬉しいですから。

―日本トーナメントの時はやっと終わったかって顔してましたもんね。闘い方にしてもKOよりは勝つことが第一って感じでしたし。

魔裟斗　倒すことは狙ってなくて楽に勝つことが狙いでしたからね。

―ただ、驚いたのは今回はさらに厳しいワールドトーナメントだったじゃないですか。でも、ハタ目で見てるとメチャクチャ倒しに行ってるように見えたんですよね。それが凄いなって思って。

魔裟斗　たぶんボクシングのワタナベジムの飯田トレーナー（左フックでKOの山を築いた吉野弘幸を育てた名トレーナー）が週に4回ミットを持ちに伊原ジムに来てくれたのが大きかったですね。自然に倒すスタイルになっていたというか、倒すコンビネーションは飯田さんが出してるミットの位置と一緒だなって（笑）。

―最後の左フックは練習どおり？

魔裟斗　左フックは、相手の右をガードしたら返すようにしょっちゅう言われてたことですから。サゲッダーオを倒した左から右アッパーも、飯田さんに言われてて自然に出たもんですからね。

―じゃあ、昨日、「KO賞はトレーナーに渡します」って言ってましたけど、60万円は少ないでしょ（笑）。

昨日の夜は何回も試合のビデオ見てて一睡もしてないですよ（笑）

魔裟斗　いや、30万です（笑）。ずっと一緒にやってるタイ人のヌアトラニーと半分ずつなんで。

―ワハハハ！　意外とシビアですね、1千万円もらったのに。

魔裟斗　いや、昨日手元にもらったのがそれだけだったんで（笑）。

―昨日も言ってましたよね、「自分が強くなったかどうかが分からなかった」と。でも、やってみたらこの結果で。

魔裟斗　やっぱりスパーリング・パートナーも日本ランキングの4位とか5位とかの人たちとやって、どっこいどっこいにできてたんで。

―それがたぶん決勝のクラウス戦でパンチ勝負をする判断になったんですか。

魔裟斗　イケそうな気がしたんですよね。パンチ効かないし、よく見えたんで。

―去年は「あんなに痛いパンチ」って言ったのが1年で効かないし、見えるようになるのって気持ちいいでしょ？

魔裟斗　そうですね。だいぶパンチも殺せるようになりましたから。

―実際、顔がキレイですよね。トーナメントを闘い終わった翌日の顔とは思えない（笑）。

魔裟斗　ちょっと右目が腫れてるんですけどね。これは1回戦でたぶんバッティングされたんだと思うんですよ。

―昨日は1回戦がターニング・ポイントになりましたけど、やっぱりザンビディスは強かったですか？

魔裟斗　そうですね。1回戦が一番疲れましたね。集中してたし凄い緊張してましたね。顔が強張ってなかったですか？

―強張ってましたよ（笑）。

魔裟斗　ああいう顔をするのは凄い久しぶりですよ（笑）。

―でも、そんなに緊張していたのに1Rでは飛びヒザを出してダウンを奪ったじゃないですか。

魔裟斗　あれはもう自然に身体が動きましたね。

▲魔裟斗が決勝戦でKO勝ちした瞬間、観客は総立ち！　これだけ熱狂を呼べる日本人ファイターは、K-1では魔裟斗しかいないだろう

～世界一決定トーナメント～
K-1 WORLD MAX 2003
7.5★さいたまスーパーアリーナ

—よくあそこで畳み込めましたね。なかなか日本人って倒しにいけないじゃないですか。
魔裟斗　ああいうチャンスの時は結構昔からいけてたんですよ。
—チャンスを掴み取る力なんですよね、重要なのは。だから今ここにいるんだなって思いましたよ。ところで決勝の時はガウンを着ないで出てきてましたけど、あれはどうしてですか？
魔裟斗　ガウン着るとか、ムダな力を使いたくないと思って。ホント1回戦は初めてやった時の日本トーナメントぐらい疲れたんで、あんまり余計なことをしたくないなって。頭もメチャクチャだったじゃないですか？　鏡なんか一回も見なかったですからね（笑）。
—髪型なんてどうでもいいやと（笑）。決勝の入場時は「あれ？　疲れてるのかな」とも思ったんですけど。
魔裟斗　いや、無心でしたね。緊張はあるんだろうけど気負いがないっていうんですかね、力みも出てないし、ホント無心ですね。一番身体が動きましたね。
—疲れてたんじゃなかったんですね。
魔裟斗　疲れてることは疲れてるんですけど、またクラウスに優勝されるのは嫌だったんで。
—大会前に言ってましたよね。「今度負けたら『もう一回やらしてくれ』とは言えない」って。
魔裟斗　負けたら本当に辞めるつもりでしたよ。負けが当たり前になってズルズルズルズルやっていくのが嫌で。それじゃあ普通の選手になっちゃうんですよ。絶対嫌ですよ、そんなの。
—普通の選手になり下がるぐらいならヤル必要なし（笑）。その自分に対するハードルの高さが違いますよね。
魔裟斗　キッパリ辞めようって思ってましたね。
—それにしても、ホントにカッコイイなって思いましたね。
魔裟斗　そうですか？（笑）。
—やる時はやって結果を出すんですからね。もしかして努力家ですか？
魔裟斗　努力家というか性格ですね、ちっちゃい頃からの。親のしつけですよ。

芸能活動よりも今は、この世界をもっとやりたいなと思ってますね

—親のしつけ（笑）。
魔裟斗　ホント、そうですよ。親のしつけと親の血ですね。特に親父はマラソンやってるんですけど、お盆とかで田舎に帰る時に家の2、30キロ手前で車から降りて走るような親父ですからね（笑）。
—なぜだ（笑）。そういう熱い血を丸ごと受け継いでるわけですね。だから、オーバーワークしちゃうんですかね。
魔裟斗　俺もオーバーワークなのは分かっていたんですけど、やっぱり今までやってたのを減らすのは不安があってそこの葛藤がありますよね。それに今までで一番大変な試合だっていうのもあるし。これまで以上に頑張りたいけど、これまで以上に頑張るなって言われて。
—血尿とか出てたんですか。
魔裟斗　それは出てなかったですね。
—ただ、トーナメント中には血尿が出たんですよね？
魔裟斗　第1試合のあとですね。ボディを打たれたんで。
—素人考えで申し訳ないんですけど、心配にならないんですか？
魔裟斗　まあ、よくあることですから（笑）。ザンビディスがボディ打ってくるのも分かってましたし、最初から楽にいこうとは思ってなかったですから。
—実際楽な試合はなかったですね。
魔裟斗　ただ、2試合目は結構ね（笑）。「どっちがタイ人か分かんねえな」って感じでしたね。「蹴りのかわし方なんて俺のほうがタイ人みてえじゃん」って思って（笑）。技がよく見えましたね。
—見てるこっちも「あれ？　サゲッダーオってラジャの現役王者のはずだよね？」って感じだったんですよね（笑）。ということでチャンピオンになりましたが、今後はこのベルトの価値に見合うだけの知名度も上げたいですよね。それも闘いだと思うんですけど、どういうふうに狙ってます？　芸能活動増やします？
魔裟斗　さっき考えていたんですけど、格闘家にちょっと力を入れてみようかなって。やっぱり世界一強い男だから、あんまり安っぽくしたくないじゃないですか（笑）。
—バラエティー出演とかね（笑）。
魔裟斗　K―1ワールドMAXをラスベガスでやらしてもらったり、本当に世界で俺の名前が知られるようになってみたいですね。あとは自分で『魔裟斗ボンバイエ』みたいなことをやれるような、そういうふうになれたらいいなってちょっと思ってみたり（笑）。
—やりましょう（笑）。というか、世界が視野に入ってきたんですね。やっぱり高い位置に上ると見えてくるものが違ってくるんですね。
魔裟斗　この間バラエティー番組を見ていて、この人たちにはできないことを俺はできるんだなって思ったんですよ。この人たちは感動を与えることはなかなかできないけど、俺は感動を与えることができるんだなっていうのを凄い思ったんですね、失礼な言い方なんですけど。
—でも、そうですよ。だって、昨日の大会は決勝終わってもお客さんがなかなか帰らなかったですからね。
魔裟斗　俺も「感動した」って凄いいろんな人に言われましたよ。こういう仕事ってなかなかないなって思いましたね。だから、キックボクサーにしろ、ファイターにしろ、地位を野球選手とかサッカー選手とかに負けないようにしたいです。イメージを変えたいですね。
—魔裟斗さんなら絶対やってくれると思いますよ（笑）。■

※7・5『K-1 WORLD MAX』大会レポートは95ページに続きます

緊急企画 徹底検証！ 6·29 K-1 BEAST II

K-1 JAPAN、際物トリオ集結！

「モンターニャの乱」

▶バタービーンは噂以上の実力とキャラを発揮。かすっただけのパンチで藤本を戦闘不能に追い込んだ

◀中西学をパンチ一発で葬ったTOA。この男の底はまだまだ見えない

突如、大暴走したシウバ。後日、K－1より無期限出場停止を通告されることに

K-1 JAPAN、不徳の致すところか？ はたまた不祥事、転じてプラスにせよ！

文◎ターザン山本

K−1JAPANはプロレスだ。

K−1JAPANは「W−1」だ。

ファンや関係者の間からそんな声が聞こえてきた。これらはどういう意味なのだろうか？ 要はK−1JAPANはK−1じゃないということである。

これはJAPANに関してはみんな「どうにもならない……」とはじめからあきらめているのだろうか？ そういうあきらめとか、投げやりな気分がJAPANの世界を、ずるずるなものにさせてしまうという見方もできる。

6月29日、私も会場にいたが、思い切りJAPANに対して腹が立った。「なんだよ、これ？」という気持ちである。

あれだけダメな興行はめずらしい。興行やイベントはあくまでエンターテインメントである。エンターテインメントとは、観客を楽しませてなんぼの世界。

そこではチェックポイント、チェック指数が問われるのだ。大会の運営、進行からサービスまでいろんなチェックポイントがある。それはその方面のスペシャリストを投入すれば、すぐに解決できるもの。問題はコンセプトにある。

K−1JAPANとは何か？

これである。K−1JAPANのテーマを今一度、はっきりさせる。その原点に戻って考え直す。それをやらないとまたモンターニャ・シウバみたいなことが起きる。対戦相手の武蔵をマットに倒して、マウントパンチをやった。

どうしてそういうことができるのか不思議である。あれは悪い形の「モンターニャの乱」である。それもしょっぱい「乱」。ちょっと勘弁してほしい。

では、K−1JAPANのコンセプトは、もともとどこにあったのか？

一つは日本人選手に光を当てる大会。彼らが頑張ることでK−1グランプリに出場できるような選手になっていく。グランプリは言うなればプロ野球の世界で言うと、大リーグ（メジャーリーグ）と同じ。となるとK−1JAPANはそこに這い上がっていくための〝登龍門〟と考えればいいのだ。

K−1JAPANは別名、K−1登龍門のことである。だったら日本人選手に限らず、外国人選手に枠を広げて考えるという発想もできる。

モンターニャ・シウバ、バタービーン、TOAはみんな中迫剛などと同じでグランプリをめざして登龍門でのリングで、サバイバルな闘いを展開していくというストーリーの中にいるのだ。

この考えだとすっきりする。だが現実的にはシウバもバタービーンもTOAも、そういう原理原則よりも自らのキャラを全面に押し出し、我が物顔でK−1JAPANのリングで暴れ回っている。

▼[illegible]したら歯止めが利かないモンターニャ

◀K−1史上かつてない大不祥事となったモンターニャ・シウバvs武蔵戦。途中まで非常にいい試合だっただけに残念。もっと見たかった

▲武蔵がこれほどまでに[illegible]を露わに[illegible]初めてだった

▶ドクターのチェックを受ける中西を背に勝ち名乗りを受けるTOA。次の試合は、ボブ・サップか？

そこに大きな間違いがある。お前たちはキャラを売りにする柄じゃない。まだそこまでいっていないのだ。

それを許してしまったのは日本人選手が弱いからだ。ここに最大の問題点がある。彼らが強かったらシウバもTOAもキャラだけで終わっていた選手。

それはシウバやTOAにとっても不幸なことなのだ。まあ、TOAの相手はK―1所属の選手ではなく、新日本プロレスのプロレスラー、中西学だったが……。つまり、中西も弱すぎたということである。弱いことは諸悪の根源である。K―1JAPANは何がいけないかといったらそこに原因がある。弱い者は去れだ。

もう、それを言うしかない。そうやって彼らに引導を渡すしかないだろう。K―1JAPANが登龍門であるなら、新しい人材を発掘する場でもある。

発掘するならモンターニャ・シウバもTOAもバタービーンもありだ。発掘というのであるならまだ彼らは〝原石〟の状態。いわゆるこれからのファイターなのだ。その中でバタービーンはすでにできあがっている選手だった。

去年、原石がそのまま第一線級のリングで即通用してしまったのが、ボブ・サップだった。しかしあれは例外中の例外と考えるべきなのだ。あんなことが誰にでもやれると思ったら大間違いだ。

モンターニャ・シウバとTOAは、ボブ・サップにはなれない。なれたとしてもそれには時間がかかる。時間をかけないと原石のままで終わってしまう。

ボブ・サップでおいしい夢を見てしまったことが、K―1JAPANの磁場を狂わせてしまったと言える。柳の下にそうそう二匹目のどじょうがいるとは限らないのだ。ボブ・サップだってミルコ・クロコップにかかったら、ひとたまりもなかった。それが現実なのだ。

世界各地からいろんな可能性を持っている選手を見つけ出してきて、その人間をK―1JAPANのリングに上げて試合をさせるのは正解である。

戦略的にも正しい。K―1JAPANは、その受け皿としてあるからだ。だったらその理念を守ってほしい。貫いてもらいたい。変な欲をかくなである。

というよりK―1JAPANは、どこに自分の〝らしさ〟があるかを、もう一度考え直してみる必要がある。グランプリをめざしていくための登龍門であるなら、何もさいたまスーパーアリーナみたいな大会場でやる必要はない。

いや、やってはいけない。やればやるほど同じ過ち、ミスを続けていくことになる。会場をもっと小さな所に移してやるべきではないのか？ たとえば大田区体育館とか、横浜文化体育館とかだ。

それだとK―1JAPANのイメージにあっている。似合っている。プロ野球の世界でウエスタン・リーグやイースタン・リーグなど、二軍の試合は東京ドームなどでやらないのと同じである。

昼間、名前の知られていない競技場で試合をやっているのだ。K―1JAPANの試合は、なぜかテレビの視聴率はいつもいい。テレビマッチとしてやればいいのだ。ハウスショーについては見栄を張る必要はないと言っておこう。

あるいはK―1JAPANに関しては地方での試合を優先させていく。山形大会がそうだったようにである。これは地方興行の掘り起こしに繋がっていく。

地方の人たちは「あのテレビでしか見たことがないK―1が、おらが街にやってきた……」となるのだ。K―1JAPANにはそうした役割がある。

もはや関東地区の大会場で大会を開くことは、無理なことが6・29さいたまの試合ではっきりと分かってしまった。

まあ、それだけ東京のファンは、目が肥えているということである。みんなの目が厳しいところで試合をやったため、その矛盾をさらけ出す結果となった。

これはK―1JAPANにとっても悲劇である。そう考えると私の怒りもおさまってきた。なんだ、そういうことだったのかになったからだ。

チケットが売れなかったのが、一番のいい例である。K―1の世界にもヒエラルキー、階級制度があったのだ。グランプリとJAPANでは、まったく階級が違うということである。

両者を同じように扱うこと自体がおかしいのだ。なぜならファンのほうが先にそういうジャッジメントを下していることが、今回分かったからだ。

それを思うとK―1ミドル級のMAXは、グランプリに対して見事なほど差別化した世界を作り出している。これは凄いことなのだ。K―1JAPANにはそれができていない。

コンセプトを守っていないからだ。ヒエラルキーを意識していないからだ。もっと言うならK―1JAPANは、素（す）の自分に返るべきである。

日本人選手に幻想を持つことは、この際やめにしよう。グランプリは手の届かない存在になってしまったからだ。

それなら世界を意識しないで、日本という枠の中で濃密な闘いをしていくのも生き残っていく一つの道でもある。

それがK―1JAPANの差別化ということになるのだ。モンターニャの事件は、K―1関係者の不徳の致すところと思っていたが、そういうことではない。

K―1JAPANがなんであるかを忘れてしまったことによる不手際なのだ。■

「選手諸君よ、君らは今の現状のK－1ジャパンを憂えてくれていないんじゃないか？」

話題騒然のK－1ジャパンに角田競技統括プロデューサー怒りの激白！

聞き手◎橋本宗洋

モンターニャ・シウバの大暴走をはじめ、全てが空回りしてしまった感のあった6・29K－1BEASTⅡ。これには、ジャパン軍の総帥を務めた角田信朗競技統括プロデューサーも大会後の会見で怒りを爆発。この問題を語るには、角田プロデューサーが一番ということで、緊急インタビューと相成った。

彼らは余分な回り道をしなくなったかわりに、必要な回り道もしなくなった

▲ジャパンがだらしないから、モンターニャのような選手を呼ばざるを得なかった現状に、角田プロデューサーは嘆いているのだ

――今回、あらためて6・29K－1ジャパンの総括を角田さんにしていただきたいと思います。まず一番の問題はモンターニャだったと思うんですけども……。武蔵選手はそうとう危険な状態だったみたいですね。

角田 今回のことは、僕は真剣に怒ってるんでね。たとえば、企業が心神喪失で犯罪を犯す可能性がある人間を雇い入れて、その人間がなんか問題を起こしたら、それは本人の責任で会社に責任ないのかっていったら、そんなことないですよね。

――そういうことが、今回K－1で起こってしまったと。

角田 いつも言うように、僕らレフェリー、ジャッジってね、差し違えたら切腹するような覚悟でやってるわけですよ。なのにああいうことがあると、例の消火器かけてどうのこうのいうところから全部マンガになってしまうんですよ。モンターニャなんて、あんなもの許してしまったら、なんのために競技統括というセクションがあるのか分からへんし、そこで、僕がなんの権限も持たされずにね、「試合だけ裁いとけ」ってことなら、もうプロデューサーなんていう肩書きになんの意味もないでしょ。

――話を聞くと、モンターニャは相当キレやすい選手だったらしいんですね。

角田 そういう選手を話題先行で出しちゃダメです。「選手が勝手にやったことや、知らなかった」ではすまされない問題やし。要するにまず選手がこのK－1のリングでこういう暴挙を働いたこと、そういう選手を連れてきたこと、全部含めて真剣に考えないといけない。

――あの試合があったことで、その後の興行の見られ方が変わってしまった部分もあると思うんですよ。中西選手とか、アーツとか。

角田 ないとは言えないなあ……。そういう意味でも、第1試合の作った罪っていうのは大きいですよね。

――あの辺のK－1らしからぬムードっていうのは角田さんも見られてて感じられましたか?

角田 もちろんですよ。それはもう消火器の時からそうですし、もっと言えば山形大会の記者会見の乱闘の時からそうだしね。僕はこれジャパンのファイターにも話したんですけど、俺だって腹立たしいよと。でも、一方でK－1ジャパンの現状っていうのを俺らは直視せなあかんやろ、と。

――話題先行でいかざるをえない部分がありますよね。

角田 「武田幸三でチケット何枚売ってると思う? 吉田秀彦が出るっていうとチケット何枚売れると思う?」っていうことですよ。悲しいかな武蔵や中迫は、そこで差をつけられてしまってるんですよね。もちろん、彼らは闘いのプロであってしゃべりのプロじゃない、パフォーマーじゃないですけどね。ただミルコみたいに鬼みたいに強ければ、手でカメラ塞いで「もう終わりにしてくれ」って取材の席を立ってしまっても、それはそれで許されるわけじゃないですか。

――それも味になりますよ。

角田 それをね、富平なんかも不完全燃焼の試合の後で自分自身にイライラしてるんであろうことは分かるけど「そう見えたんならそうなんでしょう」とかね。その発言はないやろって。自分たちの発言一つで次のチケットの売り上げに繋がるんやっていうことを考えてもらいたいんですよね。チケット売らないとイベントとして成立しないし、そうすると彼らがメシ食っていけないんやから。

――だから、いろんな企画や話題作りが必要となってしまっているわけで。

角田 それを分からずに「K－1はプロレスじゃないんだ」って文句言ってるとしたら、お門違いですよ。たしかに彼らにしたら嫌な状況でしょうけど、それは自分たちが招いてしまったことなんだよと。今は環境が整ってるから、選手も回

僕の発言って相手に対して逃げ道がないんだろうな

り道をしなくなりましたよね。彼らは余分な回り道をしなくなったかわりに、必要な回り道もしなくなったんですよね。

——ジャパン勢が結果を残していれば、全て丸く収まってたかもしれない。

角田 中迫とアーツの試合を見ても、コメントのしようがなくてね。でもね、じゃあ中迫が武蔵がどんな練習をしてるっていうことじゃないですか。そんな、パワーやスタミナはあって当たり前の話でね。じゃあ何するかっていったら『空手バカ一代』であったじゃないですか、ハワード・コリンズが山崎照朝にハイキックで倒されて倒されて、それでも全日本大会の前に「もう一回お願いします」って行ったというね。そして、ノックアウトされても最後までそのハイキックを目をつぶらないで見て、全日本の時にはその回し蹴りをかわして勝つっていう。そこやと思うんですよ。中迫がアーツと闘うんやったら、むしろアーツのところに乗り込んでいって、手合わせしてくれと。強くなるって、そういうことでしょ？「マンガの世界」では片付けられない。そのぐらいの心意気がないとあの距離は縮まらないと思いますよ。

——それから、K—1ジャパンの体制、責任と言うか舵取りというか、その辺はどうしていくのが理想的でしょうか？

角田 それは、お役所仕事してるわけじゃないから「それはイベントプロデューサーの管轄なんで」なんていうつもりは毛頭ないですよ。ただ、イベントプロデューサーの谷川さんに、あの消火器の時に厳重抗議したのもそうなんですけど。今回も新日本プロレスさんと対抗するっていうね。新日本プロレスのレスラーの一人が、K—1という競技に挑戦してくる、それは歓迎しますよ。でも対抗するっていうのはどういうことなんですか、業務提携をするということなんですか？って。そういうことをちゃんとハッキリさせたいんですよね。K—1がイベント性を持った、エンターテインメント性を持ったソフトであるということは、僕らはもう重々承知してますから。その中で、（新日本と絡む）メリット、デメリットで、デメリットがK—1というブランドを少しでも歪曲させてしまうんだったら、僕はその必要はないと思うし。プロレスはプロレスで僕大好きやけど、競技として譲れない一線があるのも事実なんでね。

——イベントを作る側と競技を統括する側では、考え方に違いはありますよね。

角田 競技とイベント性って水と油みたいに交わらないんですよ。そこをなんとかうまくコーディネートしながら、ここまで大きくなってきたK—1の魅力を最大限発展させていきたいと僕らは願って努力しているんでね。通り一辺倒に「僕らは競技です」、あるいは「切符売るためにはイベント先行です」って言ってお互いの立場を無視するんじゃなくて、そこをどう歩み寄るか。K—1の新体制は三権分立なんだけれども、同時に三位一体でないといけないんだと。その部分は、頑張ってはいますけど、より高めていかないといけないでしょうね。

——K—1はどうあるのが理想なのかってことですよね。角田さんはどう思われますか、K—1の理想像は。

角田 それはねぇ……（苦笑）。逆に角田こうせい、と指示出していただければ（笑）。僕がこうするべきやって言っても、「立場を考えて」って言われたらそれ以上何もできないし、谷川さんは谷川さんで「僕のせいじゃありませ～ん」って言うだろうしね（笑）。

——最後に、もう一度6・29の事件についてなんですが……。

角田 これは決して競技役員だけの問題でもないし、運営・招聘・イベント側の問題だけでもないし、全部がもう一回ね、K—1ジャパンというものをきちっと見直していかないと。そうすると、最初の話に戻るけど選手諸君よ、こういう話題作りであったり、こういうアクシデンタルな部分にのみ話題が集中する今の現状のK—1ジャパンを君たちは憂いてくれてないじゃないかと。

——やっぱりそこになりますね。ジャパン勢がしっかりしてれば問題はないんだという。

角田 そう言うとまた「じゃあオレと闘ってくれ」なんて言われかねないですけどね（笑）。でもね、魔裟斗が世界獲って「俺はヘビー級の人たちと違って負けたら後はないと思ってる」って発言した時、僕、なんかこれまでの自分の苦労まで報われた気がしましたよ。

——そこが角田さんのいいところです（笑）。

角田 まあ、僕の発言って相手にしてみれば逃げ道がないんだろうなって思いますよ。たしかにそうや、言うとおりや、でもそれを言われたらミもフタもないって世界なんでしょうね。でもしょうがないです、それが僕の論理やし僕の流儀やしそう伝える立場にいると思う。そうやって自分を磨いてきたから、今の僕があるんだろうし。だから僕が何を言っても、最終的には彼らがそれをどう捉えるかの問題ですよね。■

モンターニャ無期限出場停止処分！

7月6日、K-1 MAXの一夜明け会見で、角田・谷川両プロデューサーが、モンターニャの処分を発表。K-1無期限出場停止処分となった。以下は両プロデューサーのコメントである。「結論としては、モンターニャ選手はK-1無期限出場停止処分です。彼のトレーナー、招聘したプロモーターは厳重警告処分とし、再び同じ様な選手のマネージメントをした場合は追放処分とします。また、今後、反則を犯した選手にはファイトマネーの没収や減額などして、厳しくコントロールしていきます」（角田）「モンターニャ本人も深く反省しています。今後はK-1以外のキックとか総合の試合をやってもらって、ルールが守れるとこちらが判断できるまで出場停止とします。彼のファイターとしての資質を否定するわけではないのですが」（谷川）

男祭り!

X

P 2003 開幕戦

6月25日、都内で『プライド』GP2003の記者会見が行われ、吉田秀彦とX以外の出場メンバー6人が出席し意気込みを語った。会見に出席した出場メンバーは既に決定していた桜庭和志、ヴァンダレイ・シウバ、クイントン・"ランペイジ"・ジャクソン、そして新たに決定したリカルド・アローナ、アリスター・オーフレイムにUFCからの刺客チャック・リデルである。また、フジテレビのプロデューサーの清原邦夫氏からは、『プライド』の地上波でのプライムタイム進出が発表。当日の22時30分からの放送が決定した。『プライド』史上、かつてないゴージャスな規模で行われるグランプリ。残るXと1回戦の組み合わせが待ち遠しいところだが、今年の夏は男どもの祭典に酔いしれろ!

撮影◎丸山剛史

8・10 "真夏の"男"祭り"
PRIDE GP 2003
最新情報！ 開幕戦

真夏の"男

8・10 PRIDE GP

ナンバーワンを決めに"男の中の男"どもが勢揃い！

11・9東京ドームに勝ち上がるのはいったい誰だ!?

シウバのコメント

「(現在の心境は?)「プライドGP」に参戦することを私も嬉しく思っている。今回は私の力と技術を見せる舞台だ。私がなぜチャンピオンであるかを証明できると思う。(1回戦誰と闘いたいですか?)私が「プライド」で一番アグレッシブだと思っているので、誰とでも闘いたい。(リデル選手があなたと闘いたいと言っていますが?)リデルも強い選手だと思うが、私はあえて対戦相手を選ぶことはできない。誰とでも闘うつもりだ。(自分が一番優れているものを一つあげてください。)私はリングに上がると常に怒りが込み上がってくる。私にとって、それが一番大切なものだ」

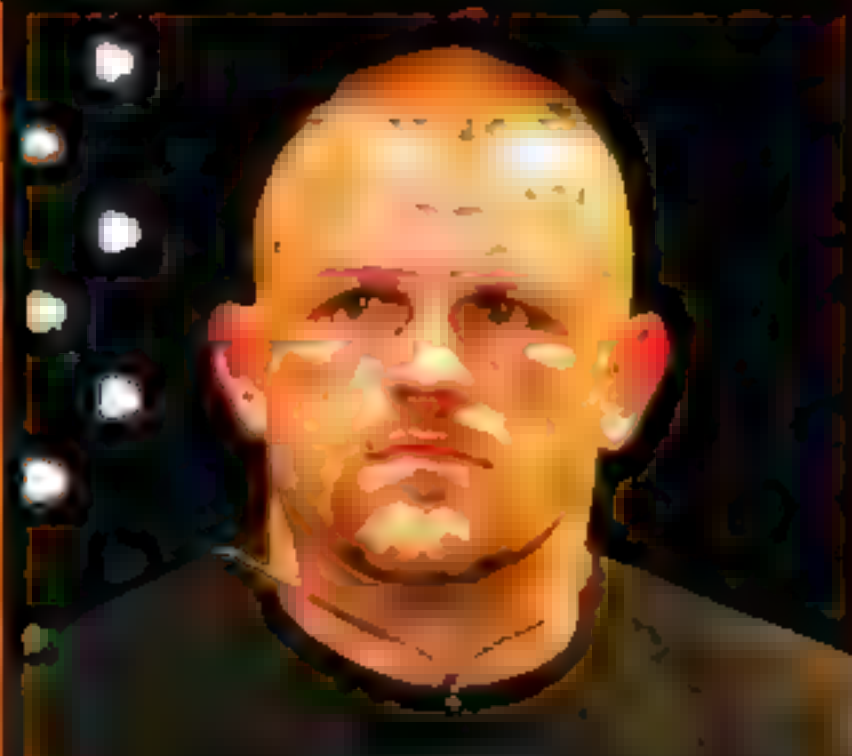
ヴァンダレイ・シウバ
〈ブラジル/シュート・ボクセ・アカデミー〉
★身長・体重/182センチ・90キロ
★バックボーン/ムエタイ
★主な獲得タイトル/初代PRIDEミドル級王者

桜庭のコメント

「(現在の心境は?)このライトが熱いです(笑)。みんなTシャツだと思ったので、スーツのほうが目立つかなと思って着てきました。(意気込みは?)ケガのないように頑張ります。(1回戦誰と闘いたいですか?)皆さん強そうなので、一度試合をしてもらってですね、一番負けた人(笑)。エックス(笑)。(吉田選手と闘いたいと思いますか?)1回戦でですか? できれば、決勝で当たりたいと思いますけど。見た感じ強い人は全部反対側にいってもらって、体ボロボロになりながら決勝で(笑)。(自分が一番優れているものを一つあげてください。)年齢です(笑)」

桜庭和志
〈日本/高田道場〉
★身長・体重/180センチ・83キロ
★バックボーン/レスリング
★主な獲得タイトル/97UFCジャパンヘビー級トーナメント優勝、PRIDE GP2000 3位

リデルのコメント

「(現在の心境は?)気分は最高だ。このステージにいる選手とも早く試合をしたいと思っていた。UFCの代表として「プライド」のトーナメントに参加して、絶対にUFCが最高の団体だということを証明したい。ぜひ、「プライド」のベルトをUFCに持ち帰りたい。(1回戦誰と闘いたいですか?)ヴァンダレイ・シウバだ。私も長い間挑戦したいと思っていた。シウバを倒したいと思う。(自分が一番優れているものを一つあげてください。)どんなに強い選手と当たっても挑戦していこうという気力と、オールラウンドに立ち技でも寝技でもうまくやっていけるところだと思う」

チャック・リデル
〈アメリカ/ピット・ファイト・チーム〉
★身長・体重/188センチ・90キロ
★バックボーン/キックボクシング
★主な獲得タイトル/なし

ランペイジのコメント

「(現在の心境は?)まず、今回グランプリに出ることを光栄に思う。そして、ダナ・ホワイト氏とチャック・リデルが来ているが、[illegible]。しかし、やはり「プライド」が一番だ。(意気込みは?)これだけ強い選手の中で闘うのは初めてだが、非常に楽しみにしている。必ずやり遂げたいと思う。(1回戦誰と闘いたいですか?)私の友達の桜庭選手を選びたい。唯一私がタップした[illegible]なので、ここでリベンジを果たしたい。(自分が一番優れているものを一つあげてください。)私はビデオゲームが一番得意だ(笑)。ビデオゲームなら誰にも負けない」

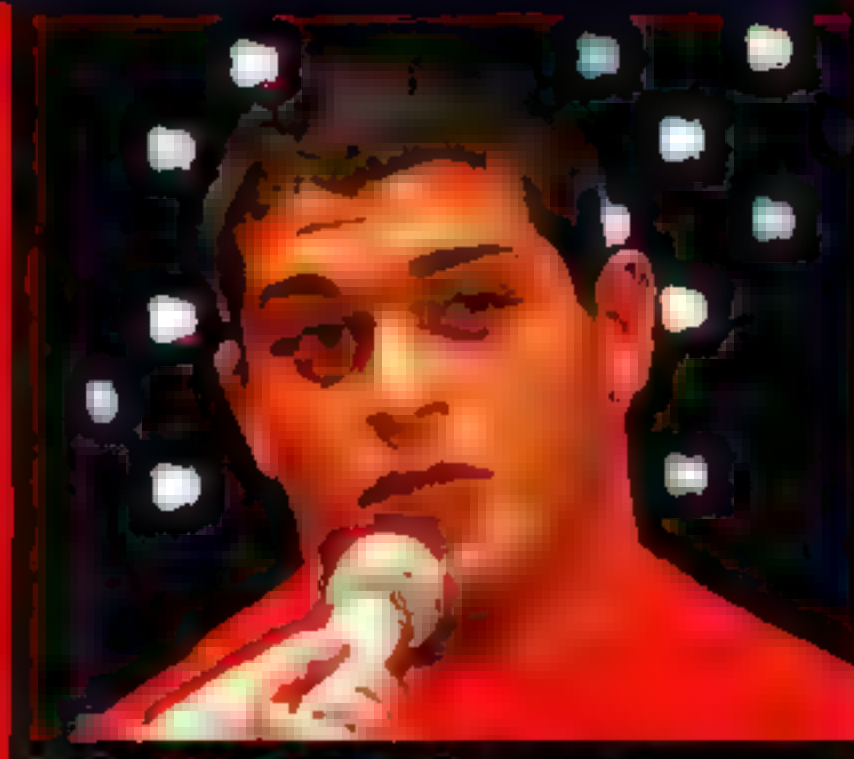
クイントン・"ランペイジ"・ジャクソン
〈アメリカ/チーム・オヤマ〉
★身長・体重/183センチ・93キロ
★バックボーン/レスリング
★主な獲得タイトル/なし

アリスターのコメント

「(現在の心境は?)「プライドGP」に参戦できることを非常に嬉しく思う。大変ワクワク興奮している。参戦するからには、必ず制覇したいと思う。(このハンマーは?)自分の力が足りない時は、このハンマーを使おうと思う(笑)。このハンマーが出てこないこと[illegible](笑)。(1回戦誰と闘いたいですか?)全員非常にいいファイターが揃っているので、誰でも構わない。(吉田選手は?)いいんじゃないか(笑)。(自分が一番優れているものを一つあげてください。)私はスタンドとグラウンド共にバランスが取れていて秀でていると思う。特に左[illegible]」

アリスター・オーフレイム
〈オランダ/ゴールデン・グローリー〉
★身長・体重/195センチ・95キロ
★バックボーン/キックボクシング
★主な獲得タイトル/なし

アローナのコメント

「(現在の心境は?)光栄に思っているし、嬉しく思っている。「プライド」という舞台はいつも最強のファイターが集まっている舞台だと思っているので、私もいつもより準備をしているよ。(意気込みは?)自分は準備はバッチリだが、やはり「プライド」という舞台は何があるか分からないので、一番準備をしている選手が勝つと思う。(1回戦誰と闘いたいですか?)ここにいる選手はみんなプロフェッショナルだと思うので、あえて1人選ぶとすると難しい。(自分が一番優れているものを一つあげてください。)精神力だ。私は勝たなきゃいけないという気持ちが常にある」

ヒカルド・アローナ
〈ブラジル/フリー〉
★身長・体重/180センチ・90キロ
★バックボーン/柔術
★主な獲得タイトル/00アブダビコンバット98キロ以下級優勝、01アブダビコンバット98キロ以下級、無差別級優勝、初代リングスミドル級王者

◀やはりXは田村潔司なのか? 田村本人は、6月29日のUスタイル大阪大会に出場したが、そこでは「プライドGP」に関するコメントはなかった……

DSE 榊原信行社長のXに関するコメント

「Xに関しては、ヘンゾも髙田さんにアピールしていましたけど、待て、と。本当は今日、発表するつもりだったんですが、最終的に決めるのにあと1週間くらいかかりそうです。こちらが、ぜひ出てほしい選手がいて、色々話し合いをしている最中。その選手は過去に「プライド」に出たことのある、日本人選手です」

▲会見途中、ヘンゾ・グレイシーが髙田に「俺たちグレイシーから出す約束をしただろう」と訴えると、「ヘンゾ、おまえらグレイシー一族が男の中の男だということは分かっている。でも、見ろよ、このメンバー。分かるだろう? もうちょっと時間をくれ」というミニ髙田劇場まで行われた

残る1人、Xはいったい誰だ!?

SRS・DX"大本命"吉田秀彦にミドル級GPを聞く！（……聞かれる？）

聞き手◎林 毅

――驚きましたよ、吉田さん。まさか、ミドル級GPに出るとは。2週間くらい前に話した時には、そんな様子まったくなかったじゃないですか？

吉田 急に決まったんですよ。

――話が来てから決めるのに時間はかかったんですか？

吉田 10日くらいですかね。

――昨日（6月25日）、出場決定6選手が集まって会見が行われましたが、吉田選手はパネルでの出席でしたね（笑）。

吉田 えっ？ 桜庭さんは？

――桜庭選手も出ましたよ。

吉田 うそっ？

――本当です。吉田さんだけです、出なかったのは。

吉田 ボクはこの前の会見に出たんで（今回は）いいって言われてたんですよ。

――それにしても、吉田さんの出場は驚きましたよ。また今年も、夏の話題を一気にかっさらった感じですね。

吉田 いやぁ、今回はヤバイです。

――発表された出場選手の顔ぶれを見て、どんな印象ですか？

吉田 誰とやっても厳しいでしょ、みんな強いですよ。

――予想していた顔ぶれですか？

夏だったら減量もできるかなと思って（笑）。冬だったら（ミドル級GPは）受けてないですよ

吉田　いや、ちょっと違いますね。

—アリスター・オーフレイムとか、チャック・リデルとか？

吉田　はい。アリスターって「プライド26」に出ていたヤツですよね。

—そう、マイク"バットマン"ベンチッチってミルコの総合の先生とやった選手です。でも、「プライド24」でロシアのヴォルク・アターエフに勝って評価が一気に上がったんですよね。もともとオランダでは、非常に強くて、伸び盛りの選手として注目されている選手なんですけどね。あとはXが誰になるかですが？

吉田　ハイアンはどうしたんですか？

—とくにケガをしているというわけではないと思うんですけど、X枠に、日本人有力選手の名も挙がっているようなんで、それ次第ってことなんじゃないですかね。まぁ、ハイアンになるかヘンゾ、ホドリゴになるか、分からないですけど。会見ではヘンゾが、「グレイシーの枠を用意すると約束したじゃないか」って高田統括本部長に絡んでましたけどね。

吉田　へぇ〜。

—ハイアンは気になります？　一時期、吉田さんに対戦を迫ってましたが。

吉田　いや、べつに……。

—メンバーを見ると、本当に凄い強豪ばかり勢揃いしましたが、気持ちは高まってきました？

吉田　まず、減量しないと。それにまだ組み合わせも決まってないですからね。

—モチベーションも上がらない？

吉田　そうですね。

—吉田さんは基本的に相手によって対策を練るタイプじゃないですよね？

吉田　対策練ったって分かんないですからね、どうなるか。

—ただ、今回の出場選手を見ると打撃系というか、打撃の強い選手が多いじゃないですか。

吉田　そう……ですね。

—それについてはどうですか？

吉田　あまりピンとこないですね。

—吉田さんも、打撃の練習を取り入れてはいるんですよね？

吉田　軽くですけどね。

—打撃に対する恐怖感は？

吉田　それは、みんなあるでしょ。

—打撃の練習はどんな感じでやっているんですか？

吉田　吉田道場で週に2日くらいやっていて、ボクシングの協栄ジムにも週に1回行ってます。

—どうですか、打撃は？

吉田　当たる。

—自分のパンチが相手によく当たるってことですか？

吉田　いや、相手のパンチが。

—相手のパンチが当たるんじゃ困るじゃないですか（笑）。

吉田　うん、困る（笑）。ホント、当たるんですよ、不思議なくらい。どうも的がデカイみたい（笑）。

—今回は本当に凄いメンバーが揃ったと思うんですけど、この中でとくにやりたい選手はいます？

吉田　いるわけないじゃないですか。

—逆にやりたくないのは？

吉田　みんなやりたくないですよ（笑）。仕方ないです。

—お仕事だから？

吉田　まぁ、そんな感じですかね。

—昨年の大晦日以来、試合は遠ざかってたわけですが、早く試合したいなぁという気持ちでした？

吉田　やっぱ会場に行った時とか「やりたいなぁ」という気持ちになりますね。

—この半年、試合をしなかったと言っても、道場での指導、芸能活動と忙しかったと思うんですけど、ちゃんと練習もしていたんですよね？

吉田　はい。でも、年なんで疲れが溜まるようになってきてますよ。やっぱり1年ごと身体が違いますからね。去年とも違いますし。

—柔道の世界選手権（1999年10月）で優勝した明治大の監督時代より練習はしてるんじゃないですか？

吉田　それは今のほうが全然してますよ。

—身体も締まってますもんね。

吉田　でも、波をつけないと、ガーッとやったら休みを入れないとダメですね。今は休みを入れてないんで、疲れが溜まってて。毎日やっているとキツイっすよ。

—昨年の「Dynamite!」といい、吉田さんって夏になると燃えるタイプですか？

吉田　そうッスね。

—夏男？

吉田　うん（笑）。やっぱ夏は身体が動くでしょ。だから今回も、夏だったら減量できるかなと思って。

—なるほど（笑）。そういう理由もあったんですか。

吉田　もちろんですよ。冬だったら受けてないです（笑）。でも、8月勝ったら次は11月でしょ、ヤバイなぁ。

—減量がキツくなりますね。

吉田　そこまで考えてないですけどね。

—考えてないって、勝ち上がってもらわないと困りますよ。

吉田　いや、でもホント、これは勝つの大変ですよ。

—ボク個人としては、誰とやっても吉田選手が勝ち上がるのは間違いないと、確信しているんですが、トーナメント初戦、誰と対戦したら勝ち上がる可能性が高いですかね？

吉田　う〜ん、……？

—逆に言うと、誰が一番手強そう？

吉田　分かんない。みんな強いでしょ。

▶本誌97号のミドル級GP予測記事を見ながら質問をしてくる吉田。聞こうと思っていたことを、逆に聞かれてしまった

DOJO

――たしかに強いのは強いですけど……。

吉田 ランペイジとか強いでしょ。

――シウバよりランペイジのほうが強そうですかね？

吉田 そう思いますけどね。アローナってどうなんですか？ 寝技ですか？ 見たことないんですけど。

――アブダビでも優勝してますし、寝技の技術は高いですよ。とくにポジショニングが巧くてやっかいな選手ですよ。

吉田 チャック・リデルは打撃の選手ですよね？

――そうですね。

吉田 アリスター・オーフレイムはどんな選手ですか？

――やっぱり打撃、とくにヒザ蹴りが凄い選手ですけど、オールラウンドな感じですね。

吉田 ふ～ん。

――ふ～んって、もしかして、吉田さん、他の選手のことあまり知りません？

吉田 知らないです。

――これから研究とかは？

吉田 相手が決まったら少しは。

――でも、基本的には自分の練習をやるだけだと。

吉田 そうですね。

――吉田さんの野望としては、今年ミドル級を獲って、来年はヘビー級を獲ると、新聞などでは書かれてますけど……。

吉田 そうみたいですね。まぁ、好きに書いておいてください。べつにそんなつもりはないんですけどね（笑）。

――プロデビューからちょうど1年が経つわけですが、どうですか振り返って？

吉田 あっと言う間でした。

――3試合やって、プロ格闘家としての自信はつきました？

吉田 それは分かんないですけど、今回のトーナメントが重要だと思っています。どこまで行けるか、自分の力を試すのにいい舞台だと思っています。

――吉田さんとしては、どんな試合をしたいと考えていますか？

吉田 まだ相手も決まってないですから、なんとも言えないですけど。一発二発受けても突進していくような気持ちでいかないと。そこがポイントでしょう。我慢強さと。

――痛みに対しては強いほう？

吉田 昔から（練習の時に）殴られてましたからね（笑）。それに柔道でも「絶対にさがるな！」って言われてましたから。

――その気持ちが染みついていると。

吉田 そうですね。

――この前の記者会見の時に、「ミドル級なのでスピードを重視したい」って言ってましたけど、吉田さんは柔道では、スピードというより、どちらかというとじっくりと作っていくタイプだと思うんですけど、具体的にはどんなふうに闘おうと思っています？

吉田 分かんない（笑）。まぁ、相手に合わせて闘いますよ。

――打撃の選手と闘うことになったら、待っていたらやられちゃいますよね？ ヒザのある選手もいるし。

吉田 ヒザが来たら、捕まえてドラゴンスクリュー（笑）。

――それはぜひ見たいなぁ（笑）。大会まで約1カ月ですが、減量はどのように？

吉田 もうだいぶ落ちていると思うんですけど。とりあえず、2週間くらい前までは計らないで。

――計らない？ 全然？

吉田 体重のことは考えずに、追い込んだ練習をしたいんで。

――で、残りの2週間で減量すると。

吉田 もちろん、その間も一応は食べ物とか気を使いますけどね。それで落ちていればいいし。

――食事はどうしているんですか？

吉田 ケビン（山崎／トータルワークアウト）さんのところの弁当を。

――鳥のササミの？

吉田 そうですそうです。それで、まずちょっと胃を小さくして。もうだいぶ小さくなったとは思いますけど。

あとはお酒を抜くと（笑）。

吉田 もうお酒は抜いてるんで、5キロくらいは落ちていると思うんですよ。ちょっと前までは腹の周りがタポンタポンでしたからね（笑）。

――吉田さんは無理な減量をして、ケガをするっていう柔道時代の印象が強いんで。ケガのないよう、今回はバッチリ調整して、GP優勝を期待してます！

吉田 まずは8月10日のことしか考えてないですけど、まぁ、頑張ります。■

まぁ、相手に合わせて闘いますよ。ヒザが来たら、捕まえてドラゴンスクリュー！

吉田秀彦柔道教室『VIVA JUDO』

大成功！

「K-1 BEAST Ⅱ」が開催された6月29日、吉田秀彦の柔道教室「VIVA JUDO」が東京・世田谷の講道学舎（吉田が中学・高校時代を過ごした柔道の私塾）に100人の子供たちを集めて盛大に行われた。今回は、「柔道をやったことのない子」を対象に「柔道の面白さ、楽しさを知って、少しでも柔道に興味を持つきっかけになれば」という目的で行われたが、柔道教室終了後の、「面白かった」という子供たちの感想に吉田もご満悦の様子。「今後も、できれば2～3カ月に1回くらいのペースでやれたら……」と意欲を見せていた。

『目の前の相手は誰にでも怒りが込み上げてくるんだ!』

吉田? 桜庭? いや、やはりこの男こそ大本命!

ヴァンダレイ・シウバの怒れる"王者の魂"

豪華メンバーがズラリと揃った『プライドGP』だが、やはり現ミドル級王者であるこの男を大本命にあげないわけにはいかないだろう。ヴァンダレイ・シウバである。今回のトーナメントでは、因縁のあるランペイジはもちろん、リデルをはじめとして参加選手全員から的に掛けられていると言っても過言ではない。すっかり王者としての風格が漂うようになったシウバの声をお届けする。

取材協力◎川崎"ブッカーK"浩市　構成◎SRS・DX編集部

——シウバさん、いよいよグランプリまで約1カ月ほどになりましたけど、現在のコンディションはいかがですか?

シウバ 調子はほとんど回復しているよ。まだ、完全ではないけれど早く試合がしたいね。

——みんな気にしているんですけど、ヒザのケガの具合はどうですか?

シウバ アリガトウ(笑)。今の段階では80パーセントまで回復してるけれども試合までには100パーセントにしたいと思っているよ。

——そうですか。ところで、あなたはミドル級のチャンピオンじゃないですか。なぜ、わざわざトーナメントに出場しようとしたんですか? 理由を教えてください。

シウバ 今回のトーナメントは世界でもトップの選手たちが集まるからな。俺もチャレンジだと思って出ることにしたんだ。

——なるほど。では、あなたは[illegible]オンとしてどのような気構えでトーナメントに挑むつもりなんですか?

シウバ もちろん、俺は現在チャンピオン[illegible]いない。基本的には俺はどんな試合でも全力でぶつかっていくだけだよ。

——ブラジルでは、この「プライド」グランプリはどのような評判になっているんですか?

シウバ もちろん、ブラジルでは「プライド」が一番人気があるし、格闘技ファンはみんな気にしている。何しろ俺を含めて、これだけの凄いメンバーが集まっているんだからな。

——なるほど。ところで、トーナメントに参加する選手で、気になる選手はいますか?

シウバ 俺はチャンピオンだからな。俺が気にするよりも、他のメンバーが俺のことを気にしているんじゃないのか?

——おっしゃるとおりです(笑)。[illegible]あ、ちょっと参戦メンバーについて一人ひとりお聞きしますけど、3月16日の「プライド25」で乱闘騒ぎを起こしたランペイジについて、シウバさんはどう思っているんです?

シウバ ランペイジはたしかに[illegible]選手だとは思うよ。しかし、もしも奴と[illegible]たら俺がKOで必ず勝つ! 奴にはまだ、あの時の怒りを覚えているし、できれば奴とはトーナメンの決勝で闘いたいと思っている。

——会見の時に、ランペイジ選手は「桜庭にリベンジしたい」とちょっとスカしていましたが、これについてはどう思ってます?

シウバ [illegible]それはヤツは桜庭に負けているから、本気でそう言っただけじゃないのか。

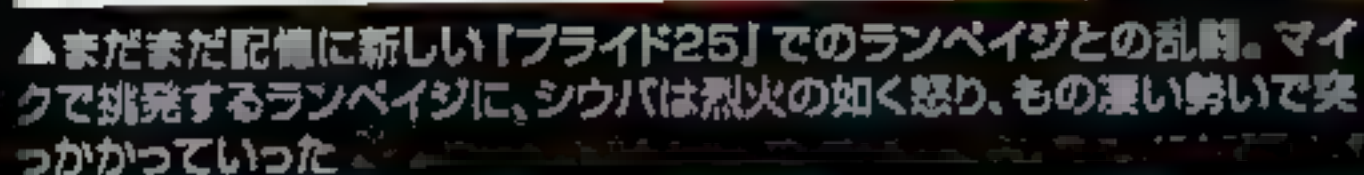
——ああ。ランペイジは前回の「プライド26」の試合後に「[illegible]は逃げた」と発言していたんですけど、これについてどう思いますか?

シウバ そんな下らない[illegible]。俺の[illegible]からは何も言うことはないよ。まあ俺自身には何も言ってこなかったけどな。

——でもこの発言を聞いたら、ランペイジと1回戦でぶつかりたいとは思いませんか?

シウバ [illegible]

言言の

ランペイジは決勝戦でボコボコにしてやるよ！

決勝で当たるとしたら、大勝でボコボコにしてやるよ！

——これはとんでもないことになりそうですね（笑）。あと、あなたが対戦したいと表明したUFCのチャック・リデル選手に関してはどうですか？

シウバ リデルも俺と同じで、立ち技主体として闘っている選手なので、もし俺と闘えば面白い試合になるんじゃないか。ただし、KOで勝つのはもちろん俺だけどな。

——では、あなたが以前闘った桜庭選手も出場しますけど、現在の桜庭選手の印象をどのように思っていますか？

シウバ 桜庭は今でもとても素晴らしい選手だと思うよ。俺は彼をファイターとしてはとてもリスペクトしているんだ。桜庭はホントにアグレッシブでテクニカルなファイターだよ。

——ところで、今回のトーナメントの目玉の一つなんですが、吉田秀彦選手が参戦するんですが、日本のファンはあなたと吉田選手の対戦を見たいという要望が非常に強いんですよ。吉田選手の印象を聞かせてもらえませんか？

シウバ う〜ん、吉田か？ 吉田もいいファイターだと思うよ。しかし、もし試合になれば、もちろん俺がKOで勝つ自信はあるけどな。

——あなたは、以前吉田選手と闘いたいと発言したことがありますが、今でも闘いたいと思っていますか？

シウバ もしも、プロモーターがこのマッチメイクをすれば、いつでも闘う用意はあるよ。ファンのみんなが見たいというなら、いつでも闘うよ。

——あなたは、吉田選手の柔道金メダリストという肩書きについてはどう思われますか？

シウバ もちろん、オリンピックの金メダルは凄いと思うよ。[illegible]これはバーリ・トゥードの闘いだ。吉田が金メダルでも、俺は「プライド」のチャンピオンだ。[illegible]チャンピオンなんだ。

——わ、分かりました……。吉田選手はもし当たったら、腕を折るつもりで闘うと強烈な発言をしていましたが、これについてはどう思われますか？

シウバ ハハハ、それは面白いじゃないか。[illegible]俺も腕を[illegible]自信があるよ。

——おおー。もし対戦した場合、あなたはどんなファイトスタイルで闘うつもりなんですか？

シウバ もちろん、いつもどおり闘うよ。KOだよ。高いチケット代を払ったり、PPVで見てくれているお客さんのためにも、絶対に退屈な試合は見せるべきではないと思っている。俺は相手が吉田であろうが誰であろうが、いつもどおりアグレッシブに闘うだけだよ。

——この対戦は期待大ですね（笑）。あと、あなたの「シュートボクセ」と因縁のあるトップチームのアローナについてはどう思われますか？

シウバ 俺は、べつに因縁があるとは思っていないよ。

——えっ？ そうなんですか？

シウバ そうだよ。ただまあ、アローナもいい選手だとは認めるけど、誰が相手でも俺のスタイルは変わらない。これもさっき言ったとおり、ひたすら殴って蹴ってKOするだけさ。

——なるほどね。ところで、あと1人枠が決まっていませんが、候補にあがっているのはグレイシー一族とあなたと闘った経験のある田村選手です。あなたはどちらに出てきてほしいですか？

シウバ まあ、どちらが来ても俺には変わりはないな。ミスター田村は一度倒したことはあるけどいい選手だと思うし、それと俺は一度もグレイシー一族と闘ったことがないので、そっちにも興味はあるよ。もちろん、どちらとやってもKOする自信はあるけどな。

——とにかく、あなたは対戦相手をKOしなきゃ済まないんですね（笑）。では、ズバリ聞きますけど、優勝する自信はありますか？

シウバ もちろんだ！ 全てKOで勝つ！ 今の俺はそれしか考えていない。とにかくKOすることのみ！

——じゃあ、最後にお聞きしますけど、あなたは会見の時に「リングに上がると怒りが込み上げてくる」とおっしゃっていましたよね。トーナメントの参加メンバーを見渡して、一番怒りが込み上げてくる選手は誰ですか？

シウバ それは、俺の目の前に立つ相手であれば、誰であっても怒りが込み上げてくるものだよ。一度リングに上がると、対戦相手が誰であろうと、俺は怒りが込み上げてくる。これはもう仕方がないことなんだ。

——仕方がない！ では、トーナメント当日は大いに怒ってもらって、KO勝利を期待しています。■

▲まだまだ記憶に新しい「プライド25」でのランペイジとの乱闘。マイクで挑発するランペイジに、シウバは烈火の如く怒り、もの凄い勢いで突っかかっていった

▶6月25日の会見では冗談を言ったり、アリスターのハンマーを持ったり、終始ご機嫌だったランペイジ。終始仏頂面だったシウバとはえらい違いだ

最終情報 "一撃"旋風再び！
7・13 K-1ワールドGP 福岡大会

"一撃神話"復活！

フィリォが再び旋風を巻き起こす！

構成◎林　毅
通訳◎米山祐子
撮影◎中島ミノル

一昨年12月のK−1ワールドGP決勝大会で、ヒザに重傷を負いながらも準優勝を果たしたフランシスコ・フィリォが、1年半の時を経てK−1のリングに戻ってくる。昨年はブラジルチームの監督、「一撃」プロデューサーの仕事に追われ、格闘家としての引退も囁かれていたフィリォだが、"魂"はまだ失われていなかった。ケガを治し万全の状態で帰ってきたフィリォが、かつてKO負けを喫しているマイク・ベルナルドへのリベンジ、そして"一撃"復活に静かに燃えている！

ファイターとして、絶対にあきらめない気持ちを持っていたい

—フィリオさん、一昨年のグランプリ決勝以来、1年半ぶりの試合が決まりましたが、調子はどうですか?

フィリオ　毎日どんどん良くなっています。体重も1年半前から増えて120キロまでいっていたんですが、108キロに減りました。

—休んでいる間に、ヒザの手術をしたということですが、現在の状態はいかがですか?

フィリオ　とてもいいです。

—手術前、ヒザはどんな状態だったんですか?

フィリオ　感覚がない状態でした。曲げることもできないし、当然、トレーニングもできませんでした。手術はヒザの周りに3カ所穴を開けて、管を入れて、内視鏡を入れて……、ビデオで撮ってあるんだけど、見ますか(笑)?

—それは遠慮しておきます(笑)。ヒザが曲がらなくなったのは、前回の試合(2001年のグランプリ決勝)より前のことですか?

フィリオ　前です。福岡大会(2001年10月)のロイド・ヴァン・ダム戦の前からですね。試合が決まって、嬉しくて興奮して走っていたら、ヒザに違和感を感じて。

—原因は?

フィリオ　1995年にやった百人組み手で大きなダメージを受けました。あれからヒザに水が溜まるようになって。それを3回抜いたんですが、100パーセントではなかったんです。でも、忘れてトレーニングしているうちに、またその場所に攻撃を受けたりして、ダメージが蓄積したんですね。

—手術した時、引退を考えたりはしませんでした?

フィリオ　その時は、引退は考えませんでした。ドクターから「簡単な手術だから、6ヵ月でトレーニングできるようになるよ」と言われましたので。

—今までに2度、引退を考えたそうですが、それはケガをしたからではなかったのですか?

フィリオ　はい。引退を考えたのは、最初は2000年のグランプリの時で、もう1回は2001年のグランプリの後です。それはケガが理由ではなくて、このあたりが引き際だろうなと。もう十分やったと、そういう気持ちからです。

—グランプリの準優勝で一応、納得の結果が出せたと。

フィリオ　ファイターにとって、引退するということは、とても大変なことです。セコンドについたりトレーナーをしたりしていると、どうしてもまたやりたくなってしまうので、100パーセントやめるのなら、闘いの場から完全に離れてしまわないとダメだと思います。

—今回、復帰を決めた理由は?

フィリオ　理由の一つは、強いファイターがいるからです。ベルナルド選手、バンナ選手、ミルコ選手、ボブ・サップ選手。そういった選手たちにチャレンジしたいというより、そういった強い選手の中に身を置きたいという気持ちからです。

—ベルナルド選手、バンナ選手には負けていますが、そういった選手にリベンジしたいという気持ちも?

フィリオ　もちろん、あります。ファイターとして絶対にあきらめない気持ちを持っていたいと思っています。

—復帰の時期を7月にしようと考えたのはいつ頃ですか?

フィリオ　今年の3月か4月頃ですね。

—K—1からオファーが来る前?

フィリオ　前です。

—それはヒザの具合が良くなってきたからですか?

フィリオ　そうです。その時は、体重も120キロあって、とても重くて凄いパンチが打てました(笑)。でも、身体をシエイプしたら速く動けるようにはなりましたが、パンチが軽くなってしまいました(笑)。

—なるほど(笑)。現在、身体は完璧な状態ですか?

フィリオ　いい状態になってきています。練習を再開した当初は、13歳の甥っ子が挙げている50キロのベンチプレスを挙げるのもきつくて、オレの身体はどうなってしまったんだと焦りました。

—それはいつ頃ですか?

フィリオ　昨年の3月頃です。

—裸の自分を鏡で見ました?

フィリオ　ボクにとっては「ファイン」だったんですが、中味は違ってたみたいで(笑)。ビールを飲んで、バーベキューを食べてばかりいたんで、力が全然落ちちゃってましたね。

—ランニングとかは?

フィリオ　手術後しばらくはできなかったんですが、去年の終わりくらいから再開しました。

—スピードが遅くなったとかは?

フィリオ　スピード? ベリースロー、ベリースロー。5月までは体重も115キロあったんで、とにかく遅かったです。速く走る練習を始めたのは3週間前に日本に来てから。ブラジルにいる間は、一応、ブラジルチームのみんなと一緒に走っていたのですが、みんな凄く速く走るから、腰は痛いしヒザは痛いし、とにかく大変でした。でも、今はダイジョウブ。みんなと一緒に走りたいです。

—練習には付いていけたんですか?

フィリオ　ノーノーノー。できなかったです。頑張ろうとは思ったんですが、みんなのほうが全然速くて。

—今は、いい時と比べてどのくらいのコンディションまで戻りました?

フィリオ　80パーセント。

—今日の練習を見ていたら、凄くパンチも重くなっていると感じましたが。

フィリオ　オオ、リアリィ、サンキュー。でも今は、パワーよりスピードを重視して練習をしてます。どれだけ重くて強いパンチを持っていてもスピードがなかったら相手に当てられませんからね。

—いろいろな攻撃パターンを繰り返し練習されていましたが。

フィリオ　身体に覚えさせるために、いろいろなパターンの練習をしています。試合が始まったらキックだけじゃダメですし、ディフェンスもしなくてはいけない、試合中は頭で考えることはできませんから。新しいテクニックではなく、満遍なくいろいろなことをやって、身体が自然に動くようになるよう繰り返し練習しています。とにかく、朝起きて夜寝るまで、ご飯を食べている時でも、考える余地がないくらい考えています。

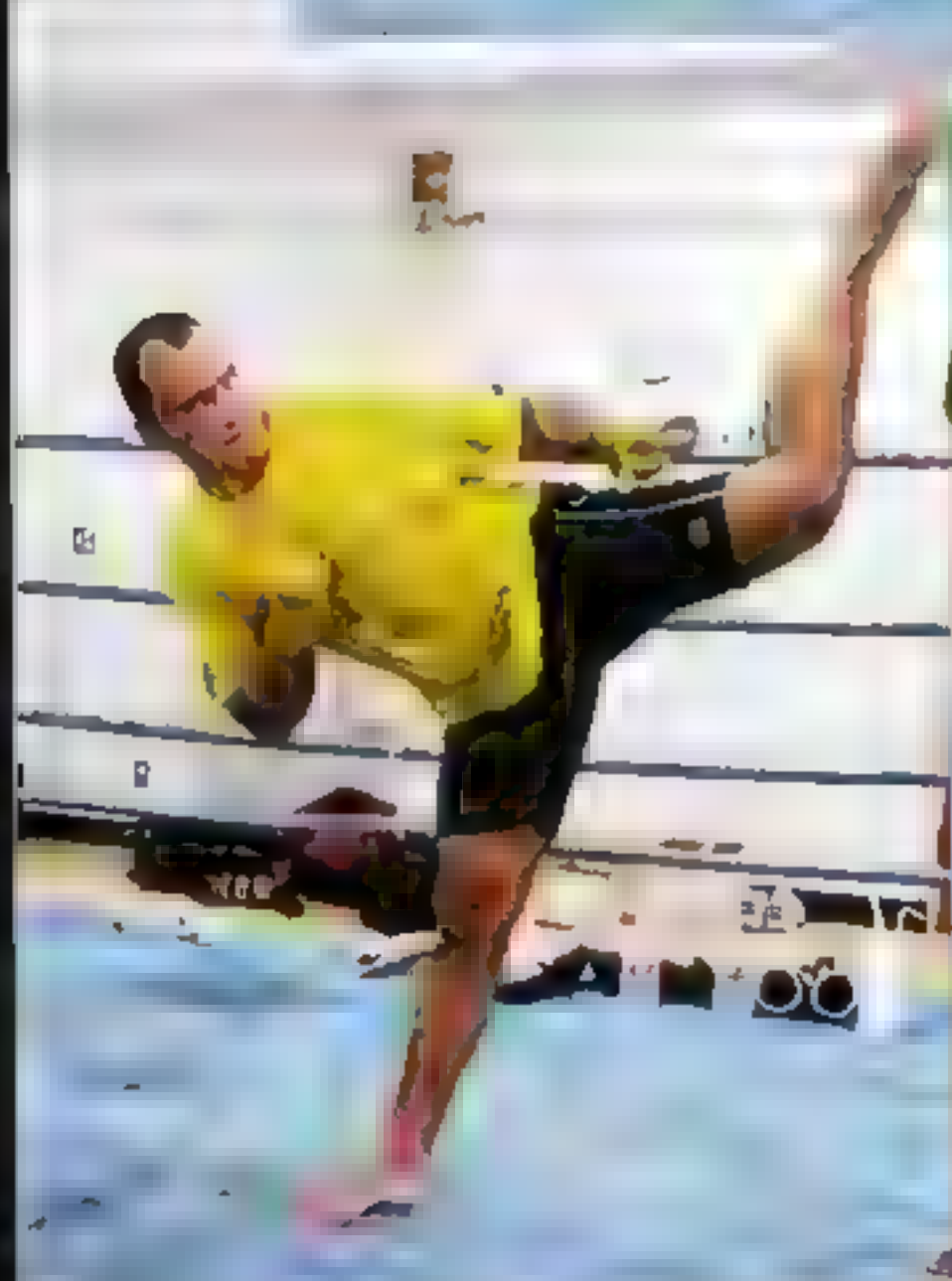
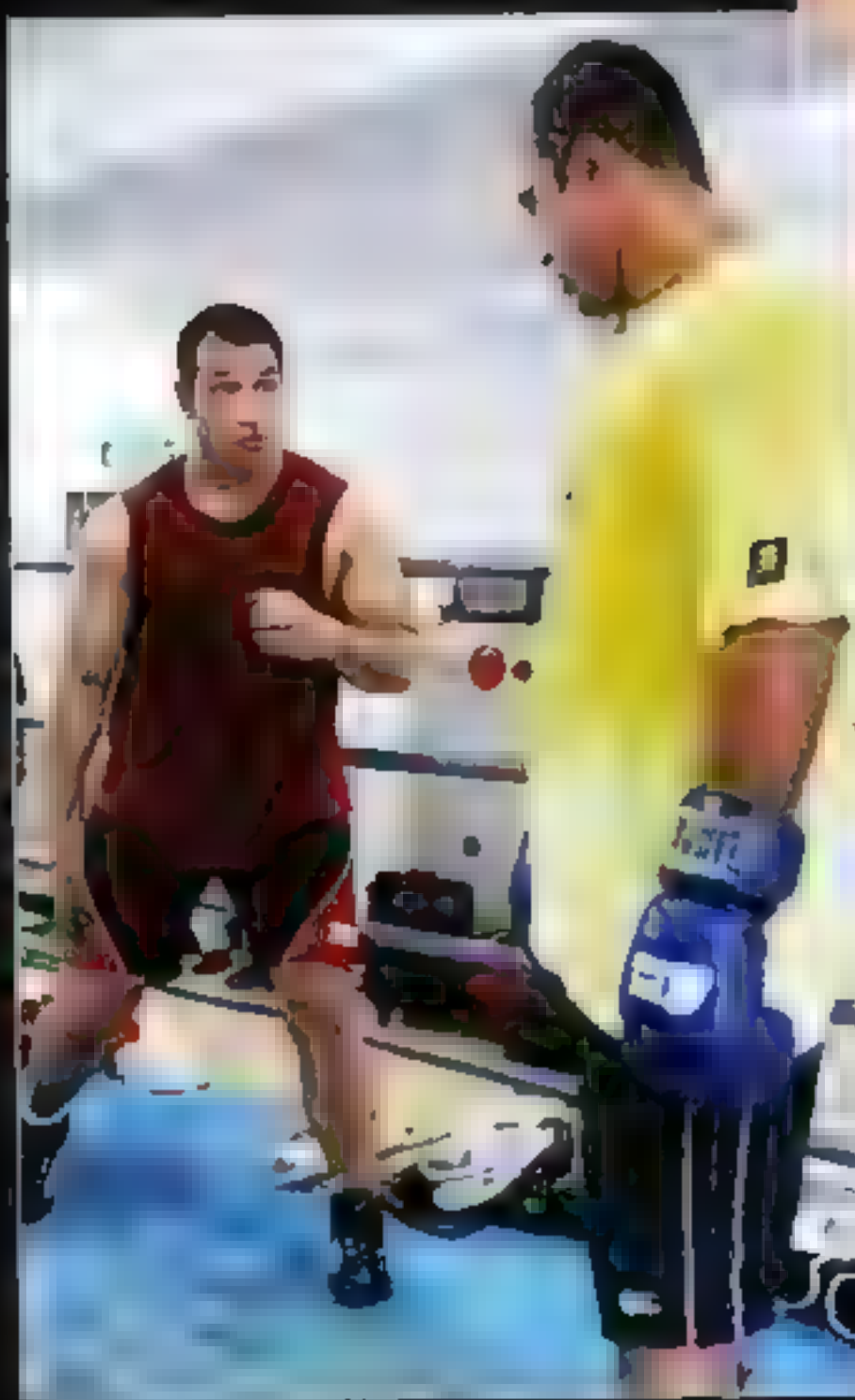
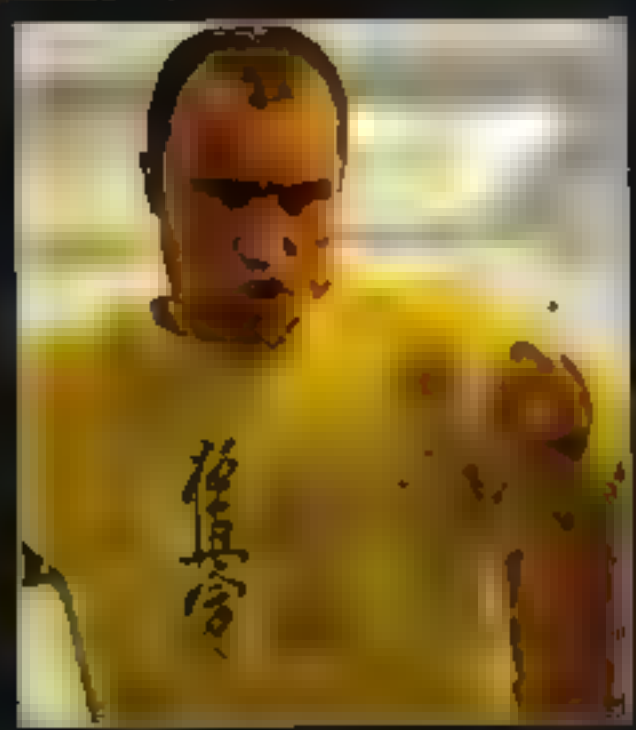
—日本での練習はいつから?

フィリオ　3週間前です。試合をやる場所で調整するのが一番いいですから。

—フィリオさんは極真の世界王者になって、K—1でも準優勝したわけですが、やり残したことは何かありますか?

フィリオ　う〜ん、それは難しい質問です。1年半前は、確かに満足している部分もありました。でも、時間が経つにつれて、「自分はなんのために生きているんだろう」と。突然、目標を失った感じになって、悲しくなったり、いま何をした

▶ファイ・ファラモエトレーナーのミットにパンチを打ち込むフィリオ。パンチのスピード、重さともに以前より増しているようだ

▲極真のアメリカズカップ後、来日したグラウベも、ベルナルド戦までは兄貴分のフィリオと行動を共にする

▲さすがにブラジリアンキックの威力は凄い!! ベルナルド戦でも炸裂するか!?

◀池袋のボディプラントで一緒に練習をするレイ・セフォーが、フィリオにアドバイスを送る

らいいんだろうというような気持ちになりました。たしかにK－1チャンピオンになりたいという気持ちはありますが、それがメインの目標ではありません。K－1に出場することで、初めてプロの世界を知り、分かったことなのですが、私にとって、極真は単なる競技ではなく〝道〟なんです。選手生活を終えた時点でK－1の競技者ではなくなりますが、空手家であることに終わりはありません。引退したとしても常に自分が空手家だということを頭において生活することになるでしょうし、またそうすることで自分を律していくことができるとも言えます。極真は生涯、私とともにあります。ですから、K－1のチャンピオンになるということと、極真の王者になるということを同列には考えられないのです。

時間が経つにつれて、『自分はなんのために生きているんだろう』と

――それでは今のポジションにおける目標はなんですか？　K－1チャンピオンになるというのは目標になりませんか？

フィリオ　たしかにどの競技をするにしても、例えば野球の選手の通算安打やホームランの数にあたるような、目標設定は必要だとは思います。何勝以上するとか、何試合するとか、もちろんチャンピオンになるというのもその一つと考えられるでしょうが、あくまで私が目指しているのは〝ワンステップアップ〟。より強くなる！〟ということです。それに今はベルナルド戦を控えていますから、その試合で、自分が何を学んだかを出すことを考えています。あまり先を見るのではなく、一歩一歩着実に進んでいきたいと思っています。

――98年にベルナルド選手と闘って学んだことは？

フィリオ　「負けること」を学びました。とても素晴らしい経験でした。誰も負けたいとは思いません。でも、負けたことで学べることもたくさんあります。どんなに強い人でも、どんなに勝ち続けていても負けることはありますから。私にとっては、95年の極真世界大会で負けた（準決勝で数見薫に試割り判定で敗退）のが人生最大の敗北でした。優勝を目指してハードなトレーニングをしてきて負けた時は、この世が終わったような、そんな絶望的な気持ちになりました。でも、あの敗北により、もっと強いスピリッツを得ることができたと思います。

――復帰戦の相手に、ベルナルド選手を選んだのはフィリオさんのほうですか？

フィリオ　いえ、K－1からのオファーで、私はそれを受けただけです。タフな試合になるとは思いますが、K－1が簡単な試合を用意してくれることはありませんから（笑）。最初の試合も、当時チャンピオンだったアンディ・フグ選手でしたし。でも、そういう試合を重ねてきたことで、自分自身もタフな選手になってきたと思います。

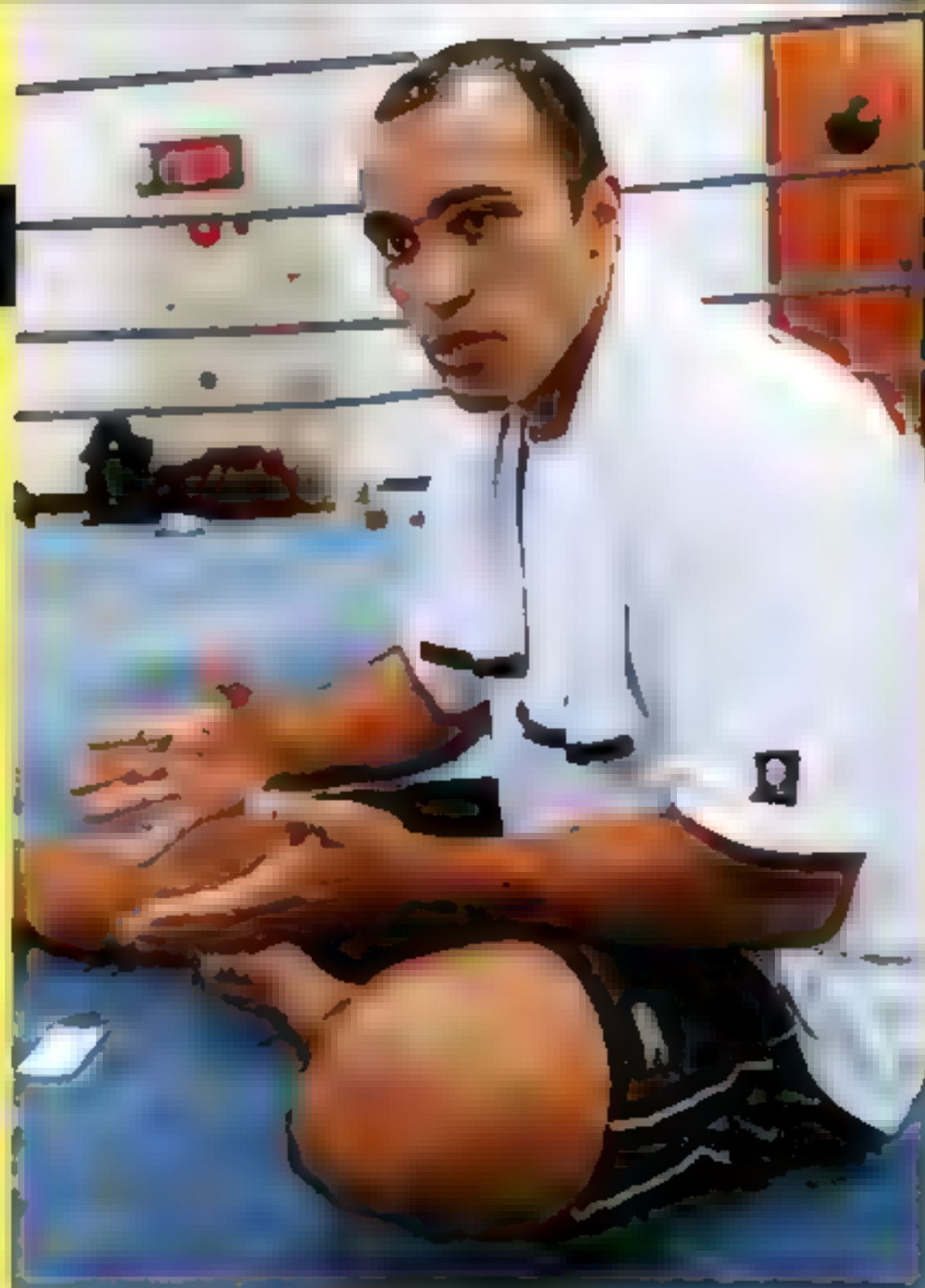
――K－1からオファーが来た時はどんなふうに感じました？

フィリオ　あぁ、まだ私のことを覚えていてくれたのかと（笑）。

――昨年はミルコ選手やサップ選手が活

最終情報
7·13 K-1ワールドGP 福岡大会

"一撃"旋風再び！

▶1年半休んだことで、ケガも癒え、万全のコンディションになりつつあるフィリオ。ベルナルド戦いかんでは、一気に今年のワールドGPの優勝候補に浮上か？

躍しましたが、彼らの試合を見て、やはり自分もやりたいなという気持ちは強くなりました？

フィリオ　イエ〜ス！　彼らの試合を見ると凄くモチベーションが高まります。

—自分だったらこうするのに、という感じで見ていたんですか？

フィリオ　イエ〜ス！　ベルナルド選手やバンナ選手の試合の時もそうです。ベルナルドVSバンナ戦の時（一昨年3月）は、私はグラウベのセコンドについていて、ベルナルド選手と控室が一緒だったんですけど、試合が終わった後、二人で興奮してしゃべっていて（ベルナルドが）「凄いエキサイトしているよ、あの時（フィリオ戦）と同じみたいだ」って。「ボ、ボクもまだ覚えているよ」って（笑）。

　そういう試合を見た後はやっぱり興奮するんですか？

フィリオ　ウウ〜ッ、オレもやりたい！って思いますよ。

—そのまま走りに行ったりとかは？

フィリオ　それはないです。走ったりトレーニングじゃなくて、とにかく闘いたい！って思います。

—フィリオさんがいなかった1年半の間に、K—1も変わってきましたが、それについては？

フィリオ　いろいろな考え方があるとは思いますが、個人的にはあまり馴染めない変化もあります。不要なパフォーマンスは好きにはなれません。本当の格闘技スピリッツを持って、それぞれがやるべきことをやれば、そこに感動が生まれてくるはずです。エンターテインメント性はそういう部分に求めるべきだと思っています。

—そういうパフォーマンスの面での変化もあるんですけど、サップが出てきたりとか、ミルコが総合に挑戦してさらに強くなってK—1の舞台に帰ってきたりという点については？

フィリオ　両者がルールを分かっていてやるのだったらいいと思います。片方がスタンドの選手で片方がグラウンドの選手では噛み合わないし、それは好きではありません。ボブ・サップはファイターじゃなく、フットボールプレイヤーでしたが、リングの上では、やることはちゃんとやるし、ファイターとしてコンビネーションも出すし、いいパンチも出す。何も言わずにリングの上だけで、やることをやればいいと思います。ミルコ選手はどんどん強くなっていて、危険なファイターです。100キロ以上あるのに80キロくらいの選手のように動けるし、とても冷静なファイターだと思います。

　ミルコ選手やサップ選手とは将来的にやってみたいですか？

フィリオ　もちろん、そういう気持ちはあります。

—今年のグランプリには出場したいと思っていますか？

フィリオ　イエス！　でも、今はベルナルド戦に集中しているし、そのための練習をしています。その後のことは終わってから考えます。

—分かりました。ところで、初めてK—1のリングに上がり、一撃でKOした時のことを覚えていますか？

フィリオ　もちろん覚えています。あの時はほとんど準備をしないままK—1のリングに上がったんですが、「ボクのパンチはこんなに強かったのか」と自分でも驚きました。

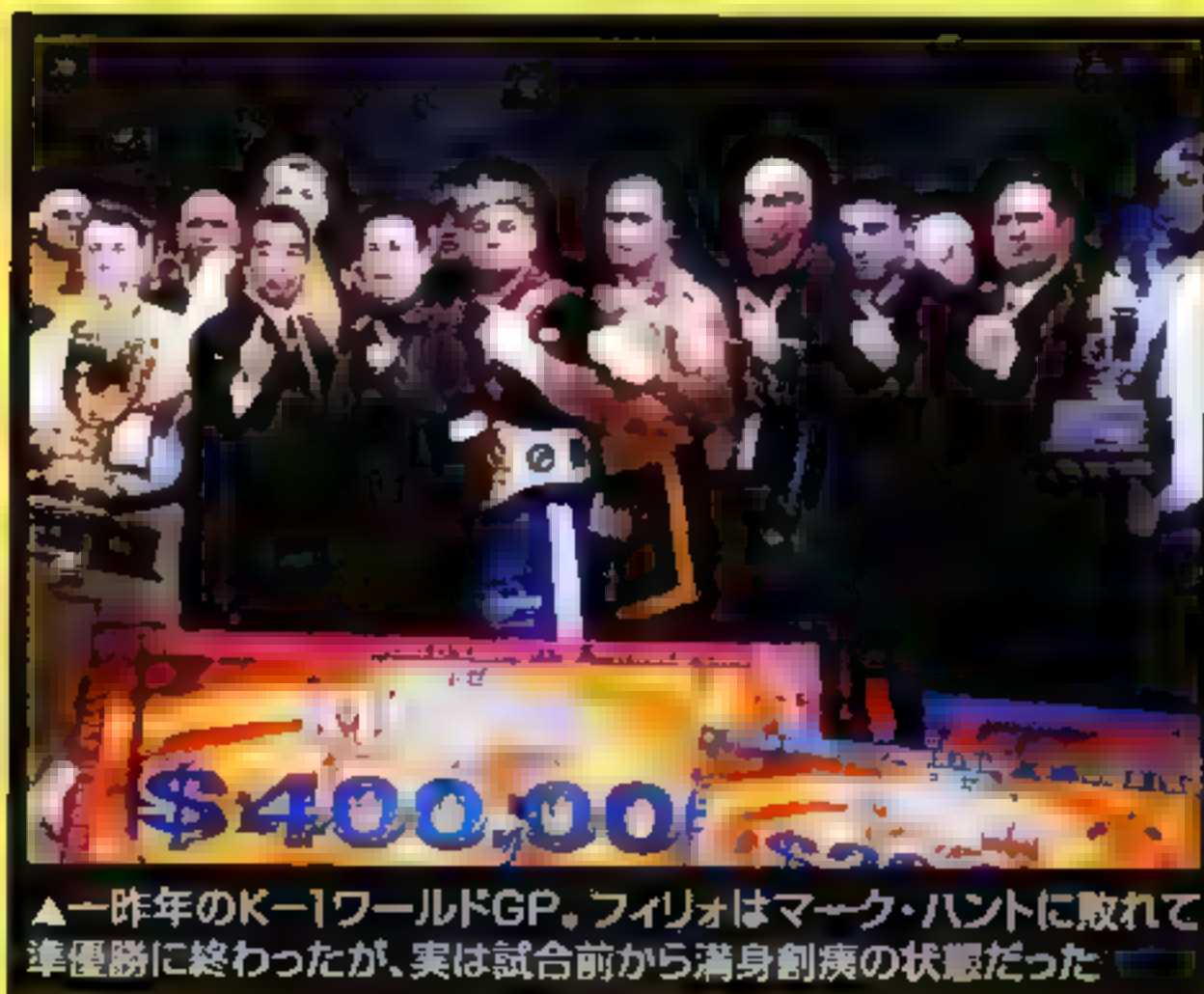
—ボクらファンとしては、フィリオさんにはやっぱり"一撃"を見せてほしいのですが。

フィリオ　そうなることを祈っていてください。■

不要なパフォーマンスは好きになれません。やるべきことをやれば感動が生まれるはず

7·13K-1 WORLD GP 2003 in 福岡

フランシスコ・フィリォ〈ブラジル/極真会館〉	VS	マイク・ベルナルド〈南アフリカ/ルオナルド・ジム〉
アレクセイ・イグナショフ〈ベラルーシ/チヌックジム〉	VS	ヤン"ザ・ジャイアント"ノルキヤ〈南アフリカ/スティーブズ・ジム〉
レイ・セフォー〈ニュージーランド/ファイトアカデミー〉	VS	富平辰文〈日本/SQUARE〉
レミー・ボンヤスキー〈オランダ/メジロジム〉	VS	ゴルダン・ユキッチ〈クロアチア〉 (NO DATA)
ペレ・リード〈イギリス/セントトーマスジム〉	VS	アジス・カトゥー〈ベルギー/センタージム〉

※この他に2試合（全7試合）予定

▲一昨年のK—1ワールドGP。フィリオはマーク・ハントに敗れて準優勝に終わったが、実は試合前から満身創痍の状態だった

前代未聞のアマゾン興行
JUNGLE FIGHTとは何か?

“過激な仕掛人”新間寿

「新日本プロレスよ、今こそ“燃えよ闘魂!”と言いたい」

聞き手◎ターザン山本　撮影◎乾晋也

昨年11月、電撃的にアントニオ猪木と和解をした元新日本プロレスの営業本部長・新間寿氏。この復活した猪木&新間コンビが満を持して放つのが、今話題のアマゾン川で行うという『ジャングル・ファイト』なのだ。いったい、この前代未聞のアマゾン興行とはなんなのか？　その謎を解くべく、“過激な仕掛人”新間寿を我らがターザン山本が直撃インタビューしたのだが……。

―新間さん、「ジャングル・ファイト」の前にさ、新日本の株主総会はどうなったんですか？

新間 「大山鳴動して鼠一匹出ず」だよ。あれを改革と呼ぶなら、世の中全て改革だよ。何が改革だって！ あの改革を推進した人間の頭を疑うね。誰がやらせたか知らないけど。アントニオ猪木が本当に改革と言ったなら、あんな改革じゃありませんよ。

―新間さんなら、どうするんですか？

新間 私なら全員役員を辞めさせますよ。

―えええ!?

新間 全員役員を辞めさせて、俺なら上井、山中（秀明）、倍賞（鉄夫）それから蝶野とこの4人と、それから川村さん。川村さんは今まで自分の仕事が忙しくて、全然新日本プロレスに対しての仕事に加わらなかったの。

―そりゃそうでしょう、田辺エージェンシーもあるし。

新間 UFOもあるし。いろんなモノを抱えすぎてるよ。だから、川村さんを最高顧問にしてさ、藤波には責任を取らせる。で、坂口征二には最高顧問に下がってもらって、いろんなアドバイスをしてもらうと。坂口さんはもう、体力的に無理ですよ。体力的に無理な人をそういう仕事に就けるよりも、坂口さんはアントニオ猪木後の象徴なんだから。で、銀行関係もキチッとやってきた。あの人の信用というのは絶大なものがあるわけだから、その信用を周りが光らせてあげなければいけない。

―そりゃそうですね。

新間 結局、今回新日本プロレスは膿を全部出すと思っていたの。膿を出さないまんまさ。じゃあ、大量離脱の責任は誰が取るの？ この観客の減少している責任を誰が取るの？

―減少ですよ、今。

新間 K-1にわざわざ馬鹿みたいによそのリングに殴り込んで行って、負けた責任は誰が取るの？ 昔は新日本のリングに上がることこそ格闘技界のステータスだったんですよ。それを今は馬鹿みたいに猫も杓子も「K-1、K-1」って言って、K-1に乗り込んで行くこと自体が馬鹿よ！

―藤波社長と蝶野さんも、永田選手もいたよ。

新間 全員首を並べてリングサイドに座ってて、恥ずかしくないのかおまえたちは！ 恥を知れっての！

―ワッハハハハ。凄いこと言うねぇ！

新間 それだけ揃えて行くのなら、なぜ中西に対して、付け焼き刃の練習をさせて、本番前の練習の時に足を捻ったとか、捻挫したとか、それで出ろとはどういう意味なの？ 新日本プロレスはバラッバラだよ、今！

―ああそう！

新間 昔はこれをやるとなったら、一つになったよ。

―一致団結したよ！

新間 異体同心。異なった体の同じ心。一つの心になって、新日本プロレスを築き上げたのよ。今は同体異心よ。

―同じ体なのに異なる心？

新間 異なった心よ。同じ体型でもって、「俺たちはレスラーでございます。私は社長で」ございます。私は役員で「ございます」、てんでバラバラじゃないの。こんなことをやっててね、新日本プロレスの未来はないよ！

―新間さん、あのテレビを見て、腹が立ちました？

新間 腹なんか立つより、情けなくなったよ。もう、全員雁首を並べて、何をしに行っているんだ、こいつらって。恥をかきに行ってんだろうって！ おまえたち全員リングに上がって、土下座しろっていうようなもんよ！

新日本の株主総会？「大山鳴動して鼠一匹出ず」だよ

―また、K-1ジャパン自体が失敗の興行だから、恥の上塗りですよ。

新間 上塗りどころか、恥というのは、「耳」に「心」と書くんだよ。その心も彼らにはなくなっちゃっているんだよ。「耳」に「心」をなくした人間がどうするか？ アントニオ猪木はスポーツ平和党の時に言いましたよ、「今の世の中、一番必要なのは耳に心です。それは恥です。恥を知る人間になりましょう」って言いましたよ。俺はその時、猪木に惚れたね。

―しかし、あれは本当に間抜けだね。

新間 間抜けはタイガー・ジェット・シンと新間の違いよ。タイガー・ジェット・シンはシンだろう？ 新間は間があるんだよ。

―ああ、いいこと言いますねぇ。

6.29K-1ジャパンのリングサイドには、中西の闘いを見守るべく、新日本プロレスの藤波社長、蝶野、永田など、首脳陣・トップレスラーたちが並んでいた

前代未聞のアマゾン興行 JUNGLE FIGHT とは何か？

◀6月25日、アメリカから帰国した猪木は『ジャングル・ファイト』と[illegible]、ラスベガスでの興行も発表。また、永久電気も遂に完成したとか

新間 そうよ！ だから、新間を抜かした間抜けの集団なんですよ。

――新間さん、今日は頭が冴えてますね。

新間 今日もだよ！

――ワッハハハハハ。

新間 俺は山ちゃんと話していると元気が出て来るんだよ。要するに我々はリングの中に強さを求めていたじゃない。その中にロマンを求めていたじゃない。

――リスペクトしていましたよぉ！

新間 アントニオ猪木というのはそれを成し遂げて、その手助けを新間寿がしてきたじゃない。昨日、東京スポーツにいい記事があったよ（6月30日発売）。それは「アントニオ猪木の異種格闘技戦を全て新日本のリングでやった」と。グレイシーは主催者側のリングではやらないということで、条件を付けた。だから、彼らは頭がいいんですよ。

――頭がいいね。

新間 今の連中は馬鹿だから、わけが分からないまま、よそに行ってやればステータスが上がると思っている。新日本プロレスこそ、ステータスのシンボルなんだって！ そこへいろんな人を呼んで、闘いをしなきゃいけないだろうっていうの。リングの中の闘いと同時に、リングの外の闘いがあって、ルスカにしたって、モハメド・アリにしたって、チャック・ウェップナーにしたって、モンスターマンにしたって、それからウィリー・ウイリアムスにしたって、私はアントニオ猪木が闘うリングに呼んできたわけよ。

――凄いことですよぉ。

新間 だから、場外の闘いも熾烈な闘いだったわけよ。それに勝てるヤツがいないじゃない、今。

――そこにもっていくためにね。

新間 情けないよ。今回のK－1は酷すぎる！ そのチャレンジしにいく気持ちを持ち続けなければいけないと言うけれども、チャレンジされる気持ちを持ち続けなければいけないっていうの！

――チャレンジされる気持ちね（笑）。

新間 それはアントニオ猪木なんですよ。いつでもどこでも。双葉山がそうじゃない。勝ってニュースにならない、負けてニュースになるスターになれっての！

チャレンジされる気持ちを持ち続けなければいけないっていうの！

――そりゃそうですよね。安芸の海に負けて途切れた69連勝の双葉山ですよねぇ。

新間 だから、今の新日本プロレスは異体同心にならずに、同体異心でもって、異なった心でバラバラに動いているから、こういうことになるの。

――そうしたら、まったく将来のビジョンなんてないじゃない。

新間 ないよ。それで未来だけ見ろって言うのよ。今、新日本プロレスに1年ぐらい指導に行った経営コンサルタントが「未来を見ろ！」って言うの。何が未来だっていうの。過去にこそ、全てが埋まっているだろうっていうの！ 過去に全てが埋まっているからこそ、未来が見えるんじゃないのって。

――人類の歴史は全部そうですよ。

新間 だから、日本の国の歴史を知らずして、未来を語る事なかれでしょう？ 過去なんか見るな？ バ～カが！ そんな教育を受けたからこそ、新日本プロレスはガタガタになったんですよ。それこそ、そんな教えを全部忘れてしまえっていうの。未来を見るために、まず過去の歴史を勉強しなさい。チャンピオンベルトはどういう形で生まれたのか？ この間、武道館で「ジャングル・ファイト」の件で記者会見をやって、「あなたたち、ベルトの設立の主旨をもっと書いて、選手たちに読ませてくれ」って言ったら、マスコミからこういう話があったね。「我々は書いてますよ。選手や関係者が読まないんですよ」って。そんなことでどうするんだっていうの。歴史も知らずしてさ。ただベルトがあるからそれを持ち出して、自分たちの理由付けのためにタイトルマッチをやっているなんて、とんでもない話ですよ。そう思いませんか？

――いや、思いますよ。

新間 だから、「ジャングル・ファイト」をやる時も、アントニオ猪木から私に電話が掛かってきましたよ。山ちゃんとやるトークショーで、新宿のロフト・プラスワンに入る30分前にアントニオ猪木から電話があったんですよ。「新間、「ジャングル・ファイト」ってどう思う？」って。「どこでやるんですか、社長？」って聞き返したら、「アマゾンでやる」って言うんだよ。（パンとヒザを叩き）手を叩いたね、私は！

――新間さんが？

新間 おお。携帯電話だから、手がふさがっちゃっていたから、ヒザを叩いたよ。俺は今でもアントニオ猪木のことを社長と呼んでいるんだけど、「社長、それですよ！」って。アマゾン、もうそれ以外ないでしょう！ というのは、2つ理由があるの。

――なんなんですか？

新間 1つは、これをやったら新日本プロレスは1つにできると思ったわけ。よ～し、こんな困難なイベントを……。

――困難ですよぉ！ ムチャですよぉ！

新間 新日本プロレス、猪木事務所、新日本プロモーション、UFO、全て関連会社が1つになって、この「ジャングル・ファイト」を成し遂げようじゃないか！ それが1つ頭に浮かんだのと同時に、もう一つ頭に浮かんだのは、「社長、アントン・ハイセルの事業をやる時に、福田赳夫先生のところに行ったでしょう？ その時、ブラジルの件で社長に福田先生はなんと言いました？」と。福田先生は、「猪木君、ブラジルは辞めろ。今年100万円投資したら、その投資の

▼これが『[illegible]』こ[illegible]アマゾンのジャングルだ

100万円を回収するには、来年1000万円稼がなきゃ日本の貨幣価値になって戻ってこないよ」って言われたわけ。そうしたらアントニオ猪木が「先生、私にいい考えがあります。ブラジルのアマゾンでは、全世界の8分の1強の酸素を供給しています」と、まあこれは今環境庁に調べさせているんだけど、で、「その酸素は全世界のために必要なんです。これをブラジル政府は、アマゾンの開発だと言って、切り始めたらどうなりますか？　酸素がなくなってしまうでしょう、地球から。地球に必要なのは、水と空気なんです。その空気をブラジル政府は世界中に対して、アマゾンの開発をやめるから、空気税として世界各国に売りますよ」と言ったんです。

――それはいいアイデアだねぇ。

新間　福田先生が感心したよ。「猪木君、それは凄いよ。アマゾンのジャングルは絶対に手を付けちゃいかん」と。だから、それをアントニオ猪木に私は言ったわけ、「社長、覚えてますか？」って。「そうだよ、新間。たしかに言ったよな」って。だから、過去を思い出しなさいっていうの。だから、「あなたは『ジャングル・ファイト』をやることによって、要するに母なる大地、『闘魂命の森』、『闘魂命の母』、どういう呼び方でもいいけれども、このアマゾンを残すために協力しましょう。一口いくらでもいいから寄付を得て、アマゾンの州政府の協力を得て、我々がジャングルを買い取って行こう」という話を進めているわけですよ。そのための資金集めとして、ジャングルのマナウスの30キロ上流に、木の上に桟橋を掛けて通路にしたようなホテルがあるんですよ、1軒だけ。200人収容のホテルなんですよ。そのホテルを拠点にして、アマゾン川の上に200人収容の小屋とリングを建てて、そこでK−1の協力を得たり、「プライド」の協力を得たり、アントニオ猪木の人脈からグレイシーの協力を得て、異種格闘技戦を行おうと。メンバーは今、アントニオ猪木が人選していますよ。7試合から9試合ぐらいやって、全世界へ放映しようじゃないかと。で、日本は地上波でもって交渉中ですよ。

アマゾンを残すために我々がジャングルを買い取って行こうと

――遠大な計画ですね、これ。プロレスの枠を超えていますよぉ。

新間　超えていますよ。それで私が「新日本プロレスはどうなんですか？」って聞いたら、「新間、新日本プロレスは協力しねぇよ。なんの興味もないって言うんだよ」って。

――情けないねぇ。

新間　情けないっていうもんじゃないですよ。それで、この時第1回の軽い打ち合わせの時に、新日本プロレスの代表だと称する人間が来たんですよ。で、私と猪木啓介と倍賞鉄夫と猪木事務所の伊藤という人間と4人で話をして、向こうは2人で来たから。それで「アントニオ猪木の話を聞けば、新日本プロレスはできないということですから」って言ったら、「いやいや、新間さん、私があなたをアントニオ猪木に推薦したんですよ。このイベントは新間さん以外にできないから」って。「じゃあ、私はあなたにお礼を言わなければいけないんですか。私は直接アントニオ猪木から、『新間、これはおまえしかできないから頼んだよ』って言われましたよ」って言ったの。それで、「こういうイベントを新日本プロレスの誰ができるんだ。いるなら名前を出してくれ。新日本プロレスが『ジャングル・ファイト』をできないんなら、坂口、藤波、上井この3人がここに来て、『新間さん、申し訳ありません。私たちにはできません。私たちも協力しますから、よろしくお願いします』って言ってくれるのが、あなたたち新日本プロレス側の私に対する態度でしょう」ってね。

――そうだね、誠意だね。

新間　そういうやむやのうちにこれは出発したんですよ。しかし私は既に動いている。私が願ったのは、「テレビ部門は川村社長と上井に頼みたい」って言ったの。

――ああ、川村さんはいいですね。

新間　アントニオ猪木は「それでいい」って言ったの。それで、「実務部隊は新間寿と猪木啓介がやります。それで倍賞鉄夫がバックアップする」っていうことになったの。そして、私が新日本プロレスにも挨拶しに行くことになったんですよ。でもう、「ジャングル・ファイト」の口座も作っているわけ。それで私も振り込んでいるし、私の友人も振り込んでいるわけ。それで藤波が「新日本プロレスも協力しないといけない。口座も別に作ります。500万ぐらいそこに入れて、新日本プロレスが管理して、事務所の5階の応接間の一室を『ジャングル・ファイト』の本部にしたらどうですか」って案が出たって言うの。俺からすりゃ、クソ食らえだよ！　ふざけんじゃないよ！　やっとできそうになったら便乗してくる、そ

ういう精神がふざけんなと。だから、新日本プロレスの衰退を招いている原因はおまえじゃないかと。藤波辰爾ですよ。結論を出さない。いち早くどうしてこういうものがいいんだっていう、感性を持たないんだっていうの。

――それは重要なことですよ。

新間 ねえ？ これがいいもんか悪いもんか、そうじゃなかったら、アントニオ猪木がやることに盲目的にね、盲従的にやろうとする人、そういう人たちが集まってやってくれればいいって言うの。私は「ジャングル・ファイト」を必ず実現させますよ。だから、新日本の助けなんていらないっての、今さら出てきて！

――これは非常にハードな企画だよ。

新間 ハードどころじゃないよ。それで私は外務省も後援団体に望みたい。環境庁も協賛に名乗りをあげてもらいたい。だから、今日も私は後援願いを作って、森喜朗先生とか安倍晋三先生とか福田康夫先生とか、そういうところに頼みに行きますよ。

――ええ!?

新間 それで日本からも100人ぐらい行く。入場料は1人100万円ですよ。もう私は10人集めましたよ。

――えええええ!?

新間 あと90人集めないといけない。

――タフな企画ですね！

新間 タフですよ。9月14日よ。不可能を可能にしてきた猪木・新間コンビならできるんじゃないかっていうの。できあがらせなければいけないんですよ。

――普通は腰引けるけどね。

新間 腰引けるどころか、最初に気持ちが萎えちゃって。要するに去勢された男よ。本当に今の新日本プロレスには勢いがないね。K―1の角田さんの言葉を聞いた？ 角田さんという男は、「力道山の素晴らしさというものを私たちはK―1のリングに生かしています」と言っている。力道山っていうのは何かといえば、アントニオ猪木ですよ。力道山、アントニオ猪木の流れを受け継いでいるから、この頃のK―1は石井さんがやってきた頃とまたちょっと違ってきているじゃない。終わったあと、因縁作っているじゃない。谷川・角田コンビがやり始めましたよ。

――ワッハハハハ。プロレスですよぉ！

新間 ああいうのはね、頭にいかに柔軟性を持つかっていうことにかかっているんですよ。新日本プロレスは既にそれに飲み込まれちゃっているわけ。

――完璧にね！

新間 K―1からノルキヤみたいな選手が何人も出てくるならいいんですよ、だけどノルキヤなんてのは、K―1の中でも十把一絡げの選手じゃない。

――ワッハハハハ、その他大勢ですよ。

入場料は1人100万円ですよ。もう私は10人集めましたよ

新間 ただ、中邑真輔がああいう試合をしたことで評価を得た。彼はあれから一大飛躍をするに違いない。西村だって、ストロングスタイルを受け継いだ男ですよ。ただ彼の不幸は、1月4日、藤波辰爾との一戦をアントニオ猪木に見られたこと。「この試合はなんだ！ スパーリングをドームで見せてどうするんだ！」って。私も見たよ、本当にスパーリングだったよ。そういうことじゃなくてさ、本当に自分自身が納得したい試合を西村自身だってアントニオ猪木に見せたいわけ。しかし、見られたくない試合を見せたために、アントニオ猪木は西村に対して非常に評価が厳しい。だから藤波辰爾というのは選手を引き立てるならともかく、西村っていう選手を殺しちゃったよね。だから、藤波は社長に専念するのか、レスラーとして専念するのか、どちらかを選ばないといけない。去年一年、私は藤波擁護論で随分藤波について語ったよね。しかし、そのたびにファンからブーイングを浴びたよね。

――ブーイングだったねぇ。

新間 あれがやっぱりファンの声なんだね。私は今年になって藤波の見方を多少変えてみたら、本当にそういう感覚だった。それと今年はこの「ジャングル・ファイト」を早くニッポン放送で取り上げろって言ったの。あとサムライTVにも申し入れしましたよ、新日本プロレスから。ターザンと一緒に俺がスタジオに殴り込んでやるぞっての。それで放送やっている連中をほっぽりだして、俺たちが真ん中に座って、サムライTVを電波ジャックさせてもらうと。

――ムチャだねぇ（笑）。

新間 K―1をぶった斬り、「プライド」をぶった斬り、メチャクチャなことを言ったらどうなるんだろうね。でも、そこに暖かさが入っていればね、ファンは必ず共感、共鳴してくれるんですよ。ファンが頭に来てることは、K―1に行ったり、「プライド」に行ったり、プロレス最強論が次から次へと壊れていることですよ。リングの外の闘いに負けているわけ、新日本プロレスは。

――まず、外との闘いに負けているね。

新間 そこがね、私は上井に頑張れ！って。もう、上井たちの時代が来ているんだから。東京ドームでUWFインターとの対抗戦が行われて、UWFインターも生き返ったけど、新日本プロレスも生き返ったじゃない。でも、今ああいう緊迫感のあるものがないじゃない。だから、アントニオ猪木時代の昭和のプロレスを私は思い出せと。復活させろっていうの。そのためには山ちゃん、あんたも遠慮容赦ない「どくぜつ」を吐きなさいよ。この「どく」はね、中毒の「毒」じゃないの。独断の「独」でいいのよ。

――ワッハハハハハ。独断の「独」ね。

前代未聞のアマゾン興行 JUNGLE FIGHTとは何か？

それをあいつらは独断で話していることを、毒舌で話していると勘違いしているのよ。自分たちがやらなきゃいけないことをしないまんま、ただのんべんだらりと練習していてね。トレーニングはしすぎてしすぎることはないというのは、アントニオ猪木の名言ですよ。道場で本当に強くなる、昭和のプロレスのアントニオ猪木時代に戻りなさいと。これが私の結論でございますよ。そのためにはこの「ジャングル・ファイト」が出発点になる。

――えらいことですねぇ、これ！

要するに、新日本プロレスグループ、猪木グループが一丸となって、「ジャングル・ファイト」を成功させるための起爆剤に新間寿と猪木啓介はなっているわけですよ。

――時間ないですよぉぉぉ！

ないよ。時間がないからこそやるべきでしょう。時間がないからって、尻込みしちゃいかんよ、山ちゃん。だから、私はこれをアントニオ猪木の〝闘魂アマゾン協力隊〟というのを作って、旗を持って、歩行者天国でもどこでもレスラーが出ていって、募金でもなんでもして、多くの人たちにこの「闘魂母の森」を守るための運動を提唱し、理解してもらうためのビラ撒きをし、寄付金をもらおうと。あんただって、夜フラフラ歩いているんじゃなくて、その〝燃える闘魂〟を真っ昼間から出しなさいよ、銀座の歩行者天国で。

――しかし、精力的ですねぇ。

オフ・コースでございますよ。もう燃える男のそばにね、燃えすぎる男がいなきゃいけないのよ。だから、何回も言うように、今の新日本プロレスに言いたいのは「燃えよ闘魂」よ。新間寿は燃える闘魂なのよ。今の新日本プロレスに「燃えよ闘魂」と言いたいよ。

――新間さん、話は変わるけど、元テレビ朝日の栗山満男プロデューサーが暴露本を出したらしいね。

“闘魂アマゾン協力隊”というのを作って寄付金をもらおうと

▲2人が手に持っているのは、「ジャングル・ファイト」の企画書だ

フロレスを創った男たち
元テレビ朝日プロデューサー 栗山満男 著

▲これが元テレビ朝日のプロデューサー・栗山満男氏が出版した暴露本。帯には「ミスター高橋も絶賛」と書いているが……。ちなみに、版元はピーター本の第2弾と同じ会社だ

ここに来て俺にいろいろ聞いていったよ。

――ええ!?

あれはうちの檀家だからね。あの人はアントニオ猪木のために破産宣告を出されたわけじゃないよ。あれは自分自身の不始末で博打に手を出したり株に手を出したりして、会社に借金取りが押し寄せてきて、辞めざるを得なくなって辞めたんですよ。アントニオ猪木を恨むのは逆恨みですよ。彼は自分の博打によって、借金によってテレビ朝日にいられなくなって、その退職金でもって自分の借金を払って辞めたんですよ。

――そうなんですか！

それで私が彼に言ったことは、「あんたプロレスを青春として生き抜いてきた以上、プロレスの悪口は書くなよ」って言ったの。そうしたら、な〜に、「NWFベルトは金銭で買った」、ふざけんじゃないっての！　あれは俺が交渉したんだよ。おまえはなんの交渉をしたんだっての。ビンス・マクマホンのシニアなんかに、栗山なんかまともに口を利けなかったんだから。俺は悪いけど、WWFのプレジデントやりましたよ。ニューヨークに行けば、あんなの木っ端だよ。親父の葬式だってできなかったんだよ。ウチのお寺でやったんだよ。

――ええ!?　栗山さんは今、病気なんでしょう？

糖尿も酷いし。人間が変わってますよ。もう貧すれば鈍する。だから、あんな本を書いたおかげで、彼はプロレス界にはカムバックすることはできないね。

――ミスター高橋と仲がいいんですよ。

だから、二番煎じの本が売れるわけないじゃない。何が最低の演技だって！　読む気にもなれない。人の悪口ばっかりよ。そういうこと、栗山の件に関しては。

――ヒャア〜！　人間落ちたらおしまいだね。

俺たちはまだプライドがあるからね。誇りがあるから。

――堂々と生きてますよ。

当たり前ですよ、山ちゃん。堂々と生きてくれよ。俺はあんたとしゃべるのを一番楽しみにしているんだからさ。これで終わり。いいね！

――ワッハハハハハ。新間さん、ありがとう！ ■

フランス「KARATE・BUSHIDO」誌提携

SRS DX

スペシャル・リング・サイド

No.98 7・24号

CONTENTS

緊急企画

徹底検証!6・29 K-1 BEAST II

大会速報

7・5 K-1 WORLD MAX 2003 たまアリ大会

最新情報

8・10 PRIDEミドル級GP たまアリ大会 18

SRS・DXの注目!

※入稿の都合上、目次の内容と異なることがございます。ご了承願います。

K−1セメント・プロデューサー 大咆哮!

話題……? 騒然……?

6・29 K−1 BEAST

徹底 大糾弾 座談会

俺がボスだっ!! プロレスをナメるな!

出席者◎谷川貞治(K−1イベント・プロデューサー)
モンターニャ山本(WINSの暴走戦士)
小松ヒロミ(本誌"ジャパン"編集部員)
司会◎柳沢忠之(本誌"バタービーン"御目付役)

もし俺がそいつだったら、一面を奪い取るけどなぁ

山本 おいっ！ 谷川ぁ。今日は前フリはあるのかぁ？

——なんでサダハルンバが前フリを（笑）。

谷川 それが………あるんですよ。んあ～！（笑）。

谷川 正確には「あった」なんですけど、大事な仕込みを忘れちゃった。

山本 何があったん？

谷川 いや、凄いネタがあったんですけど、準備してくるのを忘れちゃったんですよ。

山本 えっ！ 何を忘れたん？

谷川 これは口で説明できないことなんですよ。みんな絶対に絶句するほど驚くことなんですけどねえ。

山本 なんだよぉ、それ。気になるよなぁ。

谷川 まあ、大きなお楽しみということで、次号に回します。

——これだけ目一杯期待させておいて、次号回し？（笑）。

山本 なんだよなぁ。モグはないのかぁ。

小松 ………ありませんねえ。

谷川 山本さんはあるんですか？

山本 ありますよぉー 前フリは至極当然のごとく。

——そんなに偉そうに言うほどの前フリが（笑）。

山本 まずは、6月28日の土曜日ですよぉ。俺はえらい目に遭ったよぉ。

谷川 なんの日でしたっけ？

山本 K―1ジャパンの前の日で、競馬で儲けてやろうと思って後楽園WINSに行ってたんだよねぇ。で、午前中儲けたんだよぉ。「これは100万円コース間違いない」と思ってさぁ、「来てくれぇ！」って、弟子の歌枕を呼んだんだよぉ。そうしたら歌枕が来て「山本さんえらいことですよ。山本さんが宝塚記念で狙っているヒシミラクルの単勝オッズが270円です」って言ったんだよねぇ。

谷川 それが………何か？

山本 よ～するに前日売りでヒシミラクルの単勝馬券を1000万円買ったヤツがいてオッズが下がっているんだ、と。その瞬間に俺はヒシミラクルの単勝を買うことをやめたんだよねぇ。で、それで磁場を狂わされてからオールすべてぜ～んぶのレースで全敗ですよぉ。

——ダハハッ、いつものごとく（笑）。

山本 よ～するに、ある40代のサラリーマンが安田記念を的中させて儲けた120万円を、そっくりそのままヒシミラクルの単勝馬券に賭けて。最終的にはオッズが1600円くらいになったんだけど、俺が買うのをやめたらヒシミラクルが本当に1着になったんだよねぇ。で、その人物は1億9000万円も儲けたわけですよぉー

——え～っ！ いちおくきゅ～せんまんえ～んっ！

山本 俺はヒシミラクルで勝負しようとしてたのに、そいつがそんなムチャ買いしたために、俺の人生は破壊されたわけですよぉー だって、俺が買っていたら確実に100万円は儲けてたもん。ところが日曜日には無一文ですよぉ。

——さらに、いつものごとく（笑）。

山本 で、とにかくレースが気になって、K―1ジャパンの会場に行ってる時に、一揆塾生のところに電話して「おまえ、今から宝塚記念を実況中継しろぉー」って言って聞いてたんだよぉ。で、直線に入ったら「10番が来てます」って。「ええ～っ！ じゅうば～んっ!?」って。10番ってヒシミラクルなんだよぉ。

谷川 んあ～！

山本 それが絶対に明くる日の月曜のスポーツ紙の一面トップ記事になると思ったら、松井秀喜の7打数6安打が一面なんだよねぇ。バカじゃねえかと思ったよ。だって、こんな夢のある話はないでしょ。たった3週間で1億9000万円儲けたんだよぉ。松井より上ですよぉ。もし俺がそいつだったら、すぐにスポーツ紙に電話して、一面を奪い取るけどなぁ。

谷川 僕、競馬やろうかなぁ。

——んあ～！

谷川 ちなみに山本さんって、どのくらい賭けてるんですか？

山本 俺は今年の上半期だけで700万円負けてますよぉ。これまでの人生の中では1億円は確実に負けてますよぉ。だって、年間で1000万円負けてるとしても、10年で1億円だもんなぁ。このまいったら、今年1年で1500万円負けますよぉ。しょっぱいよなあ、俺の人生。

——ダハハハハッ！

山本 それとももう一つの前フリは前号のパリ紀行ですよぉ。あれは評判いいというか、悪いというか、凄いことになってるよぉ。

小松 なんか、GKさん（金沢克彦『週刊ゴング』編集長）の奥さんが読んで、喜んでたっていう話が伝わってますからね。

山本 今までねぇ、あのGKの口から「奥さん」とか「カミさん」という言葉は一切出ていないわけよぉ。つまりGKの奥さんというのは世間から消えてるというか、蟄居というか隠蔽された存在なんだよねぇ。

——隠蔽って（笑）。

山本 ところがK―1ジャパンの取材で、さいたまスーパーアリーナへ行った時にGKから「いやあ、驚きましたよ。ウチのカミさんが山本さんのパリ紀行を読んで、大喜びして大笑いしてました」と言ったんだよねぇ。俺はついにあの男の口から「カミさん」という言葉を引き出しましたよぉ。これは大スクープですよぉ－

——インパクト絶大だったんだ（笑）。

谷川 でもあれはね、とにかく編集がダメですよ。それに尽きますね、元編集者の僕から言わせると。もっとうまく見せればいいのに。高校生の修学旅行アルバムじゃないんだからさあ。

——編集担当は誰？

小松 ………あ、僕ですね。

谷川 プロの本なんだからさあ。

山本 どうなんだ？ モグ。

小松 ………えーっと、そろそろ今日の本題に入りましょう。

——んあ～！

山本 今日のテーマはK―1ジャパンですよぉ！ 俺は谷川イベントプロデューサーを大糾弾しますよぉぉぉ！

谷川 はあ………？

山本 ホントにしょっぱかったねぇ。あの興行は「しょっぱい」という言葉をはるかに超えてたもんなぁ。

——ダハハハハッ！

山本 もう、やること成すことオールすべてぜ～んぶに腹ぁ立って腹立って。終わったらすぐに家に帰ったよぉ。

——怒って家に帰っちゃった（笑）。

山本 『SRS・DX』のブロードバンドの大会総括もボイコットですよぉ。

谷川 でも、なんか話題騒然ですよ。

山本 へ？

谷川 話題騒然じゃないですか？ 山本さんの周りでは。

山本 話題……？ 騒然……？

谷川 大きく分けると二つですよね。

へ？　あれは谷川がやらせたんじゃないのかぁ？

——今日はプロデューサーが二つ（笑）。

谷川　一つは「K—1がプロレスになった」という声。それともう一つは「プロレスラーが弱い」という声があって。その二つが話題になってるんじゃないですか？

山本　俺から言わせたら、あれはプロレス以下ですよぉ。プロレスのアングルをマネしたんだけども、たとえば反則とか乱闘があったとしても、あんなにしょっぱいものはプロレスにはないよぉ。で、格闘技であれをやったら、ヘタを打つんじゃないかと思うんだよねぇ。

谷川　へ？　僕はもちろんあんなことをリングでやっちゃあダメだと思いますよ。反則暴走とか、乱闘とか。あのモンターニャ・シウバの反則は、マジで武蔵が危なかったですからね。

山本　…………へ？　あれは谷川がやらせたんじゃないのかぁ？

谷川　いやいやいや、みんなそう言うんですけど……。

山本　誰もがそう思い込んでますよぉ！

谷川　僕は何が恥ずかしいって、あれを僕が仕掛けたって、みんながそう思っているのが、一番イヤなんですよぉ。

山本　でも、谷川が真犯人なんだろう？　あの反則暴走は。

谷川　いや、100人中、99人がそう思っているかもしれないですけど、僕は本当に無実ですからね。

山本　そんな言葉は、ま～ったく説得力ないもんなぁ。

谷川　いや、モンターニャがあの反則暴走をやってしまったことによって、その後の試合がみんなプロレスに見えちゃったんですよ。しかも、ボブ・サップが中迫と闘った時にやってるじゃないですか。あんな二番煎じみたいなことがあるわけがないし。

——まあ、冷静に考えても興行の全てを壊すよね、ああいうことは。

谷川　それはね、いくら〝プロレス素人〟と思われてる僕でも分かりますよ（笑）。

山本　……じゃあ、真犯人は他に誰かいるわけぇ？

谷川　いや、僕が一番不愉快なのは、みんながあの反則暴走を誰かが仕掛けたことだと思っているってことなんですよ。

山本　ということは、誰かが谷川を陥れようとしてるわけかぁ？

谷川　いやいや、誰かが僕を陥れようともしてないですよ。

山本　でも、みんなそうとしか思ってないよぉ。だって、そのために角田さんが怒っているんじゃないのぉ？

谷川　角田さんは本当に怒ってますよ。

山本　だから、それは谷川に対して怒ってるんじゃないのぉ？

谷川　いやいやいや、僕に怒ってるわけじゃないですって。とにかく、あんなことはK—1のリングでやっちゃあダメですよ。百歩譲って、記者会見で消火器をぶちまけて話題を作るのはまだいいと思うんですけど、それがリングでああいうことをすると、全てがダメになりますからね。

——だから、俺も思ったんだけど、「本当にプロレスをナメてるな」って。その一言に尽きるんですよ。

山本　でも、オールすべてぜ～んぶの人間は谷川が犯人だと思ったけどねぇ。

谷川　違いますって。犯人なんて本当にいないんですよ。

——これは試合後に聞いた話なんですけど、終わった後に「いったいどういうことなんだ？」って、モンターニャ・サイドに事情聴取をしたら、「試合中にコンタクトレンズが取れた」って、あのマット・ガファリと同じことを言ってるらしいんですよ（笑）。

谷川　ブッキングをした人間を呼び出して聞いたら「いや、申し訳ない」と。彼はハードのコンタクトレンズをしてたんですって。それが試合中に落ちて、もう武蔵のパンチも見えなくなって、ローキックとかも痛くて、「これで負けたら、もう使ってもらえない」と思って、ムキになったという話をしてたんです。で、「もう二度とやらせない。本人も反省してるから、今回は勘弁してくれ」と。

山本　でも、マウントパンチまではしないでしょう、普通は。

谷川　いや、してはいけないですよ。

山本　まあ、しかしあれはひどいよぉ。

谷川　あれは本当にひどいですよ。だから、出場停止にしようと思ってます。K—1のルールでは対応できない選手というレッテルを貼ってやろうと思ってるんですけど。

山本　じゃあ、角田さんの言ってることは正しいことになるじゃない。

——ホントに「コンタクトが取れて錯乱した」っていう、向こうの理屈どおりだとしたら、そんな選手は使えないでしょ（笑）。

谷川　で、ブッキングをした人間はモンターニャがコンタクトをしてたことも知らなかったし、ましてそれがハードのコンタクトレンズだってことも知らなかった。それで「明日、ソフトのコンタクトを買いに連れて行ってやってくれ」って。

——あんなことをやらかした後に（笑）。

谷川　「そうすれば、彼はちゃんとやるから」って。まずね、ボブ・サップと中迫の試合を見て、もうK—1をナメてるんですよ。で、ホントにキレて反則したんだとしても、それならばプロレスでも格闘技でも使えないよね。

山本　俺は谷川が、正真正銘の加害者だと思ってたけどねぇ。

谷川　いやいや、ホントにそれは無実の罪ですって。

——無実の「罪」なんだ（笑）。

それがモロに異臭として、今回の大会に出たよぉ

谷川 いやいや、正真正銘の「無実」です。

山本 でも、俺には谷川の冤罪には見えないけどなぁ。

谷川 K-1のリングでは絶対にやっちゃあダメですよ、あんなことは。ボブ・サップなんかは、ああいうことがあってホースト戦とかノゲイラ戦とかがあるから感動するわけですから。

――プロモーションにプロレス的価値観を導入するっていうのは結局は「対スポーツ紙」用の話だからね。逆にリング上の試合で、プロモーションを超えたリアルな感情や技術のぶつかり合いが見えた時に、初めてその「茶番」が生きるわけでしょ。試合がその「茶番」の延長線上だったとしたら、なんの意味もないよね。

山本 僕らからしたら、プロモーションと試合は違うというけれど、そのプロモーションの中に、試合内容を誘発するものが内蔵されてるよぉ、イメージ的に。ああいうデカい選手が来たりとか、あるいはTOAみたいなキワモノをぶつけてくると、そういうものがリングの中でもキワモノ化して、そういうものを誘発して出る危険性は大いにあるよぉ。

谷川 まあ、あるでしょうねえ。

山本 よ～するにさぁ、リングの中はストロングでやるとか、そういう切り替えができないで、そのまま平行移動してリングの中でもキワモノになってしまうという。

谷川 その点では、今後は試合前に一筆書かせないとダメですね。失格の場合はファイトマネー全額没収とか。

――まあ、何人に一人っていう言い方は難しいけど、ボブ・サップみたいなのは特殊なんですよ。キワモノなんだけれども、リング上で何かを見せられるのは。

山本 リング上ではスイッチが切り替わるというかねぇ。プロモーションはキワモノというか、スキャンダルというかさぁ、スポーツ紙にどんどん仕掛けて賑わせるという形で、大衆というかファンを引っ張る。それでリングの中は求心力を持たせるという、そういう転換というのがボブ・サップはできるんだけれども、今回のを見たら、そういうことができない、危険性のある人物が配置されてたわけだよねぇ。

――結局は、そういうふうに見えちゃうわけですよね。

山本 バッチリ見えてしまったわけよぉ。

――だから、一握りなんですよね、サップみたいな選手は。そういう選手をいかに選別していくか。K-1だって、10年間の歴史の中でいっぱいいたと思うんですよ、そういう選手は。まあ、キモも出たしジョー・サンも出たし、海パン男も出たし（笑）。で、そういう中からいかに、リング上でもちゃんとできる選手を選別していくかって話なわけですよ。

山本 それはメジャーのイメージを持っているグランプリだったら整理整頓というか取捨選択できるけども、マイナーのジャパンはそれをだらしなく、そのまま見逃してしまうというかさぁ、出してしまうという。ジャパンにはそういう土壌が物凄くあるよねぇ、危険性が。

――まあ、ありますね（笑）。

山本 それがモロに異臭として、今回の大会に出たよぉ。ジャパンという空間、世界にそういうものを出させてしまうヤバさがあって、その弱点がモロに出たよぉ。

――たとえば谷川プロデューサーがやらせてるとか、選手たちに「リング上でプロレスチックなことをしなさい」ってみんなに説明してるとか。そういうことを思われがちなわけですよ（笑）。

山本 もう、マスコミはみ～んなそう思ってますよぉ。谷川プロデューサーは真っ黒クロの真犯人だと思われてるよぉ。

――僕は近くで見ていて「なんで、そう言われるのかな？」って考えると、ズバリ言って、それはあまりに周りにいる人たちがプロレスをナメてるからなんですよね。

山本 それは、僕らはプロレス者だからプロレスのセンスとか、プロレスの方法論とか、プロレスの仕掛けとか、プロレスの持っているエンターテインメント性というものを培っていて、それを格闘技の世界に取り入れるということは俺たちにとっては嬉しいことなわけですよぉ。ただ、誤解しないでほしいんだよねぇ。

――そうそうそう、その誤解ですよ。

山本 その根っこにある、根幹にあるエッセンスというものをナメてほしくないというかさぁ。僕らは新日本プロレスで猪木さんや新間さんがやっていたことの濃密さを見てきていて、あのモンターニャの暴走はホントにプロレスのエッセンスが1パーセントもないと断言できるでしょ。

谷川 まったくないですよ。山本さん、僕だってそのぐらいは分かりますよ。

山本 でも、谷川はそう思われてるんだよなぁ、今。

谷川 四方八方、全方位から思われてますよ。谷川といえば八方美人の代名詞だったのに。

――もう、あれが起こった瞬間に「ああ、

もう、完全無欠なノー・リスペクトの状態ですよぉ！

疑われる……」っていうモードだからね（笑）。

谷川 だって、島田レフェリーや角田さんにまで疑われてるんですもん。でも、K―1がそんなことをするわけがないですよ。

山本 俺は一つ思ったんだけど、みんなが「K―1ジャパン」という世界観に匙を投げたというか、お手上げしてしまったというか、諦めたというか、K―1の中で捨て子みたいな意識を持ってるので「もう、これでいいや」という形でドドドドッと雪崩現象を起こしてしまったというかね。

谷川 そういう意味では、僕は今回のK―1ジャパンに対して気合いが入ってたんですけどね。だって、凄い選りすぐりのメンバーで、マッチメークにはメチャメチャ自信があって。モンターニャと武蔵の試合が成立していたら、感動的な興行になったと思うんですよ。

山本 武蔵がセーム・シュルトとやった試合みたいになっていたら良かったんだけども、紙一重のところでグシャといったんだよねぇ。

谷川 あれで崩れちゃいましたからね。

山本 だから、武蔵の責任はなぜシュルトの時みたいに闘わなかったかというところにあるんだよぉ。彼の中にも求心力の心が失われていたんだよなぁ。

――だって、ホントにあそこからだったもんね（笑）。本当に唐突だったでしょう。ビデオを見返しても「なんで……？」って思うからね。

山本 それはジャパンだからですよぉ！ あれがグランプリだったら、武蔵は絶対にシュルトと闘ったような試合をやるんだけれども、そのへんがあのモンターニャを呼んできたことによって磁場が狂ったわけですよぉ。

谷川 まぁ、武蔵はモンターニャをナメてたと思いますよ。

山本 ナメてたというか、本気にならないというかさぁ。

谷川 でも、僕は武蔵の試合運びを見て、巧いなあとは思いましたけどねえ。武蔵にしかできない闘い方でしたからね。

山本 でも、武蔵は「巧い」というところから、あと一歩「凄い」というところまで行かないんですよぉ。それが武蔵のアイデンティティなんだよぉ。

谷川 なんであんなことになったのか、僕はいまだによく分からないんですよねえ。

小松 ああなる気配がまったくなかったですもんね。

山本 俺は客席で見てたんだけど、周りの女性客やおばちゃんたちがバカにして見てるんだよねぇ。角田さんは「リングは神聖なものだ」って言ったよねぇ。神聖なものに対しては、人は普通リスペクトするわけでしょ。素人でも普通の人でも初めて見る人でも、格闘技というものは一応リスペクトする心がどこかにあって見るものだけど、ノー・リスペクトで見てるんだよなぁ。そういう空間を作ってしまってるわけですよぉ。本質的にあの日は、ああいう形にならざるを得ないみたいなムードが、支配的にでき上がっていっちゃったんだよねぇ。

谷川 いや、ホントにでき上がっちゃいましたよね。

山本 もう、完全無欠なノー・リスペクトの状態ですよぉ！

――ホントにそうだと思います。それはハナからK―1ジャパンっていう空間が、確かにコンセプト的に煮詰まっていて、何かを破壊して違う形にするしかないわけですよね。

山本 そこはやっぱり原点に戻るか、日本人選手の熱い闘いを見せるのか、いろいろと選択が迫られてますよぉ。

――そこが賭けなんですよね。賭けをしないと、ヒシミラクルの単勝で2億円にはならないわけですよね（笑）。で、今はジャパンの元手がマイナスの状況で、とにかく元手を用意して賭けるという勝負をしないといけないわけですよ。

谷川 それがこのあいだの「K―1 BEAST」だったんですけどね。モンターニャにTOAにバタービーンで。

――で、ボブ・サップは賭けで当たってるわけじゃないですか。逆にああいう選手たち、ノー・リスペクトの選手たちが出てきて、リスペクトされて帰っていったら賭けに成功なわけですよね。

山本 そうそうそうそう。

――当然そういう賭けなのに、ますますノー・リスペクトの上塗りのようなことをしてしまったと（笑）。

山本 もう、一気にノー・リスペクトが膨れ上がりましたよぉ。

――だから、そんなことを賭ける側の人間がするわけがないんですよ（笑）。まあ全員が全員、ボブ・サップになれるわけがないというのは分かっているんだけどもね。

山本 でも、一見キワモノ、しかし違うというのはなかなか難しいよぉ。

――ところが、モンターニャなんかは絶対にその素質を秘めていたんですよ。

谷川 TOAより確実に秘めてますよね。

――秘めてるはずだったのが、なんであんなことをするんだって。あれで最後まで闘って、たとえ負けたとしても「モンターニャって凄いね」っていう存在になれていた可能性は高かったと思いますよ。ノゲイラに負けたサップみたいな評価を狙えばよかったのにね。

谷川 ホントにもったいないですよぉ。僕は試合の前日に、モンターニャはどのくらいなのかとにかく見ておこうということで、練習をさせに行かせたんですね。で、中村和裕選手と闘った堀選手とスパ

話題……？ 騒然……？
6・29 K-1 BEAST
徹底 大糾弾 座談会

権力を一点に集中させないことには抑え込めないよぉ

ーリングをやらせようとしたんですよ。で、「明日、試合だから、軽くやってくれ」って言ったら、モンターニャが「俺は軽くはできない」って言ったんです。「相手を殺すようなつもりじゃないとできない」って。それで「じゃあ、危ないからやめておこう」って言ったら、引き下がらないんですよね。「俺は女じゃねえんだから、一度言われたことは引き下がれない」とか言って。けっこうコントロールが効かないタイプなんですよ。顔に現れてるじゃないですか、なんかコントロールが効かなさそうな。

——ダハハハハッー

谷川 でも、それを聞いた時に、武蔵のローキック1、2発で倒れるようなことはないなと思って、安心してたんですよ。

山本 そこで興行をプロデュースする側が気を付けないといけないことは、コントロールが効かないことさえも油断しないということですよぉ。

谷川 僕はそこの部分は本当に気を付けてるほうだと思うんですけど。それよりも僕は、自分がナメられてるのかなあと思って（笑）。

山本 俺から言わせたら、油断の産物としか思えないような興行だったよぉ。油断！ 油断！ 油断！ですよぉ。

谷川 いや、油断以前に僕の存在がナメられてるんだなあと思って。

——でも山本さん、あの興行のポイントは全てモンターニャですよ。全てがあそこに集約されてますからね。

谷川 それこそ、ピーター・アーツのハイキックでさえも、プロレスに見えちゃうでしょう。

——ホントに全部が茶番に見えてしまうという。たとえばあれがワールドGPっていう名前でやっていて、そういうシチュエーションでやっていたとしたら、それはそれで見られるんですよ。アーツだって「こいつは誰？」っていうぐらいに変わってるわけですよね、あの試合に関しては。ホントにいきなり中迫を潰しに行ってるというか、久々に怖いアーツだなっていう感じだったのに、それよりも中迫の弱さのほうが茶番に見えちゃうっていう。

山本 なんでビッグチャンスなのに、中迫は行かねえんだと思ったよぉ。

——観客の気持ちとか目線が、あのモンターニャの一件で、全てがそっちに行っちゃってるんですよ。

谷川 だって、中西選手だって頑張ったと思うよぉ。

——頑張ったよね、あの中西が（笑）。

谷川 でも、モンターニャが全てを壊してるんだよねえ。ホントにねえ、選手や関係者に声を大にして言いたいんですけど、「ボスは俺だぞっ！」って。

——ダハハハハッー

谷川 みんな僕の言うことを聞けえっー！ なんで金を払って、ひどい目に遭わなきゃいけないんだよお！

山本 谷川が「ボスは俺だ！」って言うなら、選手や関係者と接触している時はぜ～んぶその気配を見せないといかんよぉ。

谷川 だから、石井館長はその部分が偉いなあと思いましたよ。

——普通にビジネスとして考えた時に、選手サイドはある意味で「谷川は石井館長に比べて、くみし易いな」って見てるのかなって思うと、ちょっと違うみたいなんですよね（笑）。石井館長みたいなボス的なオーラがない谷川に変わったから、「これはやり易い」ってなるのかと思ったら、そうじゃないもんね。みんな「ボス」を求めてるのかな（笑）。

谷川 うん、僕には甘えてこないんですよ、選手たちは。

——んあ～！

谷川 僕は理屈で攻めるからですかねえ。

山本 そこは力で抑え込まないとダメよぉ。企業でもワンマン社長で権力が一点にビシーッと集中してる時は全部その方向に目を向けるし、大山倍達総裁や力道山だってそうしてきたわけですよぉ。それは重要なことですよぉ。権力を一点に集中させないことには抑え込めないよぉ。

谷川 キラー谷川プロデューサーの本領を発揮するしかないのかなぁ。

——んあ～！

山本 でも、ジャパンのせいにしたいというのもあるんだよねぇ。批判してる僕の中にも、批判される側の中にも「ジャパンだから」みたいな思考があるんだよねぇ。

谷川 まあ、今回の大会は興行としてはよくなかったんですけど、実験としては凄く面白かったと思いますけどねえ。

山本 でも、もし実験をやるんだったら、あのノー・リスペクトの空間を作っちゃいけないよねぇ。それこそマスコミもファンもK—1をナメちゃうからぁ。ジャパンに対しても「ダメ」のレッテルを貼るから。これを回復させるのは大変な作業だよぉ。

谷川 本当に大変ですよぉ。

山本 それでなくても谷川は極悪人になってるんだからねぇ。

——ただ、やっぱり必要なのは思いきった実験ですよ。時間をかけて、ひとりずつ入れて実験していくみたいな時間のかけ方ができればいいんだけど、なかなか難しいですからね。とにかく今回のダメな部分に関して思うのは「ホントにプロレスをナメてるな」って、凄く感じたわけ。

山本 僕らはプロレスにアングルとか、仕掛けをやろうとした場合にそれがいかにリアリティを持つか、フィクションを生むかということを考えるわけでしょ。そのためにどれだけのエネルギーと頭脳を使ったかということを見てきてるわけでしょ。「ああ、これならば納得する」というものを。それをナメてますよぉ。

——で、ボブ・サップっていうのは、まさに山本さんが言う命懸けのアングルができる男なんですよ。ところがあのサップでさえも、モンターニャで磁場が狂いましたからね（笑）。TOAとの絡みでもその命懸けさが出てなかったですから。

話題……？ 騒然……？
6・29 K-1 BEAST
徹底 大糾弾 座談会

俺たちが求めてるのはずーっとセメントなんですよぉ！

谷川 まあ、僕は声を大にして言いたいのは「俺がボスだ!!」「俺をナメるな!!」ってことなんですよ。

山本 そういう意味では前号のパリ紀行で、モグはこのターザン山本をナメてるわけですよぉ。俺はホントはストロング・スタイルなんだから、あのページの作り方はないんだよねぇ。モグもプロレスをナメてるという意味で、発想が一緒なんだよなぁ。

谷川 まさにキミがそうだよ。おまえはK―1ジャパンだ！

山本 俺のことを、本当は妥協を許さない〝セメント野郎〟だということを分かってないわけですよぉ。

でも、K―1イベントプロデューサーが「おまえはK―1ジャパンだ！」って、その発言も問題あると思うけど（笑）。

山本 とにかく俺がプロレスをナメてる人に言いたいのは、プロレスに関わっている人間は本当は全員セメントでシュートだという、ここを分かれと言いたいわけよぉ。俺たちが求めてるのはずーっとセメントでシュートなんですよぉ！

スポーツだとかなんだとか言ってるヤツが、一番の八百長野郎ですからね（笑）。

山本 俺たちのようなセメント志向がないんだよぉ。

――ナメやがって（笑）。

山本 それを間違えて、プロレスはあんなもんだと考えてることは、真のセメント精神を理解しないからなんだよぉ。そうなるとあのK―1ジャパンになるんですよぉ。

谷川 いや、山本さん。僕にもセメント精神はありますよ。

――ダハハハハッ！ でも、ホントに今回はセメント精神爆発だったそうだからね。

谷川 あの消火器事件の記者会見の後に、僕は日本人選手を集めて言ったんですよ。「キミたちだけではまだまだチケットは売れないんだよ。それに気付け！」って。

――セメント野郎だ（笑）。

山本 でも、それが伝わらないんだよねぇ。みんな谷川のことをナマコみたいな性格だと思ってるからねぇ。

――どんな性格だ（笑）。

山本 まあ、選手たちに対してハッパをかける、やる気を起こさせる、テンションを上げさせるとかあるけれども、一番重要なのは使命感を持たせることですよぉ。

谷川 ホント、そうですね。

山本 使命感を共有することですよ。そういうところへ持っていかないと、本気にならないよぉ。その結果としてファイトマネーが付いていけばいいんですよぉ。

そう、重要なのはその部分です。

山本 使命感がないから、ああなっちゃうんだよぉ。そのモチベーションは谷川でもいいわけですよぉ。「ボス谷川のために頑張る」とかさぁ。

谷川 なるほどお……。もう本当に声を大にして叫びますよお！ これからは俺のために働けっ！ ボスは俺だっ！

――んあ～！ ■

7/10THU～7/24THU
CALENDAR

7/10 THU	★ ＳＲＳ・ＤＸ 97号発売日
7/11 FRI	
7/12 SAT	◆DEEP 12th IMPACT/チケット発売⬅p47
7/13 SUN	■K-1 WORLD GP 2003 in 福岡/マリンメッセ福岡（15:00～）⬅p46 ■DEEP/グランキューブ大阪（16:00～）⬅p47 ■修斗/東京・後楽園ホール（18:00～）⬅p47 ■新撰組プロモーション/東京・ディファ有明（18:00～）⬅p50 ◆PRIDE GP 2003開幕戦/チケット一斉発売⬅p47
7/14 MON	◆極真会館 第8回全世界空手道選手権大会/チケット発売⬅p50 ◆PANCRASE 両国国技館大会/チケット先行発売⬅p46 ◆MAキック 戦闘甲斐士/チケット発売⬅p49
7/15 TUE	
7/16 WED	
7/17 THU	
7/18 FRI	
7/19 SAT	
7/20 SUN	■全日本キック連盟/東京・後楽園ホール（18:30～）⬅p49
7/21 MON	■J-NETWORK/東京・六本木velfarre（12:45～）⬅p48 ■DEMOLITION 030723 神奈川・横浜赤レンガ倉庫（19:00～）⬅p48
7/22 TUE	
7/23 WED	
7/24 THU	★「ＳＲＳ・ＤＸ」99号発売日 ◆MAキック EXPLOSION-3/チケット発売⬅p49

格闘技パーフェクトガイド
Perfect Guide

GUIDE & TICKET
大会ガイド&チケット情報

パンクラス

PANCRASE 2003 HYBRID TOUR
7月27日（日）東京・後楽園ホール

◆DAY TIME：開場12:30　試合開始/13:00　NIGHT TIME：開場/17:30　試合開始/18:00　◆入場料/SS席12,000円　A席9,000円　B席6,500円　C席5,000円　D席4,000円　立見3,500円　※DAY TIME、NIGHT TIMEは同一料金　※当日券は一律500円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ☎0570-02-9999（Pコード：594-040）、ローソンチケット☎0570-00-0403（Lコード：38691）、CNプレイガイド、eプラス、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、ビデオショップ・チャンピオン、水道橋・マニア館、アイドール新宿店、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1、格闘技・プロレス図書館　闘道館☎03-3512-2080、FIGHT COMPANY☎03-3325-5047、SSSアカデミー水道橋☎03-5212-7920、イサミ尚武堂☎03-5214-6487、渋谷TOKYO文庫TOWER 6F☎03-5784-4900、ゴールドジム☎03-3645-9434、パンクラスオフィシャルサイトhttp://www.pancrase.co.jp　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

決定対戦カード

PANCRASE 2003 HYBRID TOUR
8月31日（日）東京・両国国技館

◆開場/15:00　試合開始/16:00　◆入場料/VIP席（最前列、パンフレット付き）30,000円　SS席10,000円　A席8,000円　B席6,000円　2階A席7,500円　2階B席5,500円　※当日券は一律500円増し　◆チケット発売/先行発売：7月14日（月）～18日（金）パンクラス、パンクラスオフィシャルサイトにて　※オフィシャルサイトでの先行発売は20日（日）まで
一般発売：7月27日（日）　※7.27後楽園ホール大会でも販売
◆チケット発売所/チケットぴあ☎0570-02-9999（Pコード：594-040）、ローソンチケット☎0570-00-0403（Pコード：38690）、CNプレイガイド、eプラス、JEB TV http://ticketjeb.tv、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、ビデオショップチャンピオン、マニア館、アイドール新宿店、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1、格闘技・プロレス図書館　闘道館☎03-3512-2080、SSSアカデミー水道橋☎03-5212-7920、イサミ尚武堂☎03-5214-6487、渋谷TOKYO文庫TOWER 6F☎03-5784-4900、ゴールドジム☎03-3645-9434、パンクラスオフィシャルサイトhttp://www.pancrase.co.jp　◆会場アクセス/JR総武線両国駅より徒歩1分、都営大江戸線両国駅より徒歩5分　◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

PANCRASE 2003 HYBRID TOUR
10月4日（土）グランキューブ大阪

◆開場/17:30　試合開始/16:30　◆入場料/SS席10,000円　A席8,000円　B席6,000円　C席5,000円　D席4,000円　◆チケット発売/一般発売：8月31日（日）　※8.31両国大会でも販売　◆チケット発売所 P'sLAB大阪☎06-6649-8530、チケットぴあ☎06-6363-9999（Pコード：594-040）、ローソンチケット☎06-6369-6633（Lコード：53844）、eプラス、TICKET JEB http://ticketjeb.tv、バディ・スラム☎06-6645-1378、エース☎06-6636-5468、フィットネスショップ難波店☎06-6214-7951、神戸住吉・富万☎078-811-6222、リングソウル☎078-333-6690、パンクラスオフィシャルサイト http://www.pancrase.co.jp/　◆会場アクセス/JR大阪環状線・阪神電鉄福島駅、JR東西線新福島駅、大阪市営地下鉄中央線・千日前線阿波座駅より徒歩10分　◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

SMACK GIRL

SMACK GIRL Third Season-VI
8月6日（水）東京・六本木velfarre

◆開始時間未定　◆入場料/VIP指定席20,000円　SRS席9,500円　RS席7,500円　スタンディング3,500円　※当日はVIP指定席以外は500円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、渋谷TOKYO文庫TOWER 6F、SOD女子格闘技道場☎03-5917-0026、東京イサミ☎03-3352-4083、酒食屋S+F☎0422-23-1141　◆会場アクセス/営団地下鉄日比谷線・都営地下鉄大江戸線六本木駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/スマックガール実行委員会☎03-5545-4766

出場予定選手

K-1 ワールドシリーズ

K-1 WORLD GP 2003 in 福岡
7月13日（日）マリンメッセ福岡

◆開場/13:30　試合開始/15:00
◆入場料/SRS席22,000円　RS席15,000円　S席10,000円　A席6,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ☎092-708-9966（Pコード：594-720）、ローソンチケット☎0570-00-0907（Lコード：84267）、eプラス
◆会場アクセス/天神、博多駅から車で10分
◆チケットに関するお問い合わせ/キョードー西日本☎092-714-0159
◆大会に関するお問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

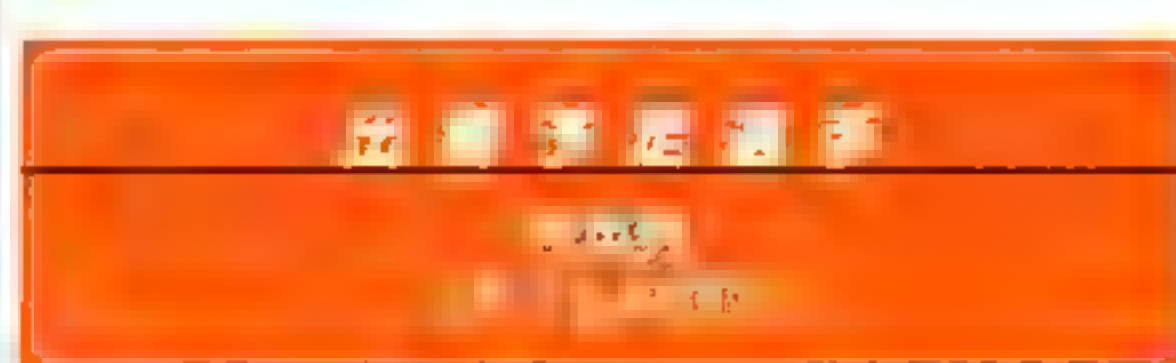
決定対戦カード

『ZST』事務局

THE BATTLE FIELD『ZST4』
9月7日（日）Zepp Tokyo

◆開場/16:30　試合開始/17:30（16:40よりジェネシスバウト開始予定）
◆入場料/VIP席（最前列・1ドリンク付）15,000円　SRS席（2列目）8,000円　S席6,000円　A席4,000円　※当日は全席種千円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ☎0570-029-999（Pコード：594-770）、後楽園ホール、書泉ブックマート、『ZST』オンラインショップhttp://www.zst.jp/
◆会場アクセス/ゆりかもめ青海駅、臨海高速鉄道東京テレポート駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/『ZST』事務局☎03-5321-9595

決定対戦カード

出場予定選手

DEEP

DEEP 11th IMPACT in OSAKA
7月13日（日）グランキューブ大阪

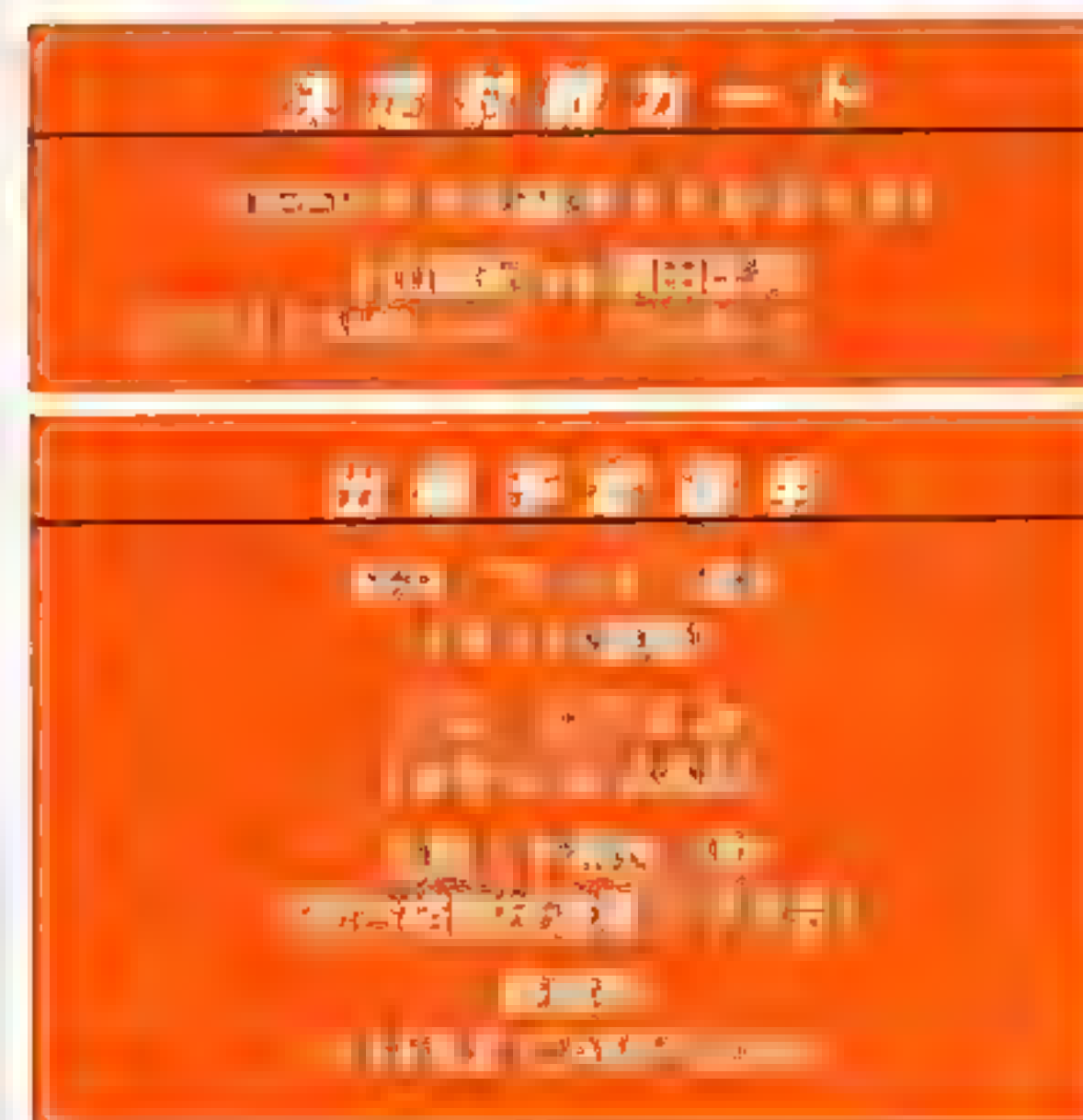
◆開場/14:30　試合開始/16:00　フューチャーファイト開始/15:00
◆入場料/SRS席15,000円　RS席10,000円　スタンドA席7,000円　スタンドB席5,000円　※当日は全席種500円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード：594-750）、ローソンチケット（Lコード：53172）、eプラス、ハイブリッドスポーツプラザ大阪☎06-6649-8530、バディ・スラム☎06-6645-1378、エース☎06-6636-5468、フィットネスショップ難波店☎06-6214-7951、DEEP事務局、DEEPオフィシャルサイトhttp://www.deep2001.com
◆会場アクセス/JR大阪環状線・阪神電鉄福島駅、JR東西線新福島駅、大阪市営地下鉄中央線・千日前線阿波座駅より徒歩10分　◆お問い合わせ/DEEP事務局☎052-339-0303

決定対戦カード

DEEP 12th IMPACT
9月15日（月・祝）　東京・大田区体育館

◆開場/14:00　試合開始/15:00　フューチャーファイト開始/14:30
◆入場料/SRS15,000円　アリーナA席10,000円　アリーナB席8,000円　2階特別席10,000円　2階指定席7,000円　3階指定席5,000円　◆チケット発売/一般発売：7月12日（土）　◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、eプラス、CNプレイガイド、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、デポマート☎03-3515-6507、TOKYO文庫タワー☎03-5784-4900、BATTLE PLACE☎03-3881-7770、格闘技プロショップイサミ、バンクラス☎03-5792-0815、DEEP事務局、DEEPオフィシャルサイトhttp://www.deep2001.com
◆会場アクセス/JR京浜東北線蒲田駅東口より徒歩15分、京浜急行京浜蒲田駅より徒歩10分、梅屋敷駅より徒歩5分　◆お問い合わせ/DEEP事務局☎052-339-0303

決定対戦カード

出場予定選手

修斗

プロフェッショナル修斗公式戦
7月13日（日）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/RS席10,000円　SS席8,000円　S席6,000円　A席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、書泉ブックマート、大盛堂書店、フィットネスショップ水道橋店、後楽園ホール、KEEL CAFE☎03-5725-7338、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、e-ticket：http://www.eticket.net/
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7338

決定対戦カード

プロフェッショナル修斗公式戦
8月10日（日）神奈川・横浜文化体育館

◆開場/14:00　試合開始16:00
◆入場料/SRS席15,000円　RS席10,000円　S席8,000円　パノラマ席8,000円　A席6,000円　B席5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、書泉ブックマート、大盛堂書店、フィットネスショップ水道橋店、後楽園ホール、KEEL CAFE☎03-5725-7338、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、e-ticket：http://www.eticket.net/
◆会場アクセス/JR京浜東北線・根岸線関内駅南口より徒歩3分、市営地下鉄伊勢佐木長者町駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7338

決定対戦カード

プロフェッショナル修斗公式戦
9月5日（金）東京・後楽園ホール

◆詳細未定
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パレストラ☎03-5984-3209

プロフェッショナル修斗公式戦
9月21日（日）愛知・名古屋国際展示場ポートメッセなごや 第2展示館

◆詳細未定
◆会場アクセス/地下鉄名城線名古屋港駅または築地口駅下車よりバス「ポートメッセなごや」行きで終点下車
◆お問い合わせ/ALIVE☎052-744-0802

決定対戦カード

PRIDE

PRIDE GRANDPRIX 2003 開幕戦
8月10日（日）　さいたまスーパーアリーナ

◆開場/14:00　試合開始/16:00　◆入場料/VIP席100,000円（専用入場ゲート・グッズ付）　RRS席28,000円　スタンドS席16,000円　スタンドA席7,000円　桜庭和志応援シート（スタンドS、応援グッズ付）16,000円　※桜庭和志応援シートはDSE、PRIDEオフィシャルサイト、PRIDE携帯端末オフィシャルサイト、高田道場のみで販売
セットチケット（8.10開幕戦＋11.9決勝戦〈東京ドーム〉）：VIP170,000円　RRS55,000円　スタンドS29,000円　スタンドA14,000円
※セットチケットは、一部プレイガイドでは取り扱いしてません
※桜庭和志応援シートのセットチケット販売は行いません　◆チケット発売/一斉発売：7月13日（日）10:00～　◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード：594-700）、ローソンチケット（Lコード：30777）、CNプレイガイド、eプラス、楽天チケットhttp://ticket.rakuten.co.jp/、サンクス、高田道場☎03-5749-5030、グレートアントニオ☎03-3219-9550、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、板橋大山アメリカン、書泉ブックマート、フィットネスショップ格闘技、チケット&トラベルT-1、後楽園ホール、渋谷TOKYO文庫TOWER、BCG☎03-3560-7911、さいたまスーパーアリーナ☎048-600-3037、相鉄ジョイナスプレイガイド、公武堂☎052-241-2511、新日本プロモーションhttp://www.shinnichi-pro.co.jp/、ドリームステージエンターテイメント、PRIDEオフィシャルサイトhttp://www.so-net.ne.jp/pride/、PRIDE携帯端末オフィシャルサイト　◆会場アクセス/JR京浜東北線・宇都宮線・高崎線さいたま新都心駅より徒歩2分。JR埼京線北与野駅より徒歩7分　◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5464-1531

出場予定選手

新日本キックボクシング協会

MAGNUM 2

7月26日（土）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:15
◆入場料/SRS席20,000円　RS席15,000円　S席10,000円　A席7,000円　B席5,000円　立見3,000円（当日のみ）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、伊原道場
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/伊原道場☎03-3461-4258

決定対戦カード

J-NETWORK

duel in mid summer

7月21日（月・祝）東京・六本木velfarre

◆開場/12:30　試合開始（予定）/12:45
◆入場料/RS席10,000円、S席7,000円、A席6,000円、入場券4,000円　※入場券は当日500円増し。それ以外の席種は当日1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、J-NETWORK各ジム
◆会場アクセス/営団地下鉄日比谷線・都営地下鉄大江戸線六本木駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/J-NETWORK☎03-3419-0536

決定対戦カード

Result!

勇者達の挑戦 Part IV
6月22日（日）東京・ディファ有明

第13試合
○建石智成（判定3-0）ジョン×
（尚武会）（市原）

第12試合
○トゥンソンノーイ・シンポンローハー（3R2分14秒、TKO）鈴木敦×
（タイ）（尚武会）

第11試合
△中川タカシ（判定1-0）正木和也△
（トーエル）（藤本）

第10試合
△HIROKAZU（判定1-0）阿佐美義文△
（誠真）（治政館）

第9試合
○昇平（3R2分33秒、KO）高杉茂男×
（宇都宮尾田）（伊原）

第8試合
○兼子忠司（判定3-0）乙幡耕一郎×
（伊原）（尚武会）

第7試合
○金狼正巳（1R1分43秒、KO）阿部道人×
（尚武会）（治政館）

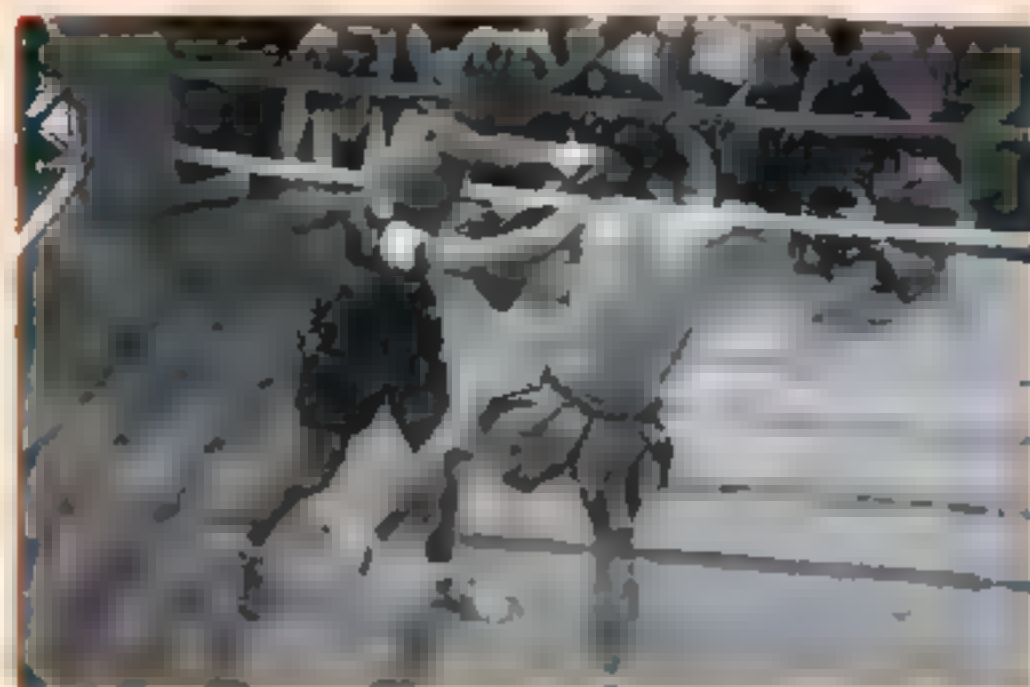
第6試合
○星野豹（判定2-1）石原裕基×
（横須賀太賀）（伊原）

第5試合
○中澤賢（1R0分59秒、TKO）関ナオト×
（治政館）（尾田）

第4試合
○仲西智（判定1-0）アトム崇貴×
（藤本）（治政館）

第3試合
○立山智紀（判定2-0）中西一平×
（トーエル）（藤本）

第2試合
○大川佑介（3R2分55秒、KO）下田舞汝武×
（トーエル）（尚武会）

第1試合
○金子翔英（2R1分29秒、KO）小林達哉×
（尚武会）（宇都宮尾田）

▲フライ級新王者の建石は、韓国の新鋭・ジョンを撃破

リアルディール実行委員会

バトルステージREALDEAL

9月27日（土）Zepp Fukuoka

◆開場/17:00　試合開始/18:30　◆入場料/特別リングサイド7,000円　リングサイド5,000円　1F指定席4,000円　2F指定席4,000円　スタンティング2,800円　※1ドリンクオーダー制、当日券は全席種500円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード：945-480）、ローソンチケット（Lコード：85711）　◆会場アクセス/市営地下鉄唐人町駅より徒歩10分　◆お問い合わせ/リアルディール実行委員会☎092-845-7027　公式ホームページhttp://www.realdeal.jp/

決定対戦カード

GCMコミュニケーション

DEMOLITION 030721

7月21日（月・祝）神奈川・横浜赤レンガ倉庫1号館

◆開場/16:00　試合開始/19:00　◆入場料/S席6,000円　A席5,000円　B席4,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、JebTVオンラインチケット http://ticketjeb.tv/gcm/　◆会場アクセス/JR京浜東北線、根岸線・東急東横線・市営地下鉄桜木町駅より徒歩15分、JR京浜東北線、根岸線・市営地下鉄関内駅より徒歩15分　◆お問い合わせ/GCMコミュニケーション☎03-3538-5801

決定対戦カード

Result!

DEMOLITION 030629
6月29日（日）東京FMホール

第7試合
○中村大介（2R0分38秒、TKO）宮本優太朗×
（U-FILE CAMP.com）（XXX）

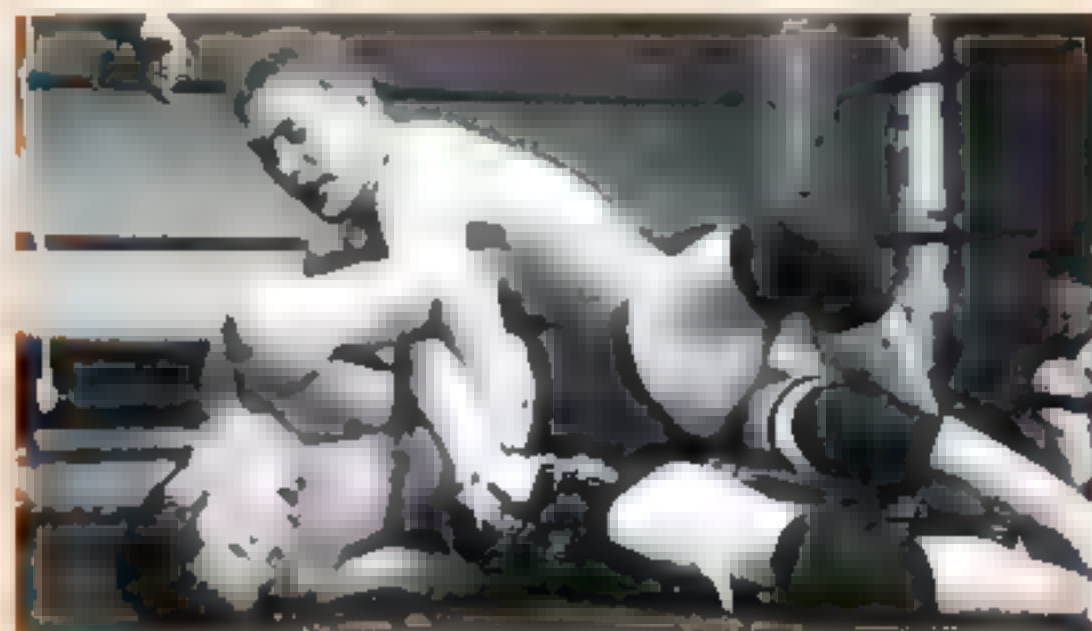
第6試合
○中原太陽（2R4分01秒、アームロック）尾藤広光×
（和術慧舟會GODS）（総合格闘技闘愚羅）

第5試合
○のぶゆき（1R2分15秒、三角絞め）NUKINPO！×
（RJW/G2）（P'sLAB東京）

第4試合
○大沢健治（判定3-0）豊間貴雅×
（A-3）（ストライブル）

第3試合
○花田和弘（1R2分53秒、TKO）鶴巻伸洋×
（XXX）（ティアゲネス）

第2試合
○青山忍（1R4分00秒、チョークスリーパー）川村瑞己×
（和術慧舟會富山支部）（総合格闘技闘愚羅）

第1試合
○芦川祥教（2R2分48秒、TKO）松村威×
（RJW/G2）（Team Roken）

▲中村は、昇り調子の宮本を寝技＆打撃の両方で圧倒。最後は、グラウンド状態からのヒザ蹴りでレフェリーストップ勝ち

▲抜群の身体能力で将来を期待されている中原太陽は、尾藤広光を相手に流れるようなグラウンドテクニックを披露して見事一本勝ち。中原の快進撃はまだまだ止まらない

MA日本キックボクシング連盟

MAキック松山大会 vol.4
7月27日（日）アイテムえひめ

◆開場/15:30　試合開始/16:30
◆入場料/特別リングサイド12,000円　リングサイド5,000円（当日6,000円）　自由席3,500円（当日4,000円）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ネバーギブアップ☎089-921-7132
◆会場アクセス/JR松山駅より車で約15分
◆お問い合わせ/武勇会☎089-921-7909

ムエタイ3階級王者、松山来襲！

セミに出場するルートシラーは、ラジャダムナンの現Sバンタム級王者！　過去にSフライ級、バンタム級を制覇しており、"最強"の名を欲しいままにしている強豪中の強豪と言えよう。迎え撃つアトム山田は、今年3月に2階級上のフェザー級王者・山田健博からダウンを奪って快勝している。急成長のアトムが、地元松山で大金星をゲットできるか!?　それとも最強王者・ルートシラーが強さを見せつけるのか!?

戦闘甲斐士vol.10
8月17日（日）　山梨・小瀬スポーツ公園 武道館

◆開場/11:30　試合開始16:00（12:00よりアマチュアキック開始）
◆入場料/2階自由席2,500円（当日3,000円）
◆チケット発売/7月14日（月）
◆チケット発売所/連盟事務局、出場各ジム
◆会場アクセス/JR中央線甲府駅より車で20分
◆お問い合わせ/MA日本キック連盟事務局☎055-228-2326

EXPLOSION-3
9月14日（日）東京・ディファ有明

◆開場/16:00　第1部試合開始16：30　第2部試合開始18:00
◆入場料/SRS席12,000円　RS席10,000円　S席8,000円　A席7,000円　B席5,000円　C席4,000円
◆チケット発売/7月24日（木）
◆チケット発売所/チケットぴあ、連盟加盟ジム
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車・徒歩3分
◆お問い合わせ/MA日本キック連盟事務局☎055-228-2326

全日本キックボクシング連盟

KICK OUT
7月20日（日）東京・後楽園ホール

◆開場◆開場/17:00　試合開始/18:30（17:30フレッシュマンファイト開始）　◆入場料/RS席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　※当日は全席種1,000円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キックボクシング連盟　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171
http://www.aj-kick.com

新田明臣、負傷欠場により佐藤VS新田戦は延期へ

当初、佐藤嘉洋（名古屋JKファクトリー）と対戦だった新田明臣（S.V.G.）が、練習中の負傷により欠場。医師の診断によると新田の負傷内容は「右足関節陳旧性骨折および右足関節捻挫、全治1カ月」とのこと。これにより、佐藤の試合出場は次回8月17日（日）後楽園ホール大会に延期が決定。なお、新田の復帰時期が未定のため、日時の決定はできないが佐藤VS新田戦はあくまでも"延期"とし、早期実現を目指す方針。新田の一日も早い復帰を願いたい。

IKUSA事務局

FUTURE FIGHTER IKUSA4 ～宴～
8月30日（土）　東京・六本木velfarre

◆開場/13:00　試合開始/14:00（予定）　◆入場料/プラチナVIP席25,000円　ゴールドVIP席15,000円　シルバーVIP席10,000円　SRS席20,000円　スタンディングビュー4,000円　※当日券はスタンディングビューのみ1,000円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード：506-592）、IKUSAオフィシャルWEBサイト☎http://www.ikusa.net　◆会場アクセス/営団地下鉄日比谷線・都営地下鉄大江戸線六本木駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/IKUSA事務局☎03-5213-7331　公式ホームページhttp://www.ikusa.net

アマチュア修斗

第2回東北アマチュア修斗オープントーナメント
8月3日（日）宮城・青葉体育館 柔道場

◆試合開始/14:30
◆会場アクセス/JR仙山線北仙台より徒歩8分。市営地下鉄北仙台より徒歩5分
◆お問い合わせ/日本修斗協会アマチュア普及委員会☎03-5984-3209

日本アマキック連盟事務局

第4回アマ全日本選手権トーナメント
8月17日（日）　山梨・小瀬スポーツ公園 武道館

◆開場/11:30　試合開始/12:00
◆会場アクセス/JR中央線甲府駅より車で20分
◆お問い合わせ/日本アマキック連盟事務局☎055-228-2326

スマックガール実行委員会

SMACKGIRL-F3
7月20日（日）東京・品川GYM（仮称）

◆試合開始/12:00（予定）
◆会場アクセス/JR山手線、京浜東北線品川駅より徒歩10分、京浜急行北品川駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/スマックガール実行委員会（担当：勝井）☎090-1773-5647
※現在、出場選手募集中！

ボディプラント

第8回ボディプラント杯 アマ★スパ
7月27日（日）東京・ボディプラント六本木

◆試合開始/12:00（予定）
◆会場アクセス/都営地下鉄大江戸線、営団地下鉄日比谷線六本木駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/大会実行本部☎03-5772-2791
※現在、出場選手募集中！

新撰組プロモーション

新・格闘技の祭典
7月13日（日）　東京・ディファ有明

◆開場/16:00　試合開始/18:00
◆入場料/VIP席20,000円　SRS席15,000円　RS席10,000円　A席8,000円　B席6,000円　C席5,000円
◆チケット発売 発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ他
◆会場アクセス 新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車・徒歩3分
◆お問い合わせ 新撰組プロモーション☎0424-21-2711

極真会館

第8回オープントーナメント全世界空手道選手権大会
11月1、2、3日（土、日、月・祝）東京体育館

◆開場/10:00
◆入場料/SRS席（3日間通し券、パンフレット・記念品付き）50,000円　SS席（3日間通し券、35,000円）　S席13,000円（当日15,000円）　A席8,000円（当日10,000円）　B席4,000円（当日5,000円）　※SRS席とSS席は、前売りのみの販売
◆チケット発売/一般発売：7月14日（月）
◆チケット発売所/極真会館総本部、全国各支部、一撃オフィシャルショップ☎03-5785-1608、各有名プレイガイド
◆お問い合わせ/極真会館総本部☎03-5992-9200

正道会館

第5回ウェイト制オープントーナメント 全日本空手道選手権大会2003
9月7日（日）大阪府立体育会館

◆開場/9:00　試合開始/10:00
◆入場料/2,500円（全席自由）
◆会場アクセス/JR・近鉄・南海難波駅、地下鉄なんば駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/正道会館総本部事務局☎06-6357-1654

空手道禅道会

バーリトゥード2003オープントーナメント リアルファイティング空手道選手権大会
10月5日（日）長野・ビッグハット

◆試合開始/未定
◆入場料/1,500円（当日1,800円）　※中学生以下無料
◆会場アクセス/JR長野駅よりバスで「ビッグハット前」下車、徒歩5分
◆お問い合わせ/日本武道空手道連盟　長野事務所☎026-293-6944

世界大会日本代表決定！

6月7、8日に行われた全日本ウェイト制大会の結果、各階級の上位3選手が代表権を獲得。残り4名の推薦枠と補欠8名も決定し、全34名の日本代表選手が発表された。中でも注目は、推薦枠で選ばれた子安慎悟（正道会館）。他流派では初となる世界大会出場にかかる期待は大きい。"カラテ母国ニッポン"の選ばれし34名の男達が、王座奪回を目指す！

【日本代表選手】
足立慎史、池田雅人、池田祥規、
市村直樹、伊藤慎、井野真孝、
入澤群、小野篤史、門井敦嗣、
金森俊宏、木立裕之、木村靖彦、
木山仁、洪太星、子安慎悟、
近藤博和、佐藤誉仁、塩島修、
住谷統、高尾正紀、田ケ原正文、
田中健太郎、徳田忠邦、野加久嗣、
日比野文二、福井裕樹、福田高広、
御子柴直司

～リザーブ選手～
1.大渡博之 2.高久昌義 3.森村謙信
4.渡邊秀則 5.佐藤匠　6.小暮優志
（※番号は優先順位）

▲ウェイト制では不振に終わった子安だが、世界大会で挽回を期す

J-DO

J-DO PRO stage one
8月24日（日）神戸・ハーバーランド ハーバーランドサーカス5F

◆開場/15:00　試合開始/16:00
◆入場料/SRS席15,000円　RS席10,000円　スタンディング2,500円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、J-DO本部道場
◆会場アクセス/JR神戸駅より徒歩2分、地下鉄海岸線ハーバーランド駅より徒歩2分
◆お問い合わせ/J-DO本部道場☎078-367-3338

主要チケット発売所一覧

チケットぴあ
☎03-5237-9999
ローソンチケット
☎03-3569-9900
CNプレイガイド
☎03-5802-9999
オデッセー
☎03-3408-0331
渋谷東急文化チケットセンター
☎03-3406-1513
レッスル渋谷店
☎03-3464-0078
レッスル池袋店
☎03-3989-0056

K－1事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-18-22S＆T神宮前ビル3F
☎03-3796-2977
修斗
※各興行のプロモーターに問い合わせ

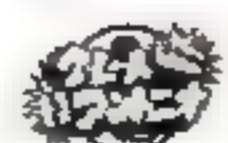
ワールドパンクラスクリエイト
〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25 2F
☎03-5792-0815

プロ団体連絡リスト

K－1事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-18-22S＆T神宮前ビル3F
☎03-3796-2977
修斗
※各興行のプロモーターに問い合わせ

ワールドパンクラスクリエイト
〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25 2F
☎03-5792-0815
高田道場
〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6ワールドパレス武蔵小山1F＆B1
☎03-5749-5030
UFO
〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5OK白金台ビル7F
☎03-5447-2121
ドリームステージエンターテインメント
〒107-0061 東京都港区北青山3-12-9花茂ビル3F
☎03-5464-1531

S.W.A 掣圏道・ワールド・アソシエーション
〒150-0021 東京都昭島市大神町1-2-22
☎042-544-6979
マーシャルアーツ日本キックボクシング連盟
〒400-0046 山梨県甲府市下石田2-19-17
☎055-228-2326
全日本キックボクシング連盟
〒169-0074 東京都新宿区北新宿1-6-21
☎03-3365-1171
日本キックボクシング連盟
〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-2-7江戸屋ビル4F
☎03-3691-4536
新日本キックボクシング協会
〒150-0034 東京都渋谷区代官山町7-8
☎03-3780-1350
ニュージャパンキックボクシング連盟
〒260-0016　千葉県千葉市中央区栄町39-3　トーワビル1F
☎043-202-1161

J－NETWORK
〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-14-12三元ビル5F
☎03-3419-0536
K－U(キック・ユニオン)
〒195-0834 東京都八王子市東浅川町8-1
☎0426-66-9541
シュートボクシング協会
〒111-0033 東京都台東区花川戸2-2-8ワコー花川戸ハイツ1・2F
☎03-3843-1212
極真会館総本部道場（松井派）
〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-38-1
☎03-5992-9200

バックナンバー インフォメーション

〈5・8 臨時増刊号 92号〉

●完全速報/3・30 K-1 WORLD GP in さいたま ミルコ・クロコップvsボブ・サップ、セフォーvsペレ・リード、ホーストvsジェファーソン・シウバ、アーツvsレコ、ボンヤスキーvsブレギーほか全試合レポート
●直前情報/4・6 K-1 BEAST山形大会 ジャパン勢に直撃インタビュー
●SRS・DXの注目！/高阪剛インタビュー
●勝者進化論・PRIDE馬鹿変/ヒョードル、ニーノ、ランペイジ、小路晃
●大会レポート/3・18 修斗後楽園大会、3・23 コンバットレスリング、3・30 アブダビコンバット日本予選、3・23 新日本キック後楽園大会
●seriesジョシカク/羽柴まゆみ、3・29 ARKADIA白馬大会& GFC-02

〈5・8 93号〉

●特集/新生PRIDE誕生　継続とはリセットすることなり、髙田延彦インタビュー、ヴァンダレイ・シウバ×ターザン山本対談
●総力取材/5・2 新日本プロレスＶＴ戦 開催の波紋　金沢"GK"克彦×ターザン山本対談、中西学、謙吾インタビュー
●SRS・DXの注目！/K-1 WORLD GPOラスベガス大会直前情報、ミルコ・クロコップインタビュー、5・5 DEEP後楽園大会最終情報、大道塾・東孝塾長インタビュー、小林聡インタビュー
●大会詳報/4・6 K-1 BEAST 山形大会 武蔵vsゲーリー・グッドリッジほか
●seriesジョシカク/吉住絹代、4・2 SMACK GIRL、4・6 女子レスリング

〈5・29 94号〉

●特集/5・2新日本プロレス 東京ドーム大会『ULTIMATE CRASH』徹底分析！　中邑真輔& LYOTOインタビュー
●大会詳報/K-1 WORLD GP 2003 in ラスベガス　角田信朗インタビュー、USA予選トーナメント、浅草キッドのK-1裏ベガス トーク
●GW大会特集/5・5 DEEP 後楽園大会、4・25 UFC42、4・29 全日本柔道選手権、5・4 修斗後楽園大会、
●SRS・DXの注目/スペシャルインタビュー☆長谷川京子　シリーズ禅☆横井宏考、尾崎社長インタビュー、5・23 全日本キック最終情報
●seriesジョシカク/エリカ・モントーヤ、5・7 SMACK GIRL ほか

〈6・12 95号〉

●最新情報/6・8 PRIDE.26見どころ徹底ガイド/高瀬大樹インタビュー
●特集/決定版◎初夏のK-1情報/5・30 K-1スイス大会、6・14 K-1パリ大会、6・29 K-1ジャパンさいたま大会、7・5 K-1 MAXさいたま大会
●徹底検証/大変革！？　5・2以降の新日本プロレス　金沢"GK"克彦×ターザン山本、上井文彦×ターザン山本 対談
●SRS・DXの注目/DEEP最新情報◎ターザン山本&朝日昇、変人同盟結成、藤沼弘秀インタビュー/美濃輪育久インタビュー/極真ウェイト制プレビュー
●大会詳報/5・18 パンクラス横浜大会。5・23 全日本キック ライト級トーナメント
●seriesジョシカク/坂本奈緒子、5・22 女子格闘技『Gaｉs』ほか

〈6・26 96号〉

●完全速報/6・8 PRIDE.26横アリ大会/ヒョードルvs藤田和之、ミルコvsヒーリング、高瀬大樹vsアンデウソン・シウバ、浜中和宏vsニーノ・シェンブリ ほか
●最新情報/6・29『K-1 BEAST Ⅱ』さいたま大会/中西学インタビュー、TOA×ターザン山本 異文化交流対談
●特集/7・5 K-1 WORLD MAX さいたま大会 最強、最高のメンバーが集結！
●大会レポート/5・31 K-1 WORLD GP スイス大会、6・1 SB後楽園ホール大会
●海外大会速報/UFC43 クートゥアーvsリデル、キモvsアボットほか
●seriesジョシカク/茂木康子、6・4 SMACK GiRL
●SRS・DXの注目/数見肇インタビュー、DEEP情報◎TAｉSHOインタビュー

〈7・10 97号〉

●最新情報/8・10 PRIDEミドル級トーナメント、真夏の話題、強奪！　吉田秀彦、ミドル級ＧＰ参戦！
●直前情報/6・29 K-1 BEAST「さいたま大会/金沢克彦週刊ゴング編集長インタビュー、バタービーン、モンターニャ・シウバって何者？
●最新情報/7・13 K-1 WORLD GP福岡大会/谷川貞治イベントプロデューサーに聞け！
●緊急特集/ターザン山本のパリ定食旅行！/6・14 K-1パリ大会レポート
●最終情報/7・5 K-1 WORLD MAX/魔裟斗、武田の強さを検証！　編集部予想
●SRSDXの注目！/五味隆典インタビュー、DEEP大阪大会最新情報
●seriesジョシカク/１５（いちご）、6・8 女子サンボ

バックナンバーに関するお問い合わせは……
扶桑社 販売企画部　☎03-5403-8859まで
※編集部では受け付けておりませんのでご注意ください。

※バックナンバーはSRS・DX直営ショップ「グレート・アントニオ」でも扱っています。ただし、完売した号もありますので、予めご確認ください。　グレート・アントニオ☎03-3219-9550

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

超大反響の『プライド』ミドル級GP 噂の田村参戦はいったいどうなる!?

博士　いや〜しかし『プライド』のミドルの大会がえらいことになってきた！　とにかく驚きの連続だよ！

玉袋　本当に驚いたなぁスティーブ・コリノの逮捕！

博士　誰がZERO−ONEの不良外人の話してるんだよ！　トーナメントに意外な人間が入ったろ！

玉袋　サイモン猪木の突然の入閣ですね。

博士　新日本プロレスの人事の話じゃないよ！

玉袋　彼はサイモンというかパチモンって噂もありますが。

博士　余計なお世話だよ！　前号では柔道の吉田がまず参戦したろ。

玉袋　衝撃の吉田参戦の陰で牛を連れた吉田君のお父さんが相当苦労したんでしょうね。

博士　懐かしの吉田君のお父さんは、吉田秀彦の親父じゃないよ！　吉田参戦も現実化して、そして、日本人、1枠が最後の最後まで用意された。

玉袋　そうなんですよ。セクハラ発言で辞任しました、赤いパンツの頑固者もいますから。

博士　それは、赤でも共産党の筆坂議員だろ。

玉袋　しかし、最後の1枠がいったい誰になるのか、想像もつきません。

博士　最初っから、赤いパンツの頑固者って言ってるだろ。しかし、田村参戦は、実現するのか、今の段階では未定だ！

玉袋　統括本部長は「田村さん、真剣勝負してください」って口説いたそうですよ。

博士　そんな口説き方しないよ！

玉袋　でも、田村潔司が最後に登場して、統括本部長もようやく最後の「おまえは男だ！」って言ってほしいですよ。

博士　とにかく、実現してほしいよ。

玉袋　でも頑固者の田村のことです、試合当日になっても、頑固っぷりを発揮して控室から出てこないで司会のタモリさんをハラハラさせそうですよ！

博士　Mステをキャンセルしたロシアの小娘じゃないんだよ！

玉袋　ロシアだけにヒョードルが真似するんじゃないかと心配ですよ！

博士　心配無用だよ！　トーナメントは田村参戦でまたまた面白くなっちゃって、どうなるんだよ。

玉袋　突然の株価急騰も『プライド』の効果ですよ！

博士　それとは別だよ！

玉袋　でもこれで、田村潔司VS桜庭和志の夢のカードも実現する可能性あるんですもんね。

博士　本当に夢のカードだよ！

玉袋　それにリビアのカダフィー大佐の三男のアル・サーディー選手まで参戦決定ですもんね。

博士　それはサッカーのペルージャに入ったんだよ！　そして意外なところではUFCからも刺客がきた！

玉袋　キース・ハックニー！

博士　いつの時代のUFCだよ。チャック・リデルだよ。

玉袋　ついに『プライド』に上がりましたかチャック・ウィルソン。

博士　リデルだよ！　たしかに出てきたら面白そうだけど、出てくるはずないだろ！

玉袋　チャック・リデルの対戦相手は……。

博士　この時点で発表されてないのに、おまえ知ってるのか？

玉袋　相手は藤原組長！

博士　だからそれがチャック・ウィルソンだろ！　往年のバラエティー芸能人相撲の名カードだろ。

玉袋　これで『プライド』VS UFCの世界大戦が勃発しますよ。

博士　ますます大きなうねりになってきた『プライド』だな。そして、思い切ってK−1に出場した中西は無惨にもKO負け。

玉袋　相手はマオリのテイラ・トゥリですよね。

博士　そりゃUFCでゴルドーに目玉蹴っ飛ばされた相撲くずれだろ！　トーア（TOA）だよ！

玉袋　彼はビアガーデンの女相撲出身ですよね。

博士　違うよ！　アマはアマでも世界アマチュア相撲の準優勝者だよ！

玉袋　TOAのセコンドのマオリ族の踊りに新日本プロレスのセコンドも電撃ネットワークの心配の踊りで対抗してました。

博士　踊ってないよ！　しかし、TOA VS 中西で、雁首揃えてリングサイドで晒しものにされていた新日本プロレス勢がなんとも情けなかった。

玉袋　あそこに顔出さなかった猪木様はやはり凄いですよ！

博士　あそこにいたらいい笑い者になっちゃうもんな。絶妙のタイミングで顔を出さない猪木様の直感に脱帽！

玉袋　負けた中西はもう「野人」じゃなくて、「廃人」になったって言ってる人もいますよ。

博士　たしかにK−1のリングに上がったら「ただの人」だった、野人だけに野に下ったっていう風評も。

玉袋　これを悔しさに彼は山に籠って、打・蹴・極の総合格闘技を編み出すんですよ！

博士　そりゃマーク・コステロに負けた佐山さんだよ！

玉袋　あと武蔵と闘った巨人は凄かったですよ。2メートル25センチの大巨人。

博士　ルール無視の暴走して問題になったモンターニャ・シウバだ。

玉袋　あれだけの暴走するくらいなら、彼も早稲田の強姦サークルのスーパーフリーのメンバーですかね？

博士　メンバーじゃないよ！　それにあんなにデカイのにレイプされたら壊れちゃうだろ！

玉袋　でも巨人シウバの中に誰が入ってるんですかね？

博士　かぶりもんじゃないよ！

玉袋　シウバっていったい何人兄弟なんでしょうかね？　エリック兄弟よりも多いんじゃないですか？

博士　べつに兄弟ってわけじゃないよ！　シウバって名前がブラジルには多いんだよ！　アメリカボクシング界の名物男も参戦したな。

玉袋　バター・ケーンですね。

博士　バタービーンだよ！　それ単なるバター犬を英語訛りにしただけだろ！

玉袋　彼に付いたキャッチフレーズが前座の力道山でしたっけ？

博士　前座の世界チャンピオンだよ！

玉袋　でも、キングコング・バンディもずいぶん芸風変わりましたね。

博士　あれはバンディと同一人物じゃないよ！

玉袋　そして注目大会の猪木様のアマゾン大会ですよ！

博士　それもかなり危ういって噂だろ！

玉袋　とにかく人生とは闘いの連続ですね。

博士　まったくもってそのとおり！　リングだけではないぞ、芸能界も闘いの連続だ。

玉袋　我々のライフワークである新刊『お笑い男の星座』3年ぶりの新作がついに発売！

博士　「Dynamite!」やマット界の舞台裏をドキュメントしたこの本は、『プライド』ミドル級大会の会場でも販売する予定だ！

玉袋　特別付録として性病チェックのシートをつけます。

博士　飯島愛の本じゃないんだよ！　さまぁ〜ずの『哀しいダジャレ』の百万倍熱い男の闘いを描いてるから。

玉袋　『プライド』の会場でこの本を持って俺たちのところに来た人は浅草キッドから闘魂注入のビンタ一発プレゼント！

博士　欲しくねぇよ！　■

キッド渾身の最新作発売！
『お笑い男の星座2』

お笑い男の星座2
浅草キッド

▲文藝春秋より7月15日発売開始！

K-1 BEAST II 2003
6・29★さいたまスーパーアリーナ

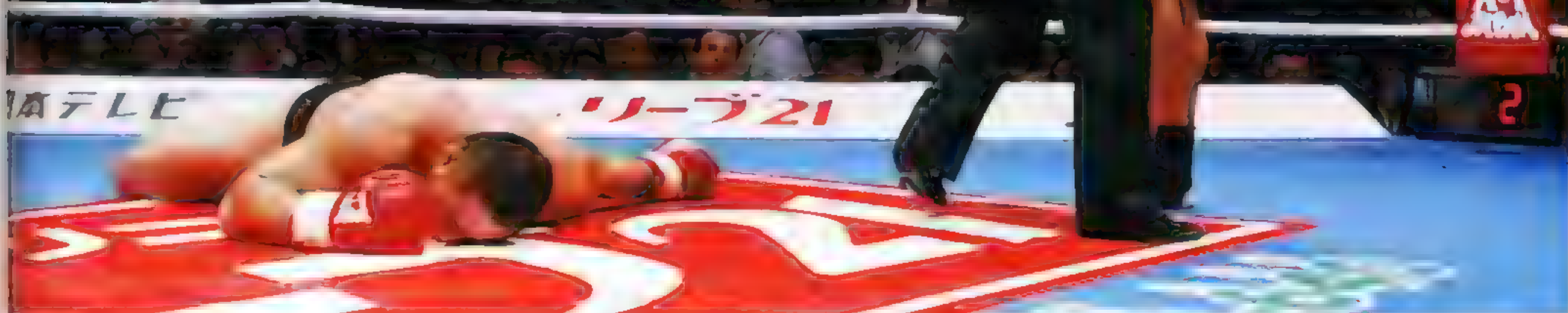
中西的"負の過剰性"THE END!

最初のダウンを奪われた中西はコーナーに腰から倒れ込んだ

撮影◎長尾迪
中島ミノル(望遠)
©K-1

“ワイルド”中西は時代の捨て石だったのか…

2度目のダウンを喫した中西はここでKO負け。こんな無惨な姿になってしまうとは……

▶中西の1度目のダウンはTOAのラリアット気味の左フックだった

◀中西の2度目のダウンはこのTOAの大振りの右フック。強烈な一撃に中西も前にばったりと倒れ込んでしまった

負けると分かっていた。

だからショックはない。

もう、いいという感じだ。

考えても仕方ないだろう。

それが中西学への私の感想である。TOAにKO負けした時、すぐ頭に浮かんできたのは、この試合について『週刊プロレス』と『週刊ゴング』は果たしてどう書くのだろうかという余計な考えである。たぶん、中西のことは弁護するんだろうなあ。

ここではっきり言えることは一つしかない。それはこれで中西の挑戦は、終わったことである。

ラストチャレンジ!

あの負け方にはこの言葉が最もふさわしい。とにかく中西は答えというか、結果を出せなかったのだ。それは決定的なことである。

その点については年齢的にトシであることをあげたい。36歳になって初めて立ち技の打撃格闘技をやるのは、明らかに無茶だ。

そうでなくても中西は器用なレスラーではない。K―1に出場するのは二重苦、三重苦と同じ。試合をやれと言うほうが無謀である。

そんなことは全て分かっていて中西は出て行ったのだ。

時代の捨て石?

それとも晒し者

あるいは生け贄

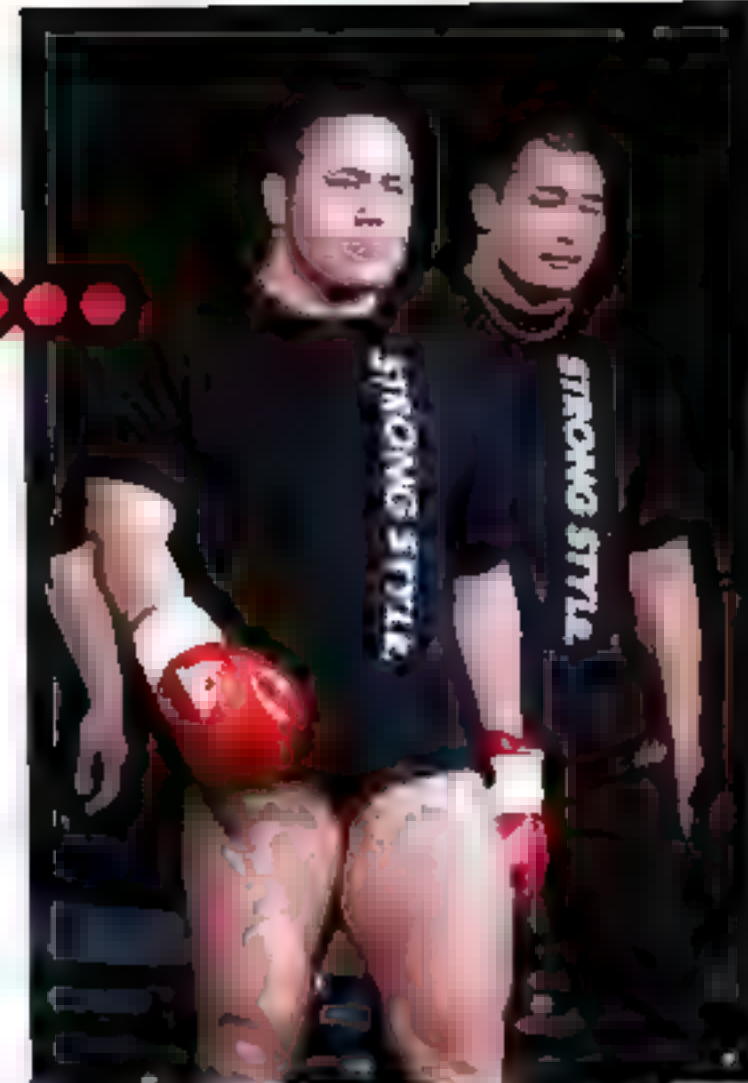
それにさえならないのが中西である。君がK―1のリングで負けても、新日本プロレスにとって大きなダメージはない。「ああ、また負けたのか?」という印象が強いからだ。もはや中西の敗北によって、プロレスラーが弱いということさえも誰も言わない。

我々はそこまですでに不感症に

K-1 JAPANシリーズ
K-1 BEAST II 2003
6・29★さいたまスーパーアリーナ

エンセンの"折れない心"で立ち向かった中西だったが……

中西のパンチもヒットしていたし、ローキックもうまい具合に決まっていたのだが……

▲TOAはマオリ族のダンサーズに先導されての入場。コールされてからも、マオリ族のダンスは続いた

▲中西はセコンドにエンセン井上、ジョシュ・バーネット、そして新日本の矢野通を引き連れて入場。表情が凄く厳しくて良かった

中西が敗れたあと、なんとリング上に魔界倶楽部の星[illegible]が登場!「ビッシビシ行くぞ!」と決めゼリフを吐き、柴田勝頼を呼び込んだ

▶リングサイドには蝶野、永田、中邑、成瀬といった新日本のレスラーたちが中西の闘いを見守っていた。大会後、蝶野は柴田のK－1挑戦を認め、中西には「真面目にいきすぎた」とコメントした

柴田がK－1にケンカを売った! 今こそ這い上がれ、新日本プロレス!

▲柴田はマイクを握り、「K－1のKはケンカのKだろうが!」とジャパン勢を挑発! 大会後に天田との対戦を希望した

▶柴田のマイクアピールのあとはTOAがマイクを握り、今度はサップを挑発! リング上はサップとTOAがまたもや大乱闘を巻き起こした。サップVSTOA、9・21横浜大会で実現か?

■第9試合（3分3R）
○ TOA ✕ 中西学 ●
〈ニュージーランド/ザ・トア・シェッド・オポティキ〉〈日本/新日本プロレス〉
（1R1分38秒、KO勝ち）
※2ノックダウン。中西はTOAの左フックによりダウン1、右フックによりダウン1

After the fight

TOAのコメント

「横浜でサップとやれるかは分からないが、いつかは闘いたい選手だ。ナカニシはいいプロレスラーと聞いていた。K-1よりもプロレスをやっていたほうがいいんじゃないか？　[illegible]になかった。パンチに自信があったので、リング[illegible]てると思っていたよ。ナカニシは自分のパンチをよけることができなかった」

なっているのだ。その負けた中西を表紙にしなければならないプロレス専門誌は、不幸である。

それでプロレスが盛り上がるはずがないではないか？　プロレスファンにとってもそんなことばかり見せられてきたら、たまったものではない。中西のK—1挑戦による敗北は、さらにまた我々を不感症にさせていった。

期待もあったのだ。

もしかしてという気持ちが……。

淡い淡い希望が……。

ひょっとして勝ったりしたらどんなに嬉しかったことか。そういう夢は捨てたことがないのだ。

しかし……

やっぱり……

またか……

何度となく繰り返されたレスラーたちの屍（しかばね）の山。それでも中西は彼が持っているキャラクターで〝負の過剰性〟という名の賭けを見せてくれた。

そこが私にとって今回、唯一の救いでもあった。負の過剰性はプロレスのエッセンスの一つでもあった。敗北とか敗者が特別な意味と輝きを持って、勝者を食ってしまうこともあるという世界。

残念ながらTOAと闘った中西にはそれがなかった。出せなかった。出なかった。

中西は低いレベルでの勝負論でも敗れたが、プロレスラーとしてもなんらそこに過剰性を表現できなかったことで、二重のミスをしたと言っておこう。

全てはTHE　ENDだ。中西に関しては何かが終わった。もう少しなんとかなったはずなのに、もう手遅れだ。　（ターザン山本）

暴走にも一流から五流まである！

大巨人シウバ、意味不明の悪質でズサンな暴走！

第2R中盤、シウバは突如武蔵を浴びせ倒し、マウントパンチを入れるという暴挙に出た。武蔵は後頭部を打って失神してしまう

世の中にはすべからく一流というものが絶対的にある。

それは〝暴走〟に関しても同様で、一流の暴走というのは小川直也が橋本戦で行ったものを言い、確固たる信念と、明確な標的と、ナマの怒りがそこにあり、観客にもしっかり届くものなのである。

また、サップが中迫戦で見せた暴走は決して一流と言えるシロモノではなかったが、少なくともK―1のリングでは初物で、流れもあったから肯定することはできた。

ところがだ。今回のシウバのキレ方は突然過ぎてまったく意味が分からねぇ。しかも、失神してる武蔵を容赦なく殴るのは危険にもほどがあり、「K―1は殺し合いじゃない！」とバックステージにいた藤波社長に止めてほしかったりしたわけだ。つまり、この暴走はあまりにレベルが低すぎたから腹が立ったわけである、あの場では。

そう。あの場ではそうだったのだが、テレビ中継を見たら、日テレのアナウンサーのはしゃぎっぷりが不愉快だったのは別として、ダレた部分をパンパン切っていったのでパッケージとしてテンポよく楽しめたのだ。実際、SRSのネットの人気投票では第1位がシウバなのだから評価しないわけにはいかないだろう。

となれば、シウバ復活待望を静かにやっておきたいなという気にもなってくる。だって、もったいないからね、あれだけの巨体を一回で終わらせたら。実寸で2メートル25センチあり、体重も200キロはなかったものの185キロ。それでいて筋肉質のシウバはやっぱり魅力的だろう。技術も荒削り

K-1 JAPANシリーズ
K-1 BEAST II 2003
6・29★さいたまスーパーアリーナ

怒れ武蔵、お前は人が良すぎるぞ！

武蔵はこういう目に何度もあっているような気がする。それでもセコンドが止めれば素直にリングを降りてしまうところが歯がゆい。だって、それじゃあやられ損だろう？

After the fight

武蔵のコメント

「ただムカツクだけですね。腹立たしいです。謝るならやるなと。K−1というのが何なのか分らなくなりましたね。再戦したいとかそういう次元じゃないです。それについては語りたくないです」

モンターニャのコメント

「（マウントパンチは）ストリートファイトに慣れているんでああなってしまった。ムサン選手には心から謝りたい。お客さんにも申し訳ないと思っている。（K−1王者を目指すのか？）チャンピオンになりたいんじゃない、俺はチャンピオンになる」

▲ダイナミックな前蹴りを放つシウバ。デカいだけじゃなく技術も持っているのに……

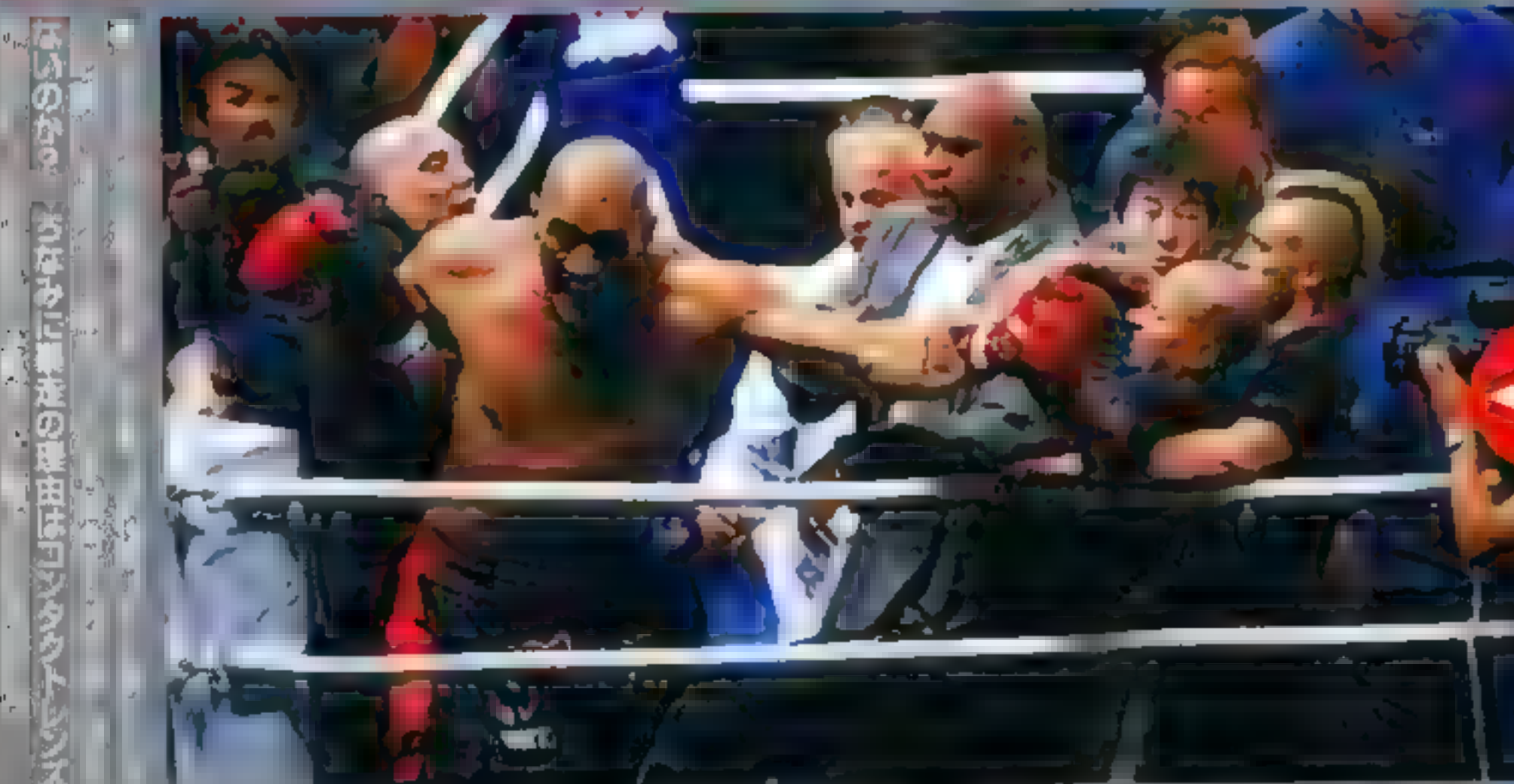
▼ローキックにしてもパンチにしても武蔵の攻撃はシウバに確実にヒットしていた。こんな形で試合をうやむやにしてほしくはなかった

▲ヒザ蹴りだって楽々顔に届いてしまう。ちゃんと試合しても勝っていた可能性は十分にあったはずだ

第6試合（3分3R）
○武蔵 × M・シウバ●
〈日本/正道会館〉〈ブラジル/シュート・マスター・ロニー〉
（2R1分50秒 失格）
※モンターニャは倒れた武蔵を攻撃し、レフェリーの制止も無視したために失格

パンのリングではもっと明るいものが

K−1ファンよ、こんな事態を許すのか？

ないのか？ （ちなみに騒動の理由はコンタクトレンズ

な感じもあるが、ワンツーは打てるし、前蹴りも豪快だ。そしてなにより武蔵が普通にストレートを打つと金的に当たるというのがコントみたいで楽しいったらありゃしない。ズバリ言って一回だけじゃ物足りないというわけだ。

一方、武蔵についてだが、あの場でもっと怒ったほうがいい。あんな目にあわされてなぜセコンドに抑えられただけで鉾を納めてしまうのか？ 反則とはいえ、投げられて馬乗りでパンチを浴びてしまったというのはファイターとして赤っ恥以外の何物でもない。

武蔵が人がイイのは分かる。昨年10月のK—1 MAXではKOされた小比類巻を本気で心配し、魔裟斗VSクラウス戦では魔裟斗を真剣になって応援していた武蔵。木訥で素敵な若者だと心の底から思う。だが、リングに上がったらそこは捨てようよ。殴られ損だと、本当に思うから。

まあ、怒る気にもなれないというのも分かる。当日の観客の熱のなさはそのままリング内にも反映されてしまったことだろう。だが、その熱のなさもリング内が熱くないからだから仕方ない。どうすりゃいいんだK—1ジャパン！

ともかく一つ言えることは純K—1ジャパンは残念だが面白くない。ジャパンGP出場者決定戦だった第1試合から第4試合で光っていたのが吉田道場の中村和裕であったことを考えればそれは明白。

ならばこのK—1ビーストという名の実験を積極的に受け入れ、気に入らなければ思い切り怒るほうがいい。そのほうが絶対に気持ちいいはずなのである。 （ブチ）

『ブタの一刺し』が決まったああ バタービーンの強さはホンモノだ

この男、ただ立っているだけで面白い。しかも強い。K－1の新たな魅惑のキャラだ

この顔、この体、そしてこのパンチ K－1に新スター・キャラ誕生！

▲この反射神経を見よ。藤本のハイを軽くかわす。デブでもバタービーンの運動能力は高いのだ

▲「いずれはサップとやりたいね」。筋肉対脂肪。この巨漢対決は楽しみだ

猛毒インゲン豆の効能絶大 藤本は体がシビれてもう立てない

▲パタパタとパンチを振り出された直後、藤本はばったりと倒れ込んだ

▲パンチのダメージで痺れが走ったのか、藤本は苦悶の表情を浮かべたまま再び戦闘に応じることができなかった

After the fight

バタービーンのコメント 勝

「今日はボクシング・テクニックを見せるヒマもなかった[illegible]。左フックは手応えがあったよ。でも、[illegible]ったよ。あれで立ってきた[illegible]オレの右パンチを食うことに[illegible]ていたから[illegible]。これから[illegible]が来る前に殴り倒す。あと2回か3回試してみて、[illegible]にはボブ・サップと闘いたい」

藤本のコメント 負

「右目の上をかすめ[illegible]ようなパンチですね。むち打ち症みたいなものなのかな。左手がしびれたような感じで腕が上から[illegible]て。やっぱりパンチがあるんですね。もう少し闘いたかったけど、残念です。[illegible]とってミドル[illegible]ったんですが、どうも効かない気がして。ハイキックにいって足数が少なくなったのが失敗です」

第8試合（3分3R）
○バタービーン × 藤本祐介●
〈アメリカ/チーム・バタービーン〉〈日本/モンスターファクトリー〉
（1R1分02秒、KO勝ち）
※左フック

ボクシング史上、最強のアトラクション・ファイターは、K－1でもやっぱり無敵のキャラクターだった。165キロの体重はそっくりそのまま脂肪。で、弱かったら、ただのお笑いぐさだが、これがとんでもなく強いときている。ハデハデのデカパンと白い巨体は、一瞬のうちに対戦者に襲いかかり、丸太ん棒のような左右の強打でなぎ倒す。そんなバタービーンに誰がつけたか、こんなキャッチコピー。『ブタのように舞い、ブタのように刺す』。良くできたコピーだが、少しばかり変えなきゃならない。『ブタのように舞い』は同じでも、『猪のように刺す』である。

迎え撃つ藤本は、最初から及び腰だ。距離をめいっぱい取って、左ハイを一発二発と飛ばすのだが、バタービーンはスルリスルリと体を翻してかわす。そして、勝負は一気に決めた。飛び込みざま、パタパタとパンチ連打が決まると、藤本はバッタリと倒れ込む。

立ち上がった藤本だが、なぜか左手を押さえてロープ伝いに崩れ落ちる。そうなのだ。バタービーン、つまりインゲン豆のうち、中南米を原産にする一部には青酸系の猛毒を持つものがある。米国原産のバタービーン、エリック・エッシュの拳にも、この猛毒が仕込まれていたらしい。藤本は毒が回ってもう立てないのだ。

プロボクシングで65勝中50KOを記録しただけのことはある。いや、それ以上にバタービーンの存在そのものが面白い。K－1はうまいこと、新たな宝の鉱脈を見つけたのかもしれない。（宮崎）

K-1 BEAST II 2003

6・29★さいたまスーパーアリーナ

カズの“柔道魂”に大声援！ 真っ向勝負で撃沈!!

痛くないわけがない。それでも根性で前に出たカズ。負けても天晴れだ！

▶カズを苦しめた堀のミドルキック。何発もまともに入っていたが、カズは下がることなく必死に前に出てパンチを繰り出した

▼名前をコールされ丁寧に礼をしたカズ。実に礼儀正しい。セコンドには、この日柔道教室開催のためカズの試合に間に合わなかった吉田秀彦に代わり、練習仲間の高阪剛がついた

▲1Rにはパンチをヒットさせて、追いかけ回すシーンも見せたカズ。カズの大健闘に会場からは大声援が飛んだ

◀当然の結果とはいえ、カズの気魄溢れる攻めに予想外の苦戦を強いられた堀。ハイキックでのKO勝利に安堵の表情を見せた

▲カズには「見えなかった」ハイキック。ミドルを防御しようとガードを下げたところにドンピシャ。こんなのもらったら立てるわけがない

■第3試合（3分3R）

○堀啓 × 中村和裕●

〈日本/チーム・ドラゴン〉〈日本/吉田道場〉

（2R1分58秒、KO勝ち）

※左ハイキック

After the fight

堀のコメント（勝）

「（中村の）パンチが強かったので、ガードをしっかりしないといけないなと。最初、パンチを狙って相手の距離になっちゃったんですが、インターバルの時に「キックで行け」と言われて、（作戦は？）左ミドルで相手の腕を潰して、顔面に入れるという感じでした。ジャパンGPでは武蔵選手を倒して、ワールドGPに出たいです」

中村のコメント（負）

「作戦うんぬんより気持ちで勝負しました。試合の途中まではいけるかなと思ったんですけど……。（左ハイは？）記憶が飛んじゃいましたね。死角からきました。今回はいい試合というより、勝ちたかったんで悔しいです。パンチが大振りだったんで、もう少しコンパクトにいけば良かったかなと。またチャンスがあればK－1にも出たいです」

当然と言えば、当然の結果だ。K－1が本職の、しかも若手最有力と高い評価を受けるジャパンのホープに、つい半年前まで柔道家だった男が挑むこと自体、普通に考えたら“無謀”だ。

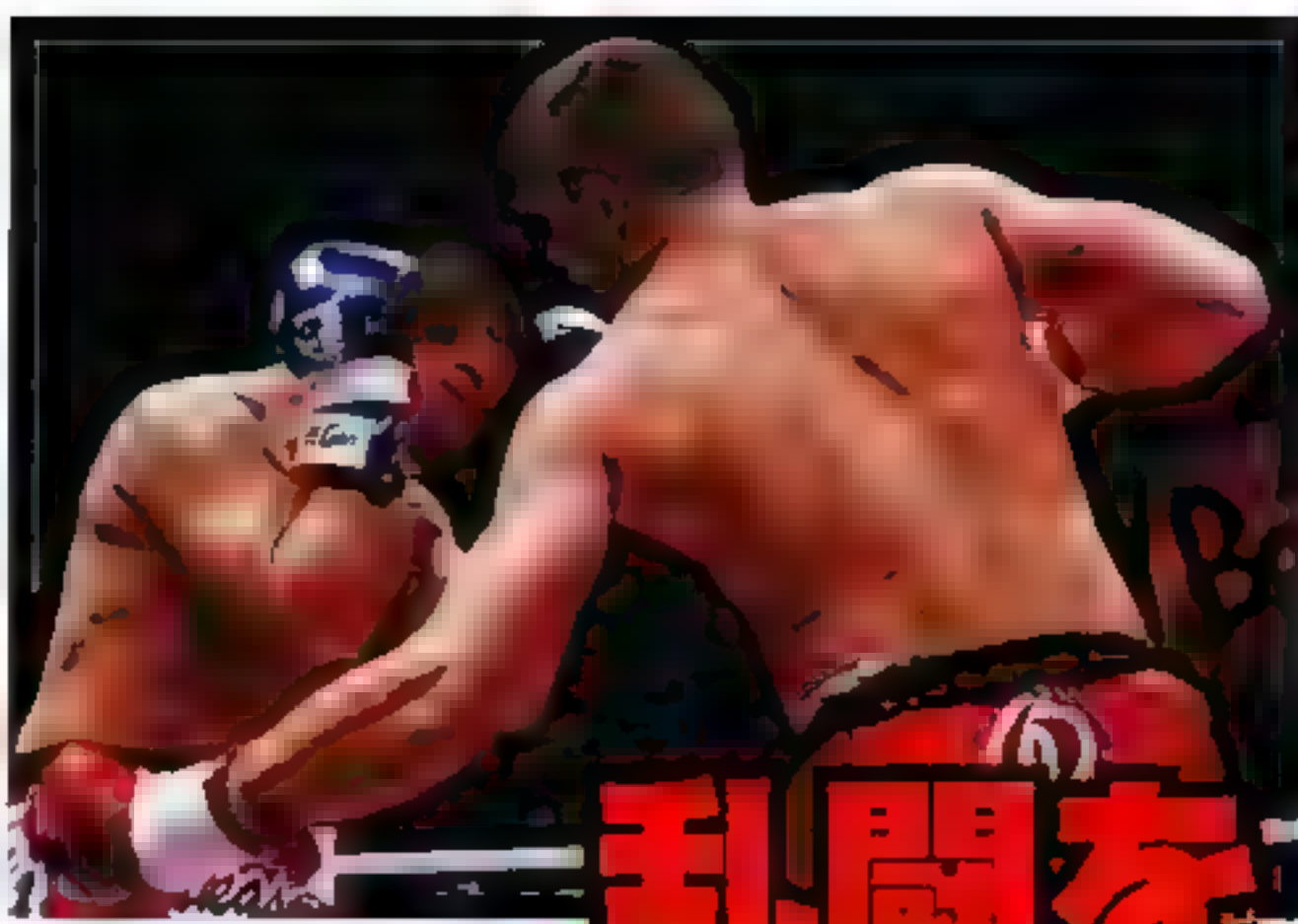
しかし、大会のわずか2週間前に来た急なオファーを、尻込みすることなく受けた勇気。そして、試合においても、腹をえぐられるような強烈なミドルを何発も受けながら一歩も引かず、ひたすら前に出てパンチを繰り出し、あわや！　というところまで、堀を追い込んだ中村（以後、カズ）には、心から拍手を贈りたい。

しかも、その闘いぶりを見る限り、カズにとってのK－1挑戦が、周りで感じているような“無謀”なことでないことは明らか。20センチの身長差をものともせず、初めてのK－1の舞台にも動ずることなく、カズは本気で堀をKOしようとしていたのだ。キレイに丸めた頭からも、この闘いに賭ける意気込みが半端でないことは見て取れた。

「今回は“いい試合”じゃなく、勝ちたかった……。ホントに悔しいッス」。

プロである以上、結果は重要。例え、それが自分のフィールド外の闘いであっても出る以上は勝たなくてはならない。

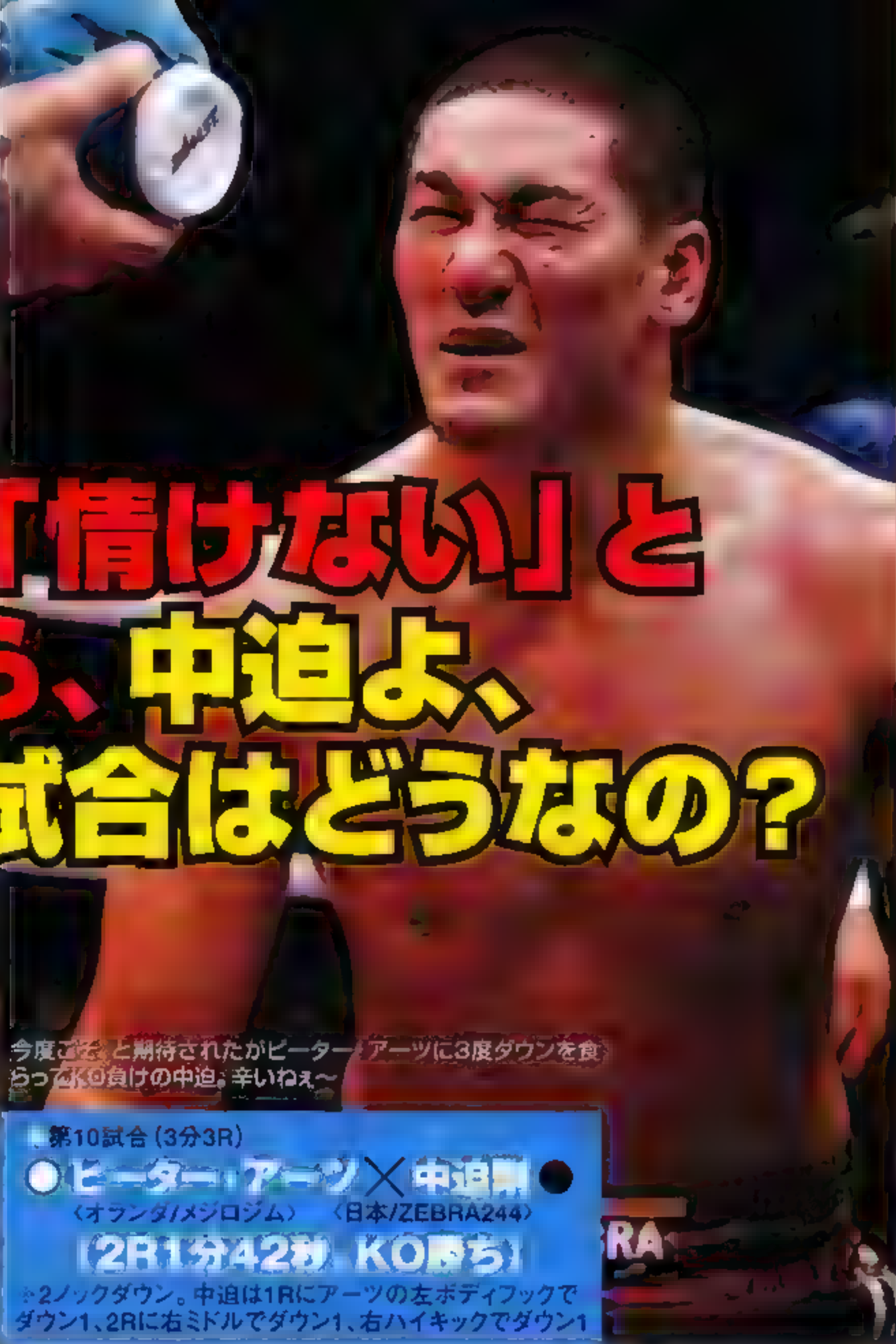
カズが本気で悔しがる姿を見ていたら、「いい試合だったよ」と声を掛けることが、逆にカズを貶めるような気がしてきた。

カズよ、いい試合でもしょせん負けは負け。勝負の世界は勝たなきゃダメだ。攻めて攻めて、次こそは勝利を掴み取るのだ！（林）

▲最初のダウンはレバーへの左フック。試合前のケガでガードもできない状態で「生涯で一番効いたボディ」と中迫

◀最後はアーツ得意の豪快な右ハイ。攻防の中でガラ空きになったアゴにピシャリと決めた

乱闘を「情けない」と言うなら、中迫よ、キミの試合はどうなの？

中迫選手はなんて可哀想なんでしょうか。練習中に筋断裂を起こしてしまい、痛み止めを打って試合に臨んだというんです。ホントはケガなしでリングに上がる選手のほうが珍しいんですけど、中迫選手が自分から言うくらいだから、よっぽどのことなんです。中迫選手は前回ベルナルドにKO負けしたのに、今回はアーツ戦というチャンス、それもメインです。期待されているし、純K-1の素晴らしさを見せるという役目があったんです。でもケガじゃしょうがないですよ。「（乱闘は）ちょっと情けないです」と中迫選手。「武蔵や中迫がトップ選手とマトモにやれないからイロモノ路線に走ったんじゃねぇか」って人もいますが、そんなこと言っちゃダメ！　中迫選手、次に期待してます。次も、その次だって。負けたら「きっとケガなんだな。頑張ってるからいいじゃない」と思うようにします。「頑張るだけならアマチュアだってやってる」とか絶対言いません！　（橋本）

▲この日はいかにも強そうに見えたアーツ。前回のベルナルドもそうだったが、不調の選手も中迫とやると「復活のきざしか」と思えるのである

今度こそ、と期待されたがピーター・アーツに3度ダウンを食らってKO負けの中迫。辛いねぇ〜

第10試合（3分3R）
○ピーター・アーツ × 中迫剛●
〈オランダ/メジロジム〉　〈日本/ZEBRA244〉
（2R1分42秒　KO勝ち）
※2ノックダウン。中迫は1Rにアーツの左ボディフックでダウン1、2Rに右ミドルでダウン1、右ハイキックでダウン1

ノブ、天田、富平が9・21ジャパンGP出場決定！

◀第2試合、ノブ・ハヤシと大石亨の男臭い顔同士の一戦は、ガードを下げた大石の怖い顔にノブの右ストレートが見事にヒットし、1R1分38秒、KO勝ち。ノブがジャパングランプリ進出を決めた

▲第4試合、負けたら引退を宣言していた天田ヒロミは、ボクシング出身同士となるTSUYOSHIと対戦。試合を優勢に進め、判定勝ち

▼第1試合で"視聴者代表ファイター"というキャッチフレーズの青柳雅英と対戦した富平はイマイチ動きが悪く、延長までもつれ込みなんとか判定勝ちを収めた

▼スーパーファイトには久々となる黒澤浩樹が登場。総合格闘技で活躍するAMCパンクレイションのアイヴァン・サラベリーと対戦したが、両者決め手を欠きドロー

ジャパンの魂は子安にあり！涙の判定勝ち！

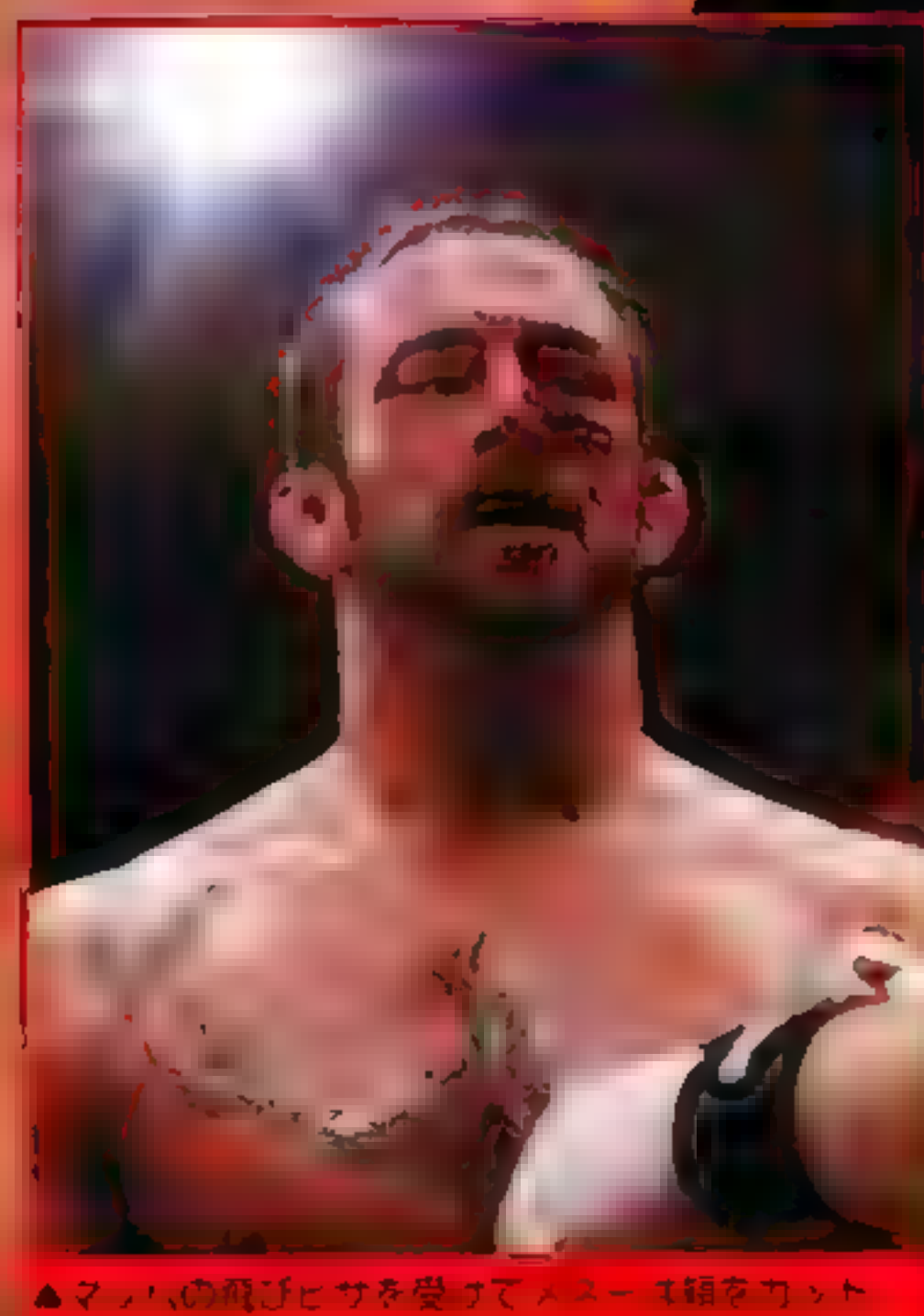
▲対抗戦の次鋒戦で、で、相変わらず魂の見える試合をした子安。判定での勝利が告げられるや、涙を流して喜びを露わにした

▼子安は得意の子安キックも披露。ヘビー級としてはあまり体の大きくない子安とマクスタイだが、スピード感溢れる試合で、観客を魅了した

第7試合（3分3R）
○子安慎悟 × A・マクスタイ●
〈日本/正道会館〉　〈スイス/ウィングタイジム〉
（3R判定3—0）
※採点……29-28、29-28、29-28。マクスタイは1Rに子安の右フックでダウン1、子安は2Rにマクスタイの右ストレートでダウン1あり。マクスタイは1Rに偶発性のバッティングで減点1、3Rに倒れた相手への攻撃で注意1あり

DEEP 6.25★後楽園ホール

DEEP 2連勝! マッハ完全復活!!

やっぱりお前は強い!! 強豪メネーを流血葬!

2度目のDEEP参戦で元UFC王者を相手に完璧勝利

▲マッハの飛びヒザを受けて[illegible]額をカット

▼相変わらず、マッハの打撃は素晴らしい。
後ろ蹴りもまともにヒットし、思わずメネーの顔がゆがむ

冴え渡る蹴り！後ろ蹴りもズバリ！

マッハが完全復活を遂げた。もちろん前回の上山戦でもケタ違いの強さを見せた彼であったが、今回のデイブ・メネーは元UFCミドル級王者（この試合の10日前にはデニス・リードを秒殺KOしている）。そのメネーの頬を飛びヒザ蹴りでカットしてのTKO勝ちという結果はかつての強さ、勢いが戻ってきている証拠だろう。

試合内容についてもゴング直後、メネーが組み付いてきたところを瞬間的に足払いをかけて見事にマットに叩きつけたり、後ろ蹴りはスパッと腹に決まるし、技のキレとタイミングが素晴らしくいい。そして飛びヒザ蹴りでカットというのがそもそも凄い。というのも試合前、メネーは「ヒザ蹴りには注意したい」と語っていたはずなのに、この結果だからだ。野生が戻ってきた感じがたまらない。

やはり動物的なマッハはいい！

で、DEEPになってから入場曲を「不死身のエレキマン」からブルーハーツの「シンデレラ」に変えているのだが、その理由は「いつまでも不死身じゃなくて、シンデレラみたいに、かよわい心もあっていいんじゃないかってことで」と、なんかいい感じで肩の力が抜けたというか、男っぷりが上がったというか、成長というものを確実に感じられる。

その上で「あのさ、前の上山選手にしてもそうだけど、俺の試合の10日前とかに試合をするのは無謀だと思うよ」と、無駄な背伸びのない確固たる自信もある。カッコイイよ。完全復活というより一段と強くなって帰ってきた感じだろう。

DEEP 6.25★後楽園ホール

▶今回、飛びヒザを多用したマッハ。2R中盤に放ったヒザでメネーは頬をカットし、ドクターストップとなった

豪快な飛びヒザ蹴りでメネーの頬がザックリ!

▲勝ち名乗りを上げた後は恒例の木口劇場！　師弟で「アメージング・グレイス」を熱唱した

★第6試合/メインイベント（5分3R）
○桜井“マッハ”速人（マッハ道場）×D・メネー（ミネソタ・マーシャルアーツ・アカデミー）●
（2R2分02秒、TKO勝ち）

After the fight

マッハのコメント

「はじめはメチャクチャ[illegible]した。メネーはUFCでチャンピオンになったこともあるし、並の[illegible]。[illegible]な人と[illegible]て一睡もしてない。[illegible]との試合の10日前に[illegible]。[illegible]で一本取れるようになりたいな」

▲マッハは試合中、下になることもあったが、危なげなかった

▲傷を負ったメネーに三角絞めを狙うマッハ。これをかわしたところでレフェリーが入り、ドクターストップとなった

▲ヒザを食らった後もメネーは攻撃の手を休めなかった。そのためマッハの身体はメネーの鮮血で真っ赤になっていく

試合後にはご機嫌な酔っぱらいオヤジが登場する木口劇場が毎回見られるというボーナスも嬉しいし、全てが満足だったと言える。

次のDEEP大阪大会では須田匡昇と組んで國奥麒樹真、門馬秀貴組とグラップリングタッグマッチに出場することも決まっているマッハ。「寝技で一本取れるようになりたいな」とのことで、リングに上がることを今から楽しみにしている。そこには修斗後半の頃の苦しげな表情が微塵もない。人はやりたいことを正直にやるべきなんだなとつくづく思うわけである。三島☆ド根性ノ助にしてもそうだが、選手が生き生きしてるのがなによりだ。

ということでDEEPはいま非常に贅沢だ。マッハと三島というタイプの違うスターがおり、そこにUファイルキャンプの上山龍紀、大久保一樹らが続き、さらにバンクラス勢も控える。日本人対決だけで刺激的カードが次々と組めるのだ。もちろん、そこにルチャ軍団に、ブラジリアン柔術勢も加わって……。あ！　矢野卓見に今成正和もいたよ！　ホント、いいね。

プロレス的なノリに関してはキチンとコントロールしなければいけない部分が多々あるとは思うが、DEEPらしい味付けがハマればやっぱり面白い。一時は興行が終わるごとに佐伯代表が「年内もつかなぁ」とかボヤいていたのがウソみたい。

いろんなものがゴチャゴチャありながら、最後はキチっと締まるDEEPは非常にいい！　年内は必ずもつ！　とハッキリ断言しておきたいわけなのである。（ブチ）

復帰戦で奇人が常人に!?

朝日を超えて昇ったのはTAISHO!

▲「チームのみんな、セコンドのみんなのおかげで、（朝日の）オーラを感じずに闘えた」とTAISHO。ベテラン・朝日にもまったく臆せずパンチを振るう

格闘家にとって、自分の肉体に裏切られる気持ちというのはどんなものなんだろうか。最も誇るべき武器が、肉の牢獄に変わってしまうというのは。

「体調は死ぬほど良かったけど、試合やってみたら動かんのですよ。いつもの自分じゃない攻めやって。組んでもこれっぽっちも力が入らない。練習でメチャクチャ疲れた時みたいな感じで。〝何やってんだろ〟って」

実に2年9カ月ぶりの復帰戦。久しぶりに（しかも修斗以外のリングで）朝日昇の入場テーマ曲『愛しさとせつなさと心強さと』を聞いた時には―本来はダサダサのJポップなのに――正直ゾクッとくるものがあった。でも、それも試合が進むうちに消え失せてしまう。朝日ってこんな試合する選手じゃなかったはずだろ？

関節技に対するこだわり、勝負にかける異様な執念から〝奇人〟とまで言われた朝日。30過ぎるまで普通の人間がやるような遊びをまったくしてこなかったような男である。そのキレっぷりには「コイツとだけはケンカしたくないな」と思わせる迫力があったものだ。だが、今回のＴＡＩＳＨＯ戦では〝らしさ〟がまるで感じられなかった。

打撃で劣勢。とりあえず、といった感じでテイクダウンするものの、そこから先に有効な手立てを打つことができない。〝あれ、あれ？〟といった感じで悪いほうへ展開が進んでしまう。2Rに仕掛けられた十字も「普段は入ることなんかありえないんですよ。入られること自体ムチャクチャなんで

DEEP 6.25★後楽園ホール

イメージどおりに動けない朝日を、打撃系柔術家・TAISHOが襲う！

▶3R開始直後の飛びヒザでグラッときた朝日。組み付いてリカバリーを図るが、グラウンドでパンチを浴びてレフェリーストップとなった

◀朝日は上になる場面こそ多いものの、そこから攻め込むことができない。下から十字を仕掛けられる場面もあった。「（十字の）形に入られること自体おかしいんですよ」と朝日

▲フィニッシュのグラウンドパンチはコーナーに追い詰めてのもの。朝日には出血も見られた

▶セコンドの介抱を受ける朝日。ここまで徹底的な負けを喫するとは……

★第5試合/セミファイナル（5分3R）
○TAISHO × 朝日昇●
（チーム・バルボーザ・ジャパン）（東京イエローマンズ）
（3R0分42秒 TKO勝ち）
※グラウンドでのパンチ連打でレフェリーストップ

またかよ！ 入江劇場に失笑＆大ブーイング！

▲入江秀忠（キングダム・エルガイツ）は半月板の負傷を押して出場した藤沼弘秀（荒武者）に判定勝ち。しかし試合中に何度も金的攻撃をアピールして倒れ、ドクターチェックを要求。前回の試合も自己申告ドクターチェックにより途中で終わっており、会場は失笑していたが、あまりのしつこさに最後は大ブーイング

▲ZSTで活躍してきた小野瀬哲也（フリー）がDEEP初参戦。大久保一樹（U－FILE）をパンチ連打で圧倒。最後は右ストレートをヒットさせてKO勝ちを収めた（1R1分32秒）。小野瀬はレスリング高校2冠、大学新人戦4冠、天皇杯も制したエリート

▶試合後の入江は「金的ありなら、最初からそういう試合するんだよ！次は（金的あり、素手の）エルガイツルールでやらせろ！」と佐伯代表に直談判。しかし代表は「とりあえず次の試合があるんで帰って」

▶MAX宮沢（荒武者）と鬼木貴典（ROKEN）の対戦はドロー。相手にケツを向けたり、客席に手を振ったりのふざけた動きが持ち味の鬼木だが、ここぞという場面では豪快にパンチを打ち合っていた

▶破壊王の偽造で登場した一宮章一（フリー）だったが、今回も初勝利ならず。正体不明のマスクマン・クラフターMが1R3分39秒、スリーパーで一本勝ち。前回は打撃でKOされたクラフターだが、寝技の実力はなかなか

After the fight

TAISHOのコメント 勝

「十字は（腕が）完璧に伸びましたね。でも十字でタップは取れないですね。精神力で耐えられた。（飛びヒザは）完璧でした。キャ[illegible]の覚悟していったんですけど、入っちゃった。[illegible]。ここ[illegible]ーが続いてるだけですよ」

朝日のコメント 負

「[illegible]今だったら[illegible]ったけど、試合[illegible]よ。組んでも力が入らない。最後のパウンドも見[illegible]。分からんですね、分から[illegible]いですか、こん[illegible]」

す」と朝日は言う。

試合から離れていた分モチベーションは高い。練習ではすこぶる調子がいい。それでも、いざ試合になると身体が動かないという選手をこれまで何人も見てきた。キャリアのある選手だと、理想の自分の形があるだけに余計ギャップを感じるんだろう。決して力が落ちたというわけではないのだ。復帰戦の罠というしかない。

ただこの試合に関していえば、朝日の不調云々よりも、むしろTAISHOを称えたい。プロキャリアわずか3戦の新鋭が、朝日を沈めたのである。格闘技歴5、6年というTAISHOにとって朝日はいわば伝説の男。相当なプレッシャーに襲われていたはずだ。

「（パンチは）手打ちだった」と言うが、そのアグレッシブさは見事。まして（小ノゲイラに2度敗れた）朝日にフロントチョークを仕掛けたり、フィニッシュにつながった飛びヒザを放つなどの大胆さは、むしろ強心臓と言ったっていい。

佐伯代表はかねがね「やっぱり軽量級は修斗さんが強いから。ウチも自前で選手を育てていかんと」と言っていたが、まさにそういう存在が出てきたわけだ。もちろん、朝日だってこのまま終わる気なんてサラサラない。「これから頑張らないと。それ以外ないじゃないですか、こんな負け方して」。

実績的には強引にも思えるカードだったが、（朝日には失礼ながら）結果としてかなり面白い方向に転がりだしたと見るべきだろう。これから先、DEEPワールドは軽量級にも拡大していく。（橋本）

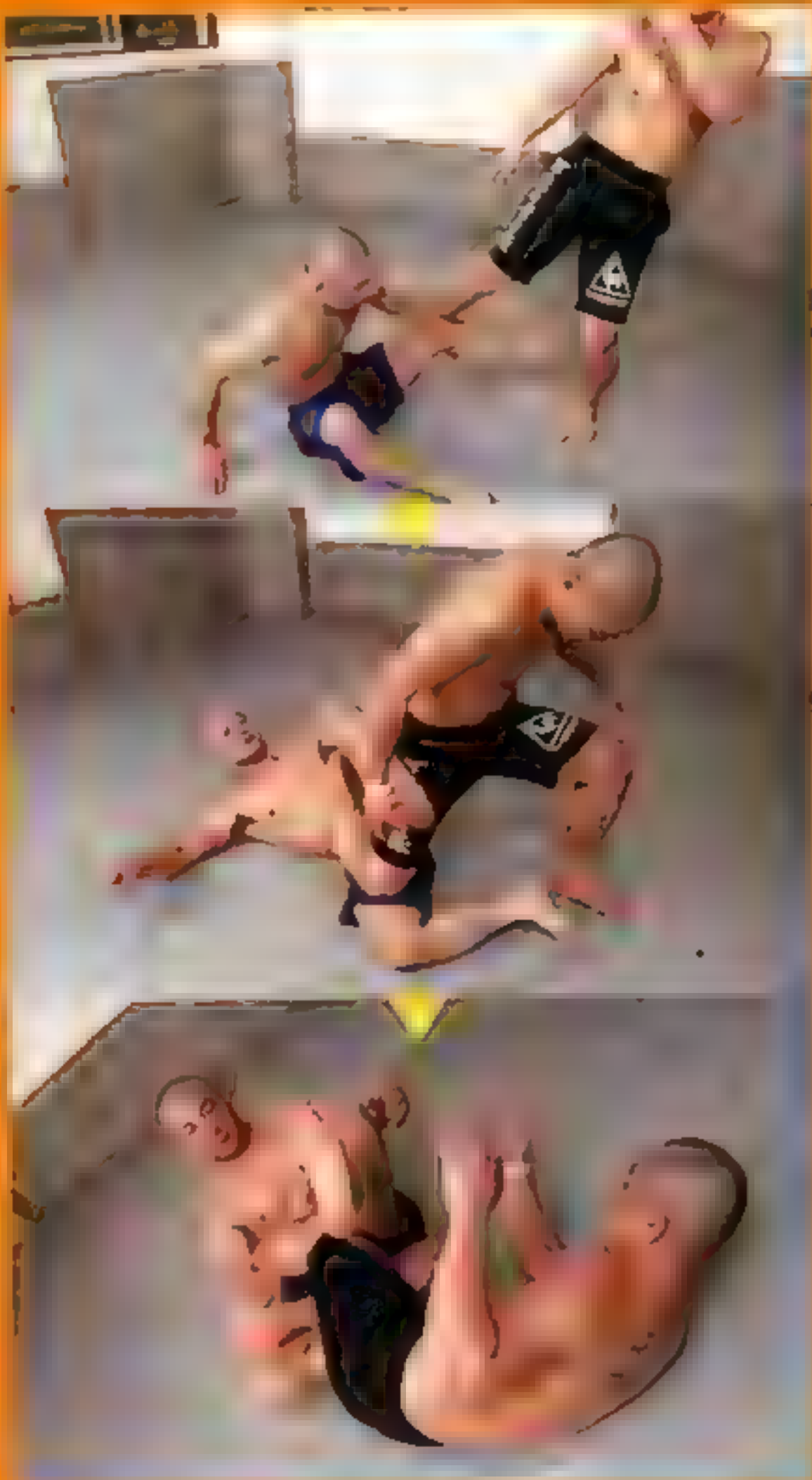
DEEP初参戦でいきなり三島☆ド根性ノ助と激突！

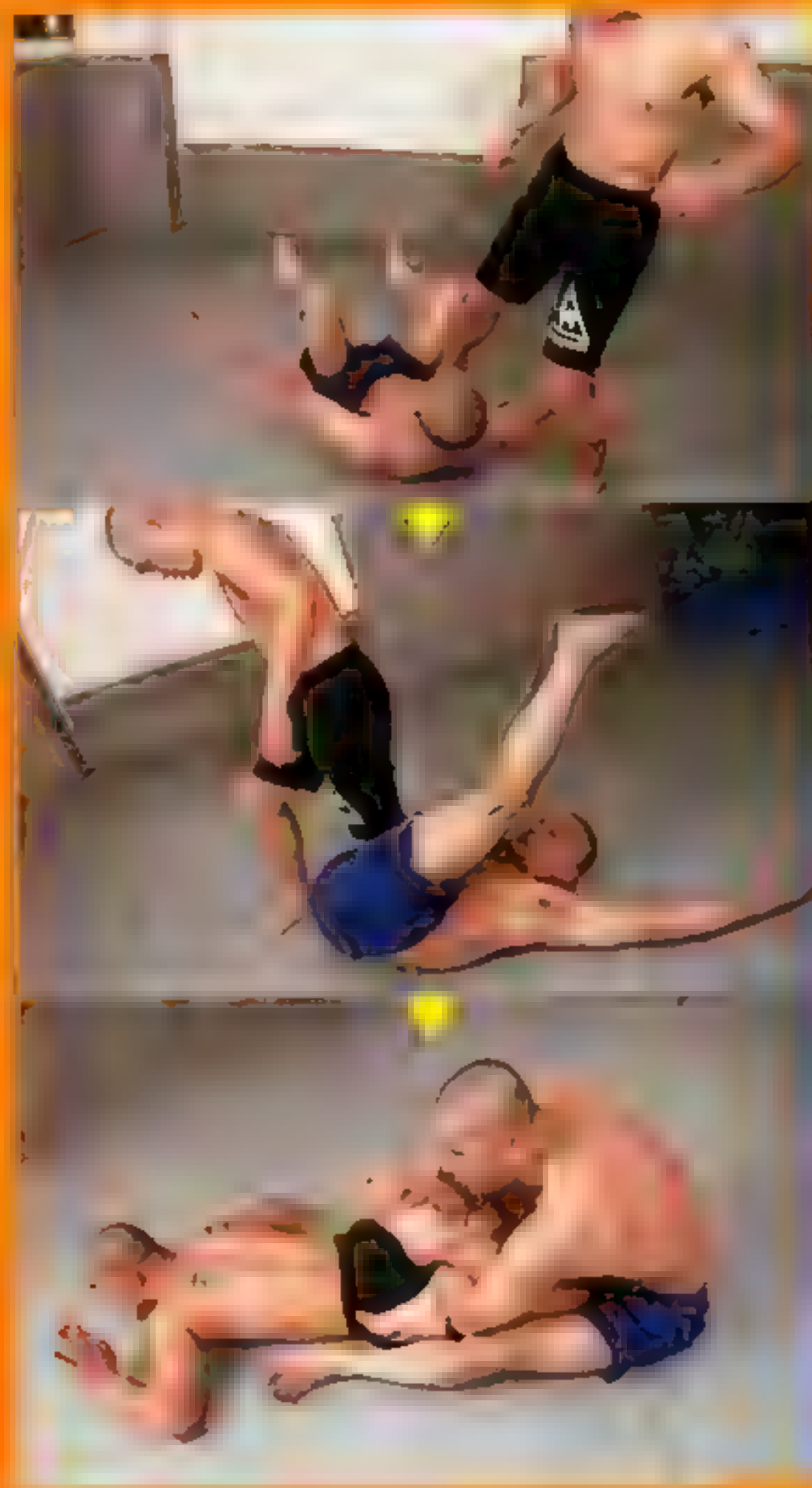
いよいよ間近に迫った7.13DEEP大阪大会。その中でも注目は、DEEP初参戦となる今成正和だ。三島にまったく引けをとらない特異なキャラと“足関十段”と呼ばれる仰天テクニックで見るものに強烈なインパクトを与える今成ワールドをほんのちょっとだけお見せしよう！

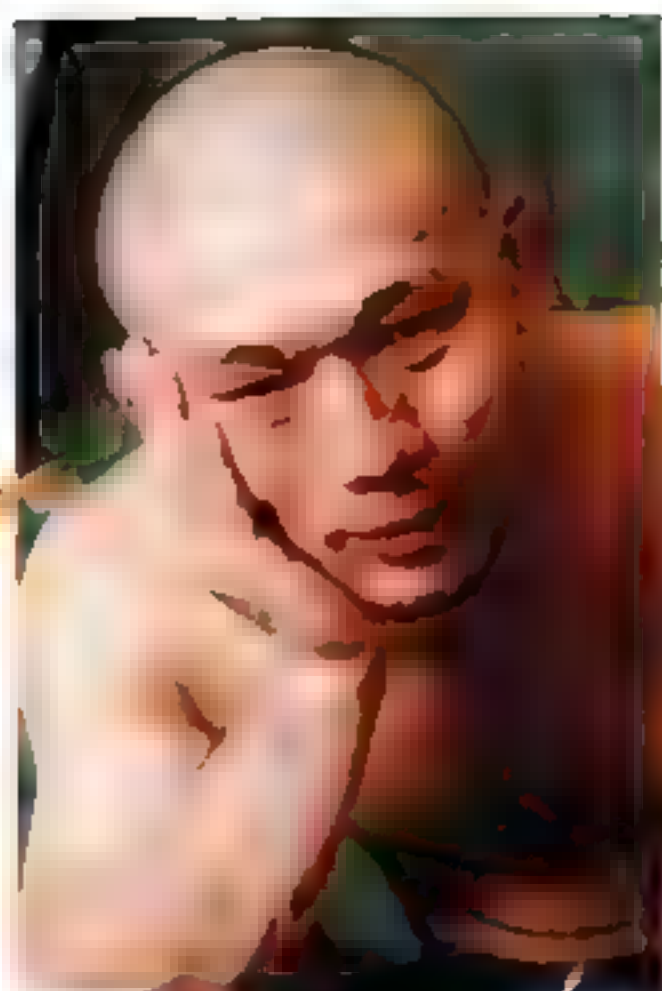
“足関十段”今成正和のめくるめく神秘の世界を堪能せよ！

撮影◎山口比佐夫

猪木・アリ状態からの足関 1

たとえ下になったとしても、相手が足を出してくれる猪木・アリ状態においては、逆に足関を狙うには格好のポジションとも言える。とはいえ、実際に今成の動きを見ると、相手の蹴りをキャッチしてから極めに入るまでの動きに一切の無駄がないのには驚かされた

猪木・アリ状態からの足関 2

同じ猪木・アリ状態からの別パターン。踏ん張って立っている相手に対し、今成は足を取るやいなやすぐにうまく相手のバランスを崩してテイクダウンを奪ってしまうからビックリ！　でも、本人曰く「足さえ取れば、順番はめちゃくちゃでもいい」。えっ、そうなの!?

7.13 DEEP 足関十段見参！

「足関にこだわりはないです（笑）」

――今成選手が足関にこだわりを持つようになったのはいつぐらいからですか？

今成 いや、こだわりは持ってないですね（笑）。

――ないんですか!? あれぇ……？

今成 人から勝手に〝足関十段〟って言われてるだけなんで、もう全然（笑）。

――でも、得意ではありますよね？

今成 まあ、得意ですけどね。

――それは以前から練習で足関を使うのが多かったからですか？

今成 そうですね。それしかできなかったというか、パスガードができなかったもんで。

――誰かに教わったとかそういうのは？

今成 ないです。もう適当に。

――適当に!? 自己流なんですか？

今成 そうですね。

――今日見せてもらったパターンとかは、普段の練習で考えたりとかして、編み出したりするもんなんですか？

今成 いや、勝手に動いて自然とそうなっている感じなんで。だからべつに研究もしてないですね。

――それって、もしかしたら天才って言うんじゃないですか？

今成 そうですか？（笑）。あまり考え過ぎると、実際の動きの中では、通用しないものばっかりになってしまうんで。

――そもそも足関ってリスクが高いですよね？

今成 危ないですね。いいポジションでもないですし。でも、一番お手軽というか……。

――お手軽（笑）。で、いよいよ三島戦を控えているわけですが。三島選手にはどんなイメージがありますか？

今成 う～ん……、柔道が強い感じがしますね。

――柔道が強い？

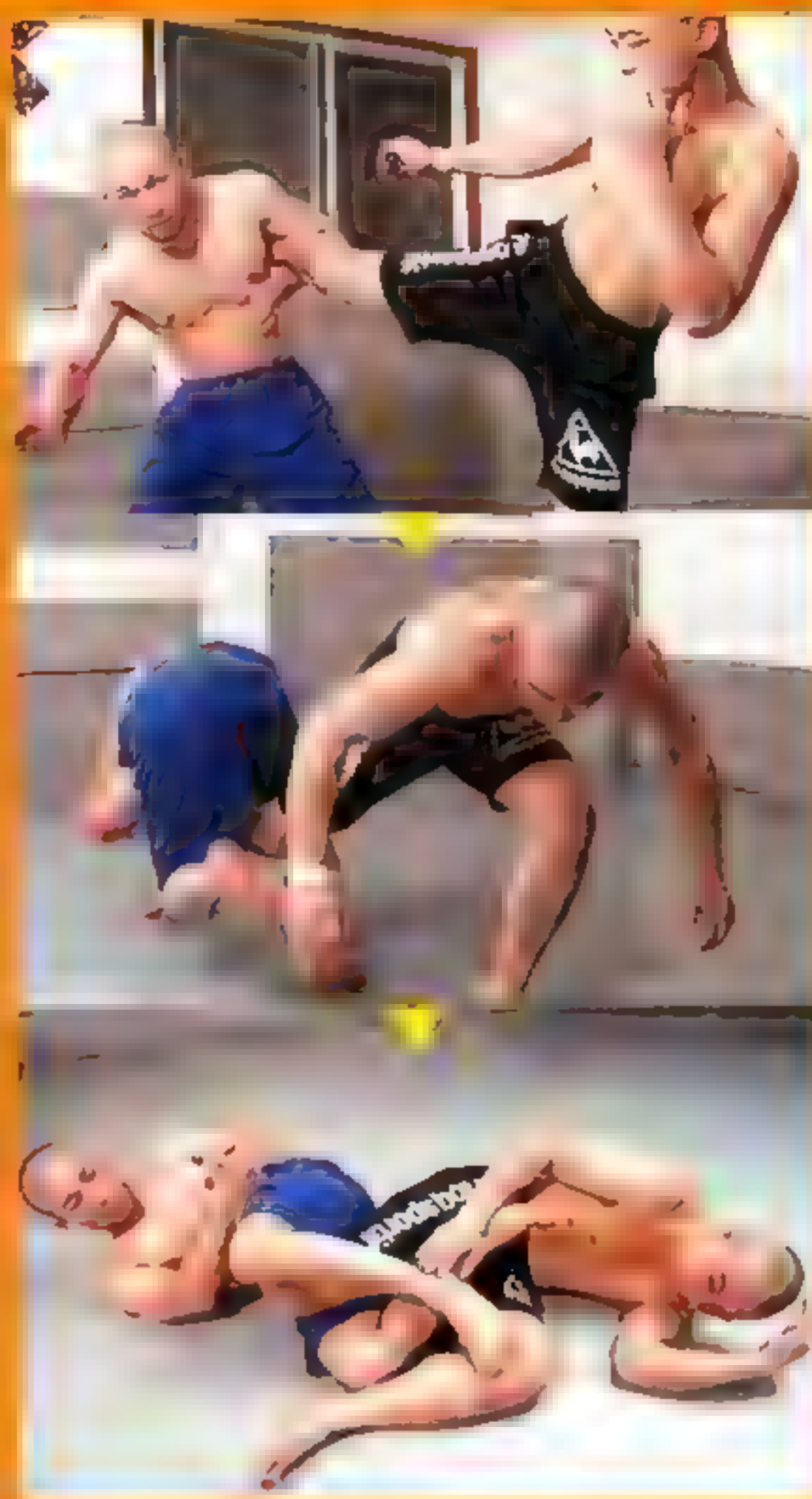
今成 要するに投げとか、パワーが強いっていうイメージですよね。

――三島選手は「足関で勝ちたい」と言ってますが？

今成 べつにいいんじゃないですか。僕は、勝てればなんでもいいです（笑）。■

スタンド状態からの足関

今成に対して不用意な蹴りを出すことは、わざわざ自分の足を「極めてください」と差し出すのと同じ意味を持つ。この様に、常に相手のスキに対して今成が素早く反応できるのは、才能の為す業と言えよう

マウントポジションを取られた状態からの足関

ブリッジしながら上になった相手をずらしつつスペースができた瞬間、一気にTKシザースへ移行し体を反転させ足関へ。絶体絶命の状態でも、最後まで諦めずに冷静でいられるか。高度なテクニックの裏側に、今成の度胸の良さをうかがい知ることができる

まだまだこれは、ほんの一部にしかすぎない！

マッハ、國奥がグラップリングマッチで激突！

6.25DEEPでマッハが須田とタッグを組むことが発表され、門馬とタッグを組むもう1人のXが未定のままであったが、ナント！　そのXがパンクラスウェルター級王者・國奥麒樹真に決定！　修斗VSパンクラスという、危険な巡り合わせが実現する！　日本の中量級トップクラス4人による対戦は、今後の展開を占う意味で、重要な一戦であることは間違いない！

『DEEP 11th IMPACT in OSAKA』
7月13日（日）グランキューブ大阪
OPEN/14:30　START/16:00

《決定対戦カード》

三島☆ド根性ノ助 VS 今成正和

～グラップリングタッグマッチ～
須田匡昇・桜井“マッハ”速人 VS 門馬秀貴・國奥麒樹真

辻結花 VS アンナ・ミッシェル・ダンテス

長南亮 VS 久松勇二

光岡映二 VS グレイソン・チバウ

池本誠知 VS 佐々木恭介

伊藤博之 VS 奥山隆司

亀田雅史 VS 深見智之

SRS SPECIAL RING SIDE

番組インフォメーション

7/11の見どころ

情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域によって放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは7月5日現在のものです。都合により内容が変更になることもございますのでご了承ください。

『SRS』は金曜日深夜25時40分～26時10分（時間は変更することがあります）フジテレビ系で絶賛放映中。

注意！

放送休止のお知らせ！

7月18日のSRSはお休みさせていただきます。くれぐれもご注意ください！

7/11

一撃が福岡で甦る！

「K-1福岡大会 直前情報」

7月11日（金）25:40～26:10

極真世界王者がK-1のリングで復活！7月13日（日）、マリンメッセ福岡にて開催される『K-1 WORLD GP in福岡』で、約1年半の沈黙を破りフランシスコ・フィリォがカムバック！「極真で一番に！」という人生の目標を達成した後、闘うことの葛藤に苦しんだフィリォがなぜ戻ってきたのか？　そして、いま目指しているものとは？　K-1デビューでアンディ・フグと対戦した時に見せてくれた、一撃KOはいまだ健在なのか？　復活に向けたフィリォの熱き思いをSRSでは、徹底取材でお届けします！　もちろん、“フォータイムス・チャンピオン”アーネスト・ホースト、K-1パリ大会で急成長を遂げたアレクセイ・イグナショフ、そして“名勝負製造男”レイ・セフォーらK-1福岡大会に参戦する選手達の近況や直前インタビューもたっぷりと用意しています。オンエアをどうぞご期待ください！

果たしてフィリォは完全復活できるのか!?

必見！　7/13（日）22:30～24:00「K-1 WORLD GP 2003 in福岡」（全国ネット）

フジテレビ系列の番組から
CS721

7/13（日）15:00～19:00『K-1 WORLD GP 2003 in福岡』（生中継）

SRSホームページのアドレスはこちら
http://www.fujitv.co.jp/

SRSホームページでは、詳しい放送日程や最新・格闘技情報、『ロケ現場潜入日記』など内容満載です。また、人気コーナー『SRS FIGHT CLUB』では皆さんからの原稿を募集中です。あなたが書いたエッセイや観戦記、その他マニア情報、プチ情報などで作るコーナーです。あなたの熱い魂の叫びを書いて、どしどしお寄せくださ～い！

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
7/10（木）	FIGHTING TV SAMURAI!!	キックの星	16：00～17：00	キックボクシングフリークにお送りするキック専門番組。キック界の最新情報や試合速報、選手のゲスト出演など、まさにキック版「生でGONG×2！」MCは大江慎、片岡未来
	Jスカイスポーツ3	シュートボクシング2003	19：00～21：00	7.4大阪府立体育会館大会。再放送7/12・5：00～、13・25：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!!	格闘侍！	20：00～20：30	総合から空手、キックまで格闘技界の最新情報満載！　再放送7/11・15：00～、12・8・30～、13・27：30～、6・17：00～と23：30～、19・8：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!!	PRIDE王	20：30～21：00	東海テレビ「PRIDE王」と同内容。再放送7/11・15：30～、12・9：30～、13・27：00～、16・17：30～、19・9：00～
	GAORA	週刊格闘 JAM!	21：52～22：00	K-1、PRIDEなどの格闘技イベント最新情報「Featuring event」や旬の格闘家を紹介する「Featuring Fighter」などをぎっしり詰め込んだ300秒。再放送7/12・17：22～、13・12：22～、15・11：52～
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	22：15～24：15	5.18横浜文化体育館大会。菊田早苗VS近藤有己ほか
	Jスカイスポーツ2	プロフェッショナル修斗2003	24：00～26：00	特別企画プレイバック・修斗サバイバートーナメント02-03。再放送7/11・12：00～、13・26：00～、14・24：00～
7/11（金）	GAORA	2003オープントーナメント北斗旗全日本空道体力別選手権大会	10：00～12：00	5.11に宮城県スポーツセンターで開催された大道塾の同大会を放送
	スポーツ・アイESPN	極真魂	16：00～16：30	最強の格闘技とは何か？　故大山総裁が築き上げた空手道を継承する極真戦士達をあらゆる角度から掘り下げ、その強さを探る。再放送7/12・24：30～、13・20：30～、15・16：00～
	スポーツ・アイESPN	PRIDE REVIVAL	22：00～23：00	これまでの「PRIDE」シリーズを毎月1大会ずつ放送。「PRIDE.9」#2。再放送7/16・24：30～
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	22：15～24：15	6.7ディファ有明大会。KEI山宮VSニルソン・デ・カストロほか
	FIGHTING TV SAMURAI!!	キックの星	23：00～24：00	7/10を参照。　再放送7/12・11：00～、13・26：00～、14・15：00～、15・9：00～と27：00～、17・16：00～
	BSフジ	PRIDE REVIVAL	24：00～25：00	スポーツ・アイESPNと同内容
	フジテレビ	SRS	25：40～26：10	➡P69
	GAORA	全日本キックボクシング	26：00～28：00	6.20に後楽園ホールで開催の『DEAD HEAT』を放送。佐藤嘉洋VSクリス・ファン・ベンローイ戦ほか
7/12（土）	FIGHTING TV SAMURAI!!	格闘侍！	8：00～8：30	7/10を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!!	PRIDE王	9：00～9：30	7/10を参照
	BS朝日	ワールドプロレスリング　完全版	15：30～17：53	6.13日本武道館大会。高山善廣VS中邑真輔ほか
	スカイA	船木ヒストリー	18：00～20：00	#8
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26：00～27：00	6.13日本武道館大会。永田裕志VS柴田勝頼、エンセン井上VS安田忠夫ほか
7/13（日）	FIGHTING TV SAMURAI!!	試合中継　DEEP	15：00～17：00	5.5に後楽園ホールで開催の「DEEP 9th IMPACT」。ルチャVT軍団VS日本選抜チーム。ドス・カラスJr VS伊藤博之ほか
	フジテレビ721	K-1 WORLD GP 2003 in 福岡	15：00～19：00	➡P69
	パーフェクトチョイスCh.177	DEEP 11th IMPACT in OSAKA	16：00～	7.13グランキューブ大阪大会を完全生中継。三島☆ド根性ノ助VS今成正和ほか。詳しくは『DEEP 11th IMPACT』PPV情報にて
	FIGHTING TV SAMURAI!!	試合中継　プロ修斗	19：00～21：00	6.27広島サンプラザ大会。佐藤ルミナVSライアン・アッカーマン、池本誠知VS菊地昭ほか。再放送7/14・25：00～、19・17：00～、22・16：00～
	日本テレビ	プロレスリング・ノア中継	24：55～25：25	内容未定
7/14（月）	FIGHTING TV SAMURAI!!	試合中継　DEMOLITION	22：00～23：00	6.29にTOKYO FMホールで開催の「DEMOLITION」を放送。大澤健治VS量間貴雄、中原太陽VS尾藤広光ほか。再放送7/15・19：00～、23・25：00～
	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	22：15～23：45	1970年代以降の新日本プロレス格闘技全盛期を振り返る。79.11.30アントニオ猪木VSバッグランド戦ほか。再放送7/22・19：00～
	スカイA	格闘Xパンクラス	23：45～24：15	パンクラスの大会情報や出場選手紹介をはじめ過去の大会についての選手インタビューなど、パンクラス情報満載
7/15（火）	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	19：00～20：30	7/14を参照。79.12.6WWF認定ヘビー級選手権バッグランドVSアントニオ猪木戦ほか
	スカイA	格闘Xパンクラス	20：30～21：00	7/14を参照
	東海テレビ	PRIDE王	24：40～25：10	内容未定
	FIGHTING TV SAMURAI!!	船木が語るパンクラスストーリー	25：00～27：00	#13。再放送7/16・10：00～、23・15：00～
	フジテレビ	WWEスマックダウン	25：28～26：28	アメリカから『Smack Down』の最新映像をお届け。出演：ガレッジセールほか
7/16（水）	GAORA	FUTURE FIGHTER IKUSA3 -特攻-	10：00～12：00	6.8に東京・六本木velfarreで開催された同大会を放送。小比類巻貴之VS湘南キャリミほか
	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	19：00～20：30	7/14を参照。80.2.1アントニオ猪木&長州力VSアレン&スタンハンセン戦ほか
	スカイA	格闘Xパンクラス	20：30～21：00	7/14を参照
	Jスカイスポーツ1	プロフェッショナル修斗2003	22：00～24：00	7/10のJスカイスポーツ2を参照。再放送7/18・20：00～、19・14：00～、20・4：30～
	FIGHTING TV SAMURAI!!	PRIDE王	23：00～23：30	7/10を参照。再放送7/17・20：30～、18・15：30～、19・9：30～、20・27：00～、23・17：30～
	GAORA	角田信朗チャンネル～魂のもと～	23：00～24：00	「愛と涙と感動の浪花男」K-1戦士・角田信朗の応援番組。格闘技界そしてタレントとしても活躍する角田信朗の素顔に迫る。再放送7/23・21：00～、24・8：00～
	フジテレビ	すぽると	23：50～24：30	毎回、格闘技界の旬な話題を取り上げる
7/17（木）	FIGHTING TV SAMURAI!!	格闘侍！	20：00～20：30	7/10を参照。再放送7/18・15：00～、19・8：30～、20・27：30～、23・17：00～と23：30～
	GAORA	週刊格闘 JAM!	23：52～24：00	7/10を参照。再放送7/18・25：22～、19・17：22～
7/18（金）	Jスカイスポーツ3	SHOOT 3/60	19：00～20：00	15分のショートドキュメンタリー3本で構成する"60分3本勝負"の格闘技専門スポーツドキュメンタリー番組。再放送7/19・26：00～、22・24：00～
	スポーツ・アイESPN	PRIDE REVIVAL	22：00～23：00	7/11を参照。「PRIDE9」#3。再放送7/23・24：30～
	スポーツ・アイESPN	極真魂	23：00～23：30	7/11を参照。再放送7/19・16：30～と21：00～、20・20：30～、21・23：30～、24・16：00～と18：30～
	FIGHTING TV SAMURAI!!	キックの星	23：00～24：00	7/10を参照。再放送7/19・11：00～と26：00～、21・15：00～、22・9：00～と27：00～、24・16：00～
	BSフジ	PRIDE REVIVAL	24：00～25：00	スポーツ・アイESPNと同内容

ON THE AIR 7/10～7/24

格闘技番組ガイド　TV&RADIO

『DEEP 11th IMPACT』PPV情報！

パーフェクトチョイス CH.177

7月13日（日）16:00～試合終了までの完全生中継！
視聴料金：1,500円/番組
※15:30より事前カウントダウン番組（ノースクランブル放送）あり

◆再放送スケジュール

7/13（日）22:00～（Ch.176）
7/14（月）20:00～（Ch.177）
7/15（火）20:00～（Ch.177）
7/16（水）20:00～（Ch.177）
7/18（金）20:00～（Ch.177）
7/20（日）12:30～（Ch.177）
7/24（木）20:00～（Ch.177）
7/26（土）16:00～（Ch.177）

◆お問い合わせはスカイパーフェクTV！
カスタマーセンター☎0570-039-888（受付時間10:00～20:00）

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・備考
7/18（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継完全版　パンクラス	25：00～28：00	6.7ディファ有明大会。KEI山宮VSニルソン・デ・カストロほか
	フジテレビ	SRS	25：40～26：10	放送休止
7/19（土）	BS朝日	ワールドプロレスリング　完全版	15：30～17：53	6.13日本武道館大会
	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継完全版　パンクラス	19：00～22：00	6.22大阪・梅田ステラホール大会。稲垣克臣引退試合、VS國奥麒樹真ほか。再放送7/21・25：00～
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	25：40～26：40	放送休止
7/20（日）	Jスカイスポーツ3	プロフェッショナル修斗2003	25：00～27：00	7.13後楽園ホール大会。中尾受太郎VSサウリ・ヘイリモ、マーシオ・クロマドVS村浜天晴ほか。再放送7/22・22：00～、23・12：00～、24・9：00～
	日本テレビ	プロレスリング・ノア中継	25：55～26：55	7.16大阪府立体育会館大会。1時間特別拡大スペシャル
7/21（月）	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	19：00～20：30	7/14を参照。79.11.1NWF認定ヘビー級選手権アントニオ猪木VSダスティ・ローデス戦ほか
	スカイA	格闘Xパンクラス	19：30～20：00	7/14を参照
	スカイA	船木ヒストリー	20：00～22：00	#9
	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継　ムエタイ	23：00～24：00	6.29にタイのラジャダムナンスタジアムで行われた大会を放送。再放送7/22・20：00～
7/22（火）	スカイA	格闘Xパンクラス	19：30～20：00	7/14を参照
	スカイA	船木ヒストリー	20：00～22：00	#10
	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継　U-STYLE	22：00～24：00	6.29グランキューブ大阪大会。再放送7/23・19：00～
	東海テレビ	PRIDE王	24：40～25：10	7.13『DEEP 10th IMPACT』速報、セコンド特集
	フジテレビ	WWEスマックダウン	25：28～26：28	7/15を参照
7/23（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	23：00～23：30	7/10を参照。再放送7/24・20：30～
	フジテレビ	すぽると	23：50～24：30	7/16を参照
	Jスカイスポーツ2	シュートボクシング2003	24：00～26：00	7/10のJスカイスポーツ3を参照。再放送7/24・18：00～
7/24（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘侍！	20：00～20：30	7/10を参照
	GAORA	週刊格闘JAM!	21：52～22：00	7/10を参照

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

■スカイパーフェクTV！
☎0570-039-888
（10：00～20：00）

■GAORA
〔スカイパーフェクTV！〕
☎0570-000-302
（月～金10：00～18：00）

■フジテレビ721＆739
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-8888
（10：00～18：00　土日祝除く）

■WOWOW
☎0570-008-080
（9：00～20：00）

■スポーツ・アイ-ESPN
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5474-3344
（月～金10：00～18：00）

■FIGHTING TV SAMURAI！
〔スカイパーフェクTV！〕
☎0570-039-888／03-5351-4055
（16：00～21：00）

■Jスカイスポーツ
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-3488
（9：30～18：00）

■スカイ・A
〔スカイパーフェクTV！〕
☎06-6452-1161
（月～金10：00～18：00）

VIDEO & DVD
注目作品＆NEWリリース情報

《新作紹介①》 IT'S HOT!!

『WWE特番コレクターズBOX（初回限定生産）』

発売：ユークス、パイオニアLDC
DVD3枚組/12,000円（税別）/7月25日（金）発売

超レアなスペシャルアイテムだぞ！

WWEの日本ツアーも目前に迫り、「もう待ち切れない！」なんて思っている人も多いはず。そんな熱狂的ファンをさらに興奮させてしまう、DVDスペシャルBOXが登場！ その気になる中身だが、ハルク・ホーガンとビンス・マクマホンの2人が20年間にもおよぶ因縁にケリをつけるべく死闘を繰り広げた『レッスルマニア19』、ザ・ロックVSビル・ゴールドバーグという夢の対決が実現した『バックラッシュ2003』のDVD2タイトル（3枚組）に加え、2003年分の特番DVD12枚を収納できる"オリジナル特番BOX"、大人気ディーバのステイシー＆トーリーがプリントされたオリジナルスポーツタオルの豪華4点がセットになっているからビックリ！ コレクターにとっては、たまらない逸品だ！ 初回限定生産なので迷っている暇はない、欲しかったらすぐにゲットせよ！

《新作紹介②》 IT'S HOT!!

『修斗 1997-1999』

発売：クエスト
DVD2枚組/11,000円（税別）/7月19日（土）発売

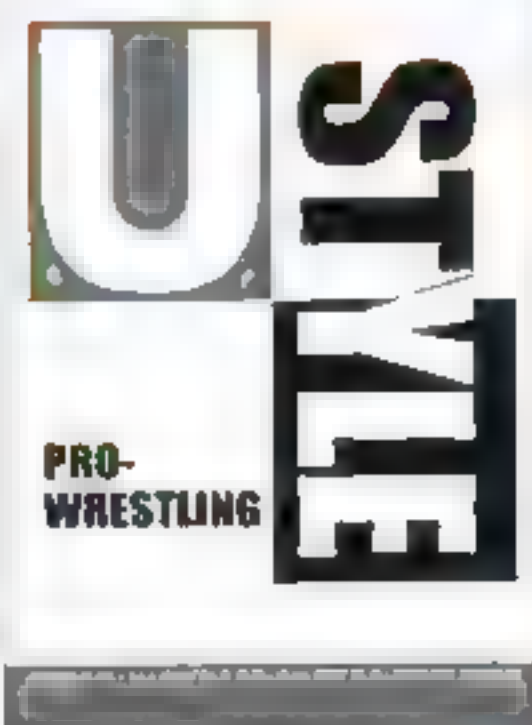
"日本最弱"からの3年間をここに集約！

『バーリトゥード・ジャパン96』における惨敗によって地に堕ちた修斗が、驚くべき勢いで失地回復を果たした1997年からの3年間をまとめたこの作品。エンセン井上、佐藤ルミナ、桜井"マッハ"速人、宇野薫らが次々と台頭し、三島☆ド根性ノ助、五味隆典ら現在のトップ選手も相次いでデビューするなど、修斗の歴史、さらには日本の総合格闘技の歴史においても重要な意味をもつ時代の中で生まれた名勝負が、なんと全45試合も収録されているぞ！ 完全保存版として、絶対にこれはオススメだ！ （主な収録試合：佐藤ルミナVSヒカルド・リッキー・ボテーリョ、エンセン井上VSジョー・エステス、桜井"マッハ"速人VSマセロ・アグア、佐藤ルミナVS宇野薫、桑原卓也VS五味隆典）

《新作紹介③》 IT'S HOT!!

『U-STYLE』

発売：クエスト
DVD5,600円（税別）/7月19日（土）発売

新たなるUの幕開けを刮目せよ！

"Uの遺伝子を受け継ぐ男"田村潔司が、理想のスタイルを求めて作り上げた団体『U-STYLE』。この作品では、2.15ディファ有明で行われた記念すべき旗揚げ戦と、田村がメインで三島☆ド根性ノ助を迎え撃った4.6旗揚げ第2戦を完全ノーカット収録！ さらに、団体への熱き思いを語る田村のロングインタビューや、旗揚げ戦に臨む全選手たちのインタビュー、さらにはU-FILE CAMP主催興行の模様や所属選手の練習風景など特典映像が盛りだくさん！ 旗揚げ戦を見逃してしまった人も、これを見れば充分リカバリーできるぞ！ 新たなるUとして船出した『U-STYLE』のファーストDVD、『U-STYLE』のファンはもちろん、田村のように今もなお"U"を愛し続ける人にとって、これはまさに必見だ！

RENTAL RANKING（6/1～6/30調べ）

1. 『褐色の貴公子 前田憲作』 クエスト
2. 『ベスト オブ シュガーレイ・レナード』 日本スポーツ出版社
3. 『シュートボクシング S-CUP vol.1』 クエスト
4. 『修斗2002 BEST vol.1』 クエスト
5. 『鬼塚勝也 王者の証明』 ポニーキャニオン

1位 褐色の貴公子 前田憲作
龍の魂は今も輝き続ける！

これは偶然なのか、K-1ワールドMAXが行われる時期になると、ランキング上位に顔を出すこの作品。90年代のキック界を支え続け、立嶋篤史との激闘など数多くの名勝負を残してきた前田憲作の歴史が凝縮されているぞ！

SELL RANKING（6/1～6/30調べ）

1. 『中井祐樹 柔術バイブル2』 クエスト/5,600円（税別）
2. 『高阪剛 寝技大全 トップポジション篇 vol.1』 クエスト/5,600円（税別）
3. 『スマックガール JAPAN CUP 2002』 クエスト/5,600円（税別）
4. 『火の呼吸』 ベースボール・マガジン社/5,000円（税別）
5. 『チャモアペットのスーパーテクニック』 クエスト/5,600円（税別）

1位 中井祐樹 柔術バイブル2
柔術愛好者にはオススメ！

技術ビデオとして記録的セールスとなった前作に続き、第2弾もいきなりランキングトップの座を獲得！ 日本のブラジリアン柔術界のパイオニアである中井祐樹による、卓越したテクニックと理論を混じえながらの解説は必見だ！

※表示価格は全て税別価格

「フィットネスショップ格闘技 水道橋店」

東京都千代田区三崎町3-6-13寺本ビル2F
☎03-3265-4646

ランキングにご協力いただいている格闘技ショップ『フィットネスショップ水道橋』では、今月より『チームドラゴン 前田憲作キックスクール』を開講！ また、7月20日（日）は『和田良覚コンディショニングセミナー』を開催！ （詳細はP74で）、参加希望者はお早めに申し込みください！ 詳しいお問い合わせは上記まで！

GOODS
最新&売れスジグッズをご紹介！

〈新作紹介〉 It's HOT!

「浅草キッドTシャツ2003」
グレート・アントニオ/3,500円（税別）
ファン待望のキッド新作Tシャツ！

おまっとさんでした！ 大人気のキッドTシャツの第3弾が遂に登場！ イラストは、今回も我らが巨匠・ゴキータが担当！ ますます本人そっくりに仕上がってます！ 今年の夏は、これでキメよう！

〈おすすめグッズ〉 Recommend

「アパッチ男塾Tシャツ」
グレート・アントニオ/4,000円（税別）
Tシャツも止まらない！

プロレス界では、もはや誰にも止めることができない存在となった高山善廣。もちろんアパッチ男塾Tシャツも、誰にも止めることはできない！ そんな売れ筋Tシャツも残りわずか！ お求めはお早めに！

グレート・アントニオ
スタッフ 賢武史

「浅草キッドのNEW Tシャツ発売を記念いたしまして、7月12日（土）にサイン会を開催！ 今年も昨年に引き続き、ラリー形式で行なっちゃうぞ！ みなさんの参加、お待ちしております!!」

グレート・アントニオ
東京都千代田区神田錦町3-14-12神田NSビル1F
☎03-3219-9550
通信販売受付 ☎03-3295-4450 or 0570-007800
HPアドレス http://www.great-antonio.jp
営業時間/11:00～20:00（月曜定休）
通信販売受付/10:00～18:00（月～土曜）

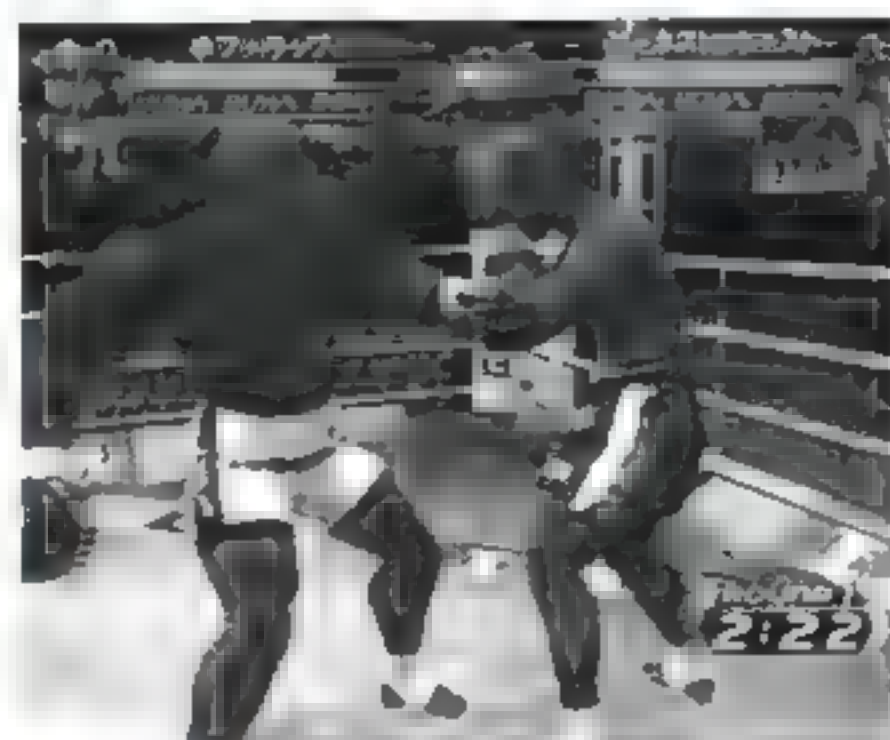
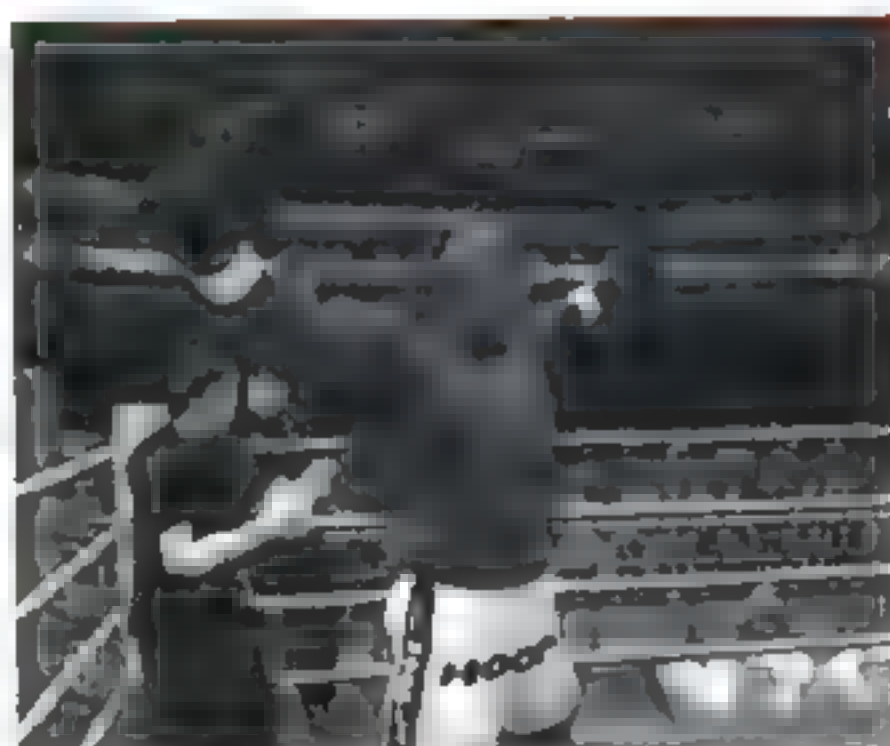
GOODS RANKING

1. ファスティング・ダイエット
杏林予防医学研究所/18,000円（税別）
2. 海賊男Tシャツ
グレート・アントニオ／3,500円（税別）
3. 週刊ファイトTシャツ
グレート・アントニオ/3,000円（税別）
4. グレート・アントニオ猪木Tシャツ type C
グレート・アントニオ/4,000円（税別）
5. 「グレート・アントニオ猪木Tシャツ type.A」
グレート・アントニオ/4,000円（税別）

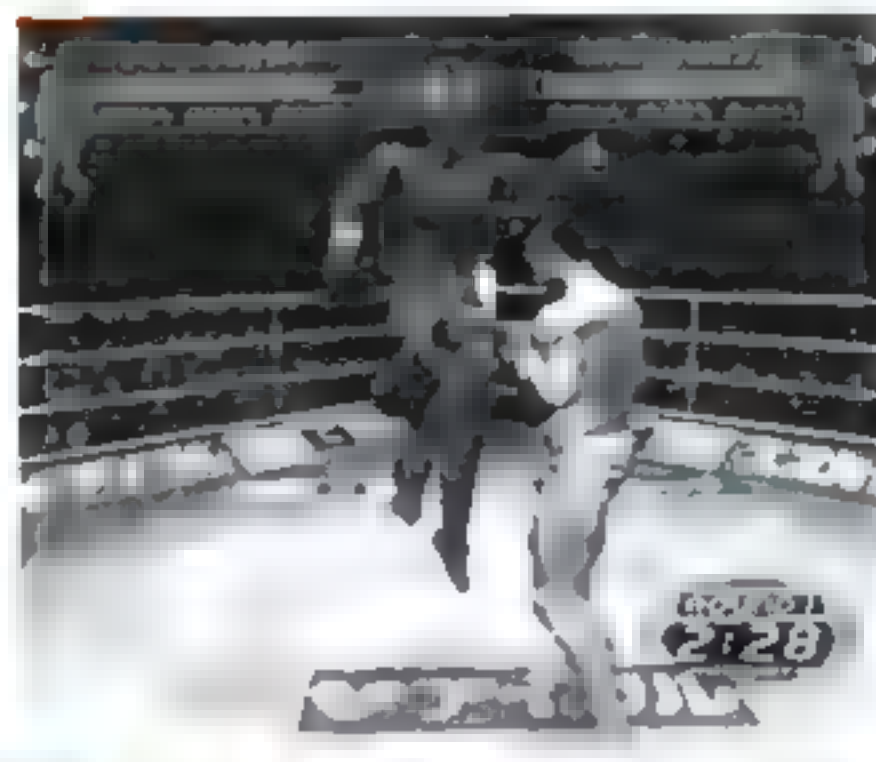
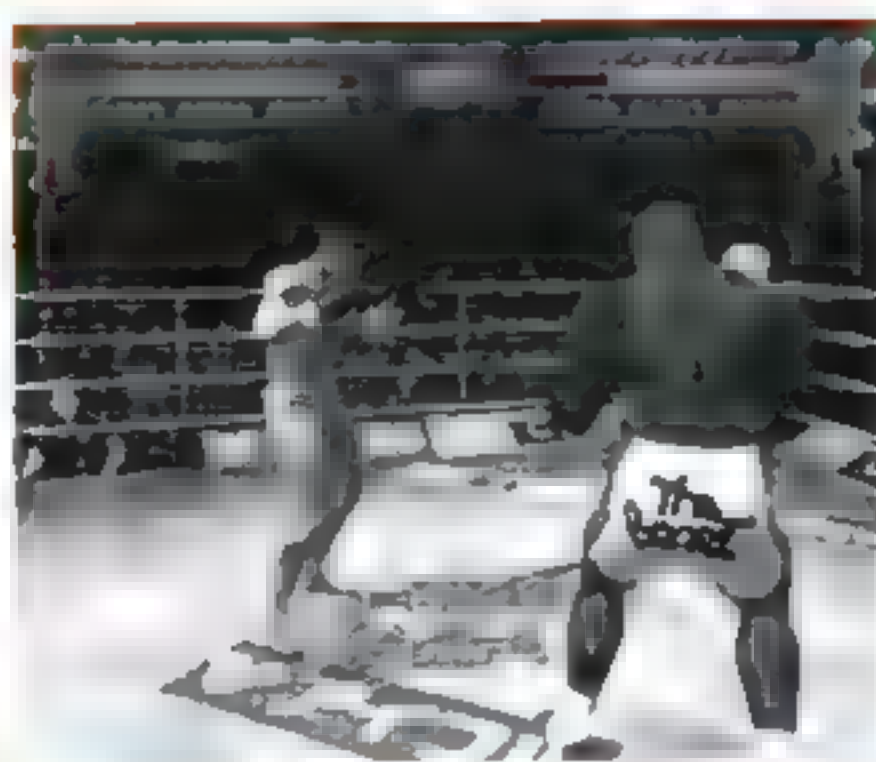
1位 「ファスティング・ダイエット」
ファスティング、シーズン到来！！！

「いよいよ夏本番！『海へ行きたいけど、身体がちょっとなぁ～』という人、今ならまだ間に合いますよぉ！ 3日間ファスティングで、ウエストが見事に引っ込みます。海へ行かない人にもオススメです！」

GAME INFORMATION
最新ゲーム情報

待望のボブ・サップがK-1ゲームに登場！！

K-1ゲームの決定版『PS2/K-1 WORLD GRAND PRIX 2002』に、ボブ・サップが追加収録されて7月31日に新発売される。タイトルは『K-1 WORLD GRAND PRIX THE BEAST ATTACK！』。待望のボブ・サップがキャラクターとして使えるようになったわけだが、グランプリモード、エキジビションモード、トライアルモード、ミュージアムモードが、ボブ・サップを使って楽しめるほか、2002年版の隠しキャラクターはなんと最初から使用可能になっているのだ。

モーションデータは、もちろんボブ・サップ本人が実演。それをモーションキャプチャーで取り込んでいるから、動きは超リアル！ 実況は三宅正治アナウンサー、解説は谷川貞治本誌編集長&K-1イベントプロデューサー、そして、リングアナはもちろんボンバー森尾と、まさにモノホン！

『K-1 WORLD GRAND PRIX 2002』を持っていない人はもちろん、持っている人も、サップが使えるとなったらやっぱ買うっきゃないよネ。まずは、ボブ・サップでグランプリ優勝を目指せ！

■タイトル：K-1 WORLD GRAND PRIX THE BEAST ATTACK！
■対応機種：プレイステーション2
■ジャンル：格闘対戦アクション
■プレイ人数：1～2人
■発売日：2003年7月31日（予定）
■価格：5,800円（税別）
■発売：コナミ
■お問い合わせ：コナミホットライン☎0570-086-573

◎登場選手：アーネスト・ホースト、ピーター・アーツ、マイク・ベルナルド、フランシスコ・フィリォ、ジェロム・レ・バンナ、ミルコ・クロコップ、シリル・アビディ、レイ・セフォー、ステファン・レコ、武蔵、ロイド・ヴァン・ダム、マット・スケルトン、ニコラス・ペタス、天田ヒロミ、ノブ・ハヤシ、中迫剛、アレクセイ・イグナショフ、ユルゲン・クルト、マーク・ハント、レミー・ボンヤスキー、ヤン "ザ・ジャイアント" ノルキヤ、角田信朗、ボブ・サップ

Et cetra

浅草キッドファン必見！

夏の恒例企画が今年もやってくる！　絶賛好評発売中の浅草キッド著『お笑い男の星座2』の出版を記念して、グレート・アントニオではキッドTシャツ最新作『浅草キッドTシャツ2003』を7月12日（土）よりリリース！　そこで、Tシャツ＆単行本の発売を記念してグレート・アントニオと高円寺文庫センターの2店舗で、同日リレー方式による浅草キッドサイン会『浅草キッドラリー2003』を開催！　なんと、2店舗をハシゴすると特製キッドグッズ（非売品）をプレゼント！　もちろん、マット＆芸能界に関する質問やキッドからの闘魂ビンタは今年も無制限！　全国のキッドファンよ、7.12は迷わず行けよ！　行けば分かるさ！

【『浅草キッドTシャツ2003』発売記念サイン会】
◆日時/7月12日（土）　13:00～
◆場所/グレート・アントニオ
◆参加資格/当日『浅草キッドTシャツ2003』を購入した人。Tシャツ購入の際、整理券を配布
◆お問い合わせ/グレート・アントニオ☎03-3219-9550

【『お笑い男の星座2』発売記念サイン会】
◆日時/同日　16:00～
◆場所/高円寺文庫センター（JR高円寺駅北口より徒歩2分）
◆参加資格/高円寺文庫センターにて『お笑い男の星座2』を購入した人。この際、グレート・アントニオにて配布された整理券を持っている人に、ラリー限定の浅草キッドグッズ（非売品）をプレゼント
◆お問い合わせ/高円寺文庫センター☎03-3336-1755

▲キッドファンは全員集合ダァー！

フィットネスショップ水道橋からのお知らせ！

本誌「VIDEO & DVD」コーナー（P72参照）でもおなじみのフィットネスショップ水道橋では、今月より『チームドラゴン前田憲作キックスクール』を開講！　過去2回行われたセミナーが大好評ということで、いよいよ本格的スクールとしてスタートしたぞ！　また、7月20日（日）は『和田良覚コンディショニングセミナー』を開催！　力をフルに発揮するためのコンディショニングの仕方などを理論的に学ぶことができるぞ！　現在、どちらも受講生を大募集！　興味のある人はこの機会に、ぜひ参加しよう！

【チームドラゴン 前田憲作キックスクール】
◆日時/毎週火、金曜日　19:00～21:00
◆受講料/入会金15,000円、月会費8,000円　※7月いっぱいは入会金無料！

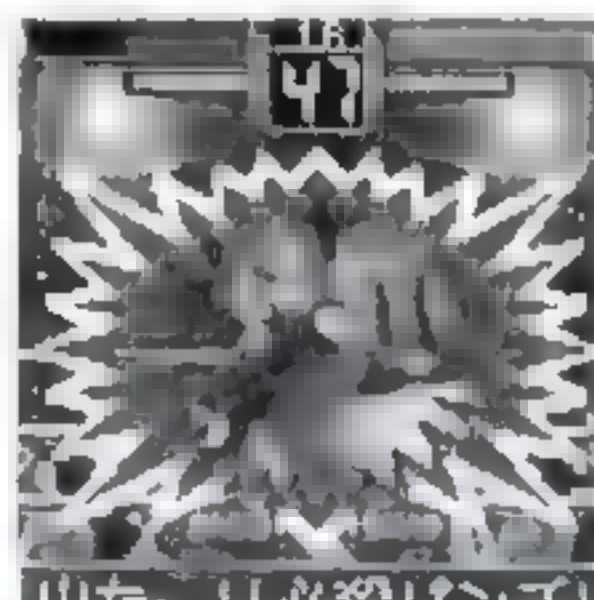
【和田良覚コンディショニングセミナー】
◆日時/7月20日（日）
◆受講料/3,500円（JTC加盟団体2,500円）　※要予約、参加者はサプリメント等を20％OFFで購入可能

◆場所/フィットネスショップ水道橋4F格闘技スタジオ
◆お問い合わせ/フィットネスショップ水道橋☎03-3265-4646

携帯電話でボブ・サップとファイト！

いつでもどこでもスポーツゲームが楽しめる、J-SKYjavaアプリ専用コンテンツ『スポーツマニア』に新しいコンテンツが仲間入り！　その名も『ボブ・サップファイティング』だ！　簡単操作でタイミングよくパンチを撃っていき、ゲージを貯めれば必殺技も繰り出せる！　キミは最大パワーのサップを倒すことができるか!?　さあ、今すぐアクセスしよう！

【J-SKYjavaアプリ専用コンテンツ『スポーツマニア』概要】
◆タイトル/スポーツマニア
◆料金/1スポーツゲームのダウンロードにつき200円
◆対応機種/J-SKY端末（java対応機種）
◆アドレス/メインメニュー→Javaアプリ→ゲーム→スポーツ・レーシング→スポーツマニア

▲必殺パンチでサップをぶっ倒せ！
© 2003 k-1 © 2003 GENKI

女のコは要チェック！

東京・中野にあるゴールドジムウエスト東京において、ストライプルでは初となる女性専用クラスがついにオープン！　無理なく安全にやれる格闘技として、女性にも大人気のブラジリアン柔術。講師は、女子柔術界の第一人者である茂木康子が務めるぞ！　ジムはオープンしたばかりで、サウナ、シャワー等の設備も充実！　日頃の運動不足やストレスの解消、ダイエットなどにオススメだ！　なお、7月19、26日（土）の正午より無料体験レッスンを開催！　レッスン参加後に入会すれば入会金が無料になるということで、興味のある人はぜひ一度体験してみてはいかが？

◆クラス名/ストライプル女子クラス
◆講師/茂木康子（ブラジリアン柔術紫帯）
◆日時/毎週土曜日12:00～13:30
◆場所/ゴールドジムウエスト東京（JR中野駅より徒歩3分、東急ストア3F）
◆受講料/入会金10,000円、月会費5,000円　※ストライプル会員は女子クラスに無料で参加可
◆お問い合わせ/ゴールドジムウエスト東京☎03-5318-7351

▲さあ、アナタも茂木と一緒に"柔術で充実！"

暑さをぶっ飛ばせ！　大会出場者大募集！

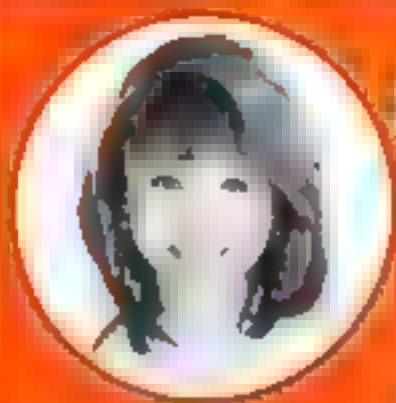
【PUREBRED京都 白帯柔術トーナメント『コパ ピュアブレッド』＆柔術こだわりセミナー】
◆日時/7月20日（日）　試合開始10:00　※セミナーは全試合終了後より約2時間
◆場所/PUREBRED京都（阪急河原町駅より徒歩7分、地下鉄四条駅より徒歩6分）
◆出場資格/ブラジリアン柔術白帯の人のみ
◆出場料/試合4,500円、セミナー3,000円、試合＆セミナー7,000円
◆応募方法/所定の参加申し込み書に必要事項を記入の上、現金書留で出場料を同封し下記住所まで郵送
◆応募締め切り/7月15日（火）必着
◆お問い合わせ/〒604-8073京都市中京区六角通柳馬場東入り大黒町72-1　PUREBRED京都☎075-254-7777

【第8回ボディプラント杯アマ★スパ大会】
◆日時/7月27日（日）　試合開始12:00
◆場所/ボディプラント六本木3F道場
◆試合形式/立ち技部門、寝技部門、総合部門、女子部門　基本ルール：ポイント先取制、ワンマッチ形式
◆参加費/3,000円（大会記念品、保険加入料込み）
◆出場資格/18歳以上、格闘技歴1年程度の初級者、格闘技歴3年未満の中級者
◆締め切り/7月23日（水）必着
◆お問い合わせ/アマ★スパ大会実行本部☎03-5772-2791

【日本アマチュアキックボクシング連盟 第4回アマ全日本選手権トーナメント】
◆日時/8月17日（日）　試合開始12:00
◆場所/山梨・小瀬スポーツ公園 武道館
◆募集階級/55キロ以下、60キロ以下、65キロ以下、70キロ以下、75キロ以下、80キロ以上の6階級
◆出場料/連盟登録選手4,000円、新登録＆一般選手7,000円
◆応募方法/所定の参加申し込み書に必要事項を記入の上、現金書留で出場料を同封し下記住所まで郵送
◆応募締め切り/8月7日（木）必着　※一般参加は定員になり次第締め切り
◆お問い合わせ/〒400-0046山梨県甲府市下石田2-19-17 日本アマキック連盟事務局☎055-228-2326

【勇健塾 第7回格闘技空手拳法選手権大会 新人戦】
◆日時/9月14日（日）　試合開始11:00
◆場所/香川・善通寺市民体育館 サブアリーナ（JR善通寺駅より徒歩15分）
◆試合形式/フルコンルールによる個人戦トーナメント
◆出場資格/感染症のない健康優良な15歳以上の男子
◆出場料/5,000円（保険料含む）
◆応募方法/所定の参加申し込み書に必要事項を記入の上、現金書留で出場料を同封し下記住所まで郵送
◆応募締め切り/8月30日（土）必着
◆お問い合わせ/〒763-0093香川県丸亀市郡家町878-1 日本空手道連盟 勇健塾「第7回格闘技空手拳法選手権大会 新人戦」大会事務局☎0877-57-2207

【リアルディール バトルステージ REALDEAL】
◆日時/9月27日（土）　試合開始17:00
◆場所/Zepp Fukuoka（福岡ドーム隣、地下鉄唐人町駅より徒歩10分）
◆試合形式/キックボクシング：Aクラス（3分3R）、Bクラス（3分2R）、Cクラス（3分1R）
◆出場料/B・Cクラス5,000円、Aクラスは無料　※試合が組めない時は全額返還。試合決定後のキャンセルは、違約金が発生するので要注意
◆応募方法/所定の参加申し込み書に必要事項を記入の上、現金書留で出場料を同封し下記住所まで郵送
◆応募締め切り/8月2日（土）必着
◆お問い合わせ/〒814-0161福岡市早良区飯倉2-11-6 リアルディール実行委員会☎092-845-7027

宇月田麻裕の北斗占い

貪狼星	巨門星	禄存星	文曲星	廉貞星	武曲星	破軍星
	1959	1958	1957	1956	1955	1954
1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966
	1971	1970	1969	1968	1967	1978
1972	1973	1974	1975	1976	1977	
1984	1983	1982	1981	1980	1979	
	1985	1986	1987	1988	1989	1990
1996	1995	1994	1993	1992	1991	

7/10～7/23

貪狼星

全体運
周囲の状況が目まぐるしく変わる時。特に人間関係では、仲の良かった人が離れていったり、苦手なタイプが近付いてきたりして、苦労が増えそう。でも積極的に現状を受け入れていければ、逆にあなたの成長につながるハズ。

恋愛運
ずっと好きだった人に、気持ちを打ち明ける好機。スマートなアプローチが決め手になりそう。カップルは、恋人に包容力のあるところを見せると○。

勝負運 低迷期のため強気は禁物。自制心がカギに。

健康運 過労から来る循環器系の疾患に注意して。

金運 油断すると資金計画にアクシデントの予感。

★ラッキーカラー★
ベージュ

★ラッキーアイテム★
栄養食品

★ラッキースポット★
公園

巨門星

全体運
自分を見失う可能性あり。大切な友人をライバル視したり、仕事に興味を持てなかったり……。表面的に取り繕っているあなたの姿と、心の奥底にある気持ちとのギャップがあるよう。焦らずにそれを埋める努力をしていくこと。

恋愛運
カップルは、マンネリムードに。今こそ、ふたりの関係を真剣に考えるべき。フリーは、少し恋愛対象のランクを下げたならチャンスは増えそう。

勝負運 データを活用していけば、波に乗れそう。

健康運 暑さに負けないよう気合を入れていこう。

金運 後輩からサイドビジネスのおいしい話あり。

★ラッキーカラー★
グレー

★ラッキーアイテム★
Tシャツ

★ラッキースポット★
森林

禄存星

全体運
凶兆星が現れます。努力している割には周囲の評価が低い時。ストレスを溜める前に、新しい世界を知ることで気持ちを切り替えてみては？　とくに、ボランティア活動に参加すると、自分を見つめ直すいいキッカケになるハズ。

恋愛運
フリーは、軽い気持ちでエッチするのはトラブルの元。じっくり付き合う相手を見極めるのがポイント。カップルは、パワーダウンで危機が訪れそう。

勝負運 他人をアテにしてはダメ。自力で勝負して。

健康運 関節の持病は早めに治療しておこう。

金運 積極的な投資より将来に備えた貯蓄が吉。

★ラッキーカラー★
ブラック

★ラッキーアイテム★
献血手帳

★ラッキースポット★
ヘアサロン

文曲星

全体運
積極的な姿勢が幸運をもたらす時。現状に行き詰っているなら、仕事では転職を考えてみたり、格闘技では闘い方のスタイルを変更してみたり……、思い切って新しいことにトライしてみよう。時には恐れずに決断してみるのも大切。

恋愛運
個性的な女性に恋をしそうな予感。その独特な魅力に大いに刺激を受け、理解を深めていけたなら、あなたの隠れていた違った魅力が出てくるハズ。

勝負運 未経験のジャンルに挑戦するとグッド。

健康運 規則正しい生活を心がけると体調キープ。

金運 気晴らしのショッピングにツキあり。

★ラッキーカラー★
オレンジ

★ラッキーアイテム★
パーティーグッズ

★ラッキースポット★
エスニックレストラン

廉貞星

全体運
吉兆星が輝いています。体の中からパワーがみなぎり、自信があふれ出てきそう。そんなあなたを見て、周囲からは頼られる存在になることも。戦闘モードが幸運のカギなので、ますはどんなことにでも逃げずにぶつかってみると。

恋愛運
フリーは、身近な女性への好意か愛情へと変化する時。アプローチは自然体でいってみよう。カップルは、ハートがシンクロして素敵な時間を過ごせそう。

勝負運 スピードある決断が幸運をもたらす予感。

健康運 早朝トレーニングで筋力UPが順調に

金運 ネット情報で投資のチャンスをゲット。

★ラッキーカラー★
イエロー

★ラッキーアイテム★
スーツケース

★ラッキースポット★
ホテル

武曲星

全体運
テンションが下がり、ダラダラと過ごしがちな時ですが、いつまでもそんなことをしていてはダメ。交際運が好調なので、人と交流できるスポットに積極的に顔を出そう。この時期出会った人は、将来重要な意味を持つ可能性あり。

恋愛運
結婚を考えている人は、プロポーズのチャンス到来。周囲も祝福ムードになり進展する可能性大。フリーは、夏の訪れと共にパワフルな恋愛が始まる予感。

勝負運 冷静さを失うと、連敗モードに陥りそう。

健康運 ストレスは大敵。リラックスしていこう。

金運 趣味にムダ使いの傾向が。少しセーブして。

★ラッキーカラー★
ブルー

★ラッキーアイテム★
トースト

★ラッキースポット★
フラワーショップ

破軍星

全体運
やりたいことがあるなら行動に移さないとダメ。実力不足を感じても、謙虚に学ぶ姿勢を忘れなければ、周囲から強い味方が現れる予感。人がのんびりと夏休みをとっている間に努力すれば、この夏、飛躍できるチャンス到来！

恋愛運
彼女のおねだりに振り回されそう。今のうちにムリなことはハッキリNOと言っておかないと、恋もあなたの人生も、マズイ方向へ進んでしまう恐れあり。

勝負運 南西の方角に向かい勝負を挑んでいくと。

健康運 エアコンで部屋を冷やし過ぎないように。

金運 カードは持ち過ぎないよう整理しておこう。

★ラッキーカラー★
ゴールド

★ラッキーアイテム★
フレッシュジュース

★ラッキースポット★
ショッピングモール

元気があれば何でもできる！

ヤマダ元気塾

予防医学講座

山田豊文 文
TOYOFUMI YAMADA

私は前回のお話の中で、元プロ野球投手である小野和義さんを例にあげ、肩やヒジなどの炎症が悪化する原因のひとつとして「脂肪」を取り上げました。そして、脂肪から作られる「プロスタグランディン」と呼ばれる起炎物質によって炎症が激しく起こってしまうことをご説明しました。

「カロリーカット」や「低コレステロール」などの見慣れた宣伝文句からも分かるように、これまで脂肪といえば、エネルギーという観点からしか着目されていませんでした。しかし分子栄養学の立場からみた場合、脂肪において一番大切なことは、

・プロスタグランディンが作られる脂肪の種類
・そこからどのようなプロスタグランディンが作られるか

ということなのです。

ここで一度、脂肪の働きを総括的に振り返ってみたいと思います。私たちの体の中における脂肪の主な働きとしては、次のようなものがあります。

①エネルギー源になる
②細胞膜を作る
③体のクッション、もしくは断熱材として働く
④ホルモンや局所ホルモン（プロスタグランディンなど）の原料になる
⑤脂溶性ビタミンであるビタミンA、D、E、Kの吸収を助ける

私たち人間は、約60兆個の細胞が集まってできている生命体です。そして②にあるように、体を構成する全ての細胞は、脂肪を主な材料とする細胞膜で覆われています。

今回のテーマであるプロスタグランディンは、この細胞膜で作られるごく微量の物質です。体内でのさまざまな生命活動を微調整するために瞬間的に作られ、その働きが終わるとあっという間に消えてしまうものですが、60兆個全ての細胞で作られているため、結果として体に与える影響は非常に大きいのです。

それでは、どんな種類の脂肪からどのようなプロスタグランディンが作られるのでしょうか。

○リノール酸系の脂肪（サラダ油、紅花油、コーン油、マーガリンなど）と動物性脂肪に多く含まれるアラキドン酸…オメガ6系→炎症を激しくするプロスタグランディン
○α－リノレン酸系の脂肪（亜麻仁油、しそ油、サケ・サンマ・イワシに含まれるEPA・DHAなど）…オメガ3系→炎症を抑えるプロスタグランディン

大まかに分別するとこのようになります。

これまでのお話からなんとなく予想がつくかもしれませんが、病名に「炎」という字のつく症状は、たいていプロスタグランディンと関連があります。

つまり、炎症が皮膚で起こると「皮膚炎」、気管支では「気管支炎」、肺なら「肺炎」、そして関節で起きる炎症は「関節炎」となり、これらの症状の強弱は全てプロスタグランディンが絡んでいるのです。

「リノール酸漬け」の食生活からの脱却。

これらの症状がある時、もし普段の食生活でオメガ6系の油脂を多く摂っていれば、炎症がひどくなります。しかし、オメガ3系の油脂を多く摂っていれば、炎症も軽くてすむわけです。

体内でのプロスタグランディンの作用を考えると、食事におけるオメガ3とオメガ6の摂取バランスは1対1から1対2が理想だといわれています。それが現在の平均的なバランスは1対40から1対100にもなっています。

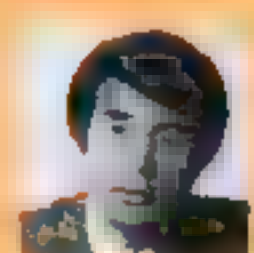
生活習慣病と呼ばれる疾患の中で、よく知られているもののひとつにアトピー性皮膚炎があります。アトピーなどは、まさに脂肪の摂取バランスが崩れた食生活の影響を受けている典型であり、1967年から1987年の20年間で約7倍に増えています。アトピーはさまざまな原因が考えられますが、脂肪の摂取内容が鍵を握っていることは確かです。

このことを物語るように、オメガ3の豊富な亜麻仁油を用いることにより、アトピーが劇的によくなるケースは非常に多いのです。

今の日本では、炒め物や揚げ物、ラーメンなど、いわゆる脂っこい料理を好む人が増えています。しかもそれらの食品は、オメガ3ではなく原料が安価であるという理由からオメガ6系の油脂で調理されています。これは加工食品にも同じことがいえます。コンビニのお弁当やパンなどの成分表に「植物性油脂」「ショートニング」などの記載がありますが、これらのほとんどのものもオメガ6系の油脂で作られています。現代社会は皆さんが思っている以上に「リノール酸漬け」「アラキドン酸漬け」の状態なのです。

皆さんもできる限り外食を控えて、オメガ3系の油脂を積極的に摂るようにしてください。今までオメガ6に偏った食生活が原因で炎症に悩まされている方も多いかと思います。そういった方は、普段の食生活で脂肪をできる限りカットして、背の青い魚を食事に取り入れたり、亜麻仁油を毎日カレースプーンで2杯ぐらい摂るなどの心構えが必要です。■

普段の食生活で「摂っていい油脂」と「要注意の油脂」

動物性脂肪	植物性脂肪			魚の脂肪
	高オレイン酸油	高リノール酸油	高αリノレン酸油	
バター ラード	オリーブ油 キャノーラ油	サフラワー油 コーン油 べに花油	フラックスオイル （亜麻仁油）	EPA DHA
とりすぎに注意	積極的に利用しましょう	とりすぎに注意	酸化に注意して積極的に摂りましょう	酸化に注意して積極的に摂りましょう

プロフィール
杏林予防医学研究所所長
医学（分子栄養学）博士

1949年生まれ。ガンの治療法として米国ではよく知られるゲルソン療法など、野菜ジュースを使った体質改善に早くから着目。その効果について研究を重ね、予防医学理論に基づいた独自のジュース断食法「ファスティング」を確立。単なるダイエットとは一線を画した美容や健康管理の手段として、多くの著名人やスポーツ選手から絶大なる信頼を得ている。わかりやすく明快な指導が人気で、読売ジャイアンツの宮崎キャンプでの講演や「おもいッきりテレビ」への出演など、各方面で活躍。また、アントニオ猪木氏、長嶋茂雄氏、メジャーの新庄剛志選手や読売巨人軍の原辰徳監督、工藤公康投手、広島東洋カープの前田智徳選手など、数多くのプロスポーツ選手の栄養指導も積極的におこなっている。

ザッツ・ルチャリブレ ㉚

山口百恵と阿木燿子の関係を見習え

山本隆司

山口百恵といったらもはや伝説の歌手に近い存在になっている。なにしろアイドル歌手として大スターになりながら、結婚した瞬間に芸能界からあっさりと引退。

その後いっさい表舞台からは姿を消してしまった。そんな芸当は普通の人には絶対にできない。

見事と言うしかない。彼女はフイクションがなんであるかを、分かっていた人間である。スターとタレントの差はそこにある。

フィクションはアンタッチャブルな輝きを持っていることが条件。大衆やマスコミから持てはやされても、決して酸化することはない。錆びつくことはないのだ。

作詞家の阿木燿子がNHKの番組に出演していて、山口百恵について語っているところを、私はたまたま目にした。彼女はそこで興味深いことを言っていた。

山口百恵は阿木燿子と出会った時「私のことはいかようにしてもいいです。どうかあなたの好きなように書いていただいてけっこうですから……」という電波と気配を送ってきたというのだ。

この覚悟の凄さに阿木燿子は心を奪われた。そういうメッセージを感じたら、どんなアーティストもみんな燃えるもの。山口百恵は一期一会の勝負に勝ったのだ。

殺し文句を言ったり演出できないものは一流とは言えない。こうして名曲「プレイバックパート2」の詩ができあがった。

才能があるものには身を任せる。下駄を預けろである。そうすることでお前は得をするのだから。

〝おまかせ〟ほど強いものはないと言っておこう。最近、私はあることでカチンときたことがあるのだ。インタビューして原稿を起こし、その原稿のチェックをお願いしたら、大幅に削られてしまったのだ。それも私が「これはいい話だ」と思ったところを、あえて削ってきたのだから腹が立つ。

私は言いたい。何をやったら君がフィクションとしてファンの支持を得られるのか、人気が出るのかは百も承知している。その私の腕とセンスと才能を、君はまったく信用していないことになる。

だったら君は自分の物差しだけで生きればいいのだ。私は「御苦労さん！」という言葉を、君に贈りたい。私はファンや観客がいる限り、プロレスも格闘技もイメージビジネスだという思想を持っている。ニックネームやキャッチフレーズの重要さはそこにある。あるいは言語による定義と概念化も我々の仕事である。

だから私はコピーライターであり詩人でなければならないのだ。格闘家の人たちは負けると全てを失ってしまうという不安と恐怖感があり、プロレスラーに比べて用心深いし猜疑心も強い。

結局、彼らは自分しか信用していないのだ。それって私からすると面倒臭いだけである。勝手に試合だけやっていろの世界だ。

彼らには〝人間的〟であることが、どういうことなのかまるで分かっていないのだ。それは実を言うと自分の中にある弱さを、さらけ出すことでもあるのだ。

格闘家にはその壁がある。格闘家に限らず、才能ある人に身を任せられない人は所詮、しょっぱい人生になるしかないのだ。■

はみ出し ターザン情報 ターザン山本の「一揆塾」塾生募集中――大好評の「一揆塾」は、現在、毎週木曜日の19:30～21:00、場所は水道橋の闘道館で開講中。お問い合わせは☎03-3512-2080

スリー、ツー、ワン、ゼ〜ロワン！

あぶもぐ 名古屋場所 5日目

ABNORMAL★MOGUTAN

親方◎小松モグタン

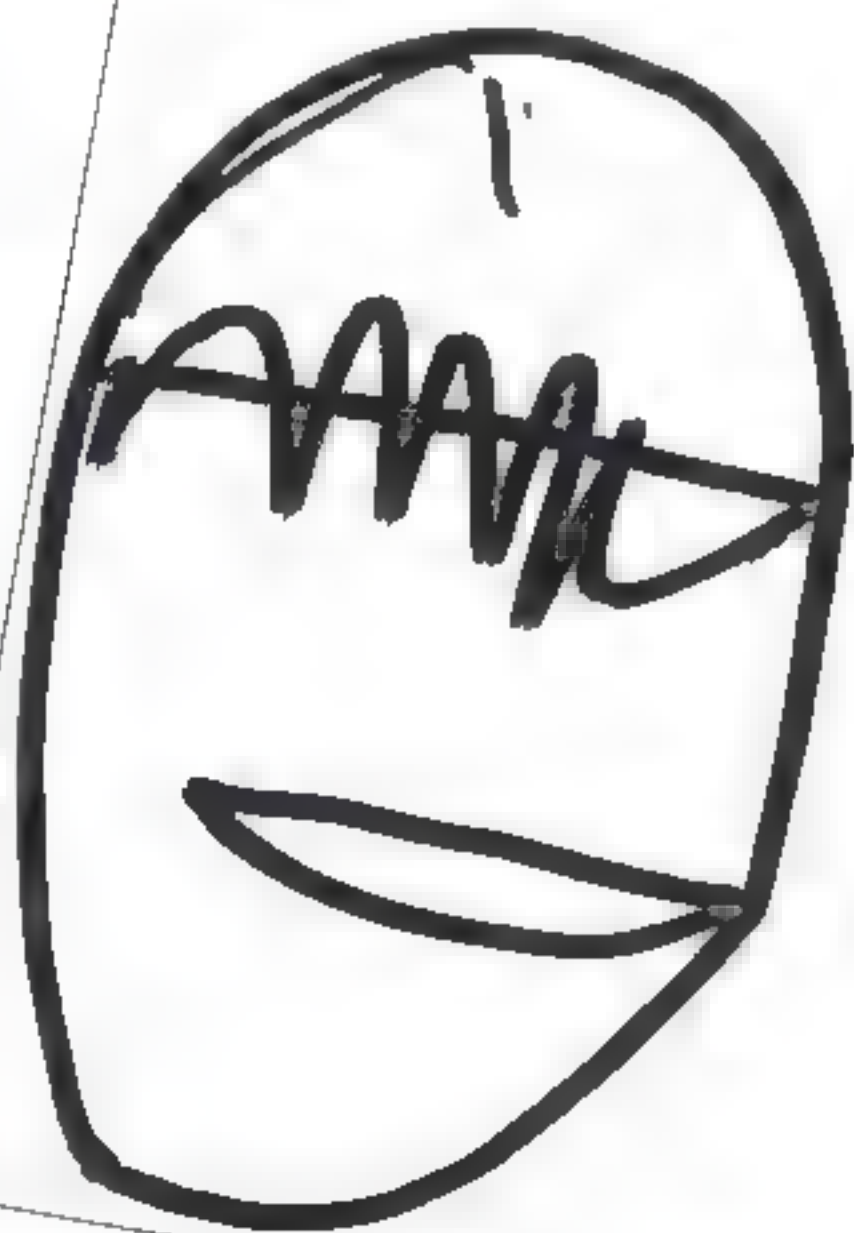
這い上がれ、新日本プロレス！

ベイダー

マサ

マシーン

ゴッチ

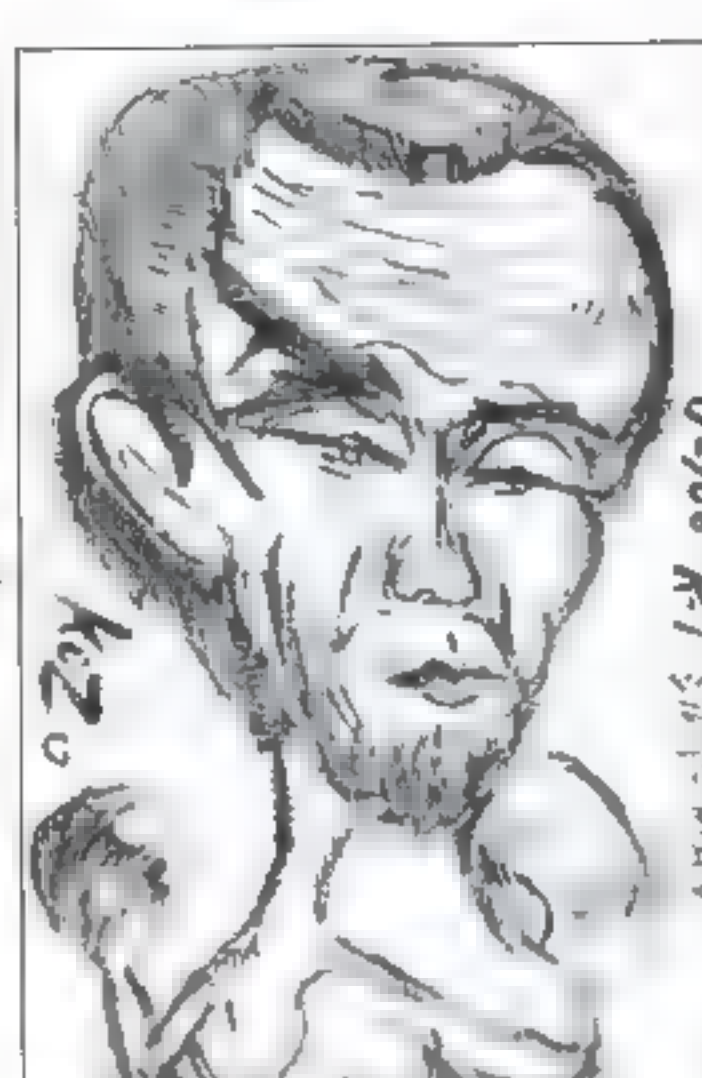
◆新日本にゆかりのある人々を集めてみました（OH！ギャル・ブクロでオール109・19歳）

前号で作ったターザン山本のパリ定義旅行が賛否両論というか、叩かれているというか…。もう作っちまったものはしょうがないので、煮るなり焼くなり好きにしてください！

（仲弘の妹・岩手県釜石市・？歳）
◆新日本プロレスOBの船木誠勝さんです！

PRIDE.26
野獣
藤田和え
お前こそ男の中の男だ!

（竹下貴洋・熊本県山鹿市・16歳）
◆こちらは猪木事務所の藤田和之さんです！

MIRKO CROCOP.

（松村飛鳥・広島県呉市・19歳）
◆新日本プロレスの永田裕志さんに勝ったミルコ・クロコップさんです！

（文秀貴也・埼玉県・？歳）
◆新日本キックの武田幸三さんです！

将軍様、K－1ジャパンが好評です！

谷川将軍殿!!　6月29日のK－1ジャパン申し分ないくらい良かったです!!　スイス、フランス大会は何か向こうの国の雰囲気に呑まれてしまったところがあったが、6月29日のK－1ジャパンは大逆転!!　日テレだったせいもあるが、昔の全日全盛期そのものでありました。武蔵VSシウバのド迫力乱闘から、なにげに心うたれる子安戦、そして新日中西VSＴＯＡ戦で頂点かと思えば、そのあと本来のK－1の良さが十分出ていたピーター・アーツVS中迫戦、そしてジャパン出場決定戦……。どれをとっても、なぜか面白い試合ばかり!!　「W－1」を超えたファンタジーでした。6月29日のK－1ジャパンはまさにＲＥＢＯＲＮでした!!　今の新日、全日はもうプロレスじゃない!!　本当のプロレススピリットが茶の間にガンガン伝わってくるのは今回のK－1ジャパンです。

（どっこい大作・東京都杉並区・？歳）

◆谷川将軍が聞くと泣いて喜びそうなおハガキありがとうございます！　ここまで良かったって言っている人は初めて見た！

真面目に分析してくれました！

6・29K－1ジャパン、ＴＶ観戦したが、ＴＯＡは可能性があると思った。谷川氏によると練習よりもかたかったとのことで、9月のサップとの対決は面白くなるか？　武蔵に反則負けのアマゾン・シウバはK－1でやるには動きがスロー。心身両面鍛えれば、「プライド」参戦はありかなと思う。バタービーンはさすがあちらのボクサー。短い試合の中で踏み込みの鋭さと圧力を見せた。ヘビー級日本人にはよい対戦相手だ。というわけで、外国人の新たな人材は、実力、キャラ立ちともによく、9月のジャパンは見に行こうか考えている（今までワールドは関東でやるのはよく行った。99年のグランプリ決勝から今年3月のさいたまミルコVSサップまで全部。ジャパンは行ったことがない）。スポーツ紙でミルコ参戦と出ていたが、日本人では誰も勝てないだろう。いっそ、先にあげた外国人の誰かとやらせたら、ミルコの勝ちは動かないにしても、見どころはありそう。それじゃ、ジャパンにならないか…。

（佐藤望・東京都新宿区・42歳）

◆ぜひ、横浜アリーナまで見に行って、また真面目な解説をお願いします。

ターザンパリ特集に賛否両論！

ターザン山本のパリ4大名物……。カラーグラビア11ページは何だ!?　観光記事のできそこない、怪しい書き殴りを載せてどうする？　頼むから、原点に戻ってくれ。格闘技を大衆に伝えることを第一に……。

（佐藤望・東京都新宿区・42歳）

◆ヒャッ！　怒られてしまいました！　怪しい書き殴りなんて……。たしかに、写っている人物は怪しいのだが……。

ターザン山本のパリ4大名物定義集。あんなにカラーページを使わなくても……。

（大脇厚・東京都八丈島・34歳）

◆カラーじゃないと本人が納得しないし。

ターザン山本のコーナーは長すぎかなと。

（小林孝成・千葉県柏市・26歳）

◆長かったかな？　それだけ長い旅だったんです！

ターザンのパリ旅行記はあまりにも華がなかった。あんなんに11ページも取るなんて、よほど載せる記事がなかったのか？

（嘉本眞輝・大阪府大阪市・17歳）

◆編集のまずさは私が謝ります。ごめんなさい！

パリパリうるせえ！　でもバンナ勝ったから、嬉しいよ。イグイグも強いなぁ。谷川さん、僕は天山VSマーク・ハントが見たいです。なんで、角田さんの引退試合の相手は長州力じゃなかったんですか？　サムゴー出ないって本当？

（岡村悟史・？・？歳）

◆天山VSハントは見たいな！　角田さんは武蔵と引退試合やったじゃねえか！

ターザン山本があまりにもパリに似合わず、そこが良かった。

（小林泉・山形県寒河江市・37歳）

◆パリっ子の注目を一身に浴びていました。

ターザン山本の四大名物定義集が面白かった。雑誌の私物化を肯定できる男（ターザン）！　もっとターザンを暴走させてほしい。それをみんなで煽ってほしい。山口日昇やGKも一緒になって煽ってほしい。

（佐々木毅紀・東京都町田市・36歳）

◆あんまり暴走させると、コントロールが効かなくなるんで。

ターザン山本のパリ定義旅行が面白かった。今後のターザン海外取材の定番にしてほしい。もっともっとターザンを前面に出して独走させてほしい（ターザンVS中西をやって）。

（大塚恵美子・神奈川県横浜市・36歳）

◆十分、暴走、独走していると思いますけど。

ターザン山本さんのパリ観光スナップが〝カラーぶち抜き〟で大特集されていたので驚きました。普通ならばテレビＳＲＳの新イメージガールやK－1ガールズ等の写真になるかと思うのですが……。

（春名義行・兵庫県明石市・36歳）

◆ターザンの写真を使いすぎました。反省しています。

中西感動したぞ。次はＴＯＡと氷水ぶっかけデスマッチで再戦だ。そして、ボブ・サップと「プライド」ルールで闘ってくれ。

（渡辺弘幸・愛知県名古屋市・34歳）

◆氷水ぶっかけデスマッチは凄いアイデアですね。ぶっかけってのがいい！

格通の前編集長で谷川さんの元部下の朝岡さんがＺＳＴで試合をしたので、今度は谷川さんも出てほしい。

（安倍正典・北海道帯広市・30歳）

◆谷川さんが出ると平気な顔して相手の腕を折りそうで怖いんだよなぁ。キラーだから。

★作品募集

『あぶもぐ』では、読者の皆さんからのお便りをお待ちしております。相撲関係オンリーと言いたいところですが、べつになんの作品でも結構！　質問もOK！　強烈なぶちかましをお待ちしております。

あて先

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町
3-14-12神田NSビル8F
SRS・DX編集部「あぶもぐ」係

シーザー武志の侍の掟!!

rule of the S

第3回

聞き手◎中村カタブツ君
撮影◎丸山剛史

チンケな悩みを打ち、蹴り、投げる！

隣の部屋にヤクザが引っ越して来ました。たまに誰かを殴る音や悲鳴が聞こえて来て怖いです。ヤクザに詳しいシーザー会長、どうしたらいいですか？　隣と直接話したほうがいいでしょうか？

（東京板橋区　匿名希望）

答えは簡単。早く引っ越したほうがいいよ、巻き添えになるから。マズいじゃん、そこ、どんどんヤクザマンションになるよ。アイツらなかなか居座るからね。それで金にして出ていくから。どうしても出ていくのが嫌だったら仲間になるしかない。準構成員ぐらいにはならないとね。というかさ、ヤクザに詳しいってそれ、どういうこと？　俺、それのが気になるよ（笑）。

会長、喧嘩に勝つ技術を教えてください。裏技とか得意技があったら、それも教えてほしいです。

（大阪　道頓堀）

パチキは使うよね。通りすがりに不意打ちのパチキ。得意だったね、簡単に2人ぐらい倒れてるからね（笑）。

俺の一番の得意技？　俺はモノを使うね。だって手が痛いもん（笑）。飲み屋だったら、ボトルとかを投げたりね。あれが当たってたらどうなっていたかな？　当てる気で投げたけど（笑）。

お前の人生一刀両断！

男・シーザーの容赦なき壮絶人生相談！

喧嘩に卑怯もクソもないんだよね。やったもん勝ち。ヤクザだろうと関係あるかい！　って手当たり次第やったね。

でもさ、こんなこと聞いてどうするの？　こういうハガキを書いてる時点でもう俺たちの世界とは違うよね。憧れてるのかどうか知らないけどね、俺から言わせりゃ、よく生きてたなって思う生活だったからね。

ムダな遠回りだったな。え？　刑務所？　いや、俺、入ったことないんだよ、一回も。少年院もないしね、これが自慢なんだよ。みんなはかなりパクられてると思ってるだろうけど（笑）。

なぜかっていうと取り調べで絶対にしゃべんなかったからだよね。口を開くのはメシを食う時だけ（笑）。その代わり、大阪なんかだと柔道場で稽古つけられるからね。ボコボコにされるよ。関西はヤバイね（笑）。

だから、今の子たちには俺みたいなムダな遠回りはしないほうがいいよってシュートボクシングを通じて伝えてるところはあるんだよ。

RULE OF THE S

侍の掟 男

シーザー武士

先日、僕は1回喧嘩で負けてしまいました。その後、負けた相手のパシリになっています。もう一度身体を鍛えてリベンジしたいと思っています。シュートボクシングを習いたいですけど、近くにないのです。

（千葉県　P4メッセージ）

パシリになってるの？　マズイよね。それで身体を鍛えるっていうのはいいことだと思うけど、この彼、気が弱いでしょ？　たぶん。だから、リベンジみたいなものは考えないほうがいいと思うよ。

じゃあ、どうするかって言ったら、負けた相手がやられそうになった時に助けてあげることだよ。そしたら今度はパシリじゃなくて、もう兄弟分（笑）。これが一番いいよ。友情関係が芽生えるほうが絶対いいと思わない？

あとね、あとね、パシリみたいなヤツがトレーニングを始めると、やったヤツは結構不安になるんだよ。「もしかしたら、こいつ、俺を狙ってるんじゃねえかな」って。人間ってそういうもんだから、やっといて損はないよ。まあ、逆に警戒されて弱いうちにまた潰される可能性もあるけどね（笑）。

今、近くの空手の道場に通ってますが、師範は空手を喧嘩に使っちゃいけないと言います。でも、それじゃあ、格闘技を習う意味がないと思います。会長はどう思いますか？　正直に答えてください

（茨城県　コーイチ）

いや、使っちゃいけないと思うよ。ただ、「カラテをやっていて喧嘩で使わないんだったらなんのためにやってるんだ」みたいなことを大山倍達さんが言ってたらしいよ（笑）。

だから、正直に言えばさ、やっぱり自分の身を最低限守るには相手を殺さない程度にやらないといけないと思うよ。極限まで我慢することも格闘技の中では一番大事なことだよ。でも、その時になったらやればいいと思うよ。というより、自然に出るから。それまでは、我慢に我慢をしないとダメだよね。じゃないと男らしくないよ。

我慢できるヤツは凄いよ。我慢することによって男の器量、度量が今は見えるようになったね。それが男として魅力だと思うよ。そう思わない？

あとね、今の喧嘩って弱い者イジメだから。いきなり後ろから包丁で刺してみたりさ、それも女を狙ってさ。そういう奴らに言いたいよ、「ヤクザに突っかかってみろよ」って。卑怯だよな。

俺は後ろから刺されても行くよ。そいつ捕まえて道連れにするよ、最低。

今、警察が保護してくれないんだから自分の身は自分で保護するしかないよ、男だったらね。一番いいのは毎日走ることだね、なんかあったらすぐに逃げられるからね。言うだけ言って逃げる。これは大事だよ（笑）。

喧嘩のやり方？　モノを持つのが一番てっとり早いよ（笑）

初キッスのシチュエーションはどういうのがいいでしょうか？　会長ならいい場所を知ってると思うんで絶対教えて！

（東京都　サワー最強）

シチュエーション？　う～ん、いきなりラブホテルはマズいと思うんだよねぇ。だから、手をつないでさ、鎌倉とかね。これから夏だから海がいいよ（笑）。

いやぁ、俺、硬派だったから分かんないんだよ、こういうの。

え？　初体験？　それは中学2年の時だけど。いや、違うんだって、俺はそのちょっと前まで手をつないだだけで赤ちゃんができるとホントに思ってたぐらいだったんだから（笑）。

高校の時も手を握るのがやっとでさ、1回デートしただけで別れた子もいるんだよ。俺、その子のこと凄い好きだったけどお嬢さんでね、初めてのデートの時、俺が3時間も遅れたのに待っててくれたんだよね。それ見たら、「いい子過ぎるな、俺みたいなヤツと付き合っちゃいけない」って思ったんだよね。

俺の理想はやっぱり大和撫子なんだよね。その点、ウチの女房は理想的だよ（笑）。いやホントホント。結構気は強いけどね。

昔は凄かったらしいんだよ。俺は知らないんだけど、女房の弟たち2人は「姉ちゃんの後ろにいたら誰も文句を言わなかった」って言ってたからね。だから、あの姉ちゃんが「ハイハイ」言って動いてるところを見て、「シーザーさんって凄いですね」って言ってたよ。それに女房は昔の写真を俺に絶対に見せないからね。あれはヤバいよ（笑）。

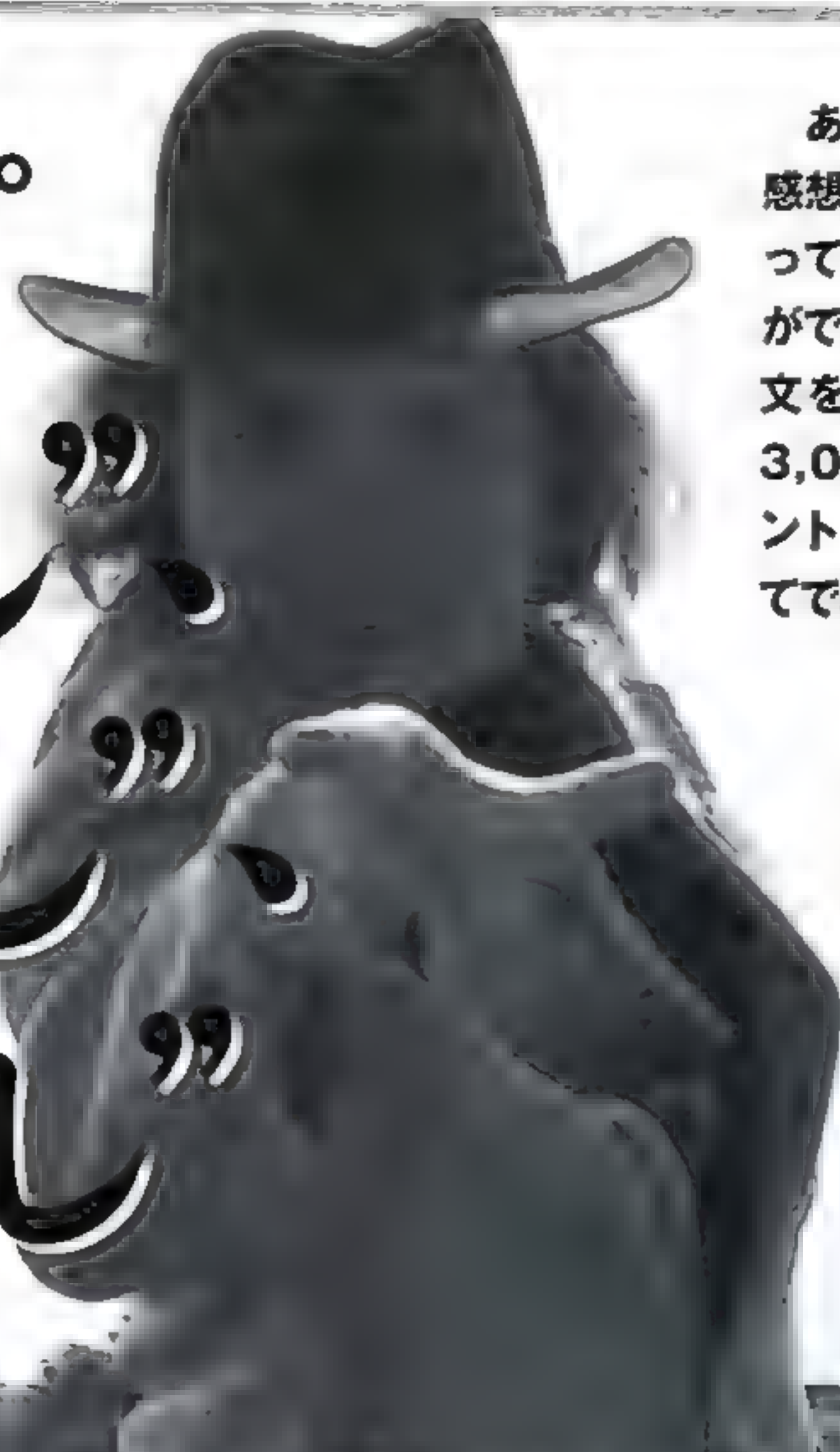
で、シチュエーションかぁ。だから、やっぱり海だよ（笑）。■

どうだ、この壮絶な人生！　善と悪とが渾然一体だからこそ、会長の言葉には真実があり、コクがある。こんなシーザー会長に君たちの悩みをぶつけてみたくないか？　恋の悩みからイジメ問題、嫁姑問題に親にも言えない性癖まであらゆる苦悩をシュートしてくれるはずだ！

〈あて先〉

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F（株）ローデス　SRS・DX編集部「シャイな悩みにそれシュート」係

新刊紹介3連発。

本は“作るべし”、“売るべし”、“語るべし”

あと１カ月ほどで夏休みです。皆さん、読書感想文の課題本は決まりましたか？　まだ決まっていない人は、ターザン山本推薦図書はいかがでしょうか？　読んだ方は、それぞれの感想文を送ってください。優秀な方には図書券3,000円をプレゼント。あて先は読者プレゼントコーナーと同じで、『あぶもぐ感想文』係あてでお願いします。

文◎ターザン山本

一にテリー伊藤、二にジョシカク、三に浅草キッド。その答えは“変と好奇心”

一

『格闘技心中』

ターザン山本
テリー伊藤
格闘技心中
kakutougi sinjyu
最強コンビの超ド級反則発言100連発!!

◆著者/ターザン山本＆テリー伊藤
◆発売元/徳間書店
◆定価/1,400円（税別）
◆発売日/発売中

普通の人のような、変な人のような、そこの部分を、行ったり来たりしながら、生きているのがテリー伊藤さんである。

つまり、その使い分けが、実にうまいということである。普通の人であることが都合がいいと、そっちの顔になり、変な人になったほうがいい場面になると、今度はいとも簡単にそっちのほうにいってしまう。

私はテリー伊藤さんと対談をしていて「これは油断できない人だな」と思ったのはそのことである。だからこの本を読むコツは、テリー伊藤とターザン山本が、どういうやりとりをしているのか、それを見るのも一つの楽しみになると思う。

いうなれば2人がプロレスの試合をしているようなもの。技の掛け合いをして、常に自分が有利な立場に立とうとする。その目に見えない闘いが面白いのだ。

実際、対談をしていた時、私はそのことを強烈に意識した。だいたい考えていることと、思っていることはほとんど同じ。どっちが早くそれを言うのか？　先に言ったほうが勝ちみたいなところがある。

たとえば「お前はそうきたか？　じゃあオレはこっちにいくしかないな……」みたいな感じである。もう一つこの対談で重要なことは、プロであることと、素人であることの使い分けも一つのキーワードになっていた。ある時は素人の視点からプロの立場をシュートしていく。

テリーさんってその戦法を使ってくるんだよなあ。私はプロレス記者なので一応はプロである。それで安心しているとテリーさんは、そこをぴしっと素人の視点で突いてきて、こっちをあわてさせるのだ。

まったく、ああ言えばこう言うである。こう言えばああ言う。そういう緊張感がテリーさんとの間にはあった。それがこの本で果たしてどれだけ出ているのか？　これは私とテリーさんとのセメントマッチだった。■

『ジョシカク〜SMACKなカノジョたち〜』

女子プロは終わったという言い方をしたら、たぶん大ひんしゅくを買うだろう。でも、30代のおばちゃんの試合なんか、見たくないよ。女のコは若いほうがいいに決まっているではないか？ そこで私は女子格闘技に"転向宣言"をしているのだ。

といってもジョシカクの選手が、そんなに若いとは限らない。20代後半の人は案外と多い。しかしである。彼女たちはあくまで"個"として存在している。組織とか団体のしがらみがない。とりあえずは試合をして勝てばいいのだ。

その自由さは抜群である。女子プロレスの世界には、それがない。もう、これは私の中で女子プロレスに対する反動である。そう思ったらいっそのことジョシカクの本でも作ってやろうではないかと、思った次第。それで私は本当に作ってしまったのだから、これは傑作なのだ。

みんな世の中って早いもの勝ちなのだ。

現在まだジョシカクは人々の間で注目度は低い。こういう時、いち早くそれに目を付けてファンになると、エリート意識を持つことができるのだ。

まして、選手もまだジョシカクというジャンルが、この世界では認知されていないので、ハートがみんなピュア。取材だってこころよく応じてくれる。そういう良さがこの本にはある。それが出ている。

私はジョシカクがブレイクするまでしつこく応援していくつもりだ。そういう時の私は本当に情熱的になる。執念を持ってことにあたる。ジョシカクはどうしてもこの本から始まったと言わせたいのだ。まずは4人の選手に登場してもらった。

彼女たちはこれからもっともっと洗練されていくと思う。今はまだ原石のままだ。買って損はないぞ！ ■

◆監修/ターザン山本
◆発売元/新紀元社
◆定価/1,400円（税別）
◆発売日/発売中

『お笑い 男の星座2 私情最強編』

前作の"男の星座"は大ヒットした。その第二弾である。今回は異常に力が入っている。なんと、300ページを超える大作なのだ。しかも章は5章しかない。もちろん序章と最終章と番外編も抜群にいい。つまり浅草キッドが"これはいい"と思ったことを、圧倒的好奇心を持って五つの章を書いているのだ。読者よ「心して読め！」である。

まあ、ともかく浅草キッドの"自信作"であることは間違いない。

鈴木その子さん、寺門ジモンさん、飯島直子さん、江頭さんと、自分のことに絞り込んで五章書いている。

自分のこととは要するに変装免許証事件のことである。人間に対する人一倍の興味がこの本を書かせたと言ってもいい。その視点は前作と同じである。芸人であるキッドから見て、こんな凄い人が世の中にはいるんだという驚き、サプライズ。そうなるとその人のことも紹介しないではいられなくなってくる。

そこにキッドの良さがある。キッドは世の変人、奇人の発掘者、伝導者でもある。そういう人間に出会うと、すぐにのめり込んでいく。惚れ込んでいく。愛情を持って追っかけも辞さないのだ。

序章で梶原一騎と番外編で百瀬博教氏を取り上げたのは、キッドにとって2人は、人生の"二大師匠"でもあるからだ。そういう人に出会えた人間は幸せである。幸福感が文章に表れている。いい始まりであり、いい終わりになっているのも心憎いものがある。

かくいう私も『週刊プロレス』の編集長を辞めた時、キッドに拾われて人生を再生、リボーンできた。キッドは私の大恩人でもあるのだ。だから、できることなら私もこの本に登場できるように頑張りたいと思った。そういう目標を私に与えてくれた本である。まさに頑張るぞおおおだ。 ■

◆著者/浅草キッド
◆発売元/文芸春秋
◆定価/1,500円（税込）
◆発売日/7月15日発売

編集後記

▼7月12日、グレートアントニオ&高円寺文庫センターにて浅草キッドサイン会決定！ 2店舗ハシゴで浅草キッド特製グッズ（非売品）がプレゼントされるのだが、これが結構凄い！ 季節を問わず、子供からお年寄りまで使える物で、大きくて、真っ赤な色をしている。思わず「キッド・ボンバイエー！」と叫びたくなること受合いの一品、かもしれない。今週末です。お間違いのないよう。（野尻）

▼最近、おやつ代わりに菓子パンを食べる機会が増えている。1日1個のペースで食べているので、けっこう多くの種類を食べてきたことになる。その中から、オススメを挙げるとしたら、ヤマザキ製パンの『ごまチーズパン』がイチオシ！ 黒ごまの風味漂うふんわりやわらかいパン生地の中に、口溶けの良い甘いチーズクリームが入っていて、一度食べたらクセになること間違いなしだ。（佐藤）

▼今回、新間さんを初めて取材しに行ったのだが、ほとんど一人語り。にもかかわらず、自分のしゃべることは理路整然としている。一人語りと言えば、もう一人凄い人物がいる。I編集長である。簡単なコメントをもらうだけの予定だったのに、1つの質問で1時間ぐらいは一人でひっきりなしにしゃべってくれる。電話越しとはいえ、「これが噂の喫茶店トークか」と感動したものだ。（小松）

▼自分がそうじゃないからでもあるが、スポーツ選手では気の強そうな人に惹かれる。プラス頑固さ、こだわりを持ってるとなおいい。野球でいったら広島の前田とか、日ハムの小笠原、それになんつっても巨人の仁志。だが、その仁志に、首脳陣に嫌われてのトレードの噂が。たしかに〝ジャイアンツ愛〟とは無縁そうなキャラだけど。プロの世界って〝愛〟よりも〝技〟じゃねえのかなぁ……。（橋本）

▼先日、ボウリングに行った。それほど上手ではないのだが、ついムキになってしまう性分。スコアもさることながら、この日はスコア画面に表示される球速が気になった。向こう3レーン両隣で投げる若者に負けじと必死に投げた結果、スコアはガタガタながらスピードはダントツ1位（周りの誰も気にしている様子はなかったが……）。筋肉痛になったのが、翌々日というのが悲しかった。（林）

▼私の親友が会社を辞めた。それも大きな出版社である。「もう、いやになったから仕方ないでしょう」。彼には3人の子供がいる。これから何をやっていくのかその当てがあるわけではない。相談を受けた時、彼のことが弟のように思えてきた。結局、彼は自分の感性を信じることで孤立したのだ。まさにそこから始めよ、そして生きよである。私は孤立しない感性は感性とは認めないのだ。（山本）

SRS・DX
東京都港区海岸1-15-1
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル
NORTON

PROFESSIONAL SHOOTO
6.27★広島サンプラザ

23カ月ぶりの勝利、
38カ月ぶりの一本！

崖っぷちでも大胆不敵
復活！これがルミナだ!!

撮影◎丸山剛史、橋本宗洋

それでもいく！ 極れ！ 極つたれ！

「これ外したら何言われるか…」

第9試合・メインイベント/68キロ契約5分3R
○佐藤ルミナ × R・アッカーマン●
〈日本/K'z FACTORY〉〈アメリカ/グラップリング・ワークス〉
（1R2分12秒、ヒールホールド）

久々の勝利、そして一本勝ち。決まり手はルミナの代名詞とも言える足関節技・ヒールホールドだった

やはり、佐藤ルミナなのだ。この男の存在が、修斗には不可欠なのだ。あらためてそう感じさせられた試合だった。

広島では初の修斗プロ公式戦。会場はK―1も行われた広島サンプラザである。地方のファンにも届く、興行の〝引き〟になるスターが必要だ。となれば、ここはルミナの出番。修斗を初めて見る広島のファンに、その醍醐味を伝えるのがルミナの〝仕事〟だった。

ただし知名度は抜群でも、今のルミナは絶不調である。最後の一本勝ちは2000年4月のイーブス・エドワーズ戦。それはハワイでの試合だから、日本でとなると99年10月のフィル・ジョンズ戦にまで遡る。2001年8月のマーシオ・クロマド戦での判定勝利以降は、勝ち星にも見放された状態だ（3敗1分）。はっきり言って「どんなんでもいいからとにかく勝ってくれ」という感じである。目先の1勝、それの何が悪い、と。

今回、ルミナの試合はウェルター級（70キロ）ではなく68キロ契約。65キロリミットのライト級転向を見越しての設定だ。これまでのウェルター級では、ルミナは減量なしで試合に出ていた。骨格やパワーの基準がハナから違う相手と闘い続けてきたのである。といって、これからが〝新天地〟とは限らない。逆に考えれば〝これで負けたら……〟という崖っぷちでもあるのだ。

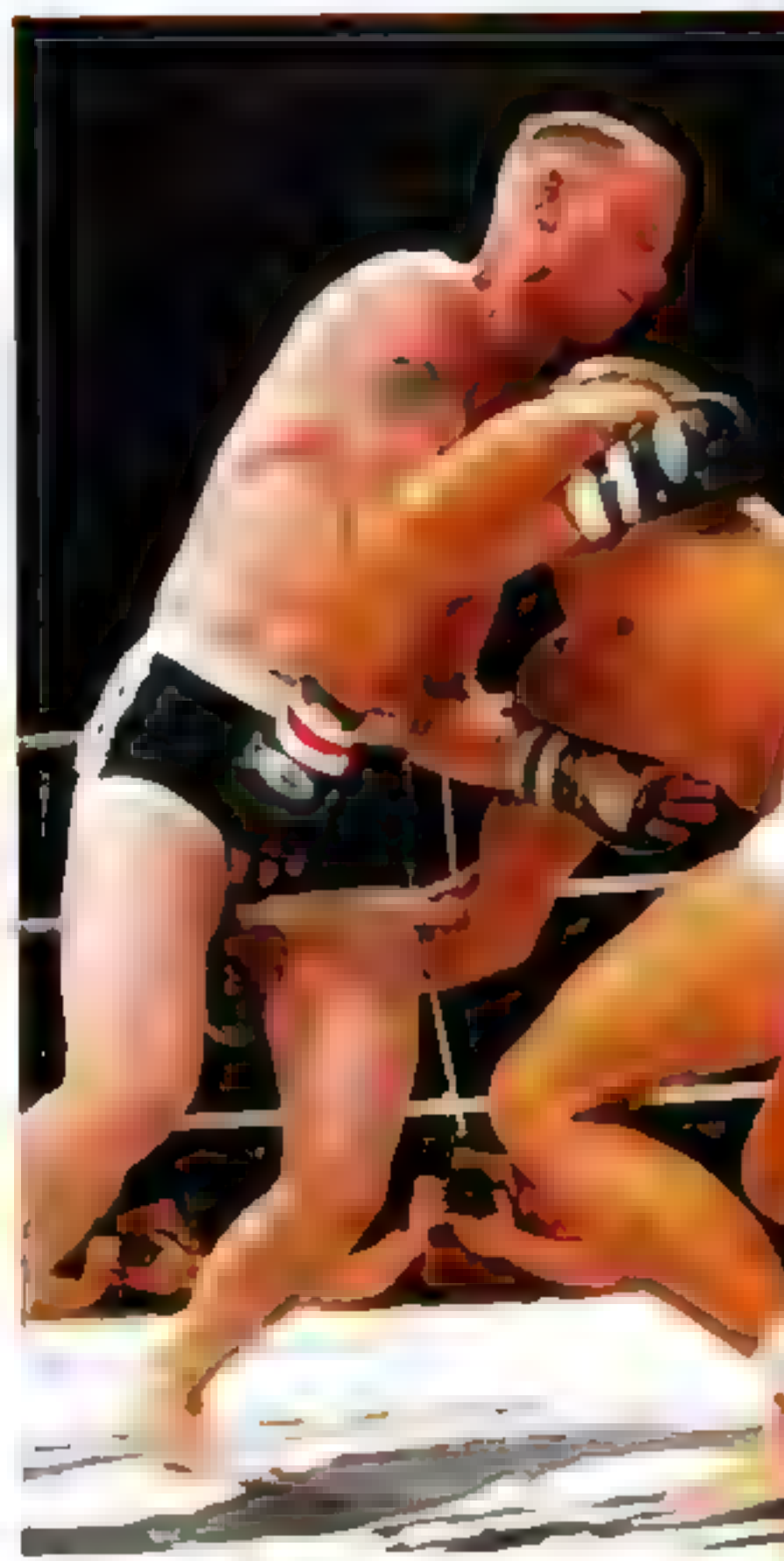
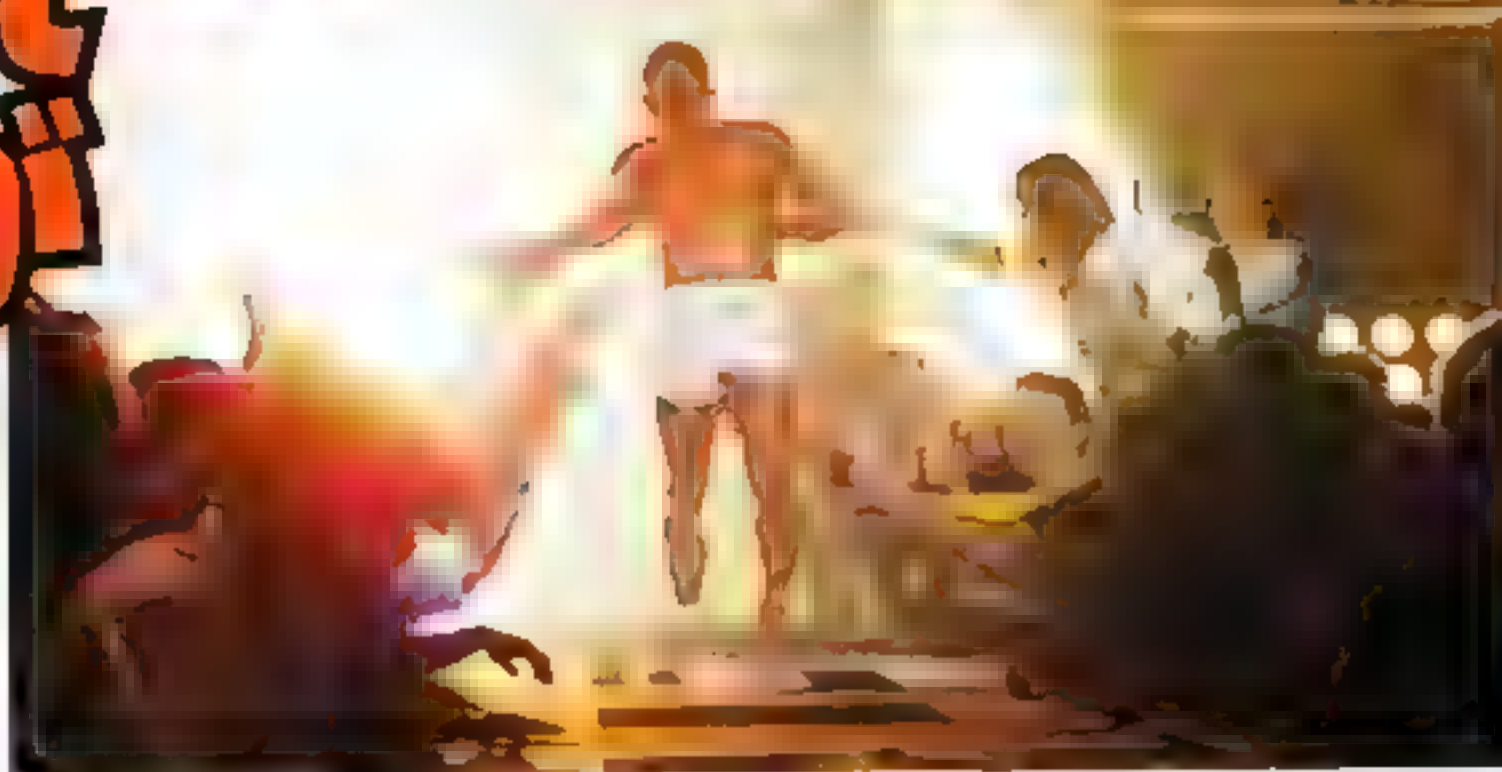
対戦相手はアメリカのライアン・アッカーマン。目立った勝利こそ挙げていないが、日々レベルが上がり続けている総合シーンで活躍している以上、決して安心できるものではない。大会パンフに

PROFESSIONAL SHOOTO
6.27★広島サンプラザ

初上陸の地・広島から新・カリスマ伝説が始まる!

「これがボクです!」

▼引き上げていくルミナと、花道に押し寄せる広島のファン。初上陸は大成功に終わった

◀リング上での勝利者インタビューで「これがボクです!」とルミナ。こんな姿を待っていた!

▲まずは軽くローを飛ばすルミナ。「もっと打撃を試したかったんですけどね」

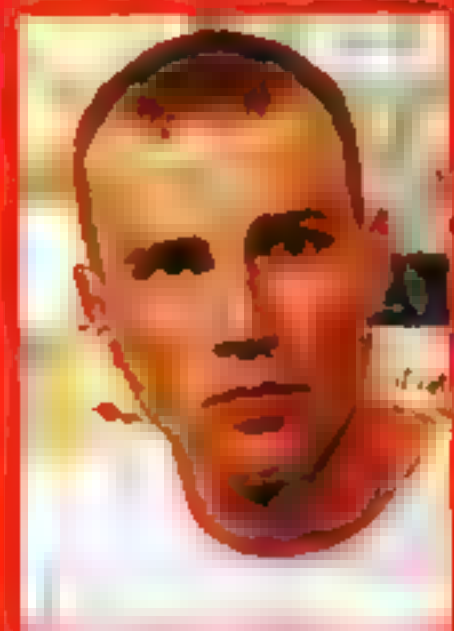
▲そして素早く組み付き、差し合いへ。落ち着いた動きだった

▶相手の腕を制しながら、反り投げ気味にテイクダウンし、コーナーに詰めて殴る。とにかくこの日のルミナは力強かった

◀しばし上から殴りつけ、相手の力量を見極めたところで(?)、ヒールホールドへ。1度はすっぽ抜けたが、次のトライでキッチリ極めた

After the fight

ルミナのコメント 勝

「久々の勝利者インタビューですね（笑）[illegible]、[illegible]（笑）。[illegible]たらまたなんか言われるって思ったけど、でもいいやって。「なおさらリスキーで沸くじゃねえか、これがオレだ」って。[illegible]と全然違いますね。組んでも恐くない。こ[illegible]まの力でライト級に行ければ」

アッカーマンのコメント 負

「[illegible]。[illegible]、[illegible]すら[illegible]った。ボクシングが得意なんでスタンドで[illegible]したかったんだけど[illegible]ミナはワールドクラ[illegible]。スタ[illegible]った。こういう選手と試合ができて、自分のレベルを上げるために[illegible]」

きるものではない。大会パンフには"思い切りの良いファイトなんかいらない　記憶に残る内容より記録に残る白星を"とあった。

僕もほとんど同じ心境だった。だが、甘かった。ルミナはそんなヤワなタマじゃなかった。フィニッシュはよりにもよってヒールホールド。ただでさえ、足関節は失敗すると相手に起き上がられ、ポジションを逆転されるリスクがある一発勝負。ましてルミナは前回の試合、ヨアキム・ハンセン戦でこの技をかわされてボコボコにされている。

それでもいくのだ、この男は。

「前回の反省を活かさずに（笑）。負けたらまたなんか言われるって思ったけど"なおさらリスキーで沸くじゃねえか、これがオレだ"って。"いけ"っていう自分と"ここは堅く"っていう自分と。天使と悪魔がいるんですよ」

ルミナにとっては"いけ"と言うほうが天使に違いない。観客にとっても、ルミナ自身にとっても大熱狂の一本勝ち。コーナーに昇り、さらに四方にガッツポーズを決めた後でルミナは言った。

「これがボクです!　これが修斗です!」

どれだけ時代が移り変わろうと、どれだけ若い選手が台頭しようと、やはりルミナは特別な存在だった。これまでより相手の体格が小さくなったことで、パワー負けせず落ち着いて試合ができたことも大きいだろう。でも最も重要なのは、プロとして見る者の期待に過剰に応えようとする意地。すなわち、どんな苦境でもルミナがルミナであり続けたということだ。（橋本）

PROFESSIONAL SHOOTO
6.27★広島サンプラザ

空位のタイトル争いはコイツが本命!? 菊地昭、池本誠知を寝技で完封!

ミドル級に驚異の大型新人出現!

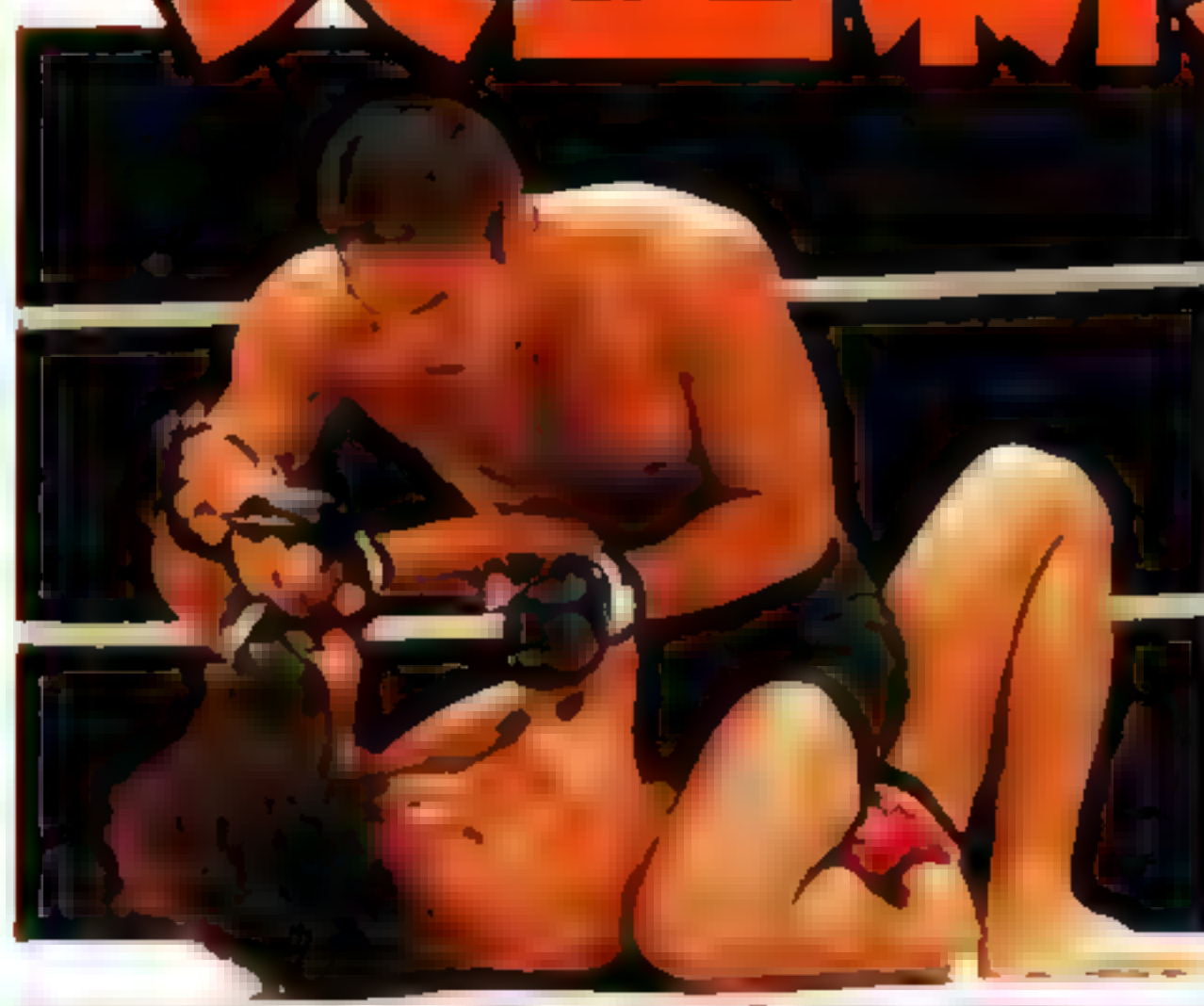
▶これでデビュー以来6戦全勝、しかも4つが一本勝ち(1KO)となる菊地。24歳の将来は天井知らず

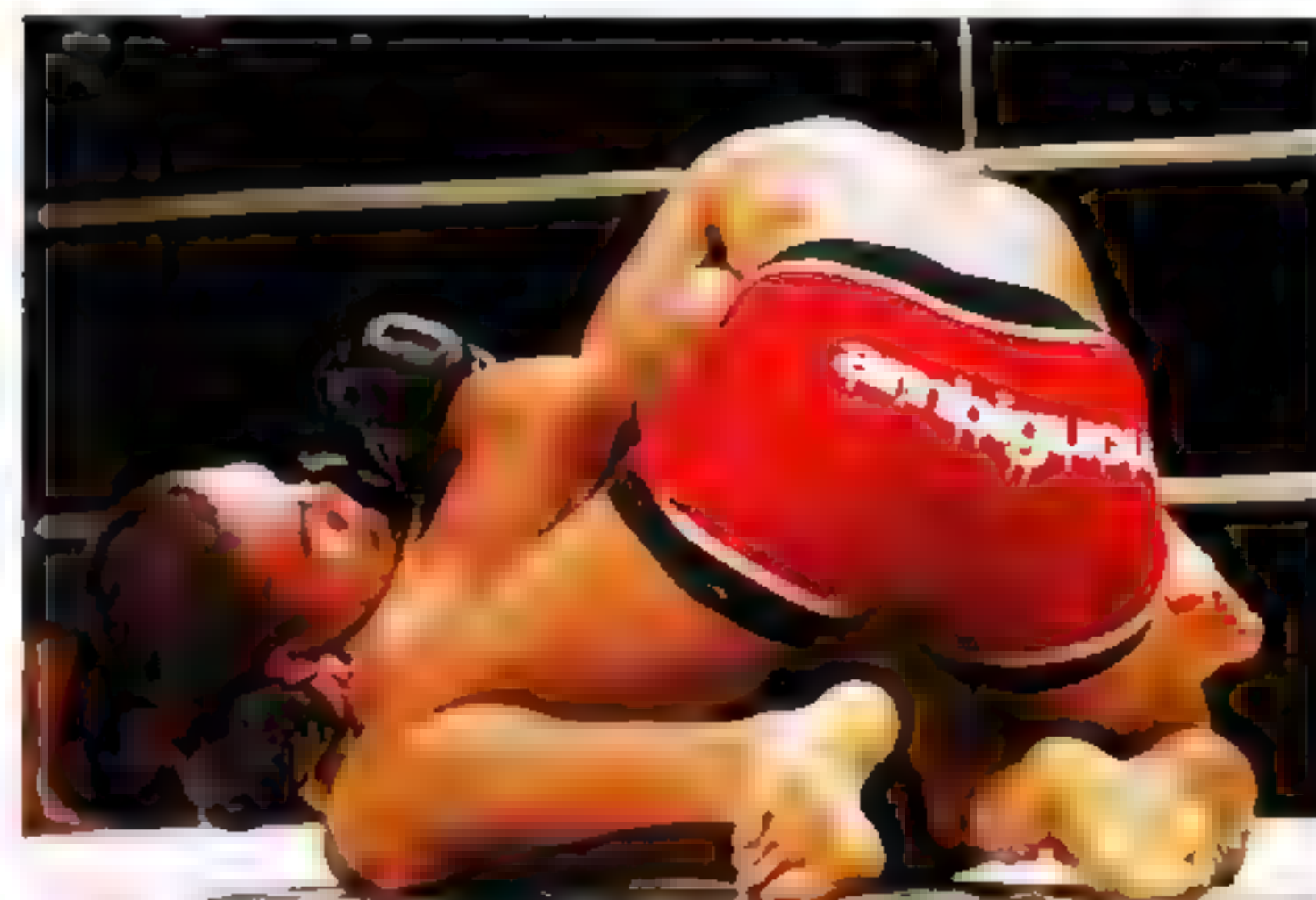
地元・広島勢が大躍進!

▶今大会には地元・広島の選手が4名出場。中でも光ったのはパレストラ広島の富樫健一郎で、朴光哲(K'z)を相手に下からの十字で一本勝ち(1R2分42秒)。この勝利で富樫はクラスA昇格が見えてきた

◀富樫の出身校・広陵高校からは柔道部の生徒たちが大挙して応援に。富樫が勝った瞬間の沸きっぷりは凄まじかった。左端は今大会で修斗ラストマッチを行った藤田善弘

▶中蔵隆志(STG大阪)は藤原正人(パレストラ東京)から三角絞めでタップを奪う(1R3分48秒)。前半は判定が多かったが、この第6試合から尻上がりに盛り上がっていった

▲7・13「DEEP」出陣を控えた池本だったが、菊地昭の腕十字にタップ。とんでもない新鋭が現れたものだ

▲1Rからマウントを取るなど、菊地は寝技で圧倒

■第8試合/ミドル級5分3R
○菊地 昭 × 池本誠知●
〈K'Z FACTORY〉 〈ライルーツコナン〉
(2R1分28秒、腕ひしぎ十字固め)

▲U系ばりの動き回るスタイルが持ち味の池本が上になるも、菊地は下から腕を固めながら反転、鮮やかに十字を極めてしまう

ルミナ復活で大団円となった広島大会だが、それに至るまでの興行の流れもまた素晴らしいものであった。セミまでの内容が良かったことで、最高の形でメインにつながったのだ。

前半は判定が多く、ちょっとしんどいなという感じだったのだが、第6試合、中蔵隆志が藤原正人を三角絞めで極めたところから一気に加速。続いて地元・広島の富樫健一郎が朴光哲を十字でタップさせて仲間がリングに雪崩れ込んでくるほどの大盛り上がり。そしてセミでも、驚くべき試合が繰り広げられた。

菊地昭。この24歳の青年が、格上の池本誠知を圧倒、翻弄したのである。上になればすぐさまパスガード、マウント奪取。下になっても、気が付けばスイープを決めてしまう。関係者の間では、菊地を「寝技(の組み技)では修斗でも最強」という声さえ上がっているという。

フィニッシュも実に鮮やかだった。下から池本の腕を制しながらグルッと回転、上になった瞬間には腕十字を極めていたのだ。思わず息を呑む一本勝ち。たとえその後にルミナの試合がなかったとしても、菊地のこの試合を見たら十分に満足して帰れただろう。王座が空位で混沌としているミドル級、そこへ「本命登場」と思わず興奮したくもなるというもの。

ルミナ以外は若手中心の地方大会で、思いがけず好試合が連発され、新鋭が一気に芽を吹く。こんなことがあるのも、アマ大会から地道に積み上げる修斗の競技システムの賜物なのだろう。 (橋本)

Best Selection from the World

話題の海外商品を簡単・迅速にお手元へ（商品カタログを無料送付）

◆ANDROSTENEDIONE
アンドロステンジオン

★筋肉増強に世界のアスリートも数多く愛用しています★

筋肉増強

ULTIMATE NUTRITION
ANDROSTENEDIONE
50 MG
100 CAPSULES

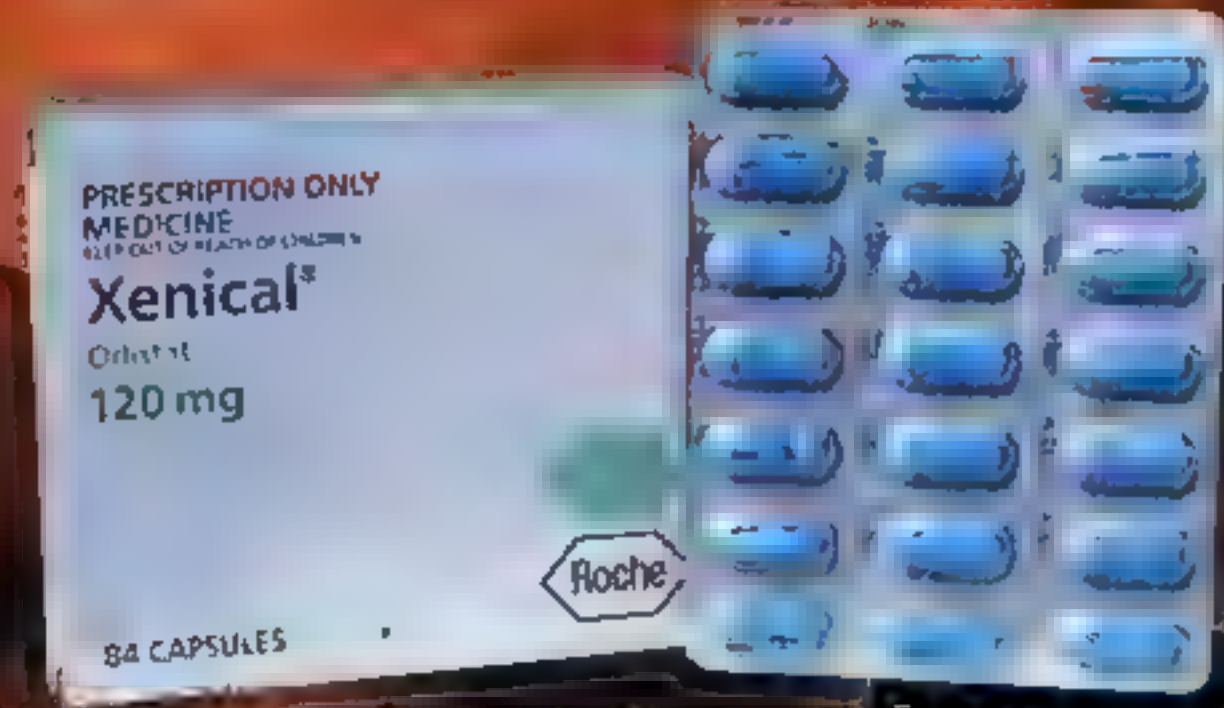
100mg／100錠
（2ヶ月分）
1瓶　8,800円
2瓶 15,900円
3瓶 22,500円

強い筋肉作りの補助に。米国では栄養補助食品として販売され、大リーグでの使用も認められています。アンドロステンジオンを飲んだ状態で筋肉が壊れると、筋肉再生量が、普通より増加して戻ってくると言われています。最後に1回のカフカ運動がより効果を高めます。

ゼニカル

食事のカロリーが気になる方に。

脂っこい食事はダイエットの大敵！
「でもどうしてもダイエット中は特[illegible]物を食べたくなる」
そんな人には「ゼニカル」がお勧め。

PRESCRIPTION ONLY MEDICINE
Xenical
120 mg
84 CAPSULES
Roche

欧州版（写真）1箱 84カプセル 19,400円

リダクティル
（米国名：メリディア）

ナチュラルに安心ダイエット。

肥満大国アメリカではその使用者が10万人といわれる人気商品。ダイエット中の食欲にいつも悩まされる人に最適。

欧州版（写真）
10mg/30錠（1ヶ月分）21,800円
15mg/30錠（1ヶ月分）28,300円

PRESCRIPTION ONLY MEDICINE
KEEP OUT OF REACH OF CHILDREN
Reductil
30

㈱ライフメイク

ご注文専用フリーダイヤル 0120-37-0044
Fax.048-872-0880（24時間受付）
Fax.の場合は、希望商品と個数・住所・氏名・TELを明記の上、お申込下さい。

商品のお問い合わせ等は☎048-710-8358（代）
〒336-0022 さいたま市白幡4-23-11 SDAビル3F

商品は7日でお届け、お支払いは後払い・代引きで。※掲載商品はすべて税込・送料680円。
受付時間:AM9:00〜PM9:00★商品は到着後8日以内なら返品・交換可。
（返送料はお客様負担。未破損・未開封に限る）※全商品説明書付き。

中量級ブレイクの後はライト級が旬！

石井宏樹

ノックアウト・アーチストとは、この男のことを言う

撮影◎中島ミノル
聞き手◎宮崎正博

私はこれほど美しいノックアウトを演出できるキックボクサーをほかに知らない。新日本キック・ライト級チャンピオン、石井宏樹がそのスリムな長身から打ち、そして蹴る。いずれも目にもとまらぬコンビネーション攻撃となって、対戦相手を打ちひしぐ。現在7連続KO。このまま順調に勝ち進めば、来年3月にも本場タイの王座に挑む路線も確立されている。しかし、私たちがほんとに見たい石井宏樹は、真に日本で一番強い男となるその姿なのである。

—石井選手のKOシーンは美しいですよね。まさしくノックアウト・アーティストと言ってもいいな。

石井　そう言われると嬉しいですね。

—とにかくコンビネーションが素晴らしい。コンコンと湧き出る泉のように、次から次にと多彩なパンチ、キックが出てくる。見事です。

石井　ボクは一発で倒せるタイプじゃないですから。2発目、3発目、それからどう決めていくのかと、常に考えながら闘っているんで。

—そのコンビネーションって、どのくらいのパターンを持っているんですか？

石井　種類ですか？　うーん。何種類ということは言えないですねぇ。ボクは試合前、ビデオで相手を研究するということをしないんです。一度見ちゃうと、い

っぱり、ダメか（笑）。今や石井

か分かるのに、あっちは全然気が付かな

吹っ切れました。とにかく楽しくやろう。

これからの旬はライト級！

KOアーティスト

石井宏樹

▼パンチ・キック、ヒザ・ヒジ、上下左右…。ありとあらゆる攻撃が、華麗なコンビネーションとなって繰り出される石井の試合。この男をキックのパウンド・フォー・パウンドに推す声も多い

ろいろと考えすぎてしまうんですね。リングに上がって、相手の出方、スタイルをうかがいながら、攻め方を考えていくので。練習ではもちろんやっていますけど、その場その場で考えながら出していくから、ちょっと分からないですね。時間で言うなら、30秒間くらい続けて攻め続けることはできると思いますけど。

――凄いなぁ。実はボクの専門は国際式ボクシングなんです。で、国際式側の関係者にキック界からぜひ欲しい選手はと聞くと、以前なら小野寺力選手、今なら石井選手なんですね。

石井　いやぁ（笑）。

――パンチだけのコンビネーションで、その豊かな創造力を試してみたくない？

石井　パンチだけじゃ、ボクにはちょっと寂しいですよ。蹴りがあるから面白い。フェイントにしても、もっといろいろ考えられるじゃないですか。それにボクはキックボクシングが心底好きですからね。

――やっぱり、ダメか（笑）。今や石井選手はキック界の宝ですからね。

石井　まだまだですよ。50％くらいしか開発できてないんじゃないですか。それでもキックが楽しくて楽しくて。感覚的なものですけど、練習でも一日一日、自分が強くなっているような気がしていて。人生で今が一番楽しいと思っています。

――ほう、練習も楽しいですか。

石井　はい。ビシビシ、楽しくしごかれてます（笑）。技術的なものもそうですけど、ジムの人たちが精神的にもうまく追いつめてくれて。たとえば新妻（聡）さんにミットを持ってもらったら、もう休ませてくれない。「日本人が一番根性があるんだ！　外国人なんかに負けるんじゃない！」って。たまにミットを外して新妻さんに当たってしまうんですけど、「バカ野郎！　どうせ当てるんなら、ぶっ倒すくらいのを当ててみろ！」ですから（笑）。会長、鴇さん、小野寺さんや先輩の人たちも、いろいろな形で見守ってくれたり、プレッシャーをかけてくれたり。だから、キックももちろん好きですけど、この藤本ジムがもっと好きというところもあるんです。

――その藤本ジムに入ったきっかけって、やっぱり強くなるため？

石井　いえ、ダイエット目的（笑）。15の時に始めた頃はもうコロコロした体つきで。運動は得意だったんですけど、野球やったら必ずキャッチャーで。この間、中学時代の同窓生とみんなで会う機会があったんだけど、こっちはちゃんと誰だか分かるのに、あっちは全然気が付かなかったんです。そのくらい、ボクの姿形は変わってますね。

――そうかダイエットが目的なら、やっぱりボクシングでも……しつこいか（笑）。

石井　最初はボクシングをやるかキックか悩んだんですけどね。藤本ジムをのぞいたら、サンドバッグをキックしている姿がかっこよくて、キックのほうにきちゃいました。あとはもう面白くて面白くて。高校時代は学校から帰るとすぐにジムに行っていたから、まったく遊んだ憶えはないですね。

――そしてやがてプロになったんですね。

石井　オヤジは昔、ボクシングをかじったことがあったんで、ボクがプロになって喜んでくれました。でも、最初の試合にKO勝ちしたあと2連敗して、ボクの力では通用しないんだな、と諦めかけていたんです。その時に小野寺さんに「もう1度だけやってみない？」と言われて、それから6連勝してチャンピオンになったんです。

――3年前、鷹山真吾選手にKO勝ちしてライト級王座を奪ったんですね。あの頃の石井選手も、凄く輝いてた。ただ、その後、スランプというわけではないけど、倒しきれない時期がありましたよね。

石井　倒せない自分に苛立っていました。（スランプ脱出の）きっかけは昨年7月の井場洋志戦ですね。これで倒せなかったら、もうチャンピオンベルトを返してしまおうかというくらいに思いつめて闘って、それで1RKO勝ちできて。あれで吹っ切れました。とにかく楽しくやろう。ジムでやってきたことが試合に出し切れたら負けてもKOされてもかまわない。そういう気持ちがいいいじゃないか。そういう気持ちがいい結果につながっていると思います。こういう考え方がプロとしていいのかどうかは分かりませんけど。

　そうか。そうして再び快進撃が開始されたわけですね。

石井　はい。それからはもう楽しくて。以前は試合後、興奮してその夜は眠れなかったんです。いつも寝ないで遊んで、朝、築地で寿司を食べるのが恒例だったんですよ。でも、今はもうグッスリ気持ちよく眠れますね。築地通いはまだ恒例ですけど、睡眠不足で食べるより、ずっと美味しいことが分かりました（笑）。

――じゃ、これからもっと強くなるために、やっぱりムエタイを研究しているんでしょうね？

石井　ムエタイはボクの頭の中にはないですね。

――えっ？　打倒ムエタイがテーマじゃないんですか？

石井　ボクが好きなのはキックボクシングなんです。ムエタイというのはたしかに凄いんでしょう。でも、テクニック重視に走りすぎて、ポイントの奪い合いになっています。強い弱いをはっきりさせる勝負が中心になっていない。ボク自身もタイでそういう試合をされて、何度も悔しい思いをしてきました。ボクはやはり相手を倒すことで初めて達成感を感じることができるんです。そのためにもキ

「一言で言って今が一番楽しい。キックボクシングが面白くてたまらない」

まさかの悲劇！ 1回戦でラドウィックの前に轟沈

これからの旬はライト級！
KOアーティスト
石井宏樹

「ベルトにこだわりはありません。けどライト級で一番強いということにはこだわります」

ックボクシングにこだわりたい。ムエタイはムエタイで、同化したくはないです。

——とはいえ、このまま順調に勝ち進めば、来年3月にもタイの王座に挑戦するという話もあるようですが。

石井 もちろん、闘って勝ちたいという気持ちはあるんです。日本選手のことは、はっきり言って頭の中にはないです。3月にそのムエタイのタイトルマッチが本当に決まったら、やっぱり凄く嬉しい。チャンピオンになりたいというわけではないんです。ベルトにこだわりは持っていません。強い選手と闘って勝ちたい、そしてその結果としてベルトがついてくればそれで嬉しいということなんです。

——じゃあ、以前、引き分けに終わったムアンファーレックとか、今話題のサムゴーとかと闘いたいと思いますか。打倒ムエタイじゃなく、強い対戦相手として。

石井 ムアンファーレックは、もう現役バリバリのライト級というわけではないですからね。それほど闘いたい相手ではないですけど、サムゴーのほうはね。強いということで知れ渡っている選手ですから。そういう意味では興味はあります。

——サムゴーは小林聡選手や金沢久幸選手に勝った後、「日本選手はミドルのカットを知らない。強くなるために一生懸命ではない」と、かなりきつい言葉を残していますね。

石井 勝てるかと言われると、そこまで言い切れる相手ではないです。たしかにあれだけのミドルですからね。ハタから見ただけでは、どれほどの強さは分からないですし。たとえ一つカットできたにしろ、それが自分の攻撃につなげられるかどうか、試合中にそこまで考えられるかどうか。ただ、もし自分がサムゴーと闘うとなったら、オレはひと味違うぞ、これまで日本でやってきたような試合展開にはさせないぞ、とそういう気持ちはありますよ。

——ぜひ、石井選手はサムゴーと闘ってほしいな。でもその前に、いろいろと難しい問題はあっても、本当の意味で日本一になってほしい。そういう願いはファンにはあると思います。K—1MAXに武田幸三選手が参戦したように、この先ライト級でもそういう機会はきっとあると思います。

石井 この間の全日本キックのトーナメントに優勝した大月晴明選手や小林選手は知名度があるわけですから、そりゃ、闘って勝ちたいですよ。特に大月選手ですね。ただ、試合見たことないんですよ。人の話や雑誌を読んで知っている程度で。ボクとはまったく違うスタイルで、一発パンチの選手みたいですね。闘ったら、一発狙いと、コンビネーション攻撃の、難しい駆け引きになるのかな。どっかアナがあるような気もするんですけど。

——しかし、石井選手は試合をするごとに体もしっかりしているし、ウェルター級やK—1MAXに出ても面白いような気がしますね。魔裟斗選手や、あるいは武田選手と闘っても面白いような……。

石井 みんなから背中が一回り大きくなったといわれます。ただ、K—1MAXはライトからプラスして8キロ以上違うんですからね。まったくの別世界です。それに武田選手に仮に勝てたとしても「石井が勝った」じゃなくて『武田が負けた』と書かれるだろうから、もっと知名度をつけることも必要でしょうね。武田選手とは仲もいいし、クラスも違うんで、闘うことは考えられないですけどね。それにボクはライト級にこだわりがあります。新妻さんが持っていたベルトを引き継いでいるんですからね。

——じゃ、やっぱりまずは現実問題として、ラジャダムナンなりルンピニーなりのライト級タイトルマッチを実現することが先ですね。来年3月という話も「このまま勝ち続ければ」という条件で、決して生やさしいものじゃない。今度26日に対戦するノッパガーオも、タイではバリバリのスター選手ですものね。

石井 ノッパガーオはついこの間、ボクが5月にやったジャカワーンレックとラジャのメインでやって負けたんです。正直なところ、なんで負けるんだよ、と言いたい気持ちなんですけどね。でも、ノッパガーオと言えば、ムエタイが好きな人なら名前くらいなら知っているでしょう。その選手に勝ったら、誰もがボクをもっと認めてくれるでしょう。やりがいを感じてます。

——キックボクサー・石井宏樹。今花盛り。プロ一本の生活ってどう？

石井 いえ、昼間はバイトしています。

——え、これだけ試合をしていて？

石井 キックだけで食えないわけじゃないですけど、ボクにはこれが合っているんです。以前、1カ月ほど、バイトを休んだことがあったけど、どうもダメでした。朝起きて走って、仕事をちゃんとして、夜は練習する。そういうペースがボクには一番似合ってますね。

——真面目なんですね。

石井 ボクにはこれが普通なんですよ。仕事もやって、それから大好きなキックをやって、一番強くなって、いつか引退する日が来ても、ずっとキックに、藤本ジムに関わっていきたいと思ってます。

——これも「キックの鬼」の一つの生き方。頑張ってください。

石井 はい！ ■

PROFILE

石井宏樹（いしい・ひろき）

★所属/藤本ジム
★生年月日/1979年1月16日
★出身地/東京都目黒区
★身長/176センチ
★戦績/32戦23勝（10KO）6敗3分、新日本キック協会・ライト級王者
※7.26後楽園大会では元ラジャ王者ノッパガーオと対戦が決定。ランキング入り＆タイト[illegible]接近！

まさかの悲劇！ 1回戦でラドウィックの前に轟沈

ああ、今回もK-1に“武田幸三”はいなかった…

どうしてこんなことに…。復活が期待され、事実、絶好調だった武田がまさか1回戦でKOされるとは

開始30秒で意識が飛んだ!? そこにいたのは超合筋の抜け殻

目がイッちゃってる……

ラドウィックのパンチをもらい、試合開始30秒くらいから先の記憶がないという武田。その目は焦点が合っていなかった

武田の右ストレート。武田自身「いける」と感じていたという

▲出だしはまさに絶好調と言ってよかった。距離は完全に武田のもの。ローキックもよくヒットしていた

▲前回同様、最も信頼を寄せる師匠・長江国政治政館館長と入場する武田

魔裟斗の優勝、その輝きが強いだけに、影もまた濃いということなのか。あまりに残酷な武田幸三のKO負けだった。

前回、K－1初参戦となった日本トーナメントでは準優勝に終わっている武田。何よりも全て判定決着で、武田らしい闘いができなかったことに（我々にも）悔いが残った。

捲土重来をかけた世界大会。戦前、関係者の誰もが「今度の武田は絶好調」と口にしていた。だが、いみじくも武田は試合後にこう語ったのだった。

「調子が良くてイケイケでしたね。一番やっちゃいけないんだけど、調子が良い時ほどKO負けするんですよ」

異変は、すでに1Rの途中で起こっていた。スタンド中段にある記者席からですら、それは分かった。動きがぎこちなく、重心が定まっていない感じ。他の記者たちと「これ、なんかおかしいよ。絶対なんか（アクシデントが）あったんだよ」と話しながら目で試合を追うと、武田がドゥエイン・ラドウィックの攻撃を足が止まったまま受け続けていた。そこにいたのは、かつて我々を熱狂させた武田幸三ではなかった。その抜け殻でしかなかった。

「試合開始30秒くらいから記憶がない。気付いたら控室でした」と武田。長江館長によれば、アゴやテンプルへのクリーンヒットではなく、頭頂部近くに変な角度でパンチを食らい「酔っぱらった」状態で試合を続けていたという。

今大会における武田のテーマは、対ムエタイ用の一発重視を矯正し、かつてのような連打を取り戻すこ

~世界一決定トーナメント~
K-1 WORLD MAX 2003
7.5★さいたまスーパーアリーナ

この現実を直視せよ！ このショックに耐えろ！ それが武田を見る者の使命なのだ

「これで終わったら恥ずかしい」（武田）
屈辱の歴史が、この男を強くしてきたのだ

▲なんとも言えない表情でリングを降りる武田。だが「もちろん、これでは終わらない」とコメントを残した

▲意識がないからなのか、調子が良すぎてやりすぎたのか。身体全体を振り回すように打ち合いに挑んだ武田。だが、次の瞬間にフィニッシュの左フックを食らってしまった

▲微妙にタイミングをズラして打ち込んでくるラドウィックの攻撃。見た目以上にやっかいだったはず

立ってくれ……ファンの願いも虚しく、武田は10カウントを聞いた

第4試合/K-1 WORLD MAX 2003 1回戦（3分3R）
○D・ラドウィック × 武田幸三●
〈アメリカ/G・Dマーシャルアーツ〉〈日本/治政館〉
（2R0分46秒、KO勝ち）
※左フック

After the fight

武田のコメント

「やっちゃいましたね。ちょっと調子良くて、いきすぎましたね。始まって30秒くらいから覚えてないです。ローが2、3発当たってたのは覚えてて、パンチも"いけるな"って思ったんですけど、でも、気付いたら控室でしたね。もう1度考えてしっかり練習したいです。これで終わったら恥ずかしいですし」

かつてのような連打を取り戻すことだった。と同時に足を使って動くこと。それが、序盤のわずか1分たらずでできなくなってしまったのだ。あるいは正統派の"いいパンチ"なら防御できていたかもしれないが、ラドウィックの攻撃はタイミングをずらし、思わぬところから入ってくる。

それでもなんとか持ちこたえていた武田だが、2R、ついに悲劇の瞬間が訪れた。パンチの打ち合いで、武田の体が大きくブレる。そこへモロに左フックがヒット。……それから次の試合が始まるまで、会場全体が茫然自失となっていた。

これもまた武田らしさではある。攻撃重視すぎるゆえのディフェンスの甘さ。いつ倒されるか分からないスリル。でも、今回ばかりはそんなこと言ってる場合じゃない。1回戦敗退という事実、武田が持つ致命的な"受け"の弱さを直視する必要がある。

だって、そうしなければ次につながらないからだ。嫌な事実を直視するのは、もっと強くなるため。これまでだってそうだった。タイ人に連敗して心が折れかけた経験が、武田を打倒ムエタイに目覚めさせた。ラジャ王座初挑戦での苦いドローが、劇的なKOでの王座奪取に結びついた。武田幸三の歴史は、屈辱と、そこから這い上がることの繰り返しなのだ。

今回のショックから復活する時こそ、武田の最終にして究極の進化形が見られるはずだ。いくらK－1とはいえ、武田ほどの男が大会のいいダシになったままで終わっていいわけがない。（橋本）

どこまで強いんだ魔裟斗！

立ち技最強・ムエタイ王者サゲッダーオまで失神KO!!

魔裟斗の左フックを浴びたサゲッダーオは2R中盤に1回目のダウン。かろうじて起きあがるも、右アッパーを食らって失神した

★第6試合/K-1 WORLD MAX 2003 準決勝（3分3R）

○魔裟斗 × サゲッダーオ・ギャットプートン●

〈日本/シルバーウルフ〉　〈タイ/K.T.ジム〉

（2R2分55秒、KO勝ち）

※2ノックダウン（左フック、右アッパー）

▶これがフィニッシュブローの右アッパー。拳に体重が乗っているのがよく分かるだろう

▶サゲッダーオはパンチからヒザ蹴りへとつなごうとするが魔裟斗は突き放して一切付き合わなかった

▶強烈なローが魔裟斗を襲う！だが、ステップワークやパンチを合わされて最後まで自分のペースを摑めなかった

▶ラジャダムナンスーパーウェルター級の現役チャンピオンのサゲッダーオは昨年のガオラン同様にKOで敗退。立ち技最強ムエタイの復活を願う！

After the fight

サゲッダーオのコメント

「1回戦のヒジは体に染みついてるものだから、つい出ました。対戦した魔裟斗選手が優勝してくれたんで嬉しいです。（敗因は？）魔裟斗選手の技術が素晴らしかったです。もう少し準備できれば、もっと良い試合ができたと思います。僕が闘ってきた日本人の中では、一番技術が高かった。パンチもとても重かった」

5 00年の歴史を持つムエタイは、その歴史の長さが災いし、格闘技のダイナミズムを忘れているのではないだろうか？

たしかに強いことは強いと思う。しかしだ。あの首相撲のネチっこさはどう考えたってやり過ぎだよ。ホント、見ていて鬱陶しい。

ポイント争奪戦に終始するあまり、本国タイでも人気が下降気味という話すらあるというのだから、そろそろ考えてみたら？

なぜこんなことを言い出すのかと言えば、魔裟斗がこの2回戦を「簡単だった」と断言したからだ。こんなことを言われて黙っているのか、ムエタイよ！

たしかにサゲッダーオはサムゴーの代打として急きょ出場が決定し、準備不足であったことは否めない。得意のヒジが使えないというのは大きなハンデだとも思う。だが、彼は曲がりなりにもラジャの現役王者だ。それが左フックでダウンし、右アッパーを食らって失神KOという体たらく。何をやってるんだと腹の底から言いたい。

いまやK—1は世界的に広がりを見せ、MAXのほうもその流れに乗っていくだろう。となれば、立ち技最強と言われたムエタイがルールが違うとかなんとか言ってはいられないだろう。

タイには強すぎて試合が組まれない猛者たちがまだだいるという。そういう男たちがK—1のリングを目指してもなんの不思議もないはず。

強いムエタイを復活させ、最強の打撃格闘技の威信を必ずや取り戻してほしい。ムエタイが簡単に負けるのって寂しいよ　（ブチ）

K—1MAXの技術体系は、

~世界一決定トーナメント~
K-1 WORLD MAX 2003
7.5★さいたまスーパーアリーナ

That's Boxing!?

ラドウィック、クラウスの豪打に撃沈さる

完全失神——総合&ムエタイの若き勇者も、パンチ勝負じゃかなわない！

▲右パンチにひるむラドウィックだが、ここはクラウスの後頭部に注目。カタカナで自分の名前がそり込んであった

会心のKO劇で決勝進出を決めたクラウスは、自信満々の表情だった

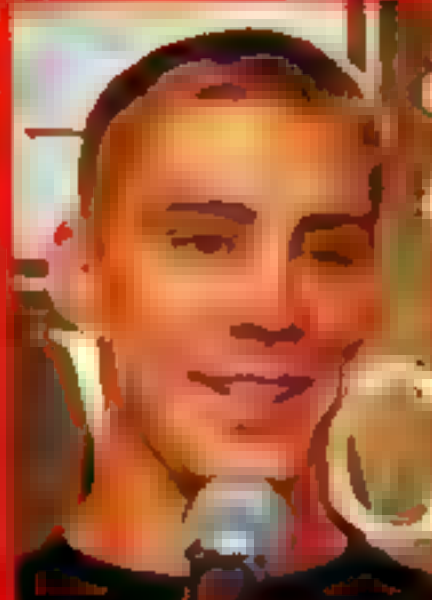
▶2度目のダウンは左フックのボディブロー。タイムリーに肝臓をえぐったパンチで、ラドウィックはヒザから崩れた

戦慄的なフィニッシュ。クラウスの強烈な左をフォローされたラドウィックは後頭部をモロにマットに叩き付けられて失神！

第7試合/K-1 WORLD MAX 2003 準決勝（3分3R）
○A・クラウス × D・ラドウィック●
〈オランダ/ブーリーズジム〉〈アメリカ/3-Dマーシャルアーツ〉
（3R1分33秒、KO勝ち）
※左フック。ラドウィックは1Rに右フックで、2Rにボディへの左フックでもダウン

After the fight

ラドウィックのコメント

負

「1勝できたことで十分に嬉しい。（武田は）パンチもあるし、ヒザが良かった。パンチで勝負したことが、いい[illegible]。（クラウスは）パンチがとても強い。自分としてはスピードを活かして、かわしたかった[illegible]。これからもジャンルを問わず闘っていきたい。実際にサワーとＳＢで闘わないかという話もあるんだ」

▶ラドウィックの左ハイがヒット。しかし、クラウスは前進をやめなかった

▶ラドウィックのダメージは深く、試合後もしばらく立ち上がれなかった

K－1MAXの技術体系は、ボクシング・テクニックによって束ねられる。この準決勝はそんな私の理論を証明する典型的な一例だった。左右の回し蹴りは真正面に向き合う形で闘いを限定し、つまるところ直線の攻防を強いる。そんな空間でもっとも威力が発揮されるのは、高速で回転でき、さらに多彩な角度から打ち抜くことのできるパンチにある。だからこそ、より強力な拳を持ち、より複雑なコンビネーションを習得できた者がより強い。まさにその強者がクラウスだったのだ。

1R、最初はパンチの応酬だった。クラウスの伸びのいい右ストレートに苦しむラドウィックが、たまらず首をつかんでヒザを飛ばそうと試みる。すかさずクラウスの右フック。これをこめかみに受けたラドウィックはあっさりとダウンした。あとは総合のリングでも鳴らす米国のムエタイ戦士が懸命に反撃するものの、クラウスの圧倒的なパンチングパワーが試合を完全支配していくのだ。

2Rには左フックのボディブロー。ラドウィックは苦悶の表情を浮かべて、前のめりに崩れ落ちる。さらに3R、フィニッシュは強烈だった。右ストレートが効いて後退するラドウィック。素早いステップで追いかけたクラウスがとどめの左フック。次の瞬間、ラドウィックの体はマットの上で激しくバウンドする。レフェリーはカウントを止めてKOを宣した。

クラウスに死角もない。ここまで2戦、ダメージもない。Vの栄冠は再び彼の頭上に輝くものと誰もが思ったのだが……。（宮崎）

小さなマイク・タイソン！
マイク・ザンビディスを覚えておけ!!

魔裟斗の最大のライバル出現！

★第2試合/K-1 WORLD MAX 2003 1回戦（3分3R）
○魔裟斗×M・ザンビディス●
〈日本/シルバーウルフ〉〈ギリシャ/メガジム〉
（3R判定2-1）
※採点…29-28、28-29、29-28。ザンビディスは1Rに左ヒザ蹴りでダウン1

▲1回戦で魔裟斗を苦しめたマイク・ザンビディス。3月にクラウスをKOした実力は本物だった

▶ジャンプしてフックを繰り出すトリッキーな動きも見せる。何がなんでも右拳を当てようとする気迫が怖ろしい

◀パンチだけでなく蹴りも重そうだ。魔裟斗はこれだけの攻撃を食らっても臆することはなかった

▲左のパンチは上下に打ち分けるザンビディス。このレバーブローで魔裟斗は試合後、血尿を出してしまう

マイク・ザンビディスが強烈無比な重いフックをブンブン振り回す姿を見てると、イメージとして〝地獄の風車〟という言葉を使いたくなって仕方ない。

だが、かつて〝地獄の風車〟と呼ばれたラモン・デッカーはオランダ出身だからそう呼ばれたこともあるわけだし、じゃあ、ギリシャ出身のザンビディスだから〝地獄のギリシャ〟？　とか考えていたらキリがないんで本人も尊敬しているというマイク・タイソンをマイクつながりでキャッチにしてみたわけですね。

まあ、安易な発想で申し訳ないのだが、実際ザンビディスのパンチはタイソンばりに凄かったのは確か。あのクラウスが一発でKOされたのもうなずける。

ところがだ。クラウスを倒したパンチは、出したら偶然当たったというシロモノではなく、最初からこれで倒そうと練りに練ったものだったという驚愕な事実が判明したのである、パンフを読んで分かったんだけど。あの日、ザンビディスは右を出す前に左でフェイントを入れて右フックをクロスさせていた模様。ただ振り回していただけじゃなかったんだ。この日も左は上下に打ち分けていたし、特にレバーブローは威力にしても技術的にも相当のレベルの高さがあったんじゃないかと思う。

また、時折見せたジャンプしての右フックはトリッキーだが、当たれば一発で倒せる技。あの空中バランスの良さは2年半器械体操をやっていた賜物だろう。もっとも2年間ボクシングをやっただけでオリンピック代表候補に選ばれ

たのだからハナから凄いに決まっ

たった一度のチャンス！勝敗はまさに紙一重だった

▶１R、ヒザ蹴りをボディに突き刺し、一瞬後退したところをさらに飛びヒザで畳みかけてダウンを奪った魔裟斗。一瞬のチャンスを見逃さない勝負に賭ける執念がチャンピオンへの道を切り開いた

After the fight

ザンビディスのコメント

「いい試合でした。魔裟斗が勝ったということには間違いありません。実は胃炎で３週間入院し、退院したのが１週間前でした。１週間で体重を戻すことができませんでした。（魔裟斗の攻撃で効いたものは？）１、２回ヒザをもらったというのはあるんですが、それ以外は何も問題ありません。状態が良ければ、２、３Rでもっとパンチを打てたんでしょうが、体力がなかったので、強いパンチを打つことができませんでした」

ブラジルの子連れ狼、ムエタイの高い壁を崩せず

◀愛娘ジョバンナちゃんとともに登場したマルフィオ・カノレッティ。臨戦態勢のジョバンナちゃんはなぜか渡辺いっけいにガンを飛ばす

▼娘の前で恥ずかしい試合はできない。カノレッティは気概ある攻めを見せたが

▲サゲッダーオはヒジ打ちによる警告（イエローカード）と注意を受けながらも、終始、自分のペースで攻めて判定勝ち（3-0：30-29、30-28、30-29）。カノレッティにとって初の海外の試合は残念な結果に終わった

▲魔裟斗はザンビディスのパンチに対してヒザで対抗していった

▲判定２－１と際どかった。本当にどちらが勝ってもおかしくない試合だった。ぜひとも再戦を希望！

▶互いにＫＯパンチを持つ両者のスリリングな攻防。魔裟斗の左をかわして右フックを狙っていくザンビディス

たのだからハナから凄いに決まっているのである。
　こうして考えると、一見荒っぽそうに見えるザンビディスは類い希な才能と、しっかりした技術を有する、ますますもって魔裟斗の強敵となる男だと思うのだ。そんな彼からダウンを奪った魔裟斗も凄いんだけど。
　というか、あの一瞬のチャンスを逃さず、よくぞ畳みかけていったと思う。しかも飛びヒザという思い切りの良さが素晴らしいったらありゃしない。彼が今回優勝できたのは努力と才能に加えて、この勝つことへの執念の深さだ。ホント、K－1ジャパンの選手も見習ってほしいものである。
　で、ザンビディスだが、今後K－1 MAXの常連となるのは間違いない。年齢もまだ23歳と若いし、パワフルだし、マスクも悪くはないし、背もちっちゃいから可愛いし。今トーナメントでは残念ながら1回戦で消えてしまったが、魔裟斗のベルトを狙うに十分な存在感を発揮していった。
　この日、魔裟斗の優勝に歓喜した僕ら。しかし同時に、その喜びをつかの間にしてしまう男を、あの会場で目撃してもいる。
　トーナメントでは3分3Rだったから勝てた可能性だってなくはない。３分５Rになるワンマッチではどんな結果が待ち受けているか想像するのが怖いほど。
　日本人初のK－1世界王者誕生という喜びを得た矢先ではあるが、ザンビディスのことを思うとやっぱりなぜか胸騒ぎ。魔裟斗よ、こいつをKOして僕らをさらに喜ばしてくれ！
（ブチ）

『元親友』対決はやっぱり因縁残し
サワー、流血TKOで無念の初戦負け

大一番に若さが出た!? クラウスのハードパンチにダウン喫し、左目上をざっくりカット

▼1R終盤、グロッキーに陥ったサワーに、レフェリーはスタンディング・カウントを数える

▲試合開始直前、抱き合う両雄だったが、ゴングが鳴ると、クラウスは容赦なく攻めまくった

▶サワーの懸命の攻撃。しかし、いつもの切れ味はなかった

▲左眉の上を10センチ近くカットしたサワー。「パンチでこんなに切れるはずはない」と陣営は抗議したが……

▶クラウスのパンチのラッシュにサワーは防戦一方。パワーではたしかにクラウスが上回っていた

After the fight

サワーのコメント 負

「若干緊張していたかもしれない。カットはたぶんヒジだと思う。それにまた闘えた。今度はK－1、SBに関係なくリベンジをしたい。クラウスに勝つには、もっとパンチの練習が必要だ。今年やっとK-1に参加できたのに、このような結果に終わってとても残念だ。来年はぜひ応援してくれた人たちに、勝利をお届けしたい」

■第5試合/K-1 WORLD MAX 2003 1回戦（3分3R）

○A・クラウス × A・サワー●

〈オランダ/ブーリーズジム〉〈オランダ/シュートボクシング・リンホージム〉

【1R終了、TKO勝ち】

※ドクターストップ。サワーが左目上から出血したため。サワーは1Rに右ストレートでダウン1

サワーの負傷によって試合は突然ストップされた。この唐突なエンディングは、幸運だったかもしれないし、あるいはこの後のさらなる不幸を呼び込むかもしれない。

両雄には負うものが大きすぎた。かつて二人は同じ田舎町のジムでともに汗を流す仲間だった。そしてクラウスは年下ながら先輩のサワーについていく立場だった。しかし、昨年のK－1 MAXで立場は逆転した。サワーの負傷でチャンスを得たクラウスは、そのまま日本で優勝を飾り、金と名声を得て都会に移り住んだ。一人取り残されたサワーも、日本でシュートボクシングでナンバー1と言われるようになったが、今この時点で両雄の知名度の差はあまりにも明白だ。クラウスは追いすがるかつての同僚に負けるわけにはいかない。もちろん先輩格のサワーも同じ。さらにサワーには「立ち技世界最強」を標榜するSBの名誉も、その双肩にかかっていた。

開始ゴングから恩讐を越えた激しい闘いが続く。だが、右のハードパンチ一発、これで流れはクラウスのほうへと一気に走り出す。クラウスのパンチが次々に襲いかかる。震える足を踏み張って倒れることを拒否するサワーだったが、傷ついた肉体は正直だ。ロープに寄りかかったままグロッギーのサワーに、レフェリーはダウンを宣告する。そしてやっとのことで逃げ込んだ1R終了ゴング後に、ドクターのストップが待っていた。

サワーの傷は左眉の上に10センチにも及ぶ。二人の遺恨はこの傷跡とともに残る。（宮崎）

MAXはキワモノさえも掘り出しモノ！

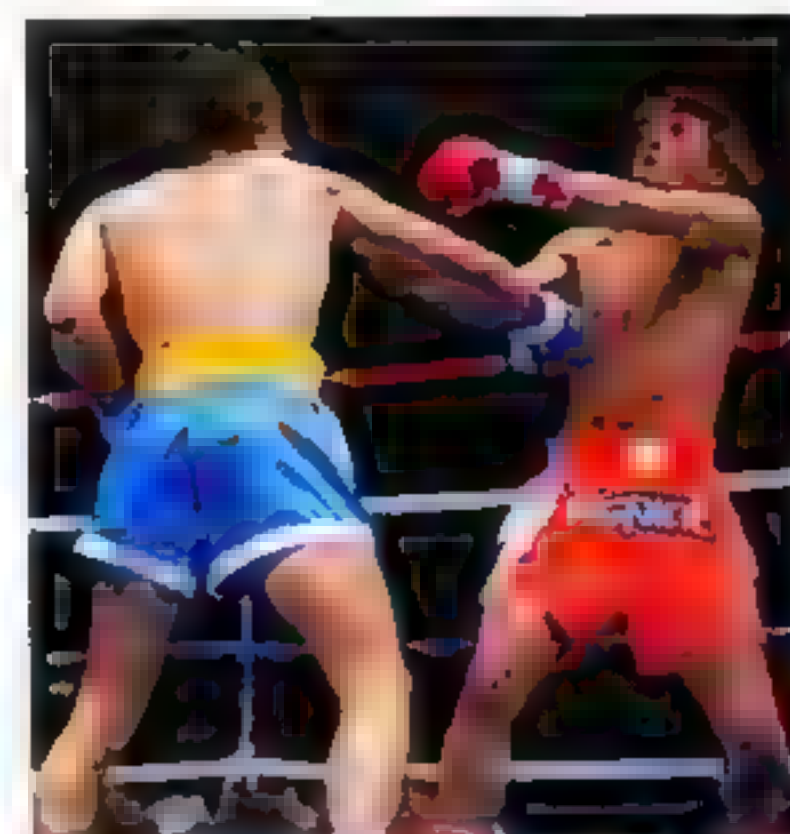
異色ターキッシュサムライ
イルマッツは見た目もファイトスタイルもバツグン！

アマチュア戦績150戦150勝という、いかにもウソ臭いキャリアを引っ提げてK－1初登場のセルカン・イルマッツ。それだけでも〝どんだいっぱい食わせ物〟感がビシビシと伝わってくるというのに、付け鼻のような高い鼻に〝ちょんまげ〟まですする徹底ぶり(？)。さてさて、どんな試合を見せてくれるのかと期待していると、これがド肝を抜く凄さというか面白さ。1Rなんて、見ているこちらの目が回ってしまうくらい、クルクルクルクル回りっぱなし。2回転バックスピンキックまで見せて、観客はヤンヤヤンヤの大喜び。須藤元気を強力にした感じで、回転も速いし威力も凄い。呆気にとられているうちに、大野はパンチでダウンまで奪われる始末だ。すっかり疲れた3Rはノラ～リクラ～リと大野の猛攻をかわし、しっかり判定勝ち。しかもこの勝利で7・27オーストラリア大会参戦まで確定（すでに出発したとのこと。次の試合にもチョ～期待だ！（林）

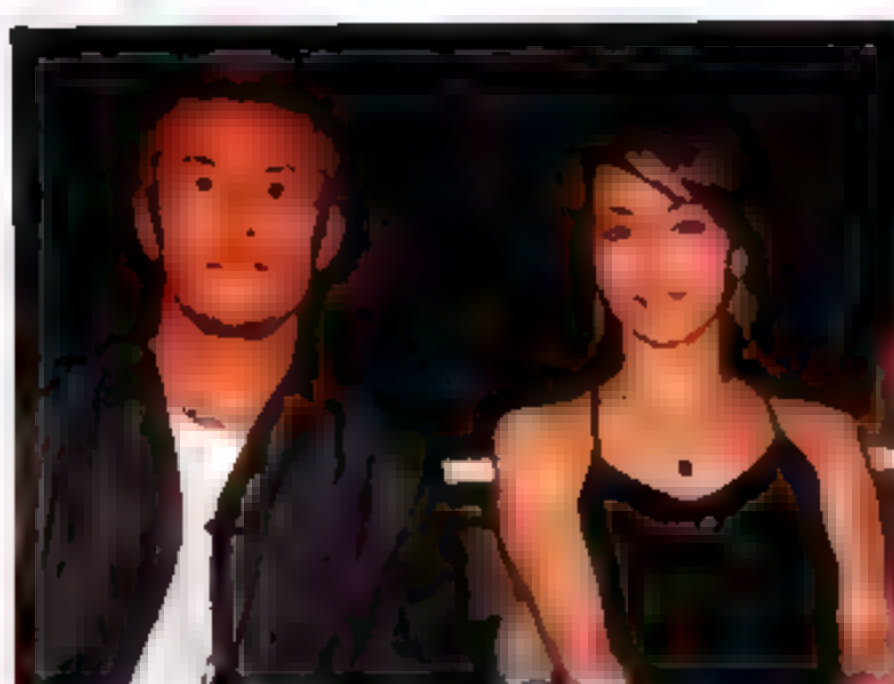
▲アマ150戦150勝という戦績と、異様に高い鼻、ちょんまげ頭で、ファンの目を釘付けに。この男、いったいどんな競技のアマ成績なんだ！？

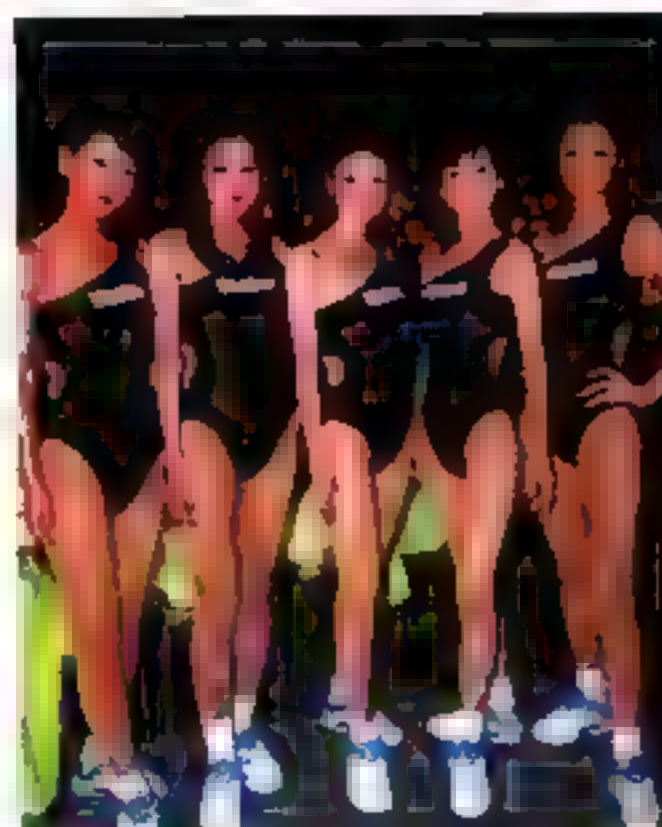
▼キックからのパンチで大野からダウンまで奪ったイルマッツ。3Rは疲れてノラリクラリと大野の攻撃をかわし文句なしの判定勝利。絶対にまた見たい！

まずは容姿で場内をどよめかせたセルカン・イルマッツは、試合が始まるや驚くべきバックスピンキックで観客を沸かせ、ナント2回転キックまで披露

▶1Rのイルマッツは、休むことなくバックスピンキックや跳び蹴りを出し続け、しかも意外にも的確にヒットさせて大野を翻弄した

★第8試合/スーパーファイト（3分3R）
○S・イルマッツ ✕ 大野 [illegible]●
〈トルコ/チーム・ソラック〉 〈日本/inspirit〉
〔3R判定3-0〕
※採点…29-28、29-26、29-28。大野は1Rに右ストレートでダウン

観衆15,600人（満員）が魔裟斗の優勝立会人に！視聴率はナント13.5％！（民放第1位）

15,600人（満員）の観客がスタンディングオベーションで魔裟斗の優勝を祝福。当日の7時から9時のゴールデンタイムで放送されたTBSのTV中継はナント13.5％の数字を弾き出した！

▶K－1MAXガールズも素晴らしかった

◀須藤元気と水野裕子がTVのレポーターを務めていた

極真vs正道グローブマッチは正道・安廣の快勝

◀リザーブマッチとして行われた安廣一哉とヴィアチェスラブ・ネステロフの正道vs極真のグローブマッチは、経験に優る安廣が圧倒

▲2Rには、右のストレートでネステロフからダウンを奪った安廣。卓越したセンスを持つだけに、もっと実戦を積んで1ランク上の選手に成長してほしいのだが

◀判定は3者とも30－27で安廣。安廣、ネステロフの表情が対照的だ

総評

角田さんにはまいった……
テーマはナショナリズムじゃない

文◎ターザン山本

自分の生き方を賭けた魔裟斗
それで答えを出すのがプロだ

最初に〝表紙〟について書く。魔裟斗は実にいい顔をしている。なんでもキックボクサーが「SRS・DX」の表紙を飾ったのは、魔裟斗が初めてらしい。コピーの〝唯我独尊〟というのは前号の〝次号予告〟で私は、魔裟斗の写真を大きく使い、〝天上天下、唯我独尊〟という字をそこに入れた。

その意味は「この世に我より尊いものはないということ」である。あるいは「この世の中で自分ひとりだけがすぐれているとすること」であり、ともすると〝ひとりよがり〟にとられる。

K－1MAXの魔裟斗を見ていると彼にはこの言葉が最もふさわしいと私はそう思ったのだ。だから表紙にもあるように唯我〝魔裟斗〟独尊なのだ。

そういう男だから自分の力で勝利をもぎ取ることが大前提になる。自らの力を信じ切ることが、すなわち魔裟斗という男の存在理由であり、アイデンティティでもあるのだ。

だから私は〝自★力優勝〟という言葉を表紙に使った。〝自〟と〝力〟しか信じないという生き方。それもあのハイレベルなメンバーの中で、トーナメントを勝ち抜かなければならない。

試合は「実力の測定場所」と言いながら、何が起こるか分からないという「不確定要素」に満ちている。

この両方をクリアして初めて選手は優勝という栄光をものにできるのだ。私は魔裟斗対アルバート・クラウスのトーナメント決勝戦の試合リポートを書いたが、そこで[illegible]が走って「魔裟斗が必ず優勝する」と思っていたことを自分で告白しているのだ。

そのとおりの展開になったのだから不思議である。今、我々に求められているものは、魔裟斗のように自分の才能を信じて生きる〝強い生き方〟ができるかどうかなのだ。

才能は人によって千差万別なので言葉を置き換えると、自分の持ち味を生かして生きる、あるいは自分にふさわしい生き方を見つけ出すかなのだ。

ファイターはただ試合に勝てばいいというなら、私は興味を持たない。魔裟斗は自分が信じるものと、目の前に大きく立ちはだかるK－1ワールドMAXという大きな壁。それと向かい合うことで、自分とは何かを証明してみせようとした。

私はそこが気に入ったのだ。魔裟斗にとってもはや日本人には、敵はいない。これはK－1JAPANの武蔵とまったく同じ状況にある。いわゆる「お山の大将」でいられる存在。

しかし魔裟斗はそこからさらに高いハードルに挑んでいった。それもなんとしても〝勝つ〟ためにである。

彼は勝たないと意味がないと思っている。そこが武蔵との決定的な差だ。武蔵は「お山の大将」で終わっている男。「井の中の蛙」と言われても仕方がないところがある。私が武蔵だったらもう今年のK－1JAPANグランプリには出場しない。2年連続準優勝して3年目にまたのこのこ出ていくのはおかしい。

それにしても魔裟斗はよく優勝できたと思う。それは多くの人の共通した気持ちでもある。K－1の統括プロデューサーの角田信朗氏は、試合前に観客に向かって「日本人選手が唯一、K－1で勝てる可能性があるのはMAXだ」と言った。

あれは魔裟斗と武田幸三に対して失礼である。なぜ失礼かというと、あの言い方の中にはK－1グランプリに対してK－1MAXはレベル的に低いものという捉え方をされかねないからだ。

私がMAXの選手だったらたぶんカチンときていたと思う。「なんだ、そんな言い方をするんだったら、たとえ勝ってもたいした意味がないじゃないか?」とテンションが下がってしまう。

選手はデリケートな存在であることを角田氏には、分かってほしい。また、日本人選手が勝つことについては、そんなに意味はないのだ。戦後すぐの力道山時代のプロレスならまだ分かる。

あの頃は戦争に負けて外国人コンプレックスが、日本人の中に強くあった。だが今は明らかに時代が違う。スターやスーパースターは日本人も外国人も、ほとんどそういうことは関係なくなった。

ベッカムがいい例ではないか? 角田プロデューサーはあくまで日本人選手の優勝にこだわり、もはや我々の間では死語になっている〝ナショナリズム〟という言葉を使った。

私はあの言葉にはひいてしまった。私は日本語と日本文化とそれを育ててきた日本人が好きだが、だからと言ってそれはナショナリズムには決してならない。

ョナリズムには決してならない。

私はK－1ワールドMAXにナショナリズムを見たくて試合を見に来たのではない。日本人に限らず誰が、どんな闘いを見せてくれるのかそれが見たいだけなのだ。「個」がテーマなのだ。

エンターテインメントは観客によって楽しみ方は全部、違って当然である。観客の好き嫌い、好み、思想の違いを全て認めてしまうからいいのだ。

角田氏が自分の価値観をついポロリと言ってしまったことで、観客は少なからずそれに反発したようである。

というのは1回戦に登場した魔裟斗に対して、ファンの反応は意外にもクールなものがあった。魔裟斗が攻撃されると拍手をするファンがいたからだ。

彼らがどういうつもりでそれをやっていたのか、私にはその理由がつかみきれないが、近くにいた観客が思わず「今日のファンは魔裟斗に冷たいよね」という言葉をもらしていたのが印象的だった。

いくら魔裟斗が生意気な感じがあったとしても、ワールドMAXでは普通は魔裟斗を応援したはずである。

逆に言うと、ベタベタな感じで魔裟斗に勝ってほしいというムードが、会場全体にできていたらそれは魔裟斗には、面倒臭いものになっていただろう。

オリンピックなどで日本人選手への異常なメダルへの期待感。そういう雰囲気にならなかったことのほうが、私はむしろ健康的な世界だと思っている。魔裟斗にとってもそれはラッキーだった。

最後に全体的にボクシング技術の向上が目立ち、それが勝敗を分けるポイントになった。これが昨年との大きな変化である。あと決勝のカードが魔裟斗とクラウスになったのは、彼らが新興勢力を力でねじ伏せたわけで、これは高く評価していい。特にクラウスは優勝を惜しくも逃したが、影のMVPは彼だ。■

7.21
DEMOLITION 030721
PREVIEW

普通の柔道青年だった男が『プライド』への道をバク進中！

これが岡見勇信のロード・オブ・メジャーだ！

デビューわずか1年で、総合6戦6勝の快進撃を続ける岡見勇信。その間、アブダビ・コンバット日本代表にもなるなど超ハイスパートの格闘技人生。しかし、そこには意外な事実が隠されていた。そんな岡見のサクセスストーリーとその裏側を一挙公開！

▲第4回「PRE－PRIED」で優勝した岡見は、「THE BEST」に過去2度参戦。昨年10月のスティーブ・ホワイト戦では、マウントパンチの連打でTKO勝ちを収めている

◀回を重ねるごとに大会としての成熟度が増している「DEMOLITION」。メジャーを夢見る若手選手たちが、ここのリングでしのぎを削る

これがメジャーへの道だ！ DEMOLITION PROJECT

PRIDE（ドーム・アリーナクラスの集客）
↑ 実績・経験・実力・人気＋α
UFC等の海外のVT大会／パンクラス／DEEPなど
メジャー大会
↑ 実績・経験・実力・人気 ↑
階級別トーナメント ← DEMOLITION
↑
プロ経験のある選手 → DEMOLITION ATOM
↑
アマチュア大会入賞者

7月21日、「DEMOLITION」に参戦する岡見勇信にとって、この日は22歳の誕生日。そして、プロデビュー1周年を迎えることになる。

「高校卒業後は、普通にフリーターをしてました。もともと格闘技はやりたかったんですよ。それで、知り合いの人にそのことを言って、ちょうど紹介されたのが（和術）慧舟會だったんです。で、いきなり練習初日に『アマチュアの大会に出るか？』って言われて、『あっ、ハイ！』って言ったら、それが『プレ・プライド』だったんですよ」

それまで岡見の格闘技経験と言えば、高校で3年間やってきた柔道のみ。成績も県大会ベスト16と、飛び抜けて良かったというわけでもない。岡見が和術慧舟會の門を叩いたのは、おととしの11月。和術慧舟會は宇野薫、高瀬大樹ら数多くの総合格闘家を輩出してきた「格闘家養成所」の異名をもつ名門中の名門だ。そして、翌年3月には前出の「プレ・プライド」で岡見は4代目王者となった。ちなみに「プレ・プライド」とは、その名のとおり「プライド」のリングで活躍する選手達に続く、新たな才能をアマ選手の中から発掘・育成するプロジェクトとしてスタートした大会だ。

「『プレ・プライド』に出場する前は、ホント自信がなくて怖かったんですけど、1戦1戦勝たなきゃいけないという思いでやっていたんで、それが今に繋がっているんじゃないですか」

そして入門してからわずか9カ月で、念願のプロデビューを果たした。デビューしたリングは「プライド」の登竜門にあたる「THE BEST」。岡見はプロ格闘家として、着実にステップアップしていくためのレールに乗ったわけだ。それから約2カ月に1試合のペースで、試合をこなしながらの1年間、これまで総合ルールでは6戦全勝だ。

「プロの試合って、勝って天国だけど負けたら地獄みたいなところがあるんで、凄い自分にプレッシャーみたいなのがありました。試合がやっと終わってやっと勝ったみたいなのがあってから、また試合があってやっと勝ったみたいな。ひたすらその連続でしたね」

和術慧舟會をはじめとした直轄道場（WKネットワーク）を統括するGCM主催の「DEMOLITION」では、メインを任された。自分の寝技がどれだけできるかを試したかったという理由で参加したら見事に予選で優勝、アブダビ・コンバット日本代表として世界を肌で感じてきた。本人も驚くほどのスピードで始まったばかりの格闘技人生をこの1年間突っ走ってきたのだ。

「こういうことはいつまでもできることじゃないんで、とりあえずあと2年間ぐらいで思いっきり練習して、自分がどこまでできるのかということを感じ取りたいなと。自分が納得した強さを求めることができたら、おのずと先は見えてくると思います」

今、岡見には集中してできる格闘環境が整っている。WKネットワークのおかげで、自分が必要とするスキルに合わせて練習場所をチョイスすることができる。「DEMOLITION」のおかげで定期的に試合経験を積むことができ、同世代のライバル達と激しい火花を散らしながら争うことができる。岡見の中で「プライド」という夢が、現実、あるいは明確な目標へと切り替わった。GCMの格闘実験によって生み出された原石が、大きく光り輝こうとしているのだ。■

PROFILE 岡見勇信（おかみゆうしん）★所属/和術慧舟會 東京本部★生年月日/1981年7月21日★出身地/神奈川県★身長/186cm★体重/82kg★血液型/O型★戦績/6戦6勝★得意技/パウンド★趣味/ランニング★好きな有名人/佐藤江梨子

Series ジョシカク! 11

美しきヒットマン
八島有美

元女優、レースクイーン。その姿形を見れば、いや、なるほどなのである。すらりとした長身で、涼やかな美顔である。失礼ながら、とても31歳には見えぬ可憐さもある。しかし、彼女、その実、かなりの武闘派なのである。女子ボクシングの日本フライ級チャンピオン。そして、あの実戦空手の究極を行く大道塾の有段者ときている。ちょっとからかうと「スパーリング、やります?」と来る。ホント、ホント、きれいなバラには棘がある。こわい、こわい。

撮影◎丸山剛史
文◎宮崎正博

▲6月25日、ベルファーレでの試合でジーナ・レザースに左

「最初にぶたれた時、なんだか快感があったんですよ。私、Mなのかな」

とんちゃんはなぜ、とんちゃんと呼ばれるの？
「豚が好き！　かわいいしぃ、そして美味しいしぃ」
今どきではない女子高生キャピキャピのノリじゃない。色白でおしゃべりはまさにホンワカ。んでもって、女優、レースクイーンという経歴もある。勇ましくも汗くさい、ボクサーなんてイメージ、どこをどうめくってもこの人から出てきそうもない。でも、『どんちゃん』、日本チャンピオンなのである。まったくハエも殺さぬような顔をして、とんでもないったらありゃしない。

実は今を去ること11年前、『とんちゃん』こと八島有美は見た目のとおり、花も恥じらう二十歳のオトメだったのだ。「マイク・タイソンも知りませんでした」。大学生活のかたわら演劇学校にも通う、純情可憐、蝶よ花よの日々。ところが、友達に「空手習わない？」と誘われて、「そうか。小さい頃、仮面ライダーが憧れだったんだ」と思い出したのがウンの尽き。連れられていった大道塾は、ストリートファイト前提のゴリゴリ実戦流派。最初は「ひぇぇ」と思ったが、いつの間にかハマってしまうのだから分からない。

「人に引っぱたかれるような人間関係とは、まったく無縁だったんですよね。ところが、大道塾では平気で叩かれて、痛い思いもする、アザができる。そんな形のコミュニケーションが妙に気持ち良くなって。やっぱりMなのかな私。歪んでいるのかな」

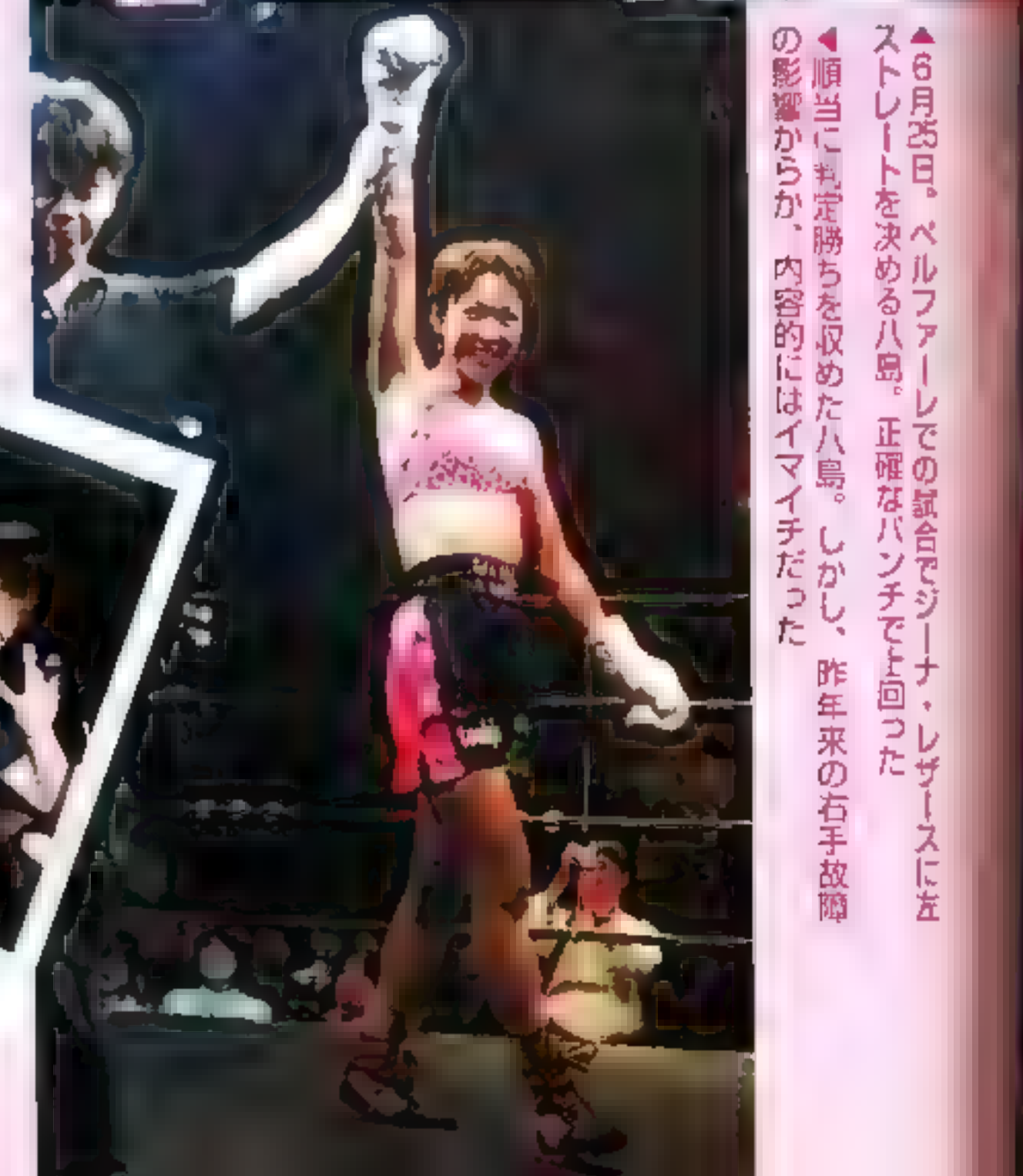
すっかり空手家になったとんちゃん、ボクシングに手を染めたのも、最初は顔面打撃の「秘密特訓」から。大道塾の競技ルールが変わって「顔面あり」になり、みんなに先んじて強くなりたかった。だが、ボクササイズ半分の遊び気分のほうが、だんだんと本気になってくる。

「ボクシングって科学的だし、ウェイト制でスポーツ性が守られている。もちろん、大道塾の精神性にも惹かれます。でも、ボクシングも合うんですよね、私には」

女優業のほうはもうひとつ。来る仕事は「会社の受付とか宴会のコンパニオンとか、目立っちゃいけない役ばかり」。折りも折り、女子プロボクシング創設の話が持ち上がり、とっても目立ちたいとんちゃん、さっそく手を挙げた。そしてとんとん拍子に勝ち上がり、いまやライカとともに女子ボクシングの二枚看板である。

もっとも、とんちゃん、このごろ調子はイマイチ。大道塾の練習で蹴りを受けて右腕を骨折したのがきっかけ。無理して試合を重ねたことで、なかなか完治しない。しかも、今はコーチ不在。不安も重なる。焦りもある。けど、トップを守るには立ち止まっちゃいられない。

「9月に試合があります。ぜひ見に来てね」。会心勝利のあとの、サワヤカとんちゃんの笑顔にぜひ会いたい。■

▲6月25日。ベルファーレでの試合でジーナ・レザースに左ストレートを決める八島。正確なパンチで上回った
◀順当に判定勝ちを収めた八島。しかし、昨年来の右手故障の影響からか、内容的にはイマイチだった

PROFILE

八島有美（やしま・ゆみ）

★所属／Fギャラクシー
★生年月日／1972年4月13日
★出身地／横浜市磯子区
★血液型／O型
★身長／165センチ
★体重／51キロ
★戦績／12戦9勝(3KO)2敗1分、女子プロボクシング日本フライ級チャンピオン、大道塾3段、大道塾女子関東大会優勝

ラッキーナンバーは13.!!

世界チャンピオンと言えども

パワフルなショットをどれだけ打ち込んでも跳ね返される。ライカは今、もっと強くなるための壁に直面しているのかもしれない

ライカの『勉強』はまだまだ続く

撮影◎菊地奈々子

★第6試合/メインイベント（2分8R）

●ライカ（山木）

（8R判定2-0）

●ジェリー・フェレス（米国）

採点　80-75、79-79、80-78

リングにライカが入ってくると、会場中から黄色い歓声が巻き起こる。会場のベルファーレは、普段はクラブ。

決して広くはない。それでも充満する声、声、声には、まさに待ちわびたスターの登場を実感する。ただし、ライカにとってはこの日も厳しい勉強を強いられる。受講することになったカリキュラムは、もちろん基本的な技術、それからもっと大事なものは、つまり「世界の広さ」そのものである。

対戦相手のフェレスは、バンフレットではIWBF世界フェザー級3位ということになっているが、近着のIWBFランキングにはその名は見あたらない。IFBA、WIBAら有力団体のトップ10にもいない。各団体はインターコンチネンタルなどの下部タイトルを持っているから、そのランクなのだろうか。マネージャーの話では「キックボクシングではUKFのチャンピオンで10戦10KO。ただ、ボクシングはオクラホマ地区のB級」というから、世界上位の実績はないのだろう。

だが、このフェレスが強いのだ。上体を立てて構えるいわゆるアップライトスタイルから、果敢にカウンターを狙ってくる。その一撃

日本女子ボクシング協会
FIGHTING ANGEL 2
6.25★六本木velfarre

マーベラス2階級制覇、袖岡裕子も新王者に。でも、試合内容は……?

日本ミニ・フライ級王座決定戦は、ダウン応酬の激戦の末に袖岡裕子がジプシー・タエコに判定勝ちを収めた

マーベラスのボディブローが菊川未紀にヒット。バンタム級初代王座決定戦は、いわばマーベラスの体力勝ち(判定2-1)。しかし、ブッシング、オープンブローまったく無視のレフェリングは到底納得できない

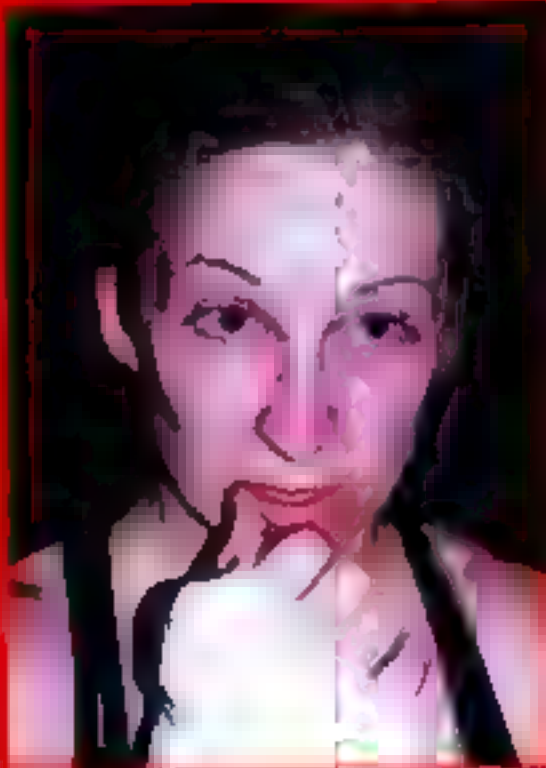
接近戦から連打でフェレスを圧倒していく。だが、どうしても倒せない

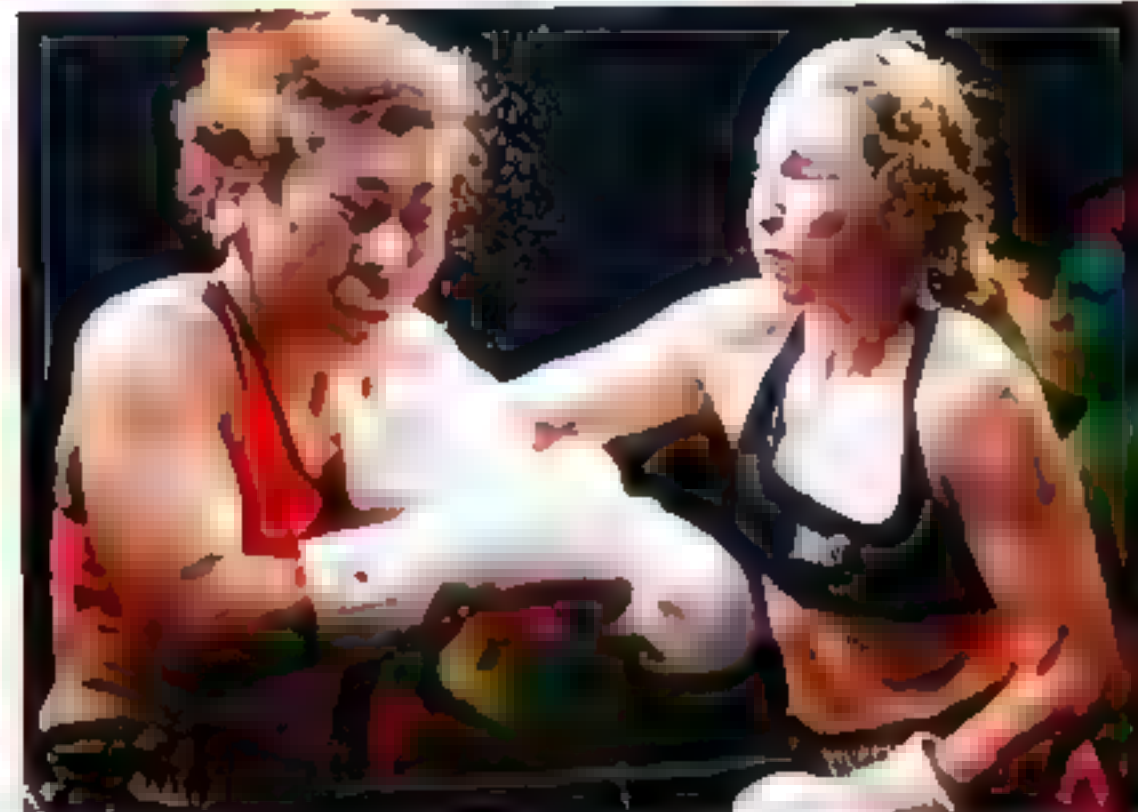
パワーで展開こじ開け勝ったけど フェリスの右カウンターに苦しむ

After the fight

ライカのコメント 勝

「いつもより冷静な試合運びができたんじゃないかと思います。テクニック関係なしにガンガンいくばかりではなく、考えながら戦えた、と。でも、まだまだ課題がいっぱい。7Rには倒しにいきたかったけど、急に腰を痛めて、効いたパンチももらっちゃいました。こういう展開から、KOに持っていくようにしたいんですけどね」

フェレスのコメント 負

「キックではサチコ(柴田早千子)、ボクシングでは今日のライカがこれまでで一番強かった。ライカは打たれ強いし、パンチも強い。左フックを打たれた時は、"シット(ちくしょう)!"と思ったわ。アゴが今でもまだおかしいもの。キック以外でこれだけ効かされたのは初めて。キックでもボクシングでもどんどん闘いたい。総合? いいわね!」

▲師匠の畑山隆則氏と握手。ただし、畑山氏は「(ライカの)ボクシング技術はまだ若い」と手厳しかった

▲ベルファーレを埋めた女性ファン。最初から最後までライカに熱烈声援を送り続けた

▲フェレスの右ストレートがヒットする。8Rにはこのパンチでライカが棒立ちになることも

◀トロフィーを手にするライカ。この日の闘いもいい勉強になったはず

一撃もシャープで、ライカのアタックを受けてもなかなか守勢に回ることはなかった。

試合そのものはたしかにライカのペースだった。左ジャブから接近し、力強いボディブローを叩きつける。3Rと5Rにフェレスの右ストレート、左フックをカウンターされ、やや攻撃は鈍ったが、そのほかのラウンドはほぼコントロールしきった。ことに7Rのライカは、右ストレートから大きなチャンスをつかむ。動きの止まった対戦相手を、左フックのレバーブローでさらに追い上げた。

しかし、この回、ライカは腰を痛めてしまう。そのせいか、追い足がなくなった8R、フェレスの強烈な右ストレートを2度ほどまともに浴びて、あわや逆転KOのピンチを迎えることになる。

セコンドを務めた元世界王者の畑山隆則氏は「まだボクシングが若い。最後に食った右クロスが前王者のシャロン・アニオス・クラスのパンチだったら、倒れていたかもしれない。一戦一戦課題をクリアしていくしかない」と語っていたが、まったくそのとおり。パワーに頼るあまり、攻撃が単調で直線的になって、これでは対戦相手のカウンターのターゲットになってもしまう。

ライカはまだ伸びる。世界王者といっても、背伸びする必要はない。この日のフェレスのように、世界には無名でも強い選手がいっぱいいるのだ。11月にはアニオスと再戦が決まっているようだが、その後でもどんどん試合をすればいい。これだけのパワーがあればもっと強くなる。

(宮崎)

日曜昼の開催で磁場が狂ったか？

この日の『スマック』はなんか変!?

グラップリング・ルールながら石原と15の対戦が実現！ 終始余裕の構えの石原は、15に組み付いてなぜかニンマリ！

撮影◎丸山剛史

日曜日の真昼という時間帯に六本木へ行ったのは初めてだったけど、なんとも妙な空気だった。なんか街自体がまだ眠ってるというか、土曜の夜にさんざん飲み歩いて、まだ朦朧としてるっていうか。

そんな街をプラプラ歩き、ヴェルファーレの中へ入るとそこは「スマックガール」の世界である。でも、やっぱりなんか感じが違う。「スマック」といえば、今年に入ってからは平日の夜に開催というのが定番なのだ。雰囲気が違って当然だし、それを感じるのが現場に行くってことでもある。ターザン山本さんなんて、競馬が気になってしょうがないだろうし。

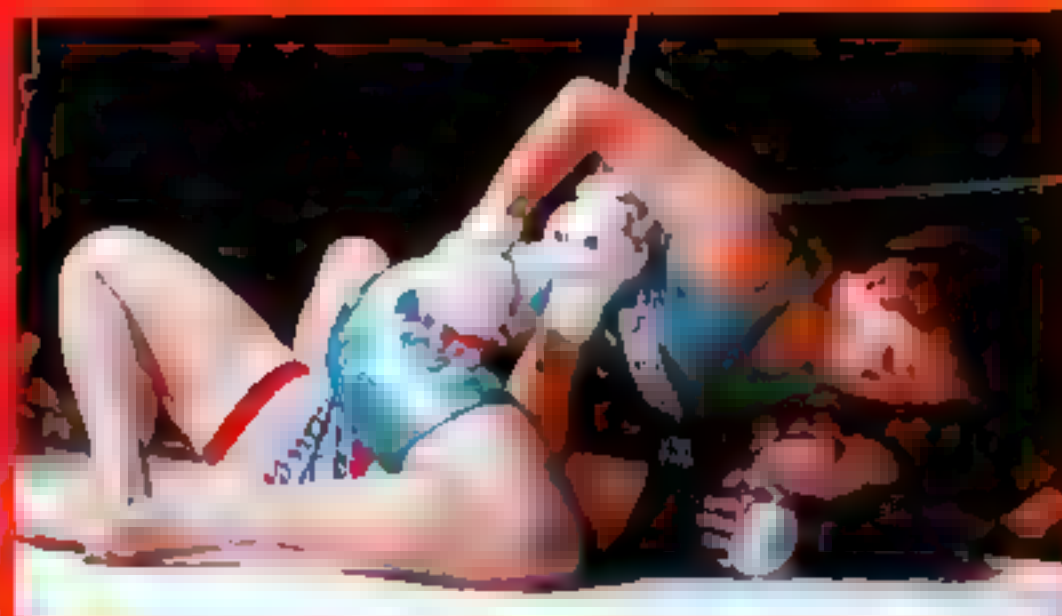
大会自体も、今回は2部構成と特別編。昼12時スタートの第1部はグラップリングの試合で、続いて休憩をはさんで通常の第2部が行われる。これも〝いつもと違う感〟に拍車をかけていたような。

べつにグラップリング自体が悪いわけじゃないし、むしろ注目選手がたくさん出ていたりもしたんだが、1部、2部合わせて11試合もあると間延びした感じがしてしまうもの。全11試合ある興行なんてキックじゃ珍しくもないんだけど、やっぱり『スマック』だと〝長いな〟と。

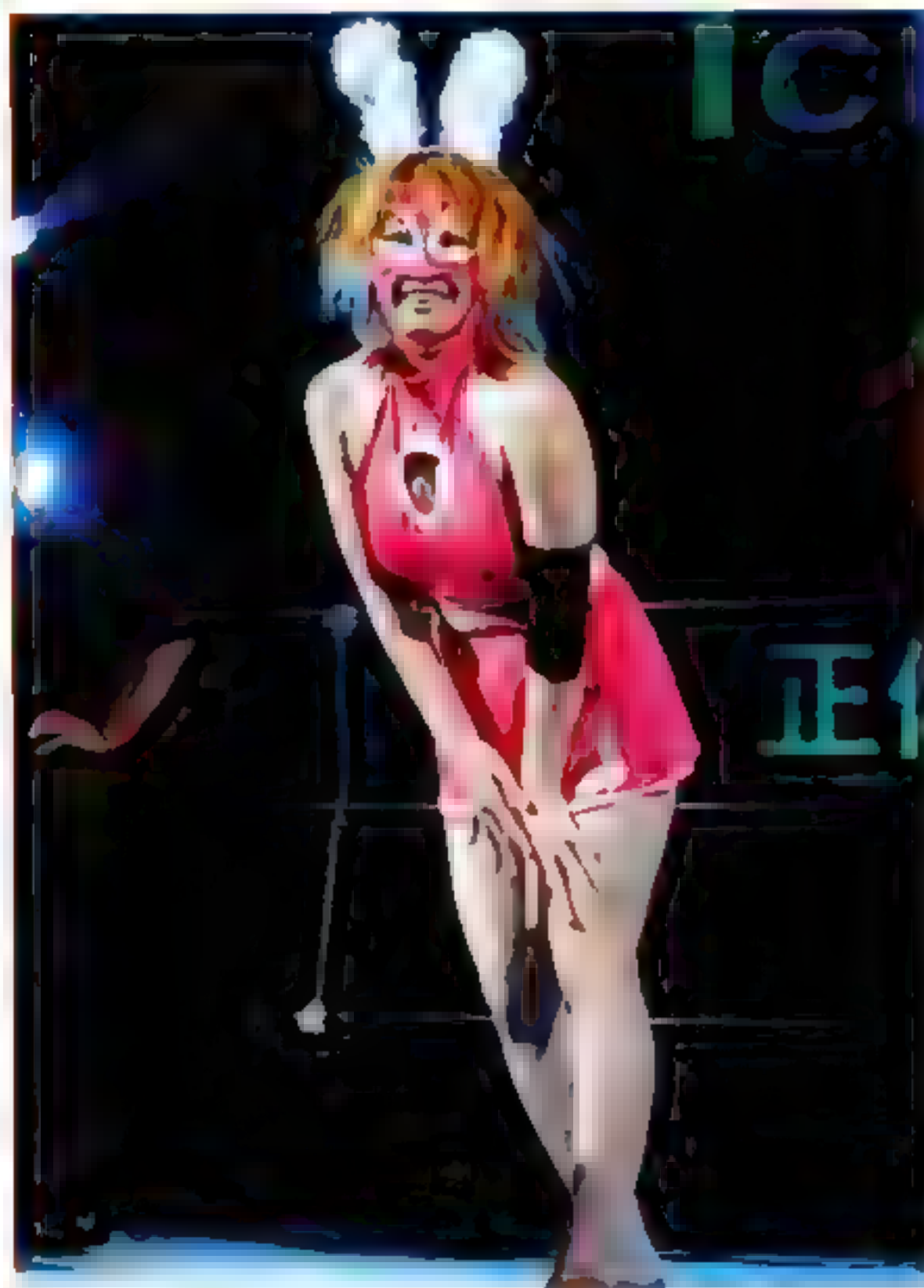
そんな中で異彩を放っていたのが、第1部の中で行われた石原美和子VS15（いちご）戦。日本女子総合最強の女と、前大会で突如デビューした所属から何から全部不明の覆面選手の対戦である。「プロ意識とか考えない」と「プロは目立ってナンボ」という石原と15。言ってみれば超実力派と

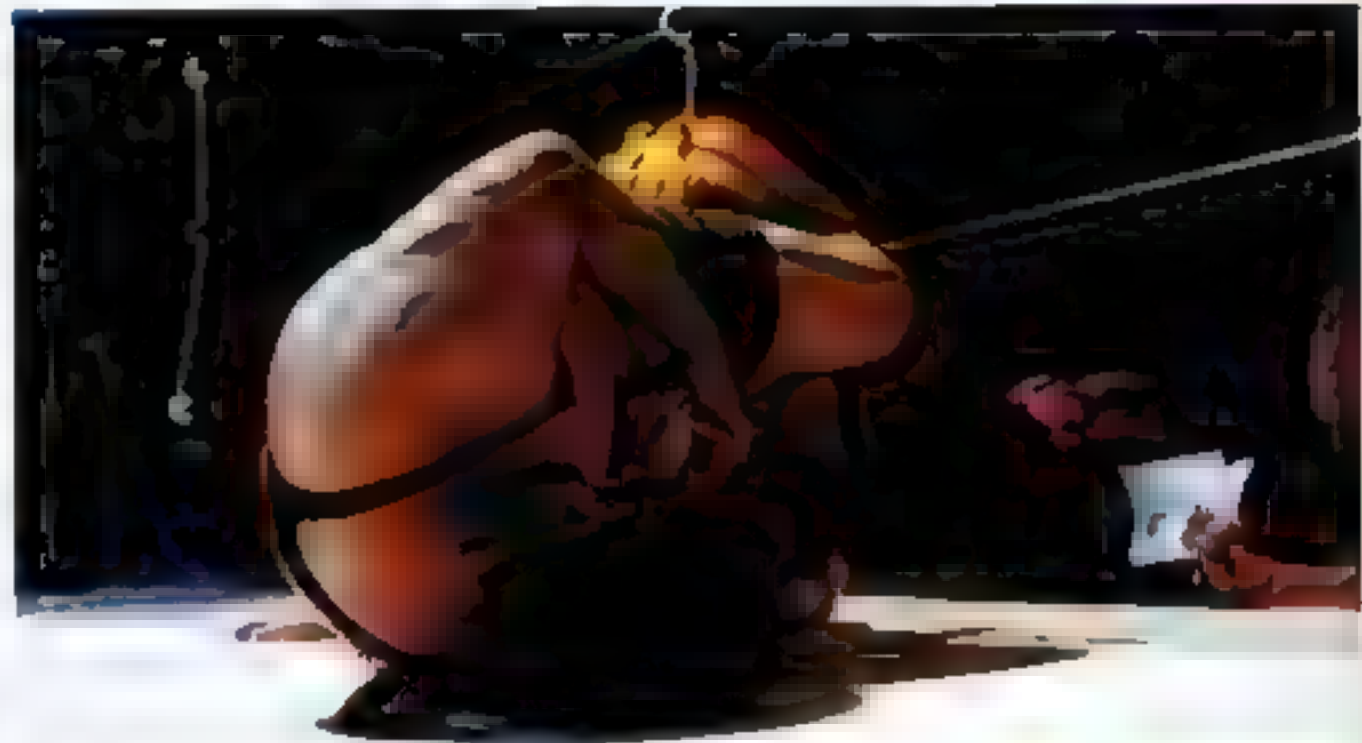
SMACKGIRL Third Season-V
7.6★六本木yelfarre

最強・石原と覆面パンチラ戦士・15 『スマック』ならではの"勝負論"なしマッチ!

期待の好カードはなぜか爆発せず

▲アンスコ見せつつ飛び付き十字を仕掛けた15。もちろん失敗したわけだが、アグレッシブな姿勢は買えた

サバ折りでテイクダウンすると即マウントポジションへ。これだけでタップ奪えるんじゃないか?

第1部・第4試合/SGG公式ルール(3分2R)
● 石原美和子〈禅道会〉 × 15(いちご)〈不明〉 ●
(1R2分10秒、腕ひしぎ十字固め)

▲前回同様、15の入場時には会場に大きなどよめきが

▶最後は腕十字。貫禄をたっぷりと見せつけての勝利だった

▶十字を極められたヒジの痛みにうずくまる15。なんだかんだ言っても、そこはガチンコなのである

超イロモノの闘い。

もちろん力量の差は明白で、石原ときたらろくに構えもせずにノッシノッシとリング上を徘徊。組み付いてくる15をいとも簡単に叩き落とし、ニヤリとしながらテイクダウンしてマウント、そして腕十字で仕留めたのだった。まさにカンロク勝ち。

で、こういうチャレンジマッチというか異色対決は『スマック』ではしばしば行われているもの。「勝負論がない」なんて目クジラ立てるほどのことでもない。

ただ、普段の大会であればセミやメインで濃い勝負が堪能でき、内容的にも良かったから"異色対決もまた良し"という気にもなれたのだが、今回はそれ以降の試合で満足できたとは言い難かったという事情がある。

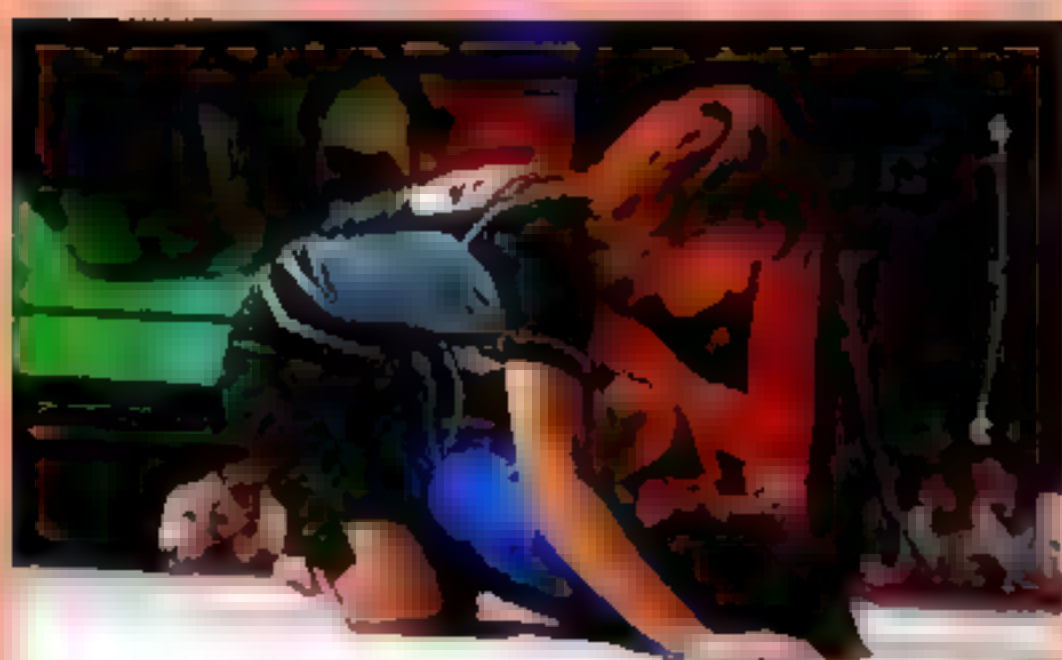
まず判定決着が多かった(7試合)し、KOはゼロ。残りの4つの一本勝ちはというと、これが全て腕十字での決着なのだった。グラップリングの試合が判定になるのは珍しくないにしても、期待されたたま☆ちゃんVS菊川夏子、ジェット・イズミVS金子真理が判定となったのは痛かった。メインのしなしさとこは一本勝ちしたけど、一回勝ってる相手だと、どうしてもね。

それからタイミングが悪かったのは、せっかくの日曜日なのに辻結花、渡邊久江、久保田有希、WINDY智美といった主役級がことごとく出ていなかったこと。あといつもと違ったのが……あ、そういえばナナチャンチン出てなかったな。これって案外大きいんじゃないの?
(橋本)

SMACKGIRL
Third Season-V
7.6★六本木★velfarre

今回は2部制特別バージョン！ だけど試合数が増えて間延び気味？ 一本勝ちは全て腕十字

SGGトーナメントは伏兵・今澤が優勝！

▶第1部で行われたSGG（グラップリング）ルールのトーナメントはパレストラ東京の今澤利恵が制した。注目されていた松島帆の帆、茂木康子を連続して下しての優勝だ

▲トーナメント決勝戦。1Rは今澤、2Rは茂木が優勢、最終3Rもほとんど互角という接戦だったが、スプリット・デシジョンで今澤の勝利となった

▲TBS「サイボーグ魂」の大会でも注目された本職・ダンスインストラクターの松島帆の帆も超僅差だったが今澤に敗退。1回戦は3分2Rだったのだが、グラップリングでこの短さじゃ決着つかんよ

- 茂木康子（ストライプル）
- 大門まい子（総合格闘技闇愚羅）
- 松島帆の帆（和術慧舟會GODS）
- 今澤利恵（パレストラ東京）

しなし、AACCから独立！ 今後の展開はどうなる？

▲柔道の投げだけではなく、レスリングの習得にも取り組んでいるしなし。低いタックルでテイクダウンにも成功

▲下からの十字でしなしを追い詰める場面もあった滝本。実力は充分にうかがえた

▲フィニッシュは最も得意なパターン、払い腰からの腕十字（1R2分3秒）

▲メインでは、「自分の練習をもっとしたくて」とAACCからフリーになったしなしさとこが出場。昨年3月にも対戦している滝本美咲（禅道会）との再戦だったが、「強い選手だったんでずいぶん前から練習を始めた」成果もあってか一本勝ち。イベントを締めた。次はサンボの世界大会に出場予定で、総合ではキーラ・グレイシーとの対戦を熱望中

坂本奈緒子、『スマック』初勝利！ かわいいコほど攻撃がエグい！

▶前回は数下めぐみに秒殺された坂本奈緒子（フリー）だが、今回はErika（武道会館）に一本勝ちで『スマック』初勝利（2R22秒）。フィニッシュは十字だったが、1Rはパンチとヒザを顔面に集中してバチバチに打ち合うエグい攻防が見られた

厳選コミュニティーサイト SPECIAL★RING site!

恋のお便り
http://koi.to/kso

完・全・無・料　会いたい放題!

♀の携帯番号とアドレスが見れる！無料だから！サクラ無し！ひやかし無し！ポイントを気にすることなく写メ＆アド交換…

Sコード 5005 対応機種

モバッチャオ!
http://www.55315.com

カンタン検索で出会っちゃお!

イチオシ優良人気サイトを検索できるスグレモノサイト。今なら合計３万円分無料ポイントがもらえるよ！コード「５６０７」

Sコード 5001 対応機種

完全無料DEAIサイトFACE
http://i-face.to/a

出会いは有料より無料サイト!?

有料サイトより出会えるのが無料サイト！無料出会いサイトは広告収入で運営している為サクラなどヤラセが一切ありません。

舞ちゃん(21)大学生

Sコード 5006 対応機種

iなび
http://www.pta.be

地域別検索システムだから早い!!

地域別に女性登録数の多いサイトを一発検索！コード「５７０２」を入力すると、各サイトで無料体験できるポイントが付いてくる！

Sコード 5002 対応機種

無料タダメール
http://0141.to/?tds

完全無料で♡出会いをサポート!

刺激的なイマドキのギャルから、密かに誘いを待っている淑女まで…まずはお食事から。無料なので、一度試してみる価値アリだぞ!!

Sコード 5007 対応機種

iモードHEAVEN
http://375375.com

女性に人気のサイトが集合!

熟女からＯＬ・10代の娘まで、女性層に人気のサイトのみを集めたリンク集。各サイト無料ポイント付きだから選べる！出会える！

Sコード 5003 対応機種

イイコイ
http://1151.to/ag

写メ、絵文字が可!男女完全無料

ついに会員20万人を突破した男女無料の出会い系サイト！写メはもちろん絵文字も使える超優れもの！色んな恋して出会っちゃって♥

完全無料サイト

Sコード 5008 対応機種

エイチ・ドコモ・ビー
http://H.docomo.be

究極の出会いサイトが大集結!

ケータイ発情娘。出没中！　サービスコード２００６でトータル３万円分無料ポイント進呈中。即レス即アポで好みの子と出会える！

Sコード 5004 対応機種

サイトにアクセスするのに超便利な！ Sコードの使い方

「いちいちサイトのアドレスを入力するのがメンドクサイ!」という方にうってつけ!

あらかじめ携帯に［http://dau.jp］を登録しておけば後は各サイト紹介の中央下にあるコード番号を入力すればあっという間に各サイトに接続されます。詳しくは下図の手順を参照してね♥

① http:/dau.jp — ブックマークから dau.jpを選択

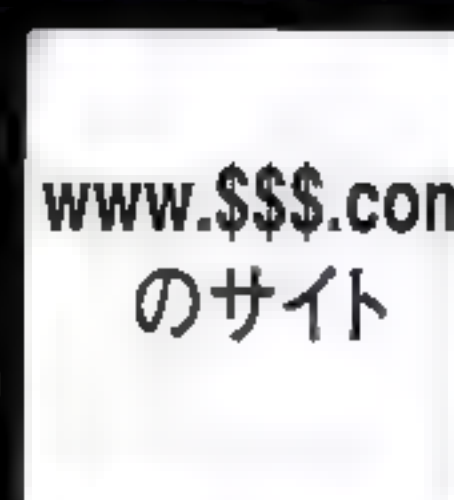
② コード入力 1408 送信 — コード番号を入力 送信を押す

③ www.$$$.com — サイトのアドレスが表示されるので選択してクリック

④ www.$$$.com のサイト — サイトに接続

iジャケットパラダイス
http://mtjp.jp/CD/

★大好評★話題の人気待受サイト

このアイドルってこんな曲出してたっけ！？そんなここだけのレアな画像がザックザク！最新機種からちょっと古めの端末まで全対応

CD・DVDジャケット画像を総数24183枚掲載中!!!しかもドンドン増殖中!全機種対応4サイズ

コード 5015

無料着メロ!メロディックス
http://melodix.net/a

超高音質の着メロ♪がなんとタダ

最新ドラマ挿入曲！要チェックアーティストのアルバム全曲特集！発売前の新曲！面倒な操作やメルマガ登録無しで使い放題！！

b@melodix.net

コード 5009

ちゃんぷ～
http://k-t.to/cnp/

☆爆笑☆ネタのメールが満載!!

世の中にある爆笑面白メールを毎日ご紹介！時事ネタ、ギャグ、恐怖にちょっぴりHも！画像で！文字で！着声で！待ち時間で一笑い

★爆笑ネタ満載★ ちゃんぷ～ 14/19更新完了! 悪質メール反対!! 毎日更新!!

コード 5016

フォレストマーチ
http://id.forest-march.com/

写メで簡単ホームページを作ろう!

かわいい☆ホームページを持ちたい人必見！携帯でもパソコンでも簡単に作れるよ（^_^）写メ・iショットもOK！かなり楽しめます♪

絵文字使い放題♪ 「forest*march」 写メ、iショットが使える アナタだけのオリジナルケータイ

コード 5010

QOOP
http://qo-op.to/

女の子だもの、知らなきゃソン!

夏に向けてダイエット！今人気のアイテムは何？話題のコスメは？女の子の知りたい情報発信中～当然恋バナ占い裏テク何でもアリ！

♀のコが欲しい情報いっぱい?QO-OP! 写メ、iショット対応! 無料HPスペース

コード 5017

大人の女優名鑑
http://postjam.com/av/

女優のカラダってキレイだな～

ソフト～ハードまで。サイト構成は良心的でダマシリンクなど一切無し。安心して歴代のAV女優の○○を高画質で堪能できるぞ！

コード 5011

あんたの子供
http://qo-op.to/baby/

天才?野獣?赤ちゃん大予言HP

彼とワタシで「愛の結晶」を作る子作りシュミレーションゲーム。診断結果は何と572８種類！あんたの赤ちゃんはどうよ

あなたの赤ちゃん あんたの子供 作りましょう ますます好調 姉妹サイト 未来予想図

コード 5018

パットランド
http://patland.com/

完全無料!写メ全キャリア対応

全キャリア画像対応！完全無料♪今時画像で出会うのは当たり前！チャット、掲示板、プロフィール！出会いのツールを完全装備！！

完全無料で嬉しい 女性も安心♪

コード 5012

Girls♥Safe Labo
http://qo-op.to/gsl/

女の子のカラダ真面目に考えよっ

キモチイのもいいけど避妊は？病気予防は？今まで無かった！本格派♀のえっちバイブル快感も安全も手に入れたい普通の女の子へ♪

爆走更新中! オンナノコのHについて真剣に考えるサイト! Girls Safe Labo ～略してGSL!

コード 5019

グリードアイランド
http://k-t.to/gi/

無人島で恋人や仲間と生き残れ!

バーチャル無人島を舞台に繰り広げる新たなゲームサイト。携帯で恋人を作ったり、仲間を作ったり戦いながら生き残る通信ゲーム！

完全無料!! グリードアイランド セーフクリックで携帯広告始める！ 出会え！戦え！守れ！ 謎の島『グリードアイランド』 通信をつかって仲間を作ってチーム編成して

コード 5013

知りたい気持ち
http://www.k-t.to/kimochi/

どうしても気になる人の本音!!

なかなか聞けない！！彼や友達の本音…！！でもやっぱり知りたい…そんな人はここへ。相手にメールするだけで本音が分かっちゃう

知りたい気持ち 友達に教えてね♪ 本当は相手に聞いてみたい気持ちを心理メールを使って聞いちゃおう♪

コード 5020

￥メール
http://yenmail.com/

参加無料!簡単ゲームで現金当る

￥メールは毎日がチャンス！結果がスグに出るスロットは毎日チャレンジ可能で当ると現金１万円！クイズもあってダブルチャンス！

￥メール セーフクリックで携帯広告始める！ 昨日の挑戦者 166609人

コード 5014

できれば3日間、無理なら1日間、あるいは一食だけでも——。

食べることを休んでみませんか?

グレートアントニオ
誌上通販

巷はすっかり断食ブーム。『ファスティング・ダイエット』なら自宅で安心してできます。

内臓を休めて代謝をアップ、無駄な脂肪と有害物質を撤去する。ファスティングとは、“カラダのリセット”です。

今、現代人のカラダは、あなたが思っている以上に疲れ、汚れ、
ダメージを受けています。
なぜでしょう?

あなたがこれまで深く考えずに食べてきたもの、
嗜好の赴くままに食べてきたもの、
カラダにいいと誤解して食べてきたもの、
それらすべてが今のあなたのカラダを作っているので、
本来の正常な働きができるカラダとは、
ほど遠い状態になっているからです。
農薬や食品添加物などの有害物質や環境ホルモンも、
あなたのカラダに溜まっています。

まずは、それらをカラダから排除しなくてはいけません。
あなたが生まれたときから休みなく働き続けている、
食道、胃、肝臓、十二指腸、大腸、膵臓、胆嚢、腎臓などを
休息させてあげなくてはいけません。

ファスティングは体重を落とすだけでなく、
「カラダを一度リセット」するための療法です。
ファスティングは、食べ物を消化するために使われていたエネルギーを、
新しい組織を再生するための活動に回すことができる、
現代人に必須のプログラムなのです。

杏林予防医学研究所所長 「ファスティング・ダイエット」開発者
山田豊文

ファスティングのおこないかた

3日間ファスティング(3日で本品3本使用)
1日ファスティングジュース1本(360cc)とミネラル・ウォーターを飲用。これを3日間続けます。4日目の朝食はお粥からはじめ、3日かけて徐々に復食していきます。

1日間ファスティング(本品1日1本使用)
1日ファスティングジュース1本(360cc)とミネラル・ウォーターを飲用。月3回の実行が効果的。翌日の朝食はお粥からはじめ、1日かけて徐々に復食していきます

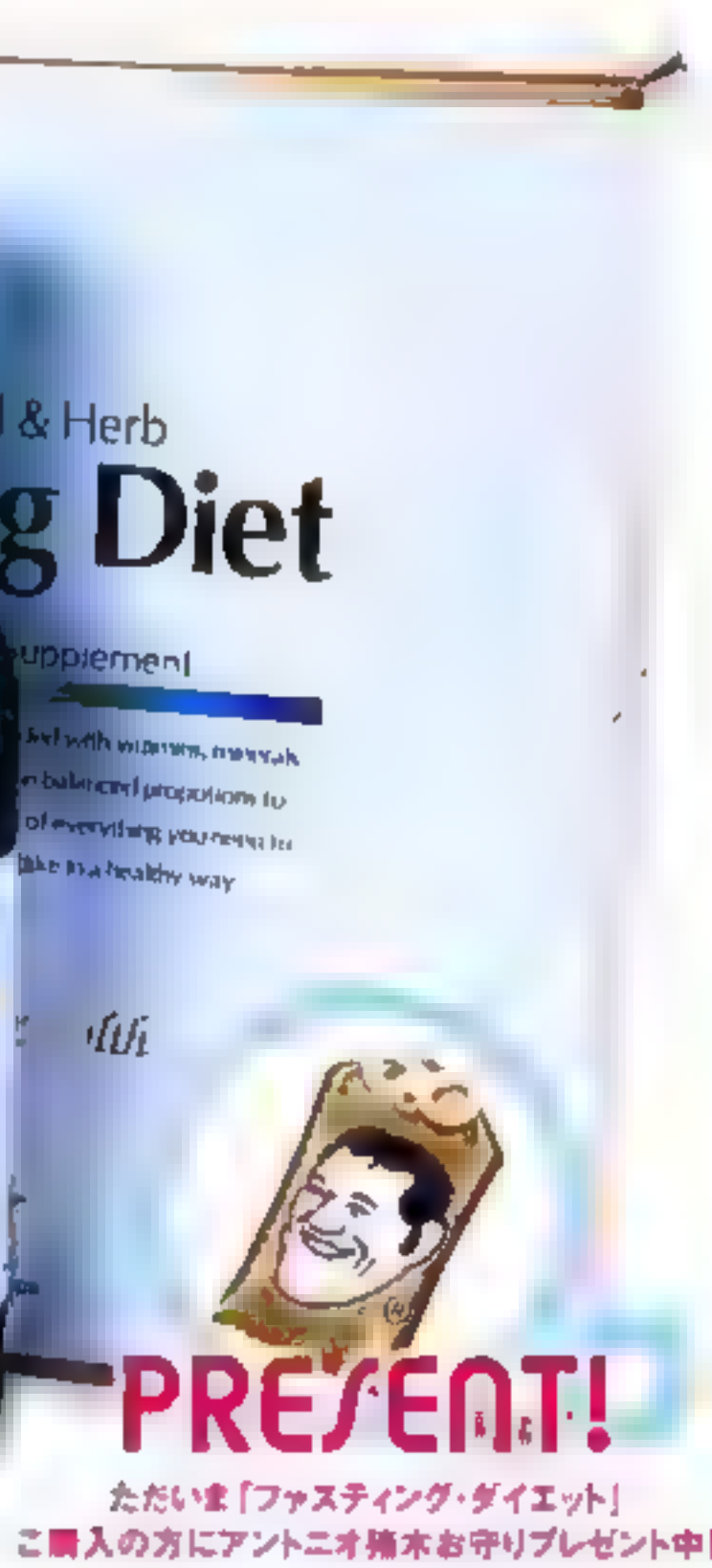
半日間ファスティング(27日で本品3本使用)
朝または夜の食事をファスティングジュース40ccに切り替えます

PRESENT!
ただいま「ファスティング・ダイエット」ご購入の方にアントニオ猪木お守りプレゼント中!

80種類以上の植物を自然発酵させて作りました。

プロスポーツ選手や芸能人の間でブームの断食。これは内臓を休息させて代謝を活性化させることにより、脂肪の燃焼や体内毒素の排出を促す美容健康療法です。その際、飲用されているのが、この「ファスティング・ダイエット」。

「ファスティング・ダイエット」は、大自然の緑の中でたくましい生命力を秘めて育った野草や野生植物を主に、農薬や化学肥料を使わずに栽培された新鮮な野菜・果物・穀類・海藻・貝化石などの原料にハチミツを加え、一年間以上の時間をかけ、天然の栄養分を損なうことなく独特な技術で自然発酵させた理想的な酵素飲料です。

多種類の酵素・ビタミン・ミネラルやアミノ酸などがバランスよく含まれています。減量だけでなく、肌やカラダの調子が良くなりますので、健康を願う人の栄養補助飲料として、また美容飲料として、どなたでも安心してお召し上がりください。

Mineral & Herb Fasting Diet

(360ml×3本入り)
18,000円(税別)

開発検定/杏林予防医学研究所 〒604-8151 京都市中京区烏丸通蛸薬師西入る橋弁慶町227 第12長谷ビル5F
販売元/株式会社ローデス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F

栄養素表示
● 品名 清涼飲料水
● 内容量 360ml×3
● 栄養表示/100g(約80ml)あたり

項目	値
水分	49.9g
エネルギー	196kcal
たんぱく質	0.3g
ナトリウム	12.9mg
灰分	0.6g
カルシウム	15.4mg

原材料表示
野草 ヨモギ、ドクダミ、タンポポ、オオバコ、クコ、クマザサ、ツユクサ、松の葉、オトギリソウ、ハトムギ、カンゾウ アカザ、アマチャヅル、キダチアロエ、ナンテンの葉 カワラケツメイ、エゾウコギ イチョウ、カキドオシ、アマドコロ、スギナ、ケツメイシ、ツルナ、桂皮、ハブ茶、アカメガシワ、アケビの実、忍冬、杜仲の葉、ハブソウ、ヤマイモ、ウコン、マタタビ 他
野菜 トマト、きゅうり、キャベツ、ホウレンソウ、パセリ、大根、ブロッコリー、れんこん、人参、玉ねぎ、かぶ、もやし、ごぼう、しいたけ、じゃがいも
果物 りんご、パパイヤ パイナップル レモン
その他 塩水湖水低塩化ナトリウム塩(塩水湖水ミネラル塩)、根こんぶ、貝化石、果糖(蔗糖)、黒糖、オリゴ糖

スポーツ界芸能界でもファスティングが大ブーム!

ダイエットが気になる美川憲一さんもファスティングを体験しています。
3日で5kgのダイエットに成功したそうです。
(参考:「ファスティングダイエット」アスキー・コミュニケーションズ刊より)

アントニオ猪木さんはファスティングを定期的に体験しています。
3日間で10kg体重が減ることもあるそうです。ご存じのとおり、いつも元気です。
(参考:「ファスティングダイエット」アスキー・コミュニケーションズ刊より)

お仕事を休めない小池栄子さんは、自宅で手軽に断食できるファスティングを体験しました。
「小顔になり腰回りもすっきり。一気に体重が落ちたけど、胸の大きさは変わらなかった」と、笑顔です。
(参考:デイリースポーツ/2002.1/3号より)

7/12㊏ は浅草キッドで一日潰そう！ 浅草キッドラリー2003

今週末!!

夏の恒例企画！　今年も浅草キッドがやってきます！　浅草キッドTシャツ最新作「浅草キッドTシャツ2003」発売を記念してサイン会をおこないます。また同日、『お笑い男の星座2』発売記念サイン会も「高円寺文庫センター」でおこなわれます（2店舗ハシゴでキッド特製グッズをプレゼント!）。サインはもちろん、マット界芸能界に関する質問&闘魂ビンタは今年も無制限ですので、皆様のご来店をおまちしておりますっ!

kid

浅草キッドTシャツ2003　**¥3,500**（税別）
白・黒／サイズXS・S・M・L・XL

「浅草キッドTシャツ2003」発売記念サイン会

■日時／2003年7月12日（土）PM1:00～
■場所／グレート・アントニオ
■参加資格／当日AM11:00より「浅草キッドTシャツ2003」をお買上げの方。Tシャツお買上げの際、当イベント整理券を配布します。

『お笑い男の星座2』発売記念サイン会

■日時／同日 PM4:00～
■場所／高円寺文庫センター（高円寺駅徒歩2分。杉並区高円寺北2－10－5）
■参加資格／高円寺文庫センターにて『お笑い男の星座2』をお買上げの方。この際、グレート・アントニオにて配布された整理券をお持ちの方に、当ラリー限定の浅草キッドグッズ（非売品）をプレゼント！

今年も出張！
サマーファスティングシリーズ in 広島パルコ

8/9（土）武藤敬司&浅草キッド参戦も決定！

広島のみなさん、元気ですか～ッ！　昨年の冬休み出張に続いて、この夏休みも広島パルコに出店します。今回はレッグロック（武藤事務所）&ダブルクロス（「紙のプロレス　RADICAL」）との合同開催となりますので、さらにパワーアップしたラインナップでお届けします。広島じゃなかなか手に入らない「ファスティング・ダイエット」ももちろん販売しますので、この機会にぜひどうぞ！　期間中になんと、武藤&浅草キッドもやってくるよ！　スペシャルでしょ！

■日時／2003年8月1日（金）～15日（金）の15日間
■場所／広島パルコ 新館7F

ご注文方法

『グレート・アントニオ』&『ヤマダ元気』通販専用NAVIダイヤル

ご注文は電話orサイト受付のみです

☎ 0570-007800　※携帯電話からは掛かりません。
☎ 03-3295-4450　※携帯電話でも掛かります。

【受付曜日・時間】月曜日～土曜日 *AM10:00～PM6:00*

グレート・アントニオ
http://www.great-antonio.jp

ヤマダ元気
http://www.yamadagenki.com

【24時間受付】

商品お渡し方法

代金引換でのお受け取りとなります。
◎商品代金のほかに送料約700円（ゆうパック）、代引手数料約250円（いずれも地域によって異なります）がかかります。
◎お届けはご注文をいただいてから、5日前後で（株）ジャンボ（大阪）より郵送いたします。（ご注文が集中した場合は、お時間をいただく事があります。ご了承ください）

ご注意

◎代金、送料の先払いはお受けできません。
◎サイズ交換等の返品・交換はお受けできません。不良品等の理由による返品・交換の場合は、商品到着後10日以内にお電話にてご連絡ください。（期日を過ぎた場合は、受け付け致しかねます）
◎「グレート・アントニオ」店頭および『SRS・DX』編集部では、通販のご注文は受け付けておりません。

ACCESS MAP

グレート・アントニオ

○神保町駅（半蔵門線/都営新宿線/都営三田線）より徒歩5分
○小川町駅（都営新宿線）より徒歩5分
○淡路町駅（丸ノ内線）より徒歩6分
○竹橋駅（東西線）より徒歩8分

OPEN 11:00～20:00（月曜定休）
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル1F
TEL 03-3219-9550

2号連続でプレゼント！ 今回は赤！

【伊藤忠ファッションシステム 提供】
INOKI X ウォッチ（赤）
1名様
※存在感バツグンの猪木ウォッチ。これを付けたら目立つこと間違いなし！ ケースもかっこいいから絶対保存版。INOKI X ウォッチ：定価18,000円（税別）。トランクスの柄は写真のものと異なることがあります。商品に関する詳細は、http://www.inokix.excite.co.jp/まで

【グレート・アントニオ 提供】
7.12浅草キッドサイン会にも全員集合！
浅草キッドTシャツ2003（白・黒／サイズXS・S・M・L・XL）
2名様
※奇抜＆斬新なデザインで毎回大好評の浅草キッドTシャツの第3弾が発売になったゾッ！ 発売を記念してグレート・アントニオではサイン会も行われる。詳細は、前のページを見てね！ 定価3,500円（税別）。グレート・アントニオの商品に関するお問い合わせは、グレート・アントニオ ☎03-3219-9550または、http://www.great-antonio.jpまで

トランクスも猪木で闘魂注入！
INOKI X トランクス（M）
3名様

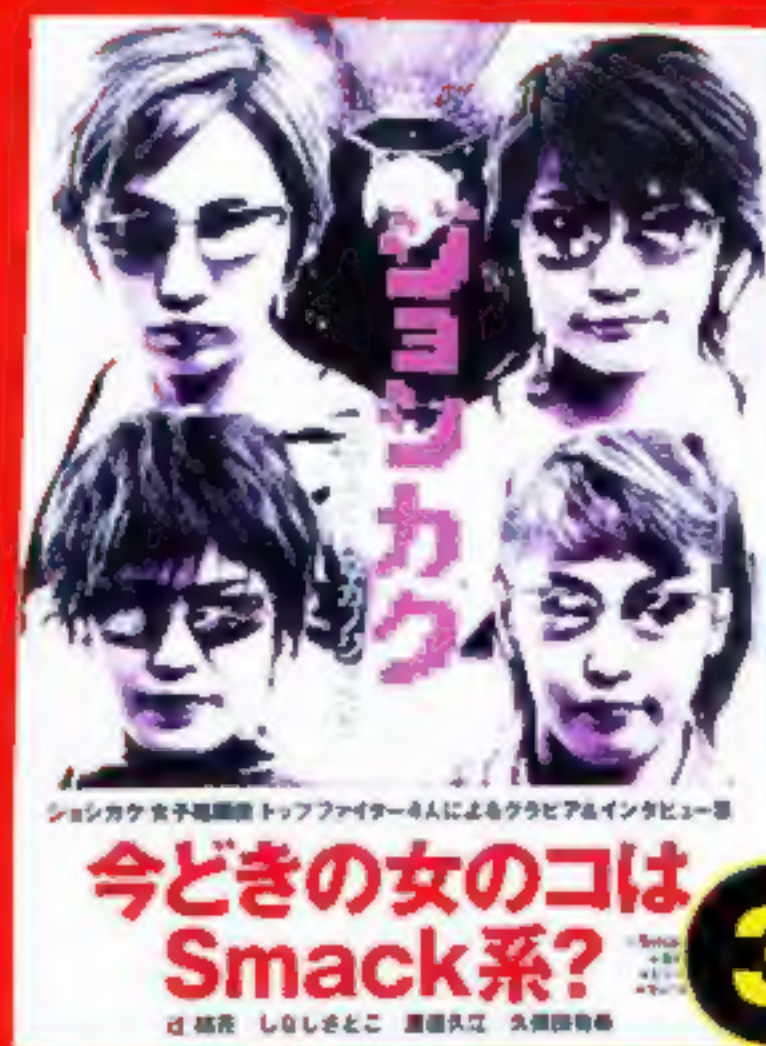
DX PRESENT 読者プレゼント

【本誌編集部 提供】
女子ボクシング界からジョシカク初登場！
3名様
八島有美サイン入りチェキ
※カワイイ〜ッ、さすがは元女優！

梅雨ももうすぐ終わり。今年の夏こそ！ガンバルゾ〜ッ！

【徳間書店 提供】
ターザン山本＆テリー伊藤が反則発言100連発！
格闘技心中
3名様
※我らがターザン山本とテリー伊藤のバトルトークは、とにかくオモシロくって、一気に読破してしまうこと間違いなし。マット界の仰天情報もタップリだぞ。定価1,400円（税別）。絶賛発売中！

【エンターブレイン 提供】
U.W.F.最強の真実
"U"の真相に迫る第2弾！
3名様
※"Uインター"の頭脳と呼ばれた宮戸優光が、高田の引退を機に、Uの全てを明らかに。プロレスファンも格闘技ファンもぜひ一読してほしい！ 定価1,600円（税別）。好評発売中！

【新紀元社 提供】
ジョシカク SMACKな彼女たち
これを見たらもっとジョシカクが好きになる！
3名様
※ターザン山本監修。本誌人気コーナー「ジョシカク」から飛び火したグラビア＆インタビュー集『ジョシカク SMACKな彼女たち』。辻結花、しなしさとこ、渡邊久江、久保田有希のインタビューは必読！ 定価1,400円（税別）。全国の書店で絶賛発売中！

【吉田道場 提供】
携帯に便利！
暑い時にはやっぱこれでしょ？
吉田秀彦 326イラスト うちわ
5名様
※これからのシーズンの必需品。いつもバックに忍ばせておこう！ 定価100円（税別）。吉田道場グッズの詳細、ご注文はhttp://www.hidehiko.jp/

応募券は忘れずに！

官製ハガキに応募券を貼って、
（1）郵便番号・ご住所・電話番号
（2）お名前
（3）年齢・ご職業
（4）希望プレゼント
（5）今号で面白かった記事とその理由
（6）今号で面白くなかった記事とその理由
（7）本誌に対する意見・感想を書いて、以下までご応募ください！

あて先
〒101-0051
東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
SRS・DX編集部『読者プレゼントDX係98』まで
締め切り……2003年7月24日（木）（当日消印有効）

98
応募券
SRSDX 読プレ

男の子から、男へ。

キーワードは「無痛」「無傷」「安心」。
過去20万人の治療実績を誇る
上野クリニックの技術と安心が
一冊の本になりました。
あなたの下半身の悩みにしっかり、
まじめにお答えします。

MEN'S BODY POWER UP 一生に一度の男の手術
24時間直接電話相談 0120-508-550
メンズ総合テープ案内 0120-087-008
24時間無料電話相談 一生に一度の男の手術 無痛! 無傷! 安心!
東京上野クリニック

「MEN'S BODY POWER UP」
定価648円（税別）判型：A5判　ページ数：80頁

発行所 株式会社双葉社
〒162-8540 東京都新宿区東五軒町3番28号

（以上：全て目次より）

ご紹介できる全国の上野クリニック一覧		
札幌 011-252-6000	中央区北4条西2 アイビル4F	
仙台 022-723-3000	青葉区中央1-6-27 仙信ビル7F	
新潟 025-241-4000	新潟市花園1-4-6 柳都ビル2F	NEW
大宮 048-642-1000	大宮区宮町2-11 ハシモトビル7F	
東京 03-3274-4000	中央区八重洲1-9-13 八重洲合同ビル7F	
上野 03-3876-7000	台東区根岸1-8-18 高松ビル4F	
渋谷 03-5784-3000	渋谷区宇田川町33-8 塚田ビル7F	NEW
新宿 03-3343-4000	新宿区西新宿1-3-15 栃木ビル7F	
横浜 045-323-5000	西区北幸2-10-50 北幸山田ビル2F	
千葉 043-221-8000	中央区富士見1-2-11 勝山ビル6F	
浜松 053-452-6000	浜松市鍛冶町140-3イズムハママツCビル5F	
名古屋 052-562-5000	中村区名駅3-26-21 新香取ビル6F	
名古屋栄 052-968-7900	中区錦3-17-10 錦三(きんさん)ビル8F	NEW
京都 075-352-5000	下京区新町通七条下ル東塩小路町593クリスタル駅前ビル1F	
大阪北 06-6456-3000	北区梅田1-2 駅前第2ビル2F	
大阪南 06-6634-3000	中央区難波3-5-11 東亜ビル8F	
岡山 086-224-9000	岡山市本町6-36 第一セントラルビル3F	
広島 082-511-5000	中区基町11-5光和紙屋町ビル3F	NEW
福岡 092-415-6000	博多区博多駅東1-12-7 第13岡部ビル2F	
鹿児島 099-812-3800	鹿児島市中央町3-36 西駅M.Nビル5F	NEW

この本についてのお問い合わせは
TEL/03-5543-3700

泌尿器科・形成外科・性病科
東京上野クリニック

24時間無料電話相談
0120-508-550
携帯・PHSからもご利用できます。

メンズ総合テープ案内
0120-087-008
携帯・PHSからもご利用できます。

メール相談もできる男のHP　http://www.ueno.co.jp　携帯アドレス　http://www.ueno-c.com